

SharePoint 自習書シリーズ with AvePoint DocAve

SharePoint Server 2007/2010 利用状況の見える化と分析 手順書



著作権

このドキュメントに記載されている情報(URL 等のインターネット Web サイトに関する情報を含む)は、将来予告なしに変更することがあります。別途記載されていない場合、このソフトウェアおよび関連するドキュメントで使用している会社、組織、製品、ドメイン名、電子メールアドレス、ロゴ、人物、場所、出来事などの名称は架空のものです。実在する名称とは一切関係ありません。お客様ご自身の責任において、適用されるすべての著作権関連法規に従ったご使用をお願いします。AvePoint は、このドキュメントに記載されている内容に関し、特許、特許申請、商標、著作権、またはその他の無体財産権を有する場合があります。別途 AvePoint のライセンス契約上に明示の規定のない限り、このドキュメントはこれらの特許、商標、著作権、またはその他の無体財産権に関する権利をお客様に許諾するものではありません。

はじめに

目的

本ドキュメントでは、SharePoint Serverの利用状況分析手順について、画面キャプチャを用いてステップバイステップで紹介いたします。利用する製品は、AvePoint DocAve レポートポイント for SharePoint v5 / AvePoint DocAve 管理センター for SharePoint v5 および AvePoint DocAve 監査マネージャー for SharePoint v5 です。一部シナリオでは AvePoint DocAve コンテンツマネージャー for SharePoint v5 および AvePoint DocAve アーカイバ for SharePoint v5 を使用しています。SharePoint 標準機能では各サイトコレクションやサイトへそれぞれアクセスして利用状況分析や監査ログの確認が必要でしたが、DocAve レポートポイント for SharePoint および DocAve 監査マネージャー for SharePoint を利用することで単一インターフェイスから一元的に確認できるため、作業がシンプルになります。また、監査ログからサイトのアクセス数やユーザー単位のサイト利用状況など様々な切り口の利用状況結果をグラフィカルに表示することができます。その結果、SharePoint の管理作業や利用状況の把握がこれまで以上に実施/把握できるようになります。

対象製品

AvePoint DocAve 5

用語

本ドキュメントの中で使用している略語の正式名称はそれぞれ以下の通りです。

略語	説明
AD	Active Directory
MOSS	Microsoft Office SharePoint Server 2007
WSS	Windows SharePoint Services 3.0
コンテンツ DB	コンテンツデータベース
DocAve	DocAve ソフトウェアプラットフォーム (ドックアップ)
DocAve レポートポイント	DocAve レポートポイント for SharePoint
DocAve 管理センター	DocAve 管理センター for SharePoint
DocAve コンテンツマネージャー	DocAve コンテンツマネージャー for SharePoint
DocAve 監査マネージャー	DocAve 監査マネージャー for SharePoint
DocAve アーカイバ	DocAve アーカイバ for SharePoint

変更履歴

バージョン	リリース時期	変更内容
Version 1.0	2010年5月31日	初版リリース

目次

SharePoint Server 2007/2010 利用状況分析 手順書	1
はじめに	3
変更履歴	4
目次	5
第 1 章 DocAve での利用状況可視化の考え方	7
1.1. 利用状況可視化の要件	8
1.2. DocAve を用いた利用状況可視化とは	9
第 2 章 モデル環境	10
2.1. アカウント構成	11
2.2. サイト構成	13
2.3. 権限管理モデル	16
2.4. 基本情報	17
2.4.1. システム構成	17
2.4.2. ソフトウェア構成	18
第 3 章 一般的な利用シナリオ	19
3.1. 事前作業	20
3.1.1. 監査データの取得	20
3.1.2. 監査レポートエクスポート先の設定	29
3.1.3. ストレージサイズやサイトコレクションの表示速度情報の取得	32
3.1.4. パフォーマンスデータの収集	38
3.1.5. メール通知先の設定	41
3.2. 利用状況把握	44
(1) よくアクセスされているサイトやページ、アイテムの一覧を把握したい	44
(2) アクセスされていないサイトやページ、アイテムの一覧を把握したい	53
(3) よく利用されている検索キーワードの一覧を把握したい	56
(4) 特定のオブジェクトへのアクセス状況を把握したい	61
(5) サイトコレクション毎/ユーザー毎の利用状況を把握したい	70
(6) 特定のオブジェクトのユーザー毎のストレージ使用量を把握したい	78
(7) 特定のオブジェクトの通知設定数を把握したい	85
(8) SharePoint サイト上でサイト管理者に利用状況データを公開したい	92
<コラム> 表示させたデータのエクスポート	107
<コラム> 監査レポートを Excel で表示させたい形式に編集する	109
3.3. 情報漏洩対策	120
(1) 特定のオブジェクトへのアクセス記録を確認したい	120
(2) 特定のユーザーのアクセス記録を確認したい	128
(3) 一定期間経過した監査データを退避させたい	134
3.4. ストレージ消費状況の可視化	139
(1) コンテンツ DB のサイズ、空き容量を監視したい	139

(2)	サイトコレクションのサイズを監視したい	148
(3)	リスト/ライブラリのアイテム数を確認し、問題があれば移動させたい。	157
(4)	アーカイブ機能を利用しているサイトコレクション/サイトの外部デバイスサイズを監視したい	170
(5)	ストレージ圧迫しているオブジェクトを特定したい	180
3.5.	パフォーマンスの把握	201
(1)	複数ある SharePoint サーバーの CPU やネットワーク使用状況をまとめて把握したい	201
(2)	CPU やネットワーク使用量が高負荷になるタイミングを特定したい	204
(3)	サイトコレクションの表示速度を把握したい	214
3.6.	利用されていないリソースの特定	219
(1)	アクセスされていないサイトを特定したい	219
(2)	サイトコレクション/サイトの容量を把握し、アーカイブ対象を決定したい	224
第 4 章	付録	231
4.1.	レポートポイントのデータ	232
4.2.	シナリオに記載していないレポートポイント機能の帳票一覧	233
4.2.1.	インフラストラクチャレポート	233
(1)	チェックアウトされたファイル	233
4.2.2.	リアルタイムモニタ	234
(1)	SharePoint トポロジ	234
(2)	SharePoint サービス	235
(3)	SharePoint インデックス状況	236
(4)	ファームエクスプローラ	237
(5)	環境検索	238
4.2.3.	システムの利用状況	239
(1)	ページトラフィック	239
4.2.4.	ユーザーの利用状況	240
(1)	ワークフローの状態	240
(2)	ダウンロード数ランキング	241
(3)	失敗したログイン試行	242

第1章 DocAve での利用状況可視化の考え方

本章では、利用状況可視化におけるユーザーの要件、および SharePoint 標準機能と DocAve の機能比較について説明します。

1.1. 利用状況可視化の要件

一般的な SharePoint 利用状況可視化の要件としては以下の4点が考えられます。これらの要件は DocAve を用いることにより実現可能で、さらに管理タスクの簡略化が見込まれるためコストの削減につながります。

<一般的な利用状況可視化の要件>

導入したSharePointの活用度の確認

- ・ある一部のユーザーのみが使用しているためアクセス状況は高いが全体的な活用度は低い状態となっている。
- ・監査ログや利用状況分析の設定を有効としているが抽出したレポートの活用ができていない。

利用度の高いコンテンツ/ 低いコンテンツの把握

- ・アクセスが多いコンテンツと少ないコンテンツがTopサイトに混在して配置されているため、利便性が下がっている。

無駄に消費されている リソースの見極め

- ・SharePointサイトにコンテンツをアップロードしているだけになって活用されていない。
- ・1年以上アクセスされていないサイトやコンテンツが多数存在している。
- ・コンテンツの整理を依頼しているが管理者によって実施状況がまちまちである。

システムの安定稼働の確認

- ・コンテンツDBにトランザクションログが溜まり、容量を圧迫している状況が続いている。
- ・サイトコレクションの表示時間等のパフォーマンスが低下しているが低下しているタイミングや原因が分からない。

<DocAve を用いることにより実現される利用状況可視化の例>

- どのサイトがどれくらいアクセスされているか/誰がどのくらい利用しているのか等、導入効果を定量的に把握できます。
- 特定のユーザー/サイトに偏った利用状況を把握し、SharePoint 活用促進の対象を特定できます。
- ストレージ消費量をユーザーごとに把握することで、コンテンツ削除依頼を行う対象ユーザーを特定できます。
- サイトコレクションやコンテンツ DB の消費サイズが閾値を超えた際に通知メールを受け取ることができます。
- コンテンツ DB 内に含まれるサイト数の確認や Idf/mdf ファイルの割合を1画面から確認できます。
- 各コンテンツの最終アクセス時間を確認することで、利用されていないコンテンツを抽出できます。
- CPU やメモリー消費量が閾値を超えた際に通知メールを受け取ることができます。
- 監査レポートを元にした細かい粒度や長いスパンの利用状況をグラフィカルに表示できます。
- コンテンツの削除や移動のアクションに限定した監査ログを Web アプリケーション全体から抽出し、管理者に依頼したコンテンツの整理が実施されたか確認できます。

1.2. DocAve を用いた利用状況可視化とは

SharePoint は監査ログレポートや利用状況分析レポートなど利用状況可視化に関する機能を備えており、単一のサイトコレクションの利用状況を確認するには十分な機能と言えます。ただし、複数のサイトコレクションの利用状況を表示させるためには各サイトコレクションへアクセスし、レポートを出力させる必要があります。また、監査ログは SharePoint のコンテンツ DB に格納されるため容量圧迫を引き起こしたり、出力した監査ログレポートだけで利用状況を確認するには編集作業が必要であったりします。DocAve を使用することにより、単一のインターフェイス上からすべてのサイトの利用状況が確認でき、各サイトへアクセスするなどの手順が簡略化されます。また、監査ログを SharePoint のコンテンツ DB から DocAve で指定した格納先へ移動させることによりパフォーマンスを向上させ、収集した監査ログから DocAve 管理コンソール上に複数の切り口の利用状況結果をグラフィカルに表示させます。利用状況だけでなく、各コンテンツのサイズや SharePoint ファームのサービスの状況なども管理コンソール上からグラフィカルに表示させることができます。

SharePoint 標準と DocAve の機能比較

利用状況機能	標準機能	DocAve
利用可能状態でのコンテンツ DB 以外への監査ログの格納	×	○
監査設定の一括設定	×	○
サイトコレクションを横断した監査ログレポートの確認	×	○
監査ログ退避のスケジューリング	×	○
単一インターフェイスからの利用状況確認	×	○
単一インターフェイスからの SharePoint 情報の確認	×	○
コンテンツサイズ通知機能	×	○
パフォーマンス通知機能	×	○
サイトの利用状況確認	過去 30 日	任意の期間
サイト管理者以外へのサイトの利用状況公開	×	○
細かい粒度の条件での監査ログの抽出	△	○
細かいスパンでのアクセス状況の確認	△	○
検索キーワードの確認	○	○
ユーザー単位の利用状況の把握	△	○
各コンテンツのストレージ消費量の確認	△	○

第2章 モデル環境

本章では、本ドキュメントで利用状況シナリオ手順を紹介する際に使用するモデル環境の構成について説明します。

2.1. アカウント構成

モデル環境で使用しているアカウントについて以下に記載します。

アカウント一覧

アカウントタイプ	アカウント名	説明
管理者アカウント	administrator	ドメイン管理者です。ユーザーアカウントの作成などで使用します。
	moss_admin	MOSS の操作アカウントです。MOSS のインストールや、設定などの操作をする際に使用します。
	sql_admin	SQL の操作アカウントです。SQL のインストールや、設定などの操作をする際に使用します。
	docave_admin	DocAve の操作アカウントです。DocAve のインストールや、設定などの操作をする際に使用します。
サービスアカウント	moss_service	MOSS のサービスアカウントです。MOSS ファームのインストール後に、MOSS のサービスや Web アプリケーションを実行するアカウントとして設定します。
	sql_service	SQL のサービスを実行するアカウントです。
	docave service	DocAve のサービスアカウントです。DocAve インストール後にサービスを実行するアカウントとして使用します。
一般ユーザーアカウント	太田健二 アカウント名 : kohta	総務部部長 A プロジェクトに参加
	田中一郎 アカウント名 : itanaka	総務部所属 SharePoint 運用管理者 A プロジェクト/B プロジェクトに参加 A プロジェクトサイト管理者
	鈴木花子 アカウント名 : hsuzuki	総務部所属 A プロジェクトに参加
	村田四作 アカウント名 : ymurata	総務部所属 B プロジェクトに参加
	高橋智子 アカウント名 : ttakahashi	総務部所属 A プロジェクト/B プロジェクトに参加
	斎藤三夫 アカウント名 : msaitou	人事部部長
	岡田弘子 アカウント名 : hokada	人事部所属 B プロジェクトに参加 B プロジェクトサイト管理者
	土井松五郎 アカウント名 : mdoi	人事部所属 A プロジェクト/B プロジェクトに参加

	新井 和夫 アカウント名 : karai	人事部所属 A プロジェクトに参加
Active Directory セキュリティグループ	SG_全社員	全社員が所属します。
	SG_総務部	総務部ユーザーが所属します。
	SG_人事部	人事部ユーザーが所属します。

2.2. サイト構成

ファームに 4 つの Web アプリケーションが存在している環境です。「サーバーの全体管理」に 9000 番ポートの Web アプリケーション、「個人用サイト」に 8000 番ポートの Web アプリケーション、「共有サービスプロバイダー」に 7000 番ポートの Web アプリケーション、一般公開用サイトとして「SharePoint サイト」に 80 番ポートの Web アプリケーションが存在しています。また、全社ポータルサイトには「総務部」「人事部」「検索」サブサイトが存在し、各サイトにコンテンツを配置しています。また、「全社ポータルサイト」とは別に「プロジェクト用サイト」が複数存在します。

サイト構成一覧

項目	説明
サーバーの全体管理	http://wfe01:9000/
個人用サイト	http://wfe01:8000/
共有サービスプロバイダ	http://wfe01:7000/
全社ポータルサイト	http://wfe01/
総務部	/GA/
人事部	/HR/
検索	/Search/
A プロジェクトサイト	http://wfe01/sites/projectA
B プロジェクトサイト	http://wfe01/sites/projectB

各サイトコレクションの構成一覧

項目	種類	使用例
全社ポータルサイト	チームサイト	全社ポータルサイトのトップページ
全社通達	お知らせ	全社員に対する連絡事項などを掲載
全社イベント	予定表	全社員に対して会社の予定を掲載
新しいお知らせ	コンテンツクエリ	配下部署のお知らせを閲覧可能
便利リンク	リンクリスト	全社員へ便利なサイト掲載
総務部	チームサイト	総務部用のポータルサイト
お知らせ	お知らせ	総務部内での連絡事項などを掲載
社内規定	ドキュメントライブラリ	会社規定のドキュメントを掲載
各種申請書類	ドキュメントライブラリ	会社への申請用の書類を掲載
部内ライブラリ	ドキュメントライブラリ	総務部内でドキュメントを共有
機密文書	ドキュメントライブラリ	総務部内の機密文書を共有
人事部	チームサイト	人事部用のポータルサイト
お知らせ	お知らせ	人事部内での連絡事項などを掲載
部内ライブラリ	ドキュメントライブラリ	人事部内でドキュメントを共有
機密文書	ドキュメントライブラリ	人事部内の機密文書を共有

	リンク	リンクリスト	人事部員に対して便利なサイトを掲載。
	検索	検索センター	MOSS の蓄積されたデータを検索
A プロジェクトサイト		チームサイト	A プロジェクトサイトのトップページ
	お知らせ	お知らせ	A プロジェクトメンバー内での連絡事項などを掲載
	ToDo リスト	タスクリスト	A プロジェクトのタスクと担当者を掲載
	作業用ライブラリ	ドキュメントライブラリ	A プロジェクトの作業途中のドキュメントを共有
	提出用ライブラリ	ドキュメントライブラリ	A プロジェクトの納品物の格納
B プロジェクトサイト		チームサイト	B プロジェクトサイトのトップページ
	お知らせ	お知らせ	B プロジェクトメンバー内での連絡事項などを掲載
	ToDo リスト	タスクリスト	B プロジェクトのタスクと担当者を掲載
	作業用ライブラリ	ドキュメントライブラリ	B プロジェクトの作業途中のドキュメントを共有
	提出用ライブラリ	ドキュメントライブラリ	B プロジェクトの納品物の格納
	リンク	リンクリスト	B プロジェクトに必要な外部リンクを掲載
	チームディスカッション	ディスカッション掲示板	B プロジェクトの質問事項等を投稿

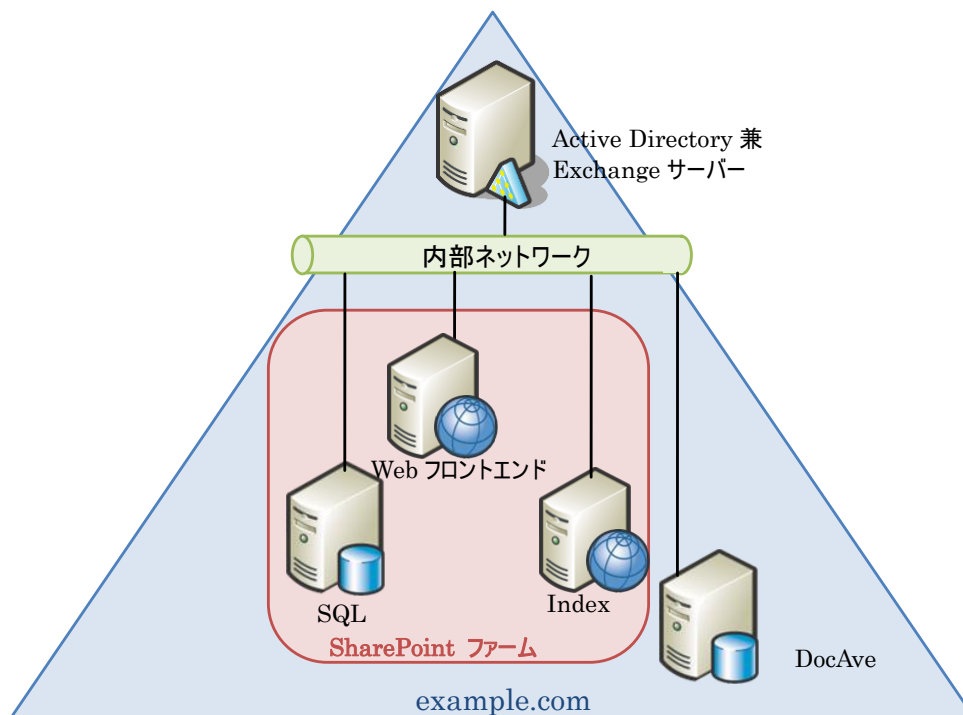
2.3. 権限管理モデル

ファーム管理者の権限は moss_service アカウントに与え、SharePoint 運用管理者は moss_service アカウントを使用して管理を行います。全社ポータルサイトには全社員に閲覧権限を与え、サブサイトの各部門サイトにはその部署に所属するユーザーに投稿権限を与えます。プロジェクトサイトはそのプロジェクトに参加する社員に投稿権限を与え、サイト管理者に所有者権限を与えます。サイト以下の権限は親権限の継承を行います。アクセス権限の付与対象は、Active Directory ユーザーおよび Active Directory セキュリティグループに与えます。

2.4. 基本情報

2.4.1. システム構成

本ドキュメントでは、より実践的な環境での学習を行うため、シングルサーバーファーム環境ではなく、ファーム構成の SharePoint を用いたシナリオ手順について紹介します。Active Directory 構成は 1 フォレスト/1 ドメインとします。SharePoint ファーム構成は、Web フロントエンドサーバー:1 台/Index サーバー:1 台/SQL サーバー:1 台とし、ドメインコントローラ兼 Exchange サーバー:1 台、DocAve サーバーは専用に 1 台用意します。



サーバー一覧

サーバー名	役割
DocAve	DocAve サーバー
DC01	ドメインコントローラ、Exchange サーバー
SQL01	SQL サーバー
WFE01	MOSS Web フロントエンドサーバー (サーバーの全体管理をホスト)
Index01	MOSS インデックスサーバー

2.4.2. ソフトウェア構成

モデル環境では、各マシンに以下のソフトウェアが導入済みであることを前提とします。

ソフトウェア一覧

マシン名	コンポーネント
DocAve	<ul style="list-style-type: none"> •Windows Server 2008 Standard Edition x86 SP1 •.NET Framework 3.5 SP1 •DocAve マネージャー (コントロールサービス / Web サービス / メディアサービス/検索サービス/監査サービス/レポートサービス)
WFE01	<ul style="list-style-type: none"> •Windows Server 2008 Standard Edition x86 SP1 •.NET Framework 3.5 SP1 •Internet Information Service 7.0 •SharePoint Server 2007 Standard Edition SP2 •DocAve エージェント(レポートポイント/管理センター/コンテンツマネージャー/監査マネージャー/アーカイバ)
Index01	<ul style="list-style-type: none"> •Windows Server 2008 Standard Edition x86 SP1 •.NET Framework 3.5 SP1 •Internet Information Service 7.0 •SharePoint Server 2007 Standard Edition SP2 •DocAve エージェント(レポートポイント/管理センター/コンテンツマネージャー/監査マネージャー/アーカイバ)
SQL01	<ul style="list-style-type: none"> •Windows Server 2008 Standard Edition x86 SP1 •.NET Framework 3.5 SP1 •SQL Server 2008 SP1 •Microsoft SQL Server 2008 Reporting Services
DC01	<ul style="list-style-type: none"> •Windows Server 2008 Standard Edition x86 SP1 •.NET Framework 3.5 SP1 •Exchange Server 2007 x86 SP1 •Microsoft 管理コンソール(MMC) 3.0 •Windows PowerSell
Client01	<ul style="list-style-type: none"> •Windows XP SP3 •Microsoft Office Enterprise 2007 •Silver light 3.0

第3章 一般的な利用シナリオ

本章では、主に DocAve レポートポイントを用いた SharePoint の利用状況分析についてシナリオに沿ってステップバイステップ形式で説明します。

3.1. 事前作業

シナリオを行う上で事前に実施しておかなければならない作業があります。こちらの項目では事前設定しておく作業の操作手順を記述いたします。3.2.以降の各シナリオに表示している「必要なオペレーション」の説明列に手順の参照箇所として記述を行っています。

3.1.1. 監査データの取得

レポートポイントの利用状況カテゴリに分類されている機能は監査ログからデータを加工している機能もあるため、事前に監査ログを取得しておく必要があります。DocAve 監査機能を用いて各サイトコレクションへ監査設定の一括有効化と SharePoint のコンテンツ DB/IIS ログから監査ログ収集を行います。監査ログの取得タイミングによってレポートに表示されるデータがどれだけ最新の情報であるかが決まってきます。

<memo>

IIS ログはアイテムの表示アクション監査のために収集されます。監査データ取得のパフォーマンスが落ちることから既定では収集されないように設定されており、アイテムの表示アクションの監査が必要な場合は config ファイルの書き換えが必要となります。IIS ログ収集が必要な場合は AvePoint 社までお問い合わせください。

設定対象

設定対象
SharePoint サイト用 Web アプリケーション(http://wfe01)

<memo>

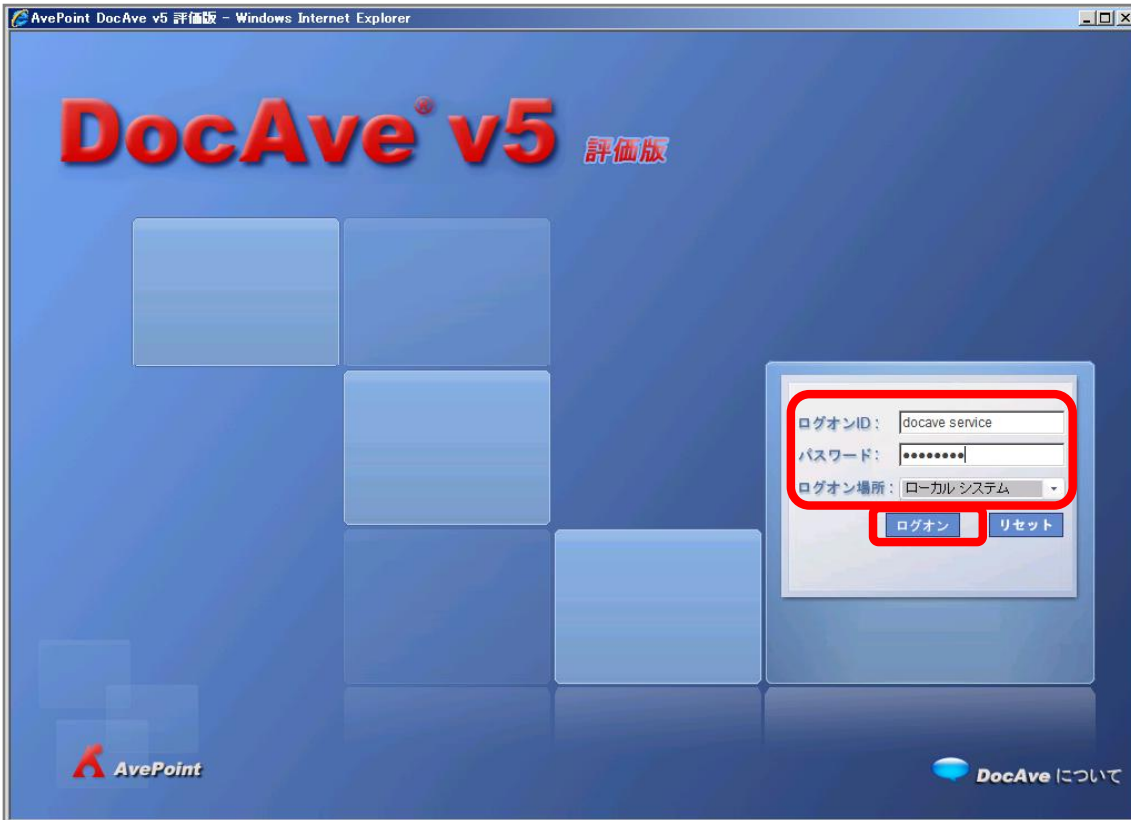
Web アプリケーションに対する監査設定は実施出来ません。DocAve の監査モジュールでは Web アプリケーションを指定することで、選択した Web アプリケーション配下のすべてのサイトコレクションに対して同じ設定を適用することが出来ます。

操作手順

Internet Explorer を立ち上げ、アドレスバーに<http://DocAve マネージャーホスト名:Web サービスポート番号/docave>と入力し[Enter]キーを押下します。



ログオン ID とパスワードを入力し、ログオン場所を指定し、[ログオン]をクリックします。

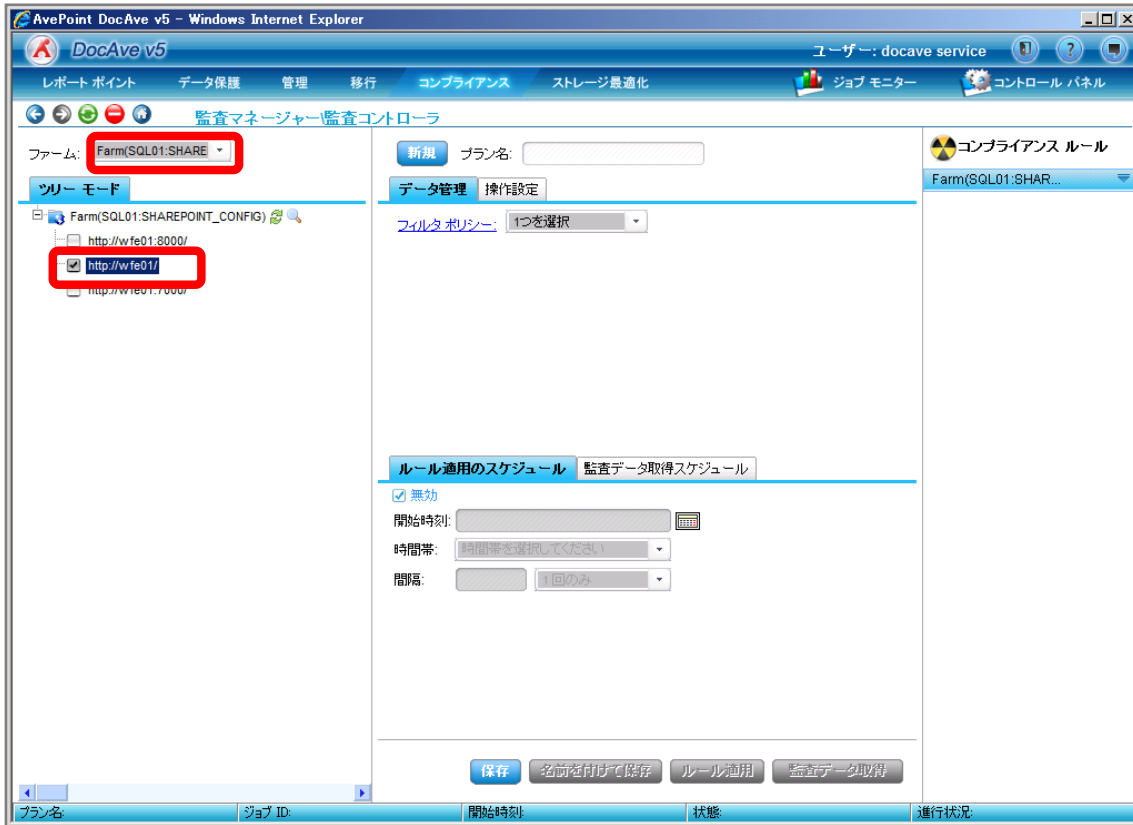


項目	説明	設定値
ログオン ID	DocAve にログインするためのアカウントを入力します。 事前に DocAve 内でアカウントを作成している必要があります。 インストール直後には「admin」アカウントにフルコントロール権限が付与されています。	docave service
パスワード	ログイン ID に対応するパスワードを入力します。 DocAve 内で事前にアカウントを作成する際に指定しておきます。「admin」アカウントのパスワードは「admin」になります。	P@ssw0rd
ログオン場所	ログオン場所を指定します。ローカルシステムと Active Directory ドメインを指定できます。事前にアカウント登録を行わないと Active Directory ドメインはドロップダウンメニューに表示されません。	ローカルシステム


管理コンソールより[コンプライアンス]-[監査マネージャー]-[監査コントローラ]を選択し、監査コントローラ画面を開きます。

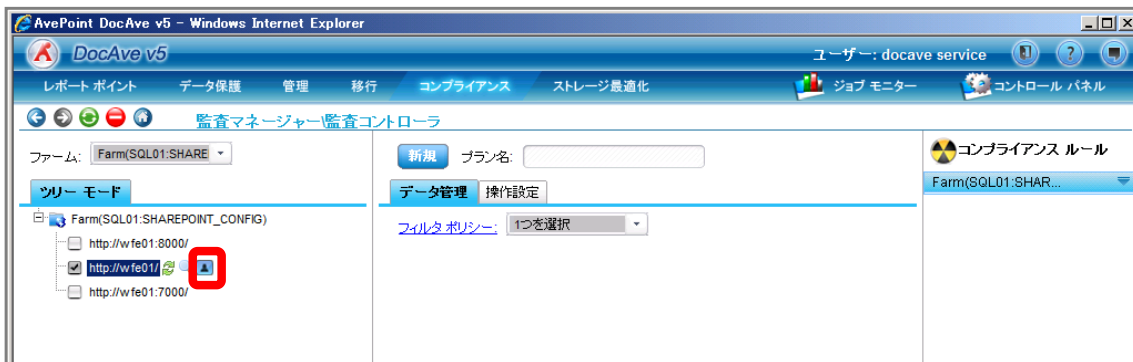


[ファーム]を選択します。左ペインの[ツリーモード]タブの SharePoint ツリーを Web アプリケーションまで展開し、監査対象を選択します。



項目	説明	設定値
SharePoint ツリー	SharePoint ツリーから監査対象のオブジェクトを選択します。[Farm(SQL01:SHAREPOINT_CONFIG)]の順で展開します。	http://wfe01/

選択した監査対象をクリックし、URL の右側に表示される  アイコンをクリックします。



監査項目を設定し、[保存]をクリックします。

選択されたパス: http://wfe01/

親設定の継承

サイトの削除 トリクルダウン

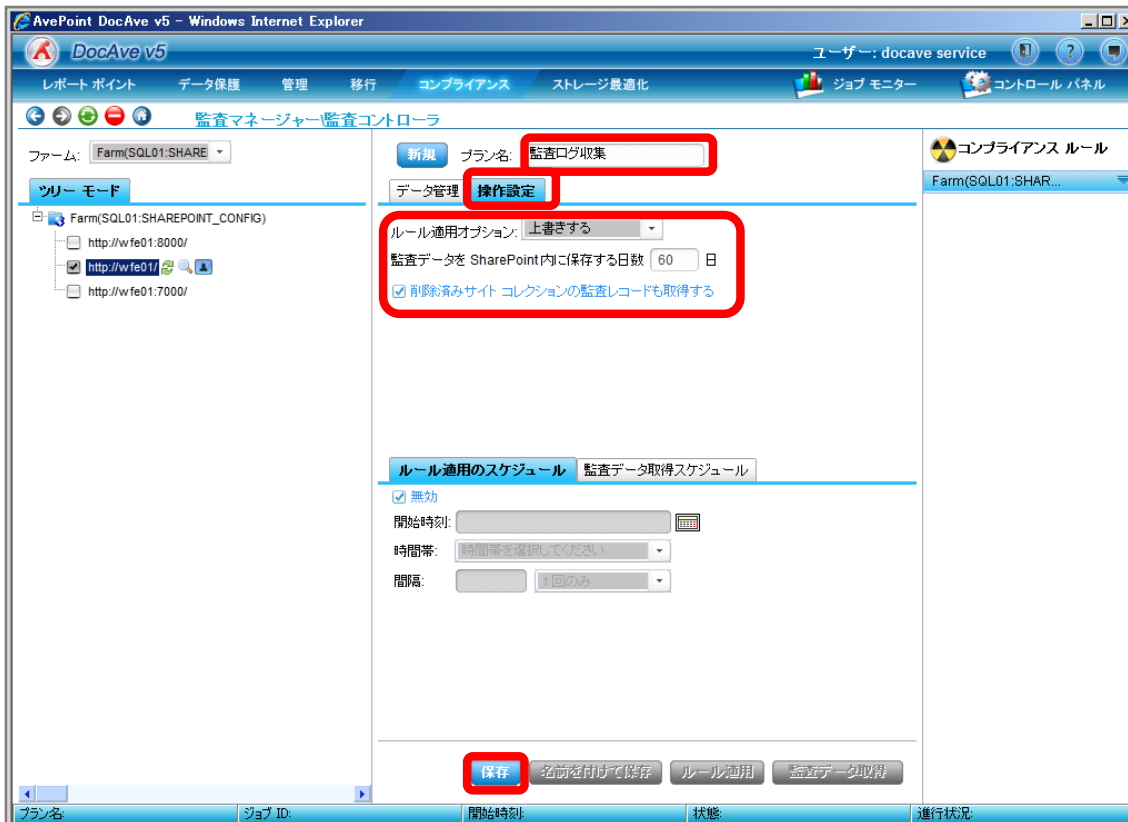
IPアドレス

監査対象のアクション	現在の設定
<input checked="" type="checkbox"/> 表示	<input type="checkbox"/> 表示
<input checked="" type="checkbox"/> コピー	<input type="checkbox"/> コピー
<input checked="" type="checkbox"/> 移動	<input type="checkbox"/> 移動
<input checked="" type="checkbox"/> 更新	<input type="checkbox"/> 更新
<input checked="" type="checkbox"/> 削除	<input type="checkbox"/> 削除
<input checked="" type="checkbox"/> 削除の取り消し	<input type="checkbox"/> 削除の取り消し
<input checked="" type="checkbox"/> 子を削除	<input type="checkbox"/> 子を削除
<input checked="" type="checkbox"/> チェックイン	<input type="checkbox"/> チェックイン
<input checked="" type="checkbox"/> チェックアウト	<input type="checkbox"/> チェックアウト
<input checked="" type="checkbox"/> ワークフロー	<input type="checkbox"/> ワークフロー
<input checked="" type="checkbox"/> 検索	<input type="checkbox"/> 検索
<input checked="" type="checkbox"/> プロファイルの変更	<input type="checkbox"/> プロファイルの変更
<input checked="" type="checkbox"/> スキーマの変更	<input type="checkbox"/> スキーマの変更
<input checked="" type="checkbox"/> セキュリティの変更	<input type="checkbox"/> セキュリティの変更

項目	説明	設定値(有効:○ 無効:×)
親設定の継承	上位レベルで設定されている監査項目を引き継ぎます。	—
サイトの削除	サイトの削除の監査をします。	○
トリクルダウン	監査対象としたオブジェクト以下のレベルに対して監査項目を引き継がせます。	○
IP アドレス	IIS ログからアクセスしたマシンの IP アドレスを取得します。	○
表示	ドキュメントを開く、リスト内のアイテムの表示、アイテムのプロパティの表示イベントを監査します。	○
コピー	オブジェクトをサイト内の別の場所へコピーしたイベントを監査します。	○
移動	オブジェクトをサイト内の別の場所へ移動したイベントを監査します。	○
更新	アイテム編集のイベントを監査します。	○
削除	アイテム削除のイベントを監査します。	○
削除の取り消し	アイテム復元のイベントを監視します。	○
子を削除	子オブジェクトの削除イベントを監査します。	○

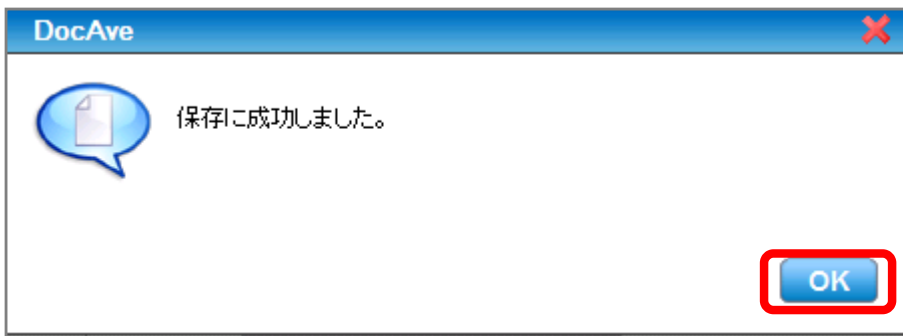
チェックイン	アイテムチェックインのイベントを監査します。	○
チェックアウト	アイテムチェックアウトのイベントを監査します。	○
ワークフロー	ワークフロー開始、終了イベントを監査します。	○
検索	サイトコンテンツの検索イベントを監査します。	○
プロフィールの変更	プロフィールの変更イベントを監査します。	○
スキーマの変更	コンテンツタイプ編集イベントなどを監査します。	○
セキュリティの変更	ユーザーと権限の編集イベントを監査します。	○

[プラン名]を入力します。[操作設定]タブをクリックし、設定します。[保存]をクリックします。

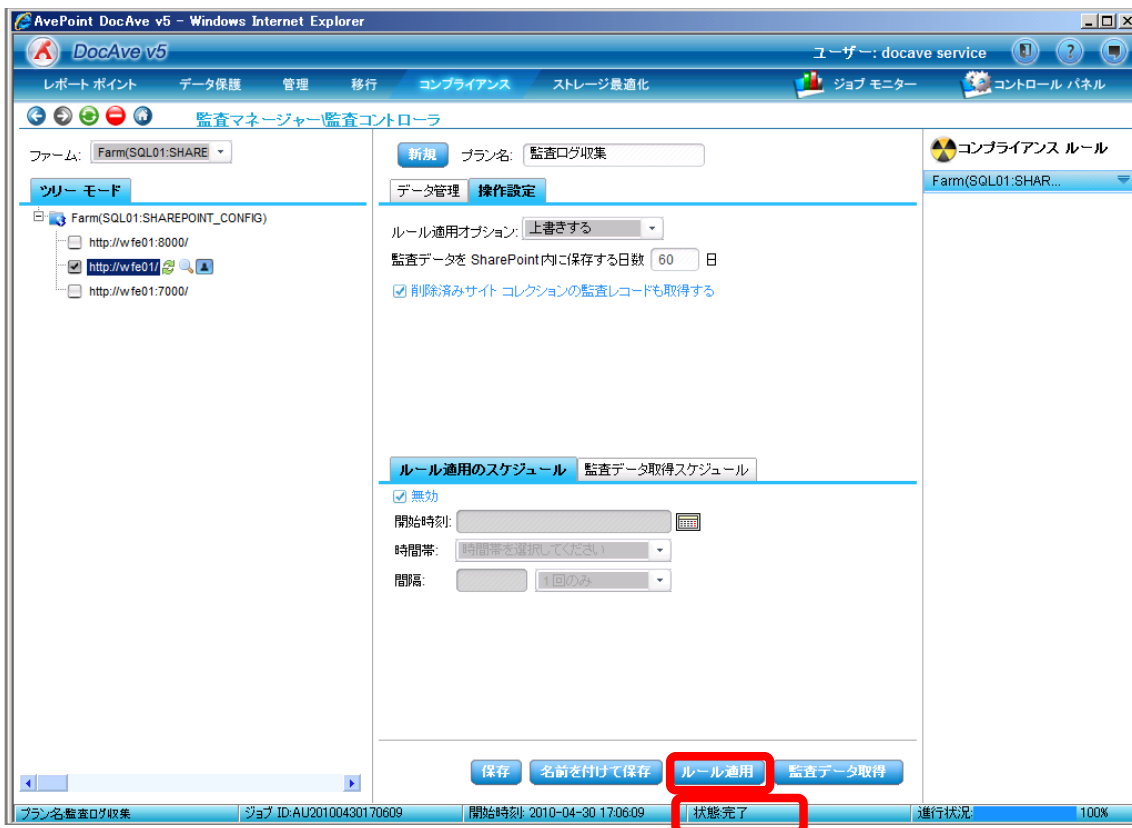


項目	説明	設定値
プラン名	プランを保存します。今後再利用/スケジュール実施を行うことが可能となります。	監査ログ収集
ルール適用オプション	サイトコレクションに対して監査ルール適用時の実施オプションを選択します。既定では[上書きする]が選択されています。 [上書きする]: 以前に設定されている監査ルールを無視して、設定した監査ルールで上書きします。 [追加する]: 以前に設定されている監査ルールは保持しつつ、設定した監査ルールを追加します。	上書き
監査データを SharePoint 内に保存する日数	SharePoint のコンテンツ DB に溜められている監査ログを保持する期間を設定します。設定した期間経過したレコードはコンテンツ DB から削除されます。既定では 7 日間が設定されています。	60 日
削除済みサイトコレクションの監査レコードも取得する	監査対象に Web アプリケーションを選択した場合以外はグレーアウトされています。サイトコレクションが削除された際の監査も行う場合にはこちらのチェックボックスを有効化します。	有効

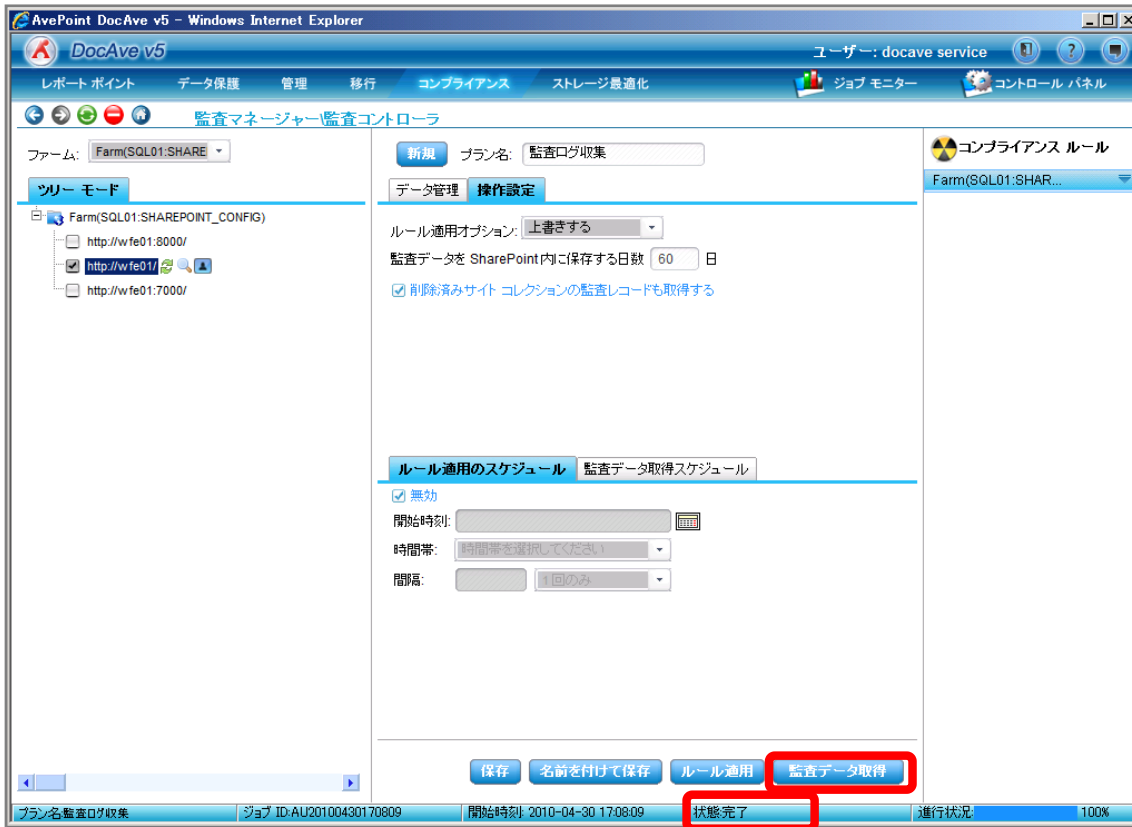
メッセージボックスが表示されるので、[OK]をクリックします。



[ルール適用]をクリックします。ジョブが完了したことを確認します。



[監査データ取得]をクリックします。ジョブが完了したことを確認します。

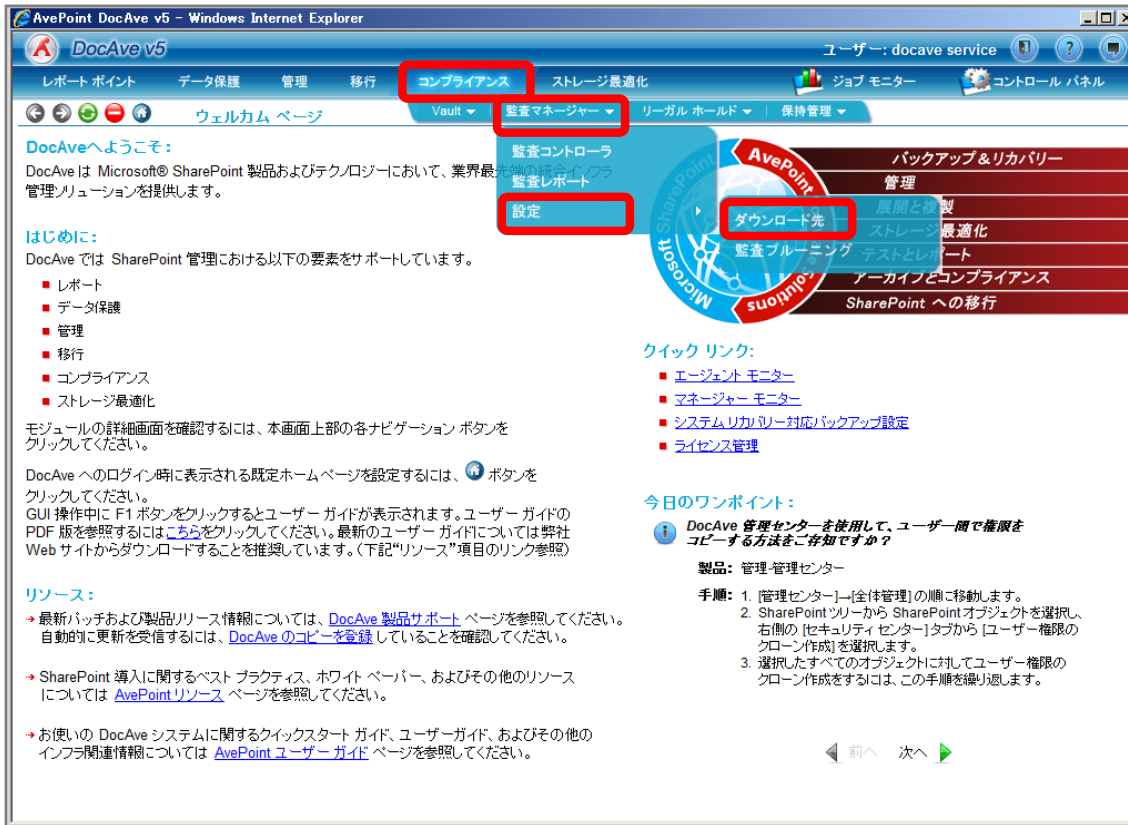


3.1.2. 監査レポートエクスポート先の設定

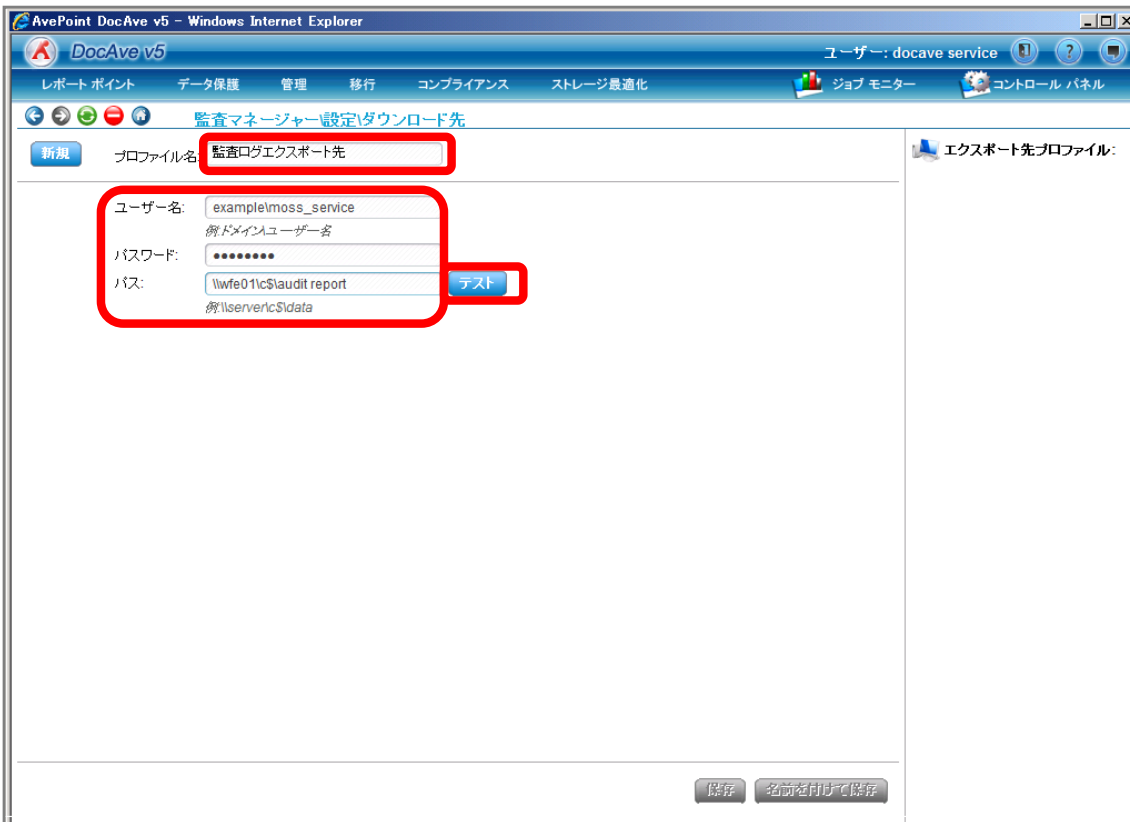
監査コントローラで収集した監査ログから CSV もしくは PDF 形式で監査レポート出力できます。そのためには監査レポートの出力先としてエクスポート先を事前に設定しておく必要があります。ここでは監査レポートの出力先だけでなく、監査ログの退避場所の設定もできます。

操作手順

1. 管理コンソールより[コンプライアンス]-[監査マネージャー]-[設定]-[ダウンロード先]を選択し、ダウンロード先画面を開きます。

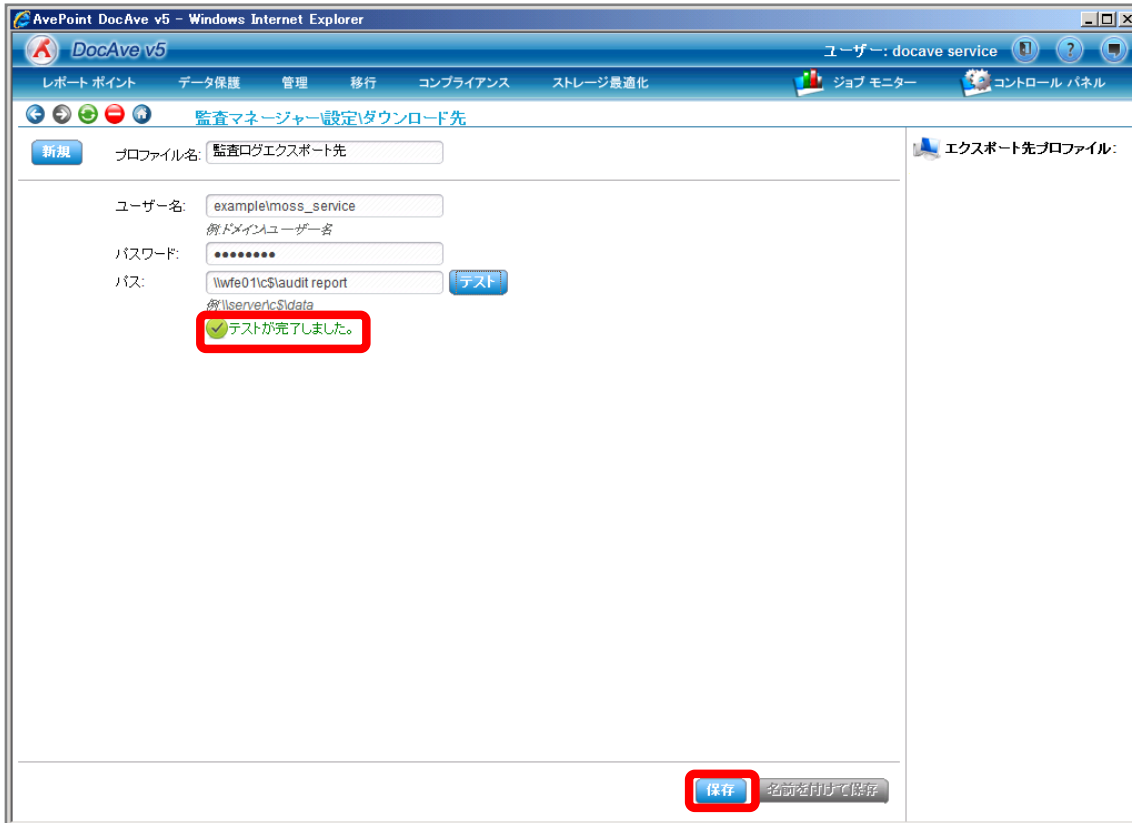


[プロファイル名]を入力します。各設定項目の入力を行い、[テスト]をクリックします。

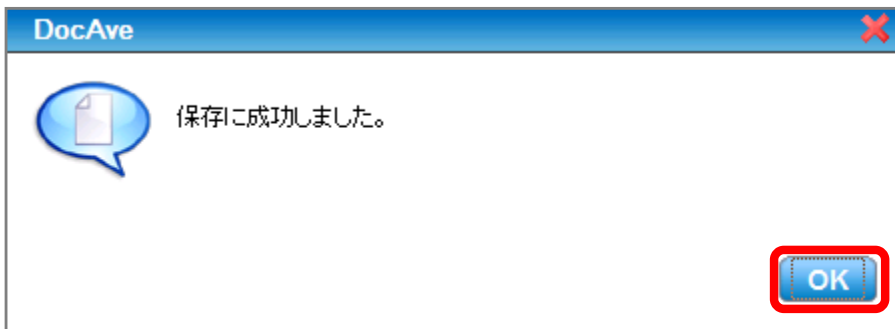


項目	説明	設定値
プロファイル名	設定をプロファイルとして保存し、今後再利用するために名前を付けます。	監査ログエクスポート先
ユーザー名	指定したパスに対してローカル Administrator 権限があるユーザーを指定します。	example¥moss_service
パスワード	指定したユーザーのパスワードを入力します。	P@ssw0rd
パス	エクスポートする先のフォルダを指定します。UNC パスを入力する形になります。	¥¥wfe01¥c\$¥auditreport

✔テストが完了しました。メッセージが表示されたら、[保存]をクリックします。



メッセージボックスが表示されるので、[OK]をクリックします。



3.1.3. ストレージサイズやサイトコレクションの表示速度情報の取得

レポートポイントの SharePoint インフラストラクチャカテゴリに分類される機能では、ストレージサイズやサイトコレクションの表示速度などの情報を予め取得する必要があります。DocAve では SharePoint コレクタという機能を使用して SharePoint 環境などの情報を収集します。SharePoint コレクタは取得する情報によって 4 つのカテゴリに設定が分かれています。

- ① ストレージ トレンド
- ② サイトコレクションの読み込み時間
- ③ BLOB 集計
- ④ チェックアウトされたファイル

操作手順

1. 管理コンソールより[レポートポイント]-[レポート管理]を選択し、レポート管理画面を開きます。

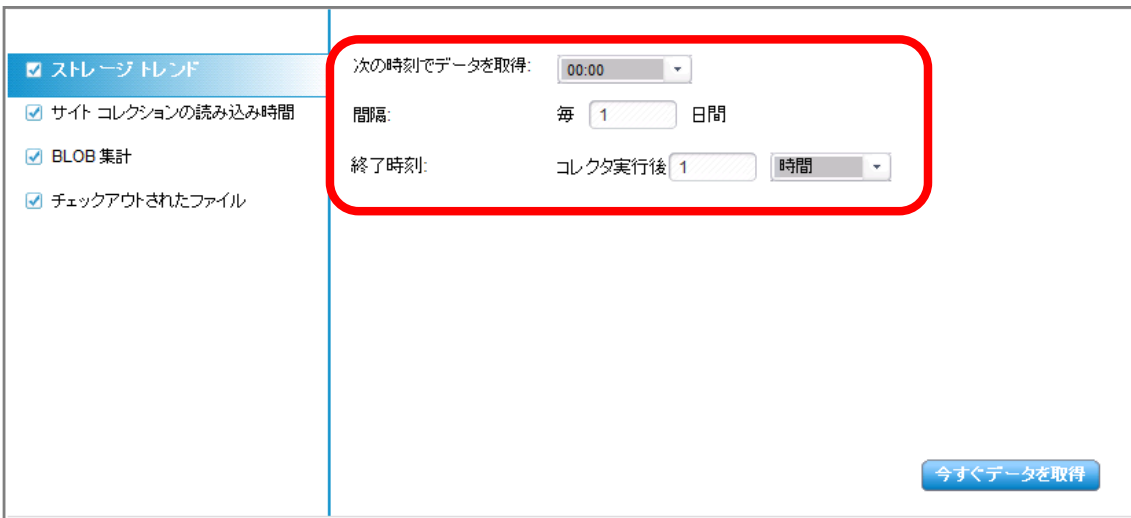


2. 左ペインから[SharePoint コレクタ]を選択し、右ペインの各タブにあるチェックボックスを有効化します。



3. 各タブの設定を行います。

① ストレージトレンド



項目	説明	設定値
次の時刻でデータを取得	SharePoint のコンテンツサイズ情報を取得する時刻を設定します。既定では 00:00 となっています。	00:00
間隔	データ収集を実施する間隔を設定します。	毎 1 日間
終了時刻	データ収集を終える時刻を設定します。他のシステムのジョブと実施時刻が重ならないようにできます。	コレクタ実行後 1 時間

② サイトコレクションの読み込み時間

ストレージトレンド
 サイト コレクションの読み込み時間
 BLOB 集計
 チェックアウトされたファイル

間隔: 毎

終了時刻: コレクタ実行後

範囲:
 http://wfe01
 http://wfe01/sites/projectA
 http://wfe01/sites/projectB

[範囲の変更](#)

項目	説明	設定値
間隔	指定したサイトコレクションへ読み込みを行う間隔を設定します。設定した時刻を開始時刻として設定した間隔で読み込みを実施します。	毎 1 日間
終了時刻	指定したすべてのサイトコレクションへの読み込みを終える時刻を設定します。他のシステムのジョブと実施時刻が重ならないようにできます。	コレクタ実行後 1 時間
範囲	読み込みを行うサイトコレクションを指定します。[範囲の変更]をクリックし、SharePoint ツリーを展開し対象とするサイトコレクションを選択します。	http://wfe01 http://wfe01/sites/projectA http://wfe01/sites/projectB

③ BLOB 集計

ストレージトレンド
 サイト コレクションの読み込み時間
 BLOB 集計
 チェックアウトされたファイル

次の時刻でデータを取得: 02:00
 間隔: 毎 1 日間
 終了時刻: コレクタ実行後 1 時間
 範囲: 範囲の変更

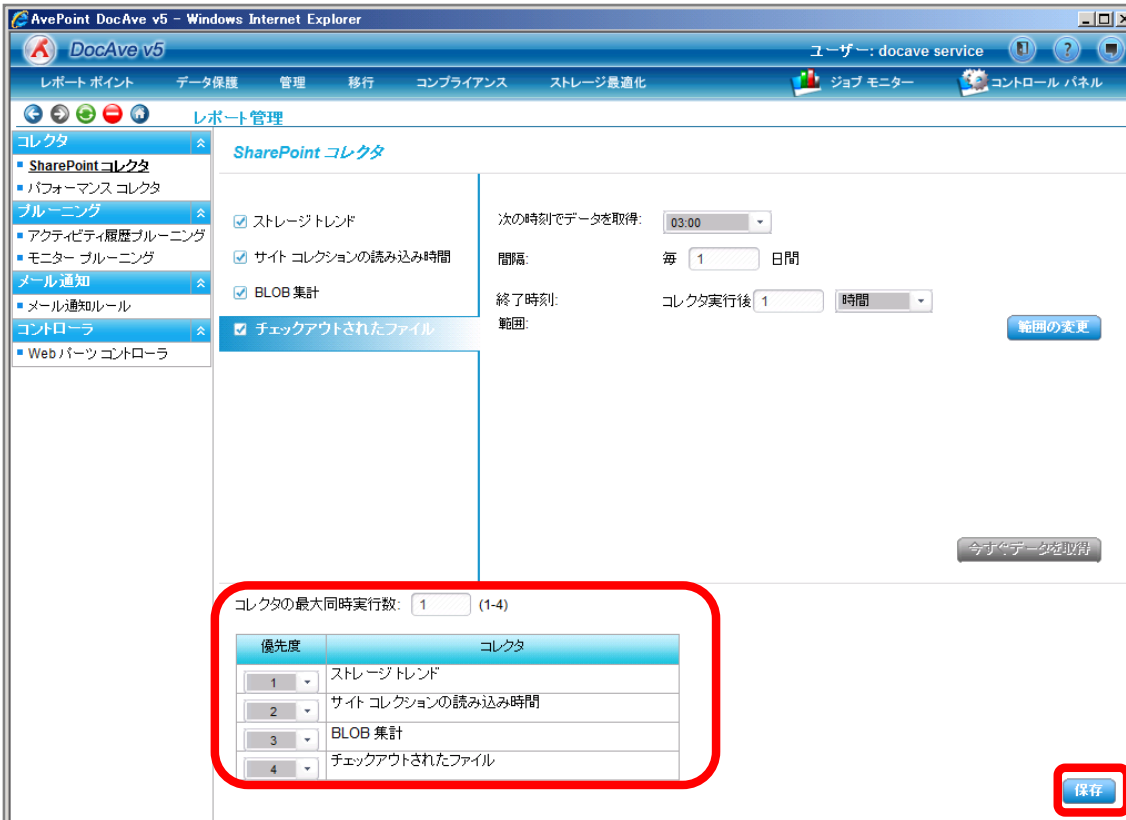
今すぐデータを取得

項目	説明	設定値
次の時刻でデータを取得	アーカイブを用いているサイトのサイズ情報を取得する時刻を設定します。既定では 00:00 となっています。	02:00
間隔	データ収集を実施する間隔を設定します。	毎 1 日間
終了時刻	データ収集を終える時刻を設定します。他のシステムのジョブと実施時刻が重ならないようにできます。	コレクタ実行後 1 時間
範囲	ストレージ情報を取得するプロファイルを選択します。BLOB 集計機能でプロファイルを作成した後に、[範囲の変更]をクリックし、対象とするプロファイルを選択します。	

④ チェックアウトされたファイル

項目	説明	設定値
次の時刻でデータを取得	チェックアウトしているファイルの情報を取得する時刻を設定します。既定では 00:00 となっています。	03:00
間隔	データ収集を実施する間隔を設定します。	毎 1 日間
終了時刻	データ収集を終える時刻を設定します。他のシステムのジョブと実施時刻が重ならないようにできます。	コレクタ実行後 1 時間
範囲	チェックアウトしているファイルの情報を取得するプロファイルを選択します。チェックアウトされたファイル機能でプロファイルを作成した後に、[範囲の変更]をクリックし、対象とするプロファイルを選択します。	

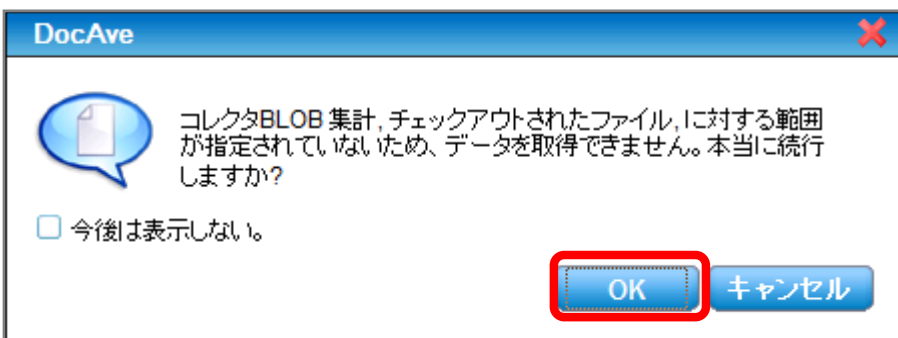
4. 画面下の設定は既定値のまま、[保存]をクリックします。



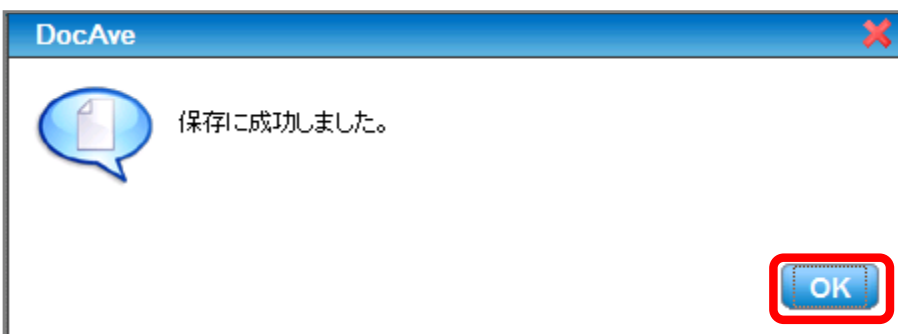
<memo>

画面下の設定はコレクタの最大同時実行数と各コレクタ機能の優先順位を指定する項目になります。コレクタ最大同時実行数を指定することでコレクタ実施タイミングが重なった際のパフォーマンス低下を防ぐことが出来ます。また、コレクタ実施数が最大同時実行数を超えた際にどちらを優先させるかを優先度によって予め指定しておきます。

5. メッセージボックスが表示されるので[OK]をクリックします。



6. メッセージボックスが表示されるので[OK]をクリックします。



3.1.4. パフォーマンスデータの収集

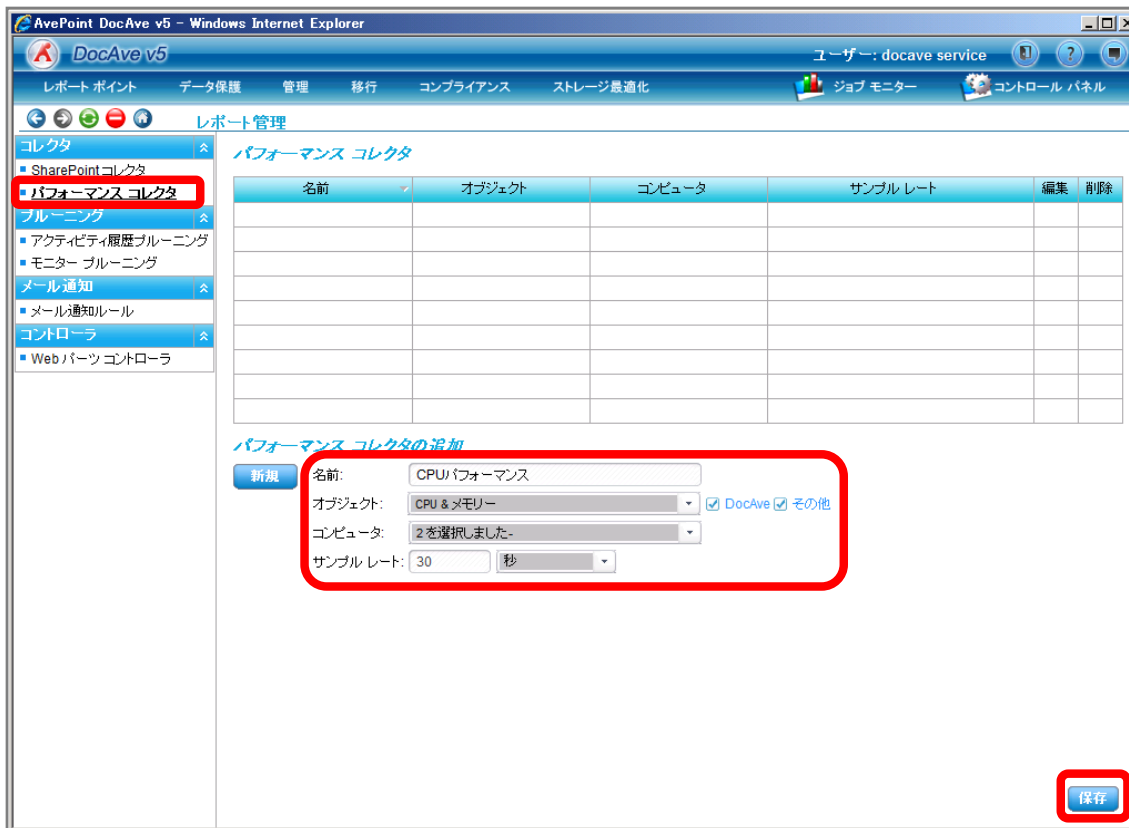
CPU やネットワークが設定した閾値を超えたことを検知するためには、常にパフォーマンスデータを収集しておく必要があります。DocAve ではパフォーマンスコレクタという機能を使用してパフォーマンスデータの収集を行います。

操作手順

1. 管理コンソールより[レポートポイント]-[レポート管理]を選択し、レポート管理画面を開きます。

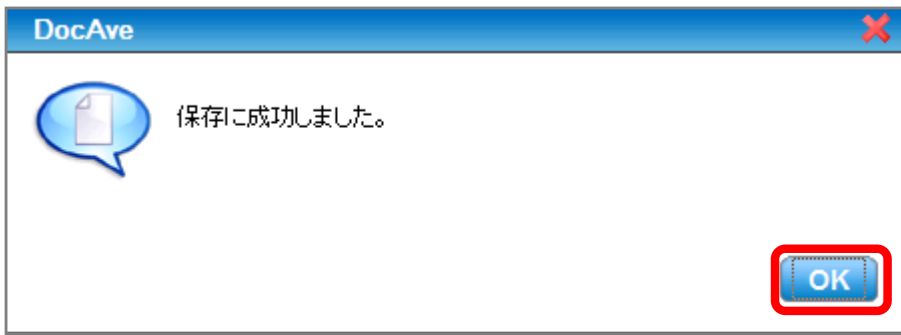


2. 左ペインから[パフォーマンスコレクタ]を選択します。画面下の[パフォーマンスコレクタの追加]カテゴリの設定を行い、[保存]をクリックします。



項目	説明	設定値
名前	設定を保存するために名前を付けます。	CPU パフォーマンス
オブジェクト	CPU&メモリー/論理ディスク/ネットワークのどのパフォーマンスデータを取得するか選択します。論理ディスクはDocAve バックアップ & リカバリーなどで使用しているストレージの名称のことです。	CPU&メモリー
コンピュータ	パフォーマンスデータを取得するマシンを指定します。論理ディスクでは表示されません。また、CPU&メモリーでは[オブジェクト]の右に表示されている[DocAve]/[その他]のチェックボックスを有効化することにより、DocAve マネージャーのマシン/DocAve エージェントのマシンがプルダウンメニューに表示されます。	wfe01 index01
サンプルレート	パフォーマンスデータを取得する間隔を指定します。	30 秒

3. メッセージボックスが表示されるので[OK]をクリックします。



3.1.5. メール通知先の設定

ジョブ実行結果やストレージサイズなどが閾値を超えていた際に通知を行うことができます。そのためには事前にメール通知先や使用する SMTP サーバーを設定しておく必要があります。メール通知先設定を行っておくことで、実際のプラン設定時はプロファイルの選択を行うのみでメール通知設定が完了します。

操作手順

1. 管理コンソールより[コントロールパネル]-[レポート]-[メール通知]を選択し、メール通知画面を開きます。



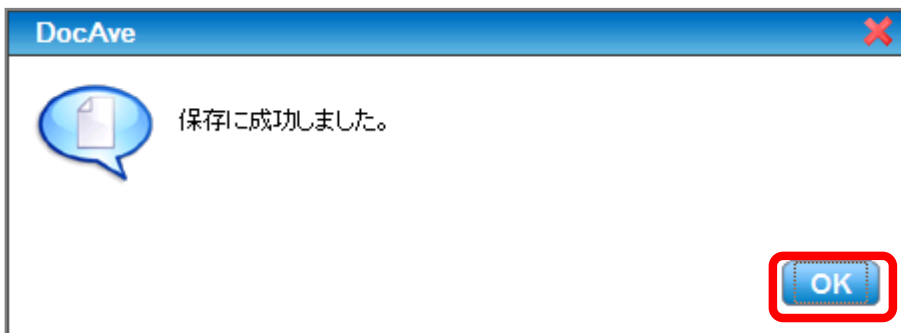
2. [通知タイプ]から「一般」を選択し、各設定項目を入力します。[保存]をクリックします。



項目	説明	設定値
通知タイプ	機能によって通知タイプが一般/レプリケーター/サービスの状態/サイトごみ箱に分かれています。タイプに表示されていない機能に関しては一般を選択します。	一般
メール通知名	設定をプロファイルとして保存し他の機能でプロファイルを選択するために名前を付けます。	運用管理者グループ
送信用メールサーバー (SMTP)	メール送信に使用する SMTP サーバーを指定します。	dc01.example.com
パスワードの認証		無効
ポート	メール送信に使用するポートを指定します。既定では 25 番ポートとなっています。	25
差出人	通知メールの差出人メールアドレスを指定します。	moss_service@example.com
SMTP 上のユーザー名	SMTP サーバーにアクセス可能なユーザーを指定します。	
SMTP 上のパスワード	SMTP サーバーにアクセス可能なユーザーのパスワードを入力します。	
SSL 認証	通信に対して SSL 認証を使用するか指定します。	無効
要約レポートの受取人	ジョブの実行結果やプラン名などの情報を受け取ります。	itanaka@example.com;kohta@example.com

要約レポートの通知レベル	通知を送信するレベルを設定します。	すべてのレベル
詳細レポートの受取人	要約レポートの通知内容に加えて、抽出されたレポートなどが添付されて送られます。レポートの添付を行う場合には、各モジュールで添付ファイルに関する設定が必要となります。	
詳細レポートの通知レベル	通知を送信するレベルを設定します。	すべてのレベル
メッセージ形式	通知メールのメッセージ形式を選択します。HTMLとテキストの形式が選択可能です。	HTML
すべてのログを受取人に送信		有効

3. メッセージボックスが表示されるので[OK]をクリックします。



3.2. 利用状況把握

(1) よくアクセスされているサイトやページ、アイテムの一覧を把握したい

SharePoint 運用管理者の田中さんは、上司から特定のサイトコレクションでどのサイトやページがよく利用されているかまとめるように言われました。対象のサイトコレクションは以下の通りです。

確認対象

確認対象
全社ポータルサイト(http://wfe01/default.aspx)
A プロジェクトサイト(http://wfe01/sites/projectA/default.aspx)
B プロジェクトサイト(http://wfe01/sites/projectB/default.aspx)

必要なオペレーション

上記シナリオを達成するために、以下のオペレーションを行います。

項番	操作	ソリューション	説明
1	監査データ収集	DocAve 監査マネージャー	レポートポイントの元情報となる監査ログを収集します。 ※こちらは事前作業「3-1-1 監査データの取得」で実施しておきます。
2	サイトのアクセス状況確認	DocAve レポートポイント	全社ポータルサイト/プロジェクトサイトの利用状況(上位ランキング)を表示させます。
3	レポート出力	DocAve レポートポイント	表示させた利用状況をスクリーンショットとして出力します。

操作手順

1. SharePoint に格納されている監査ログを収集します。操作手順は「3-1-1 監査データの取得」を参照してください。管理コンソールより[レポートポイント]-[利用状況分析]を選択し、利用状況画面を開きます。

DocAve v5

ユーザー: docave service

レポートポイント データ保護 管理 移行 コンプライアンス ストレージ最適化

SharePoint-インフラストラクチャ 利用状況分析 DocAve レポート レポート管理

DocAveへようこそ:
DocAveは Microsoft® SharePoint 製品およびテクノロジーにおいて、業界最先端の統合インフラ管理ソリューションを提供します。

はじめに:
DocAveでは SharePoint 管理における以下の要素をサポートしています。

- レポート
- データ保護
- 管理
- 移行
- コンプライアンス
- ストレージ最適化

モジュールの詳細画面を確認するには、本画面上部の各ナビゲーション ボタンをクリックしてください。

DocAve へのログイン時に表示される既定ホームページを設定するには、🔍 ボタンをクリックしてください。

GUI 操作中に F1 ボタンをクリックするとユーザー ガイドが表示されます。ユーザー ガイドの PDF 版を参照するには [こちら](#) をクリックしてください。最新のユーザー ガイドについては弊社 Web サイトからダウンロードすることを推奨しています。(下記“リソース”項目のリンク参照)

リソース:
→ 最新パッチおよび製品リリース情報については、[DocAve 製品サポート](#) ページを参照してください。自動的に更新を受信するには、[DocAve のコピーを登録](#) していることを確認してください。

→ SharePoint 導入に関するベスト プラクティス、ホワイト ペーパー、およびその他のリソースについては [AvePoint リソース](#) ページを参照してください。

→ お使いの DocAve システムに関するクイックスタート ガイド、ユーザーガイド、およびその他のインフラ関連情報については [AvePoint ユーザー ガイド](#) ページを参照してください。

クイックリンク:
■ [エージェント モニター](#)
■ [マネージャー モニター](#)
■ [システムリカバリー対応バックアップ設定](#)
■ [ライセンス管理](#)

今日のワンポイント:
🔍 **DocAve 管理センターを使用して、ユーザー間で権限をコピーする方法をご存知ですか？**
製品: 管理-管理センター
手順: 1. [管理センター]→[全体管理]の順に移動します。
2. SharePoint ツリーから SharePoint オブジェクトを選択し、右側の [セキュリティ センター] タブから [ユーザー権限のクローン作成] を選択します。
3. 選択したすべてのオブジェクトに対してユーザー権限のクローン作成をするには、この手順を繰り返します。

バックアップ & リカバリー
管理
展開と複製
ストレージ最適化
テストとレポート
アーカイブとコンプライアンス
SharePoint への移行

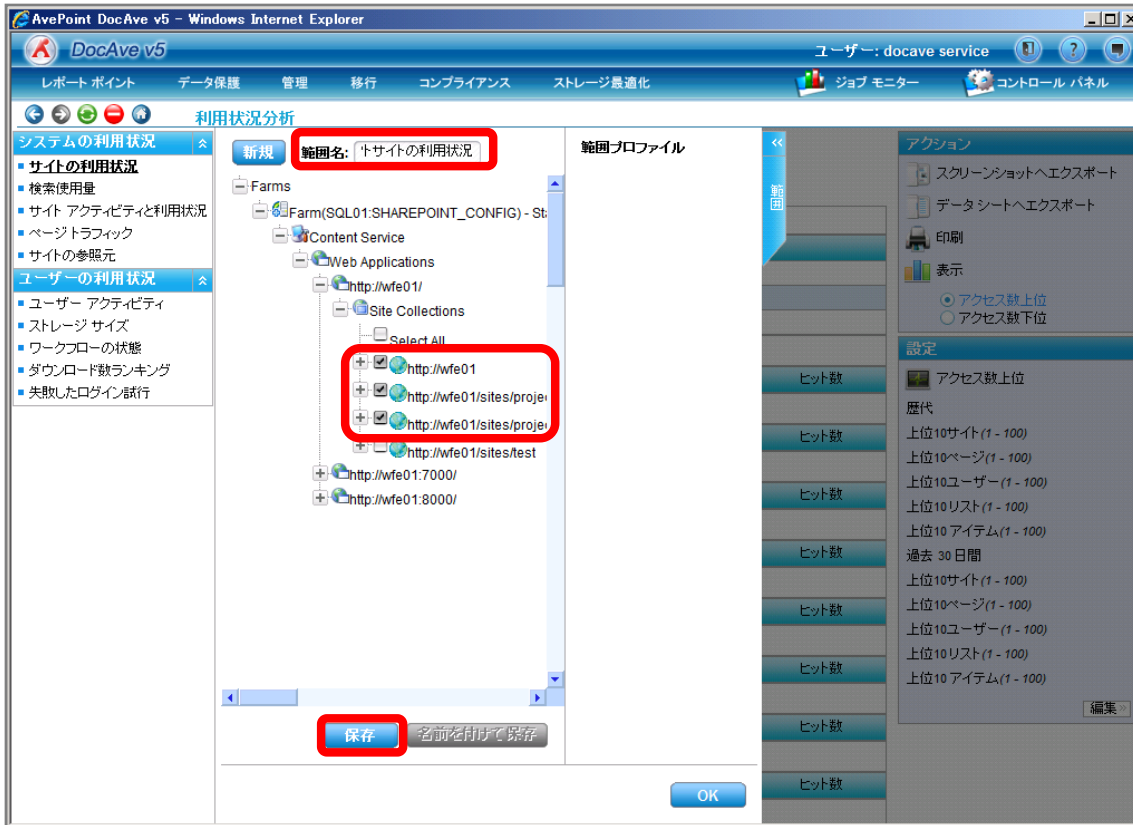
前へ 次へ

左ペインから[サイトの利用状況]を選択し、右ペインの[範囲]タブをクリックします。

The screenshot shows the AvePoint DocAve v5 interface. In the left sidebar, under 'サイトの利用状況', the 'サイトの利用状況' option is selected and highlighted with a red box. The main content area displays a table for '上位10サイト(過去30日間)'. The table has three columns: '順序' (Order), 'サイト' (Site), and 'ヒット数' (Hit Count). The data rows are currently empty.

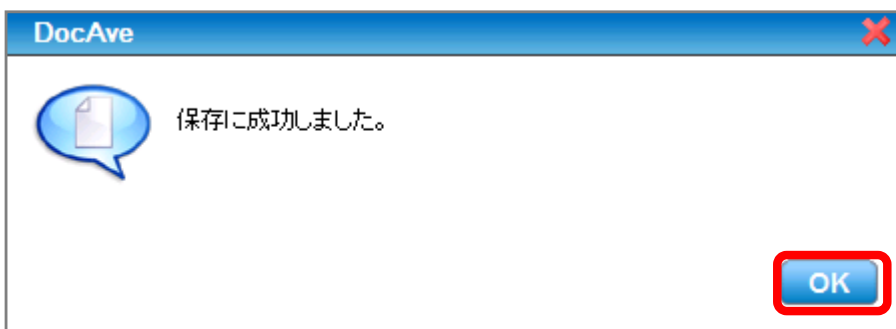
順序	サイト	ヒット数

範囲名を入力します。SharePoint ツリーをサイトコレクションまで展開し、対象のサイトコレクションにチェックを入れ[保存]をクリックします。

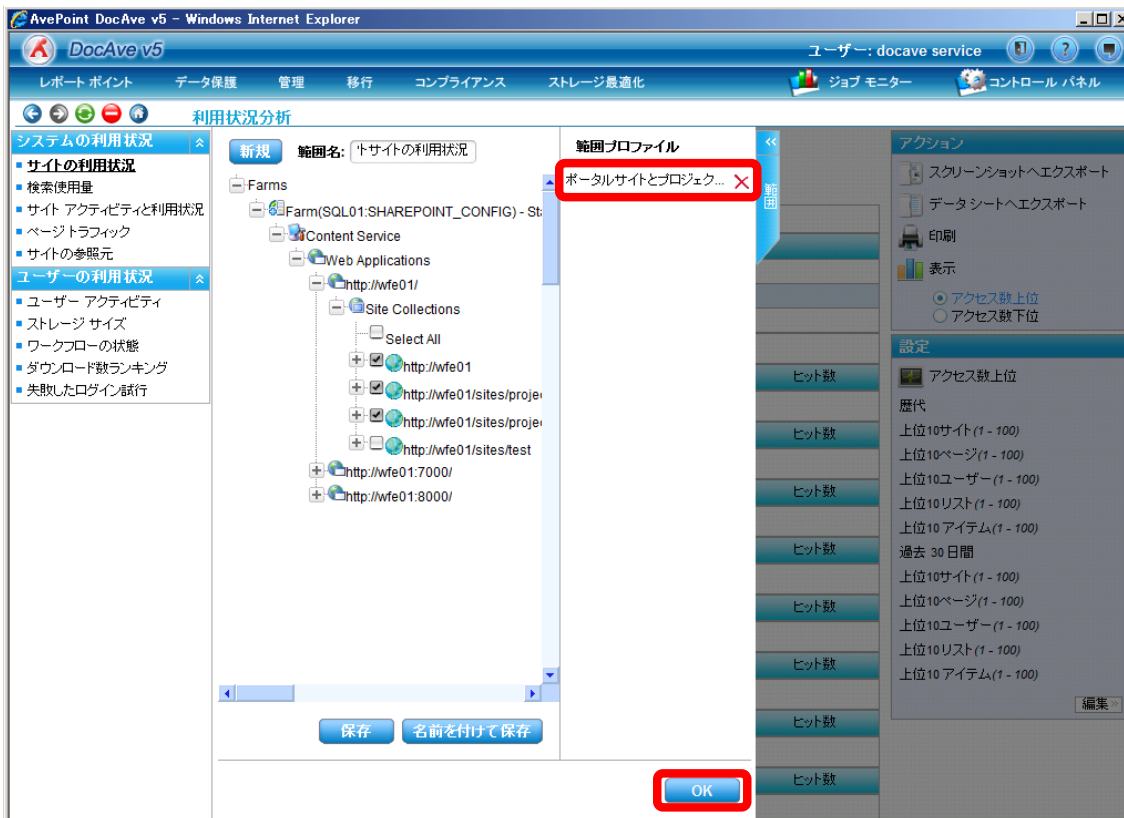


項目	説明	設定値
範囲名	設定をプロファイルとして保存します。今后再利用することが可能になります。	ポータルサイトとプロジェクトサイトの利用状況
SharePoint ツリー	SharePoint ツリーから利用状況を表示するオブジェクトを選択します。 [Farm]-[Farm(SQL01:SHAREPOINT_CONFIG)]-[Content Service]-[Web Applications]-[http://wfe01/]-[Site Collections]の順で展開します。	http://wfe01 http://wfe01/sites/projectA http://wfe01/sites/projectB

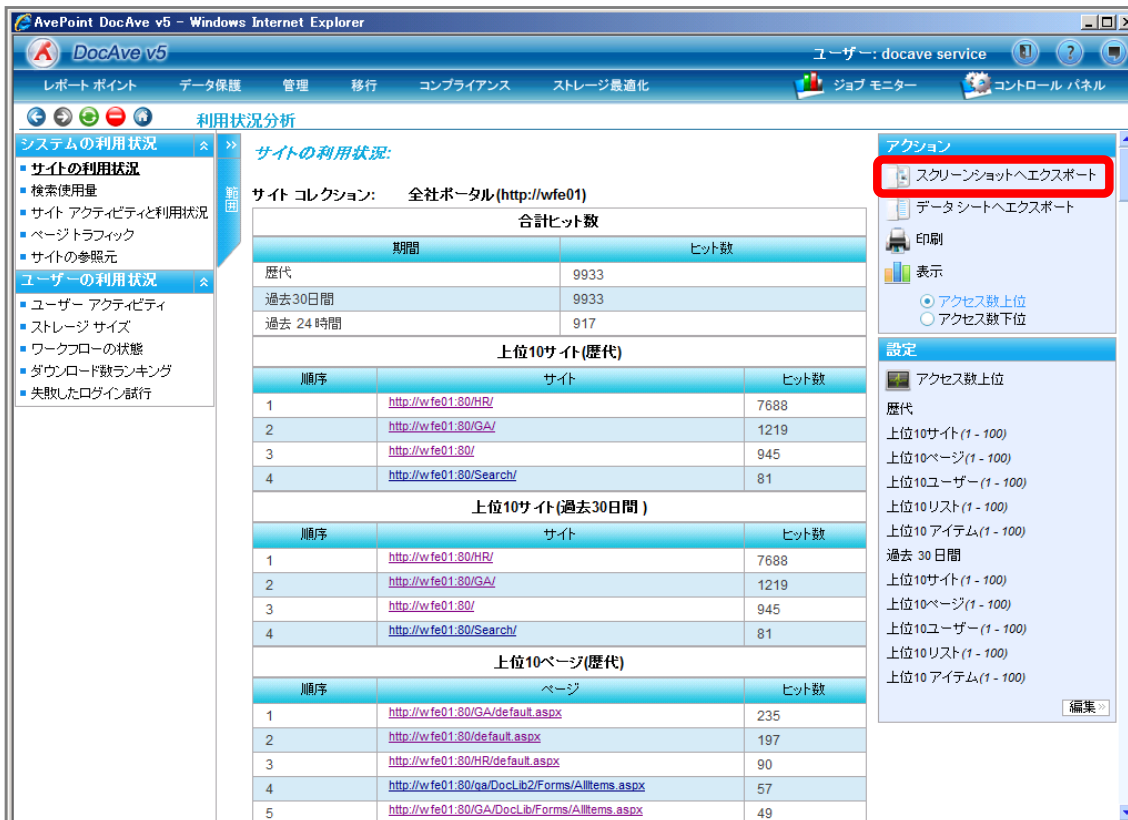
メッセージボックスが表示されるので[OK]をクリックします。



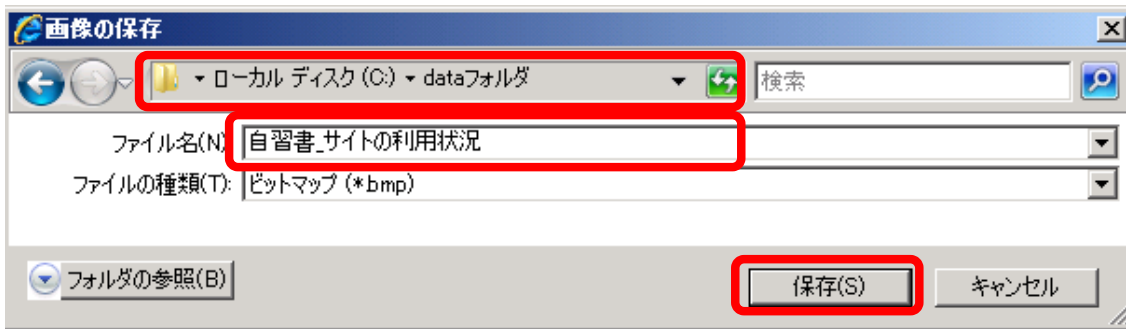
範囲プロファイル項目に「ポータルサイトとプロジェクトサイトの利用状況」が表示されたことを確認し、[OK]をクリックします。



右ペインにサイトの利用状況が表示されていることを確認します。アクション項目の[スクリーンショットへエクスポート]をクリックします。



保存先に「C:\data フォルダ」、ファイル名に「自習書_サイトの利用状況」を指定し、[保存]をクリックします。



保存したスクリーンショットを確認します。

サイトの利用状況:

サイトコレクション: 全社ポータル(http://wfe01)

合計ヒット数	
期間	ヒット数
歴代	9933
過去30日間	9933
過去24時間	121

上位10サイト(歴代)		
順序	アイテム	ヒット数
1	http://wfe01.80/HR/	7688
2	http://wfe01.80/GA/	1219
3	http://wfe01.80/	945
4	http://wfe01.80/Search/	81

上位10サイト(過去30日間)		
順序	アイテム	ヒット数
1	http://wfe01.80/HR/	7688
2	http://wfe01.80/GA/	1219
3	http://wfe01.80/	945
4	http://wfe01.80/Search/	81

上位10ページ(歴代)		
順序	アイテム	ヒット数
1	http://wfe01.80/GA/default.aspx	235
2	http://wfe01.80/default.aspx	197
3	http://wfe01.80/HR/default.aspx	90

<memo>

表示されたサイトの利用状況は、設定項目の変更を行うことで表示させるランキング数や期間を変更することができます。利用状況を表示させた後の操作手順を以下に示します。

1. 右ペイン設定項目の[編集]をクリックし、編集可能状態とします。

The screenshot shows the AvePoint DocAve v5 interface. The main content area displays the following data:

合計ヒット数		
期間		ヒット数
歴代		9933
過去30日間		9933
過去24時間		917

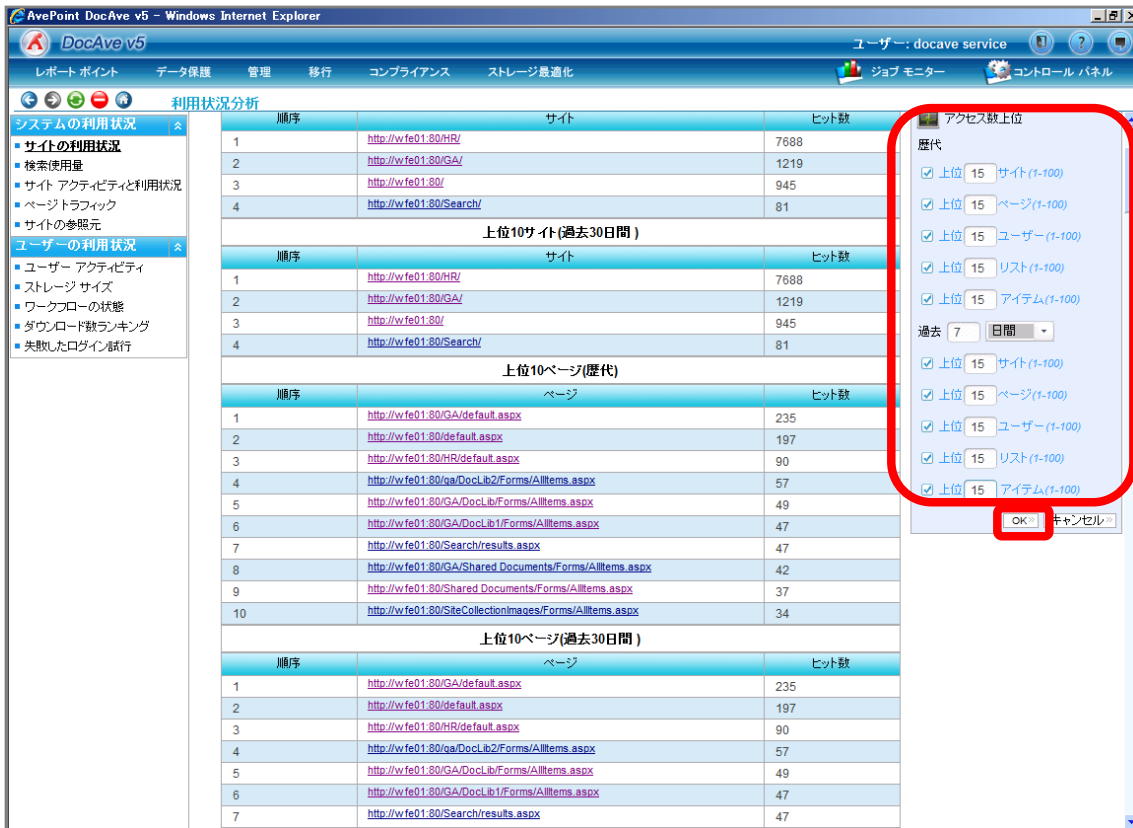
上位10サイト(歴代)		
順序	サイト	ヒット数
1	http://wfe01.80/HR/	7688
2	http://wfe01.80/GA/	1219
3	http://wfe01.80/	945
4	http://wfe01.80/Search/	81

上位10サイト(過去30日間)		
順序	サイト	ヒット数
1	http://wfe01.80/HR/	7688
2	http://wfe01.80/GA/	1219
3	http://wfe01.80/	945
4	http://wfe01.80/Search/	81

上位10ページ(歴代)		
順序	ページ	ヒット数
1	http://wfe01.80/GA/default.aspx	235
2	http://wfe01.80/default.aspx	197
3	http://wfe01.80/HR/default.aspx	90
4	http://wfe01.80/qa/DocLib2/Forms/AllItems.aspx	57
5	http://wfe01.80/GA/DocLib/Forms/AllItems.aspx	49

The right sidebar contains settings for the analysis, with the '編集' (Edit) button highlighted in a red box.

表示させたいランキング範囲や期間を設定し、[OK]をクリックします。



項目	説明	設定値
歴代	監査ログを取得している期間分の利用状況を表示させます。	-
上位 10 サイト	利用頻度が高い上位サイトを表示します。1-100まで設定可能です。 既定値: 上位 10 サイト	上位 15 サイト
上位 10 ページ	利用頻度が高い上位ページを表示します。1-100まで設定可能です。 既定値: 上位 10 ページ	上位 15 ページ
上位 10 ユーザー	利用頻度が高い上位ユーザーを表示します。1-100まで設定可能です。 既定値: 上位 10 ユーザー	上位 15 ユーザー
上位 10 リスト	利用頻度が高い上位リストを表示します。1-100まで設定可能です。 既定値: 上位 10 リスト	上位 15 リスト
上位 10 アイテム	利用頻度が高い上位アイテムを表示します。1-100まで設定可能です。 既定値: 上位 10 ページ	上位 15 アイテム
過去 30 日間	指定した期間の利用状況を表示させます。[日間]/[ヶ月]の選択が可能で表示範囲に制限はありません。	過去 7 日間

	せん。 既定値:過去 30 日間	
上位 10 サイト	利用頻度が高い上位サイトを表示します。1-100まで 設定可能です。 既定値:上位 10 サイト	上位 15 サイト
上位 10 ページ	利用頻度が高い上位ページを表示します。1-100ま で設定可能です。 既定値:上位 10 ページ	上位 15 ページ
上位 10 ユーザー	利用頻度が高い上位ユーザーを表示します。1-100 まで設定可能です。 既定値:上位 10 ユーザー	上位 15 ユーザー
上位 10 リスト	利用頻度が高い上位リストを表示します。1-100 まで 設定可能です。 既定値:上位 10 リスト	上位 15 リスト
上位 10 アイテム	利用頻度が高い上位アイテムを表示します。1-100ま で設定可能です。 既定値:上位 10 アイテム	上位 15 アイテム

設定した範囲の利用状況が表示されたことを確認します。

The screenshot shows the 'AvePoint DocAve v5' web interface in Internet Explorer. The main content area displays 'サイトの利用状況' (Site Usage Status) for the collection 'wfe01'. It includes a summary table for '合計ヒット数' (Total Hit Count) and three detailed tables for '上位15サイト(歴代)' (Top 15 Sites), '上位15サイト(過去7日間)' (Top 15 Sites (Last 7 Days)), and '上位15ページ(歴代)' (Top 15 Pages).

合計ヒット数		ヒット数
期間		
歴代		9933
過去7日間		8288
過去 24 時間		121

上位15サイト(歴代)		
順序	サイト	ヒット数
1	http://wfe01.80/HR/	7688
2	http://wfe01.80/GA/	1219
3	http://wfe01.80/	945
4	http://wfe01.80/Search/	81

上位15サイト(過去7日間)		
順序	サイト	ヒット数
1	http://wfe01.80/HR/	7328
2	http://wfe01.80/	482
3	http://wfe01.80/GA/	446
4	http://wfe01.80/Search/	32

上位15ページ(歴代)		
順序	ページ	ヒット数
1	http://wfe01.80/GA/default.aspx	235
2	http://wfe01.80/default.aspx	197
3	http://wfe01.80/HR/default.aspx	90
4	http://wfe01.80/qa/DocLib2/Forms/AllItems.aspx	57
5	http://wfe01.80/GA/DocLib/Forms/AllItems.aspx	49

(2) アクセスされていないサイトやページ、アイテムの一覧を把握したい

SharePoint 運用管理者の田中さんは、上司から特定のサイトコレクションでアクセスが少ないサイトを一覧化するように言われました。対象のサイトコレクションは以下の通りです。

確認対象

確認対象
全社ポータルサイト(http://wfe01/default.aspx)
A プロジェクトサイト(http://wfe01/sites/projectA/default.aspx)
B プロジェクトサイト(http://wfe01/sites/projectB/default.aspx)

必要なオペレーション

上記シナリオを達成するために、以下のオペレーションを行います。

項番	操作	ソリューション	説明
1	監査データ収集	DocAve 監査マネージャー	レポートポイントの元情報となる監査ログを収集します。 ※こちらは事前作業「3-1-1 監査データの取得」で実施しておきます。
2	サイトのアクセス状況確認	DocAve レポートポイント	全社ポータルサイト/プロジェクトサイトの利用状況(下位ランキング)を表示させます。 ※「(1)よくアクセスされているサイトやページ、アイテムの一覧を把握したい」の操作手順と一部重複するため、重複手順は簡略化させていただきます。
3	レポート出力	DocAve レポートポイント	表示させた利用状況をスクリーンショットとして出力します。

操作手順

1. SharePoint に格納されている監査ログを収集します。操作手順は「3-1-1 監査データの取得」を参照してください。
2. DocAve 管理コンソールから確認したい対象の利用状況を表示させます。操作手順は「(1)よくアクセスされているサイトやページ、アイテムの一覧を把握したい」の手順 2~6 を参照してください。

- 右ペインにサイトの利用状況が表示されていることを確認します。アクション項目の[アクセス数下位]のラジオボタンを有効化させます。

利用状況分析

サイトの利用状況:

サイト コレクション: 全社ポータル(http://wfe01)

合計ヒット数	
期間	ヒット数
歴代	9933
過去30日間	9933
過去 24時間	121

上位10サイト(歴代)		
順序	サイト	ヒット数
1	http://wfe01.80/HR/	7688
2	http://wfe01.80/GA/	1219
3	http://wfe01.80/	945
4	http://wfe01.80/Search/	81

上位10サイト(過去30日間)		
順序	サイト	ヒット数
1	http://wfe01.80/HR/	7688
2	http://wfe01.80/GA/	1219
3	http://wfe01.80/	945
4	http://wfe01.80/Search/	81

上位10ページ(歴代)		
順序	ページ	ヒット数
1	http://wfe01.80/GA/default.aspx	235
2	http://wfe01.80/default.aspx	197
3	http://wfe01.80/HR/default.aspx	90
4	http://wfe01.80/ga/DocLib2/Forms/AllItems.aspx	57
5	http://wfe01.80/GA/DocLib/Forms/AllItems.aspx	49

アクション

- スクリーンショットへエクスポート
- データシートへエクスポート
- 印刷
- 表示
- アクセス数上位
- アクセス数下位

設定

- アクセス数上位
- 歴代
- 上位10サイト(1 - 100)
- 上位10ページ(1 - 100)
- 上位10ユーザー(1 - 100)
- 上位10リスト(1 - 100)
- 上位10アイテム(1 - 100)
- 過去 30日間
- 上位10サイト(1 - 100)
- 上位10ページ(1 - 100)
- 上位10ユーザー(1 - 100)
- 上位10リスト(1 - 100)
- 上位10アイテム(1 - 100)

- アクション項目の[スクリーンショットへエクスポート]をクリックします。

利用状況分析

サイトの利用状況:

サイト コレクション: 全社ポータル(http://wfe01)

合計ヒット数	
期間	ヒット数
歴代	9933
過去30日間	9933
過去 24時間	121

下位10サイト(歴代)		
順序	サイト	ヒット数
1	http://wfe01.80/Search/	81
2	http://wfe01.80/	945
3	http://wfe01.80/GA/	1219
4	http://wfe01.80/HR/	7688

下位10サイト(過去30日間)		
順序	サイト	ヒット数
1	http://wfe01.80/Search/	81
2	http://wfe01.80/	945
3	http://wfe01.80/GA/	1219
4	http://wfe01.80/HR/	7688

下位10ページ(歴代)		
順序	ページ	ヒット数
1	http://wfe01.80/GA/Lists/Announcements/DispForm.aspx	1
2	http://wfe01.80/GA/Lists/Tasks/DispForm.aspx	1
3	http://wfe01.80/HR/Lists/Announcements/DispForm.aspx	1
4	http://wfe01.80/HR/Lists/Calendar/DispForm.aspx	1
5	http://wfe01.80/Lists/Calendar/DispForm.aspx	1

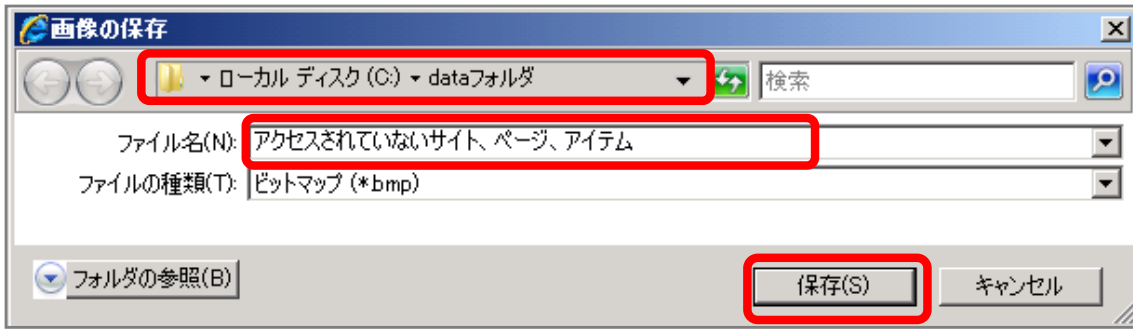
アクション

- スクリーンショットへエクスポート
- データシートへエクスポート
- 印刷
- 表示
- アクセス数上位
- アクセス数下位

設定

- アクセス数上位
- 歴代
- 下位10サイト(1 - 100)
- 下位10ページ(1 - 100)
- 下位10ユーザー(1 - 100)
- 下位10リスト(1 - 100)
- 下位10アイテム(1 - 100)
- 過去 30日間
- 下位10サイト(1 - 100)
- 下位10ページ(1 - 100)
- 下位10ユーザー(1 - 100)
- 下位10リスト(1 - 100)
- 下位10アイテム(1 - 100)

5. 保存先に「C:¥data フォルダ」、ファイル名に「アクセスされていないサイト、ページ、アイテム」を指定し、[保存]をクリックします。



6. 保存したスクリーンショットを確認します。

サイトの利用状況:

サイトコレクション: 全社ポータル(http://wfe01)

合計ヒット数	
期間	
歴代	9933
過去30日間	9933
過去24時間	121

下位10サイト(歴代)

順序	アイテム
1	http://wfe01:80/Search/
2	http://wfe01:80/
3	http://wfe01:80/GA/
4	http://wfe01:80/HR/

下位10サイト(過去30日間)

順序	アイテム
1	http://wfe01:80/Search/
2	http://wfe01:80/
3	http://wfe01:80/GA/
4	http://wfe01:80/HR/

下位10ページ(歴代)

順序	アイテム
1	http://wfe01:80/GA/Lists/Announcements/DispForm.aspx
2	http://wfe01:80/GA/Lists/Tasks/DispForm.aspx
3	http://wfe01:80/HR/Lists/Announcements/DispForm.aspx

(3) よく利用されている検索キーワードの一覧を把握したい

SharePoint 運用管理者の田中さんは、SharePoint の検索機能をユーザーにより利用してもらえるように検索設定の変更を行う予定です。現状を把握するために、検索利用回数やよく利用されている検索キーワードを把握したいと考えています。

確認対象

確認対象
ファーム (Farm(SQL01:SHAREPOINT_CONFIG)-Standalone Farm)

必要なオペレーション

上記シナリオを達成するために、以下のオペレーションを行います。

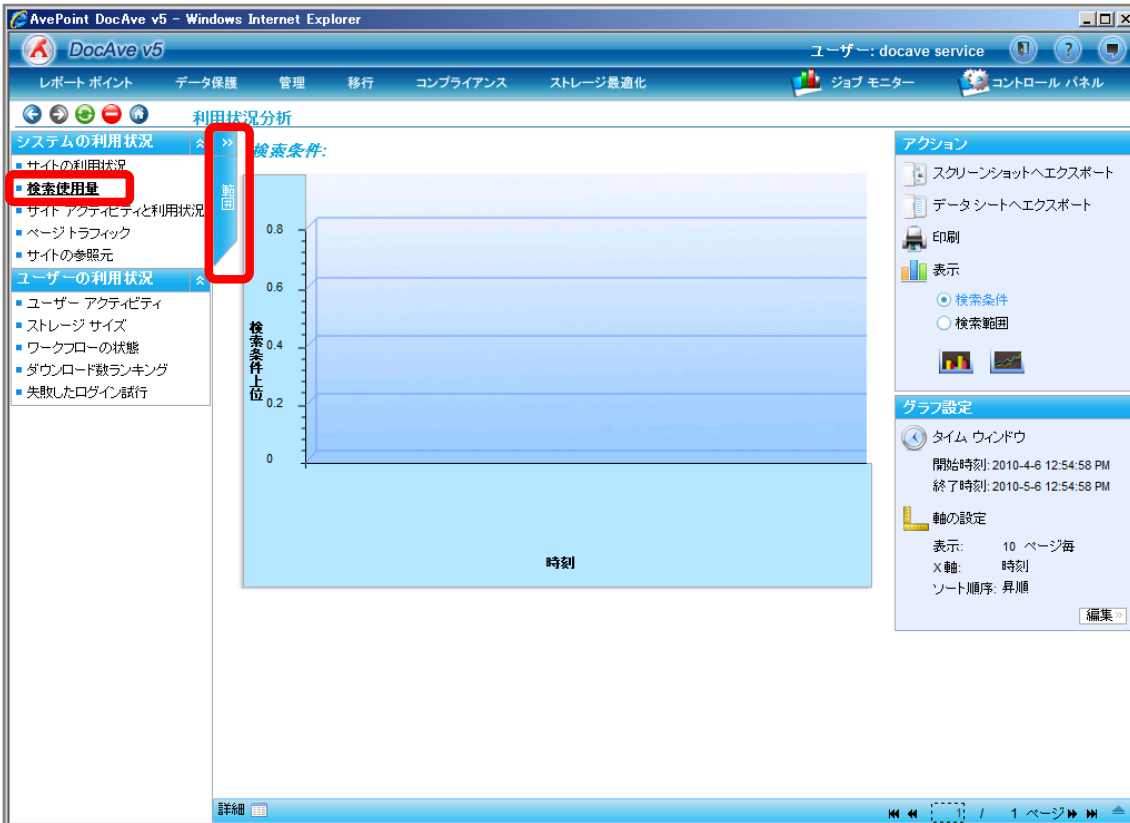
項番	操作	ソリューション	説明
1	検索使用量の確認	DocAve レポートポイント	ファームの検索使用量と使用されている検索キーワードを確認します。

操作手順

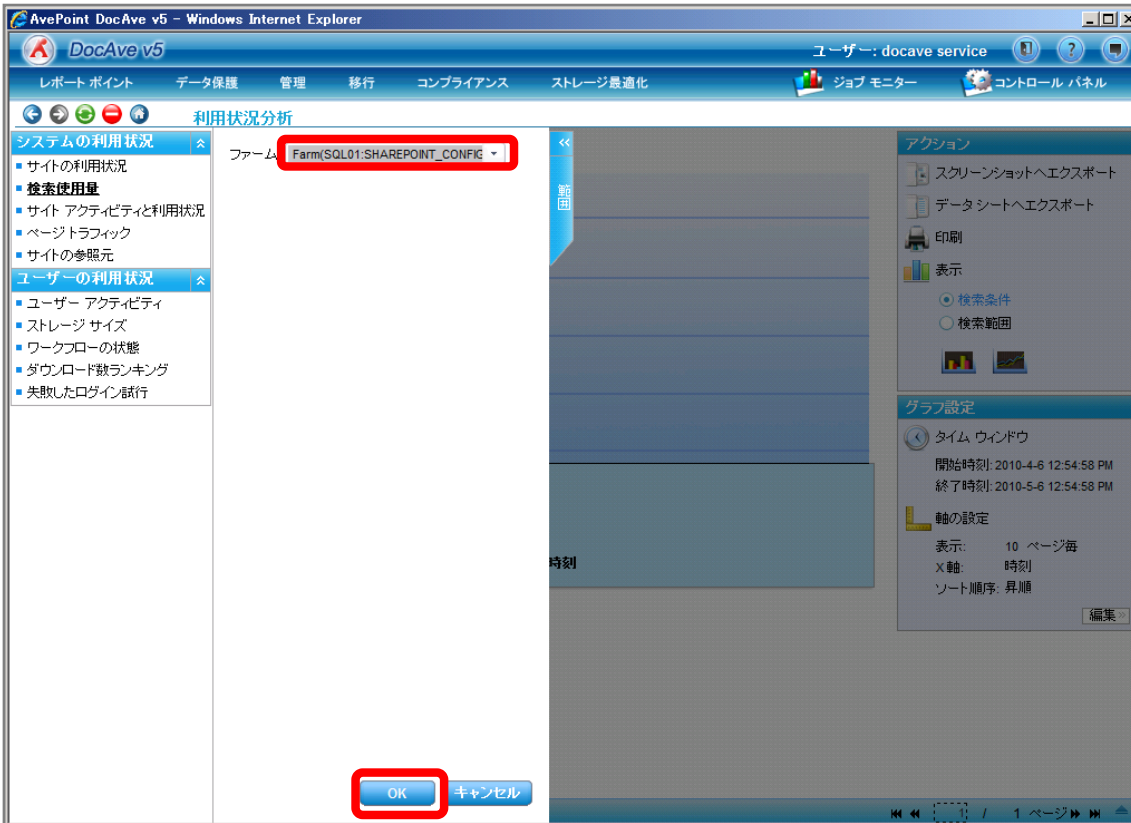
1. 管理コンソールより[レポートポイント]-[利用状況分析]を選択し、利用状況画面を開きます。



2. 左ペインから[検索使用量]を選択し、右ペインの[範囲]タブをクリックします。

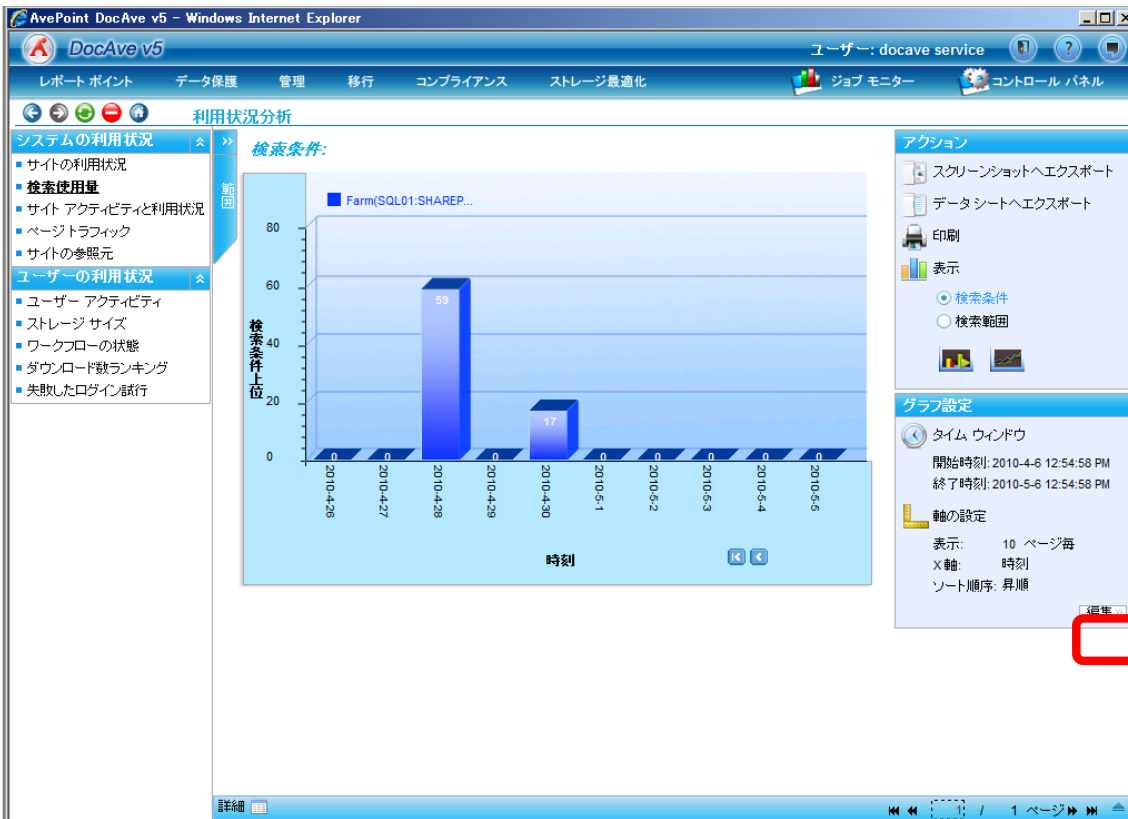


3. [ファーム]を選択し、[OK]をクリックします。

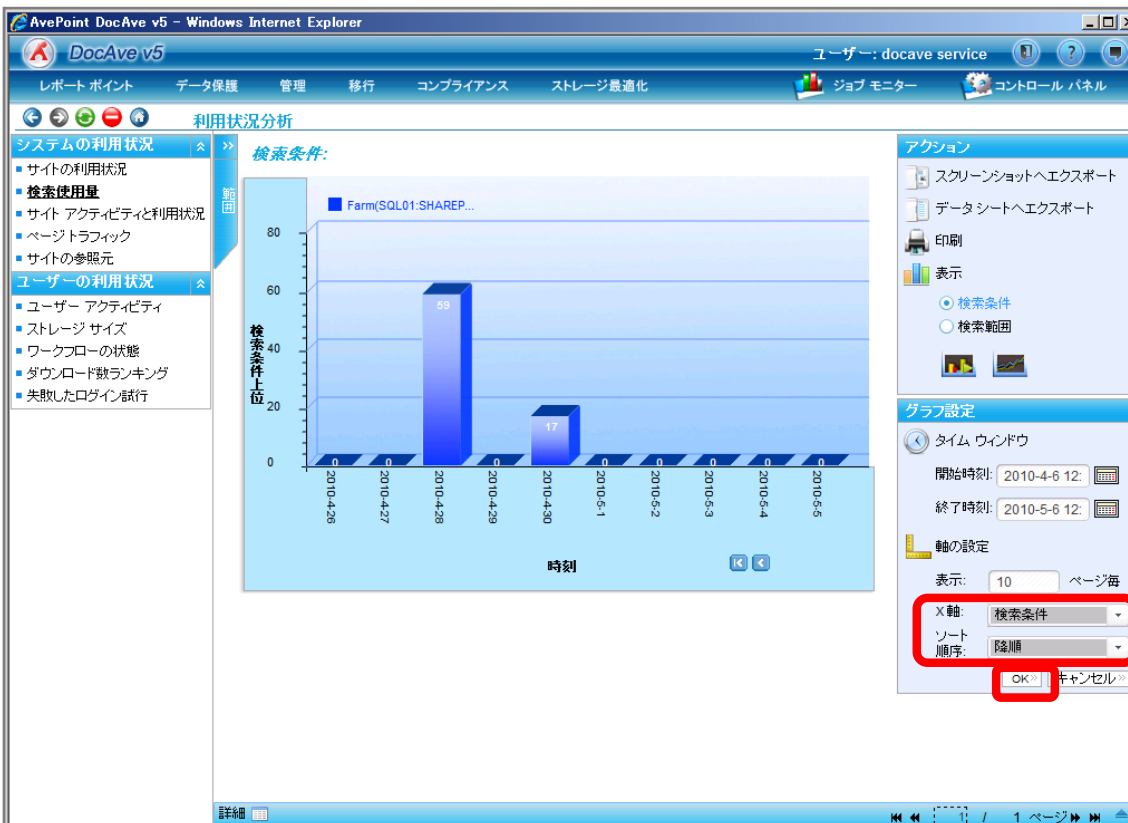


項目	説明	設定値
ファーム	検索の利用状況を確認するファームを選択します。	Farm(SQL01:SHAREPOINT_CONFIG)- Standalone Farm

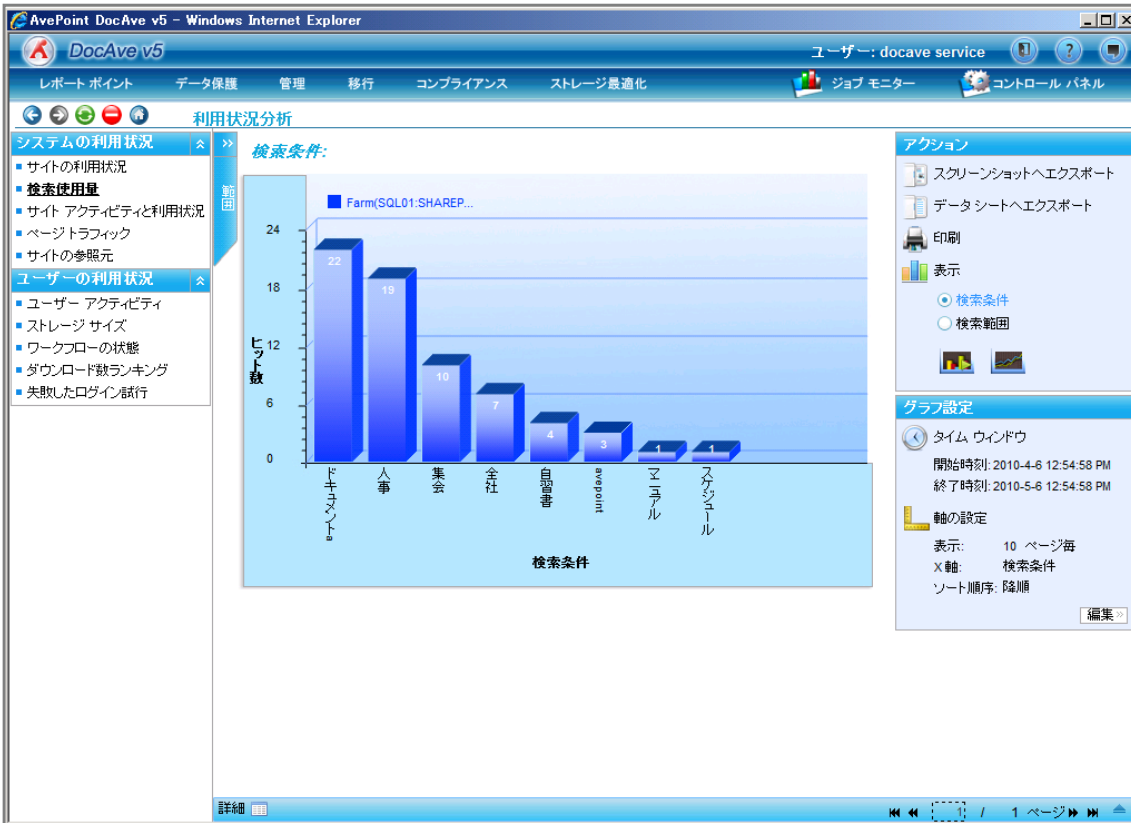
4. 右ペインに検索使用量が表示されていることを確認します。グラフ設定項目の[編集]をクリックします。



5. [X軸]の設定を「検索条件」、[ソート順序]を「降順」に変更し、[OK]をクリックします。



6. 検索キーワードが降順で表示されるので確認します。



(4) 特定のオブジェクトへのアクセス状況を把握したい

SharePoint 運用管理者の田中さんは、特定のリストの利用状況を把握するために総アクセス数やユニークユーザー数などの切り口でアクセス状況を確認する必要があります。対象のリストは以下の通りです。

確認対象

確認対象
社内規定(http://wfe01/GA/DocLib/Forms/Allitems.aspx)

必要なオペレーション

上記シナリオを達成するために、以下のオペレーションを行います。

項番	操作	ソリューション	説明
1	監査データ収集	DocAve 監査マネージャー	レポートポイントの元情報となる監査ログを収集します。 ※こちらは事前作業「3-1-1 監査データの取得」で実施しておきます。
2	特定オブジェクトの利用状況確認	DocAve レポートポイント	指定したオブジェクトのアクセス状況(総アクセス数)を確認します。

操作手順

1. SharePoint に格納されている監査ログを収集します。操作手順は「3-1-1 監査データの取得」を参照してください。管理コンソールより[レポートポイント]-[利用状況分析]を選択し、利用状況画面を開きます。



The screenshot shows the AvePoint DocAve v5 web interface in Internet Explorer. The user is logged in as 'docave service'. The navigation menu includes 'レポートポイント' (Report Point), 'データ保護' (Data Protection), '管理' (Management), '移行' (Migration), 'コンプライアンス' (Compliance), and 'ストレージ最適化' (Storage Optimization). The '利用状況分析' (Usage Analysis) option under 'レポートポイント' is highlighted with a red box. The main content area displays 'DocAveへようこそ' (Welcome to DocAve), a list of supported features, and a sidebar with navigation options like 'バックアップ&リカバリー' (Backup & Recovery) and '管理' (Management).

左ペインから[サイトアクティビティと利用状況]を選択し、右ペインの[範囲]タブをクリックします。

The screenshot displays the AvePoint DocAve v5 web interface. The left sidebar contains a navigation menu with the following items:

- システムの利用状況
 - サイトの利用状況
 - 検索使用量
 - サイトアクティビティと利用状況** (highlighted with a red box)
 - ページトラフィック
 - サイトの参照元
- ユーザーの利用状況
 - ユーザー アクティビティ
 - ストレージ サイズ
 - ワークフローの状態
 - ダウンロード数ランキング
 - 失敗したログイン試行

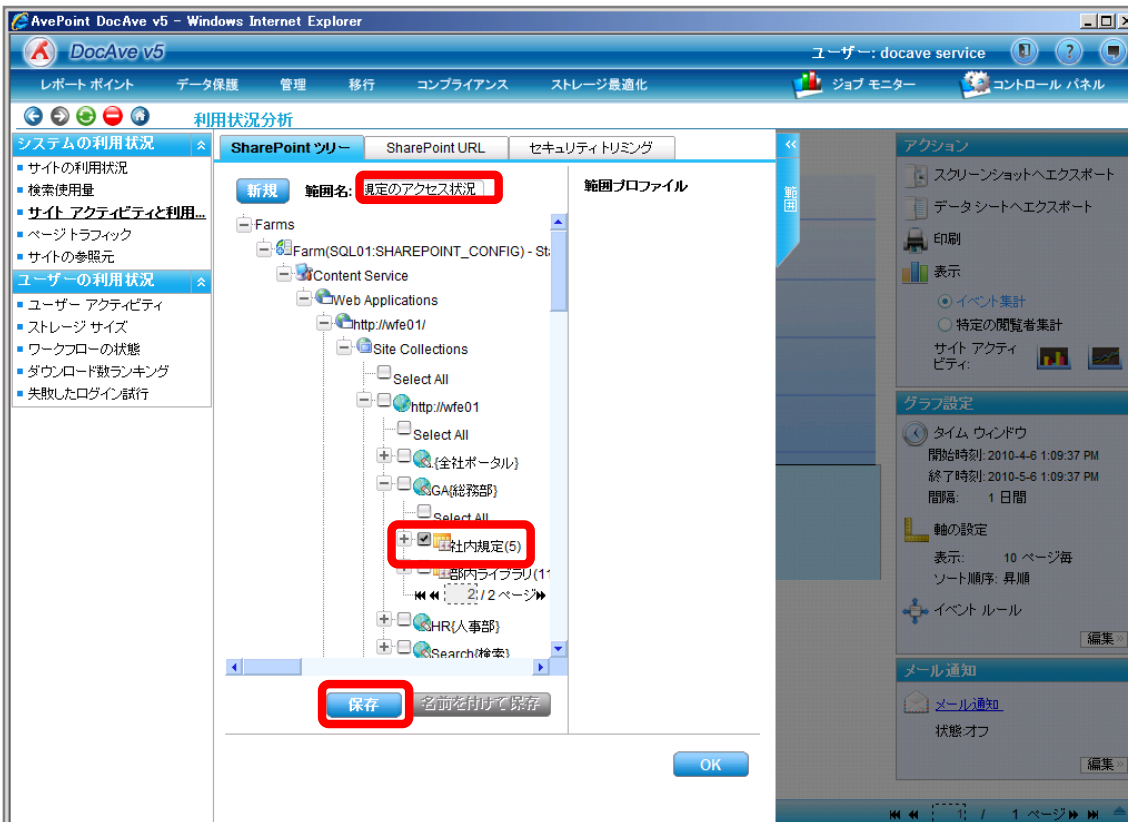
The main content area is titled 'サイト アクティビティ' and features a line graph. The vertical axis is labeled 'イベント' (Events) and ranges from 0 to 0.8. The horizontal axis is labeled '時刻' (Time). The graph shows a flat line at the 0 level. A vertical blue bar labeled '範囲' (Range) is positioned on the left side of the graph area.

On the right side, there are several panels:

- アクション** (Actions): Includes options for 'スクリーンショットへエクスポート', 'データシートへエクスポート', '印刷', and '表示'. Under '表示', 'イベント集計' is selected, and '特定の閲覧者集計' is also visible.
- グラフ設定** (Graph Settings): Shows 'タイム ウィンドウ' (Time Window) with '開始時刻: 2010-4-6 1:06:43 PM' and '終了時刻: 2010-5-6 1:06:43 PM'. The '間隔' (Interval) is set to '1 日間'. Under '軸の設定' (Axis Settings), '表示' is '10 ページ毎' and 'ソート順序' is '昇順'. There is also an 'イベント ルール' (Event Rule) section.
- メール通知** (Email Notification): Shows 'メール通知' status as '状態: オフ'.

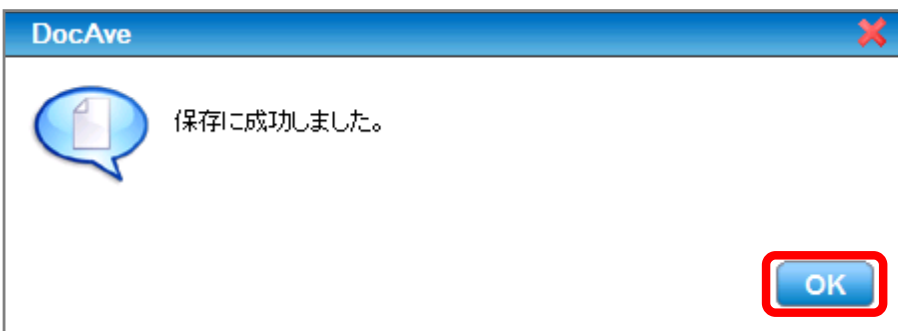
The bottom of the interface includes a '詳細' (Details) tab and a page navigation bar showing '1 ページ'.

範囲名を入力します。SharePoint ツリーをリストまで展開し、対象のリストにチェックを入れ[保存]をクリックします。

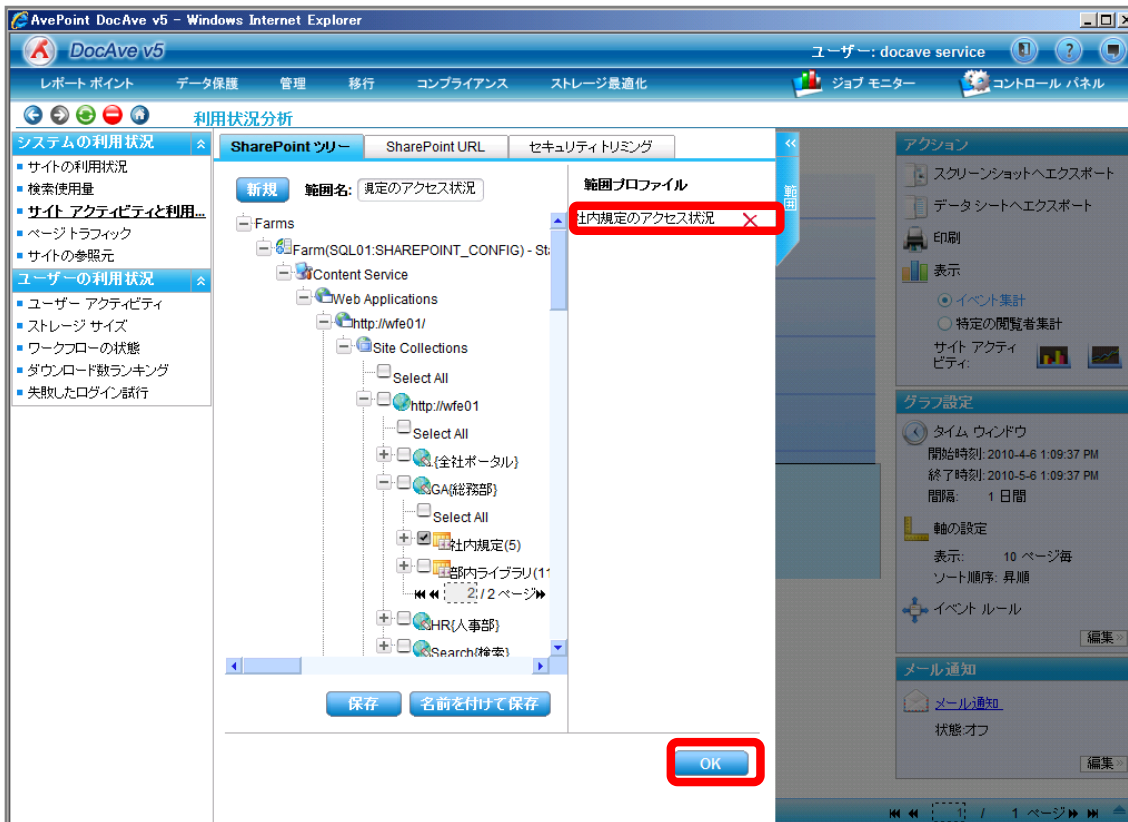


項目	説明	設定値
範囲名	設定をプロファイルとして保存します。今後再利用することが可能になります。	社内規定のアクセス状況
SharePoint ツリー	SharePoint ツリーからアクセス状況を表示するオブジェクトを選択します。 [Farm]-[Farm(SQL01:SHAREPOINT_CONFIG)]-[Content Service]-[Web Applications]-[http://wfe01/]-[Site Collections]-[http://wfe01/]-[GA 総務部]の順で展開します。	社内規定

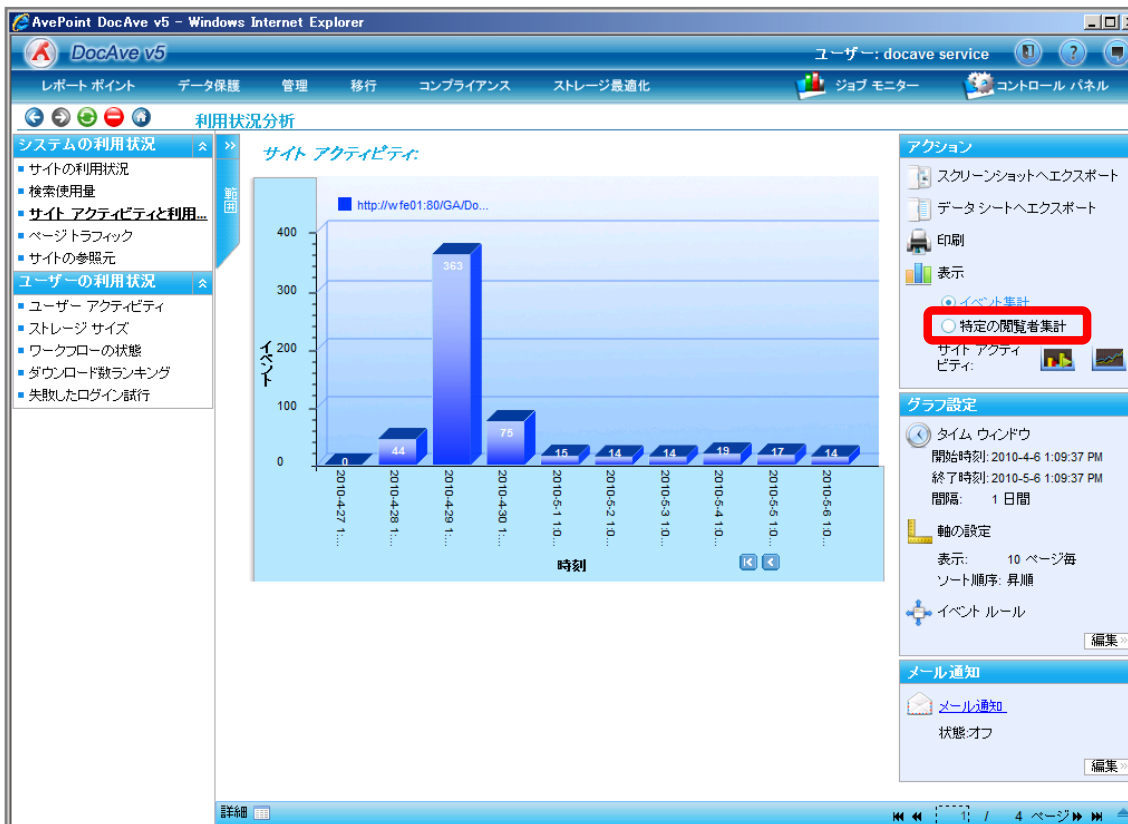
メッセージボックスが表示されるので[OK]をクリックします。



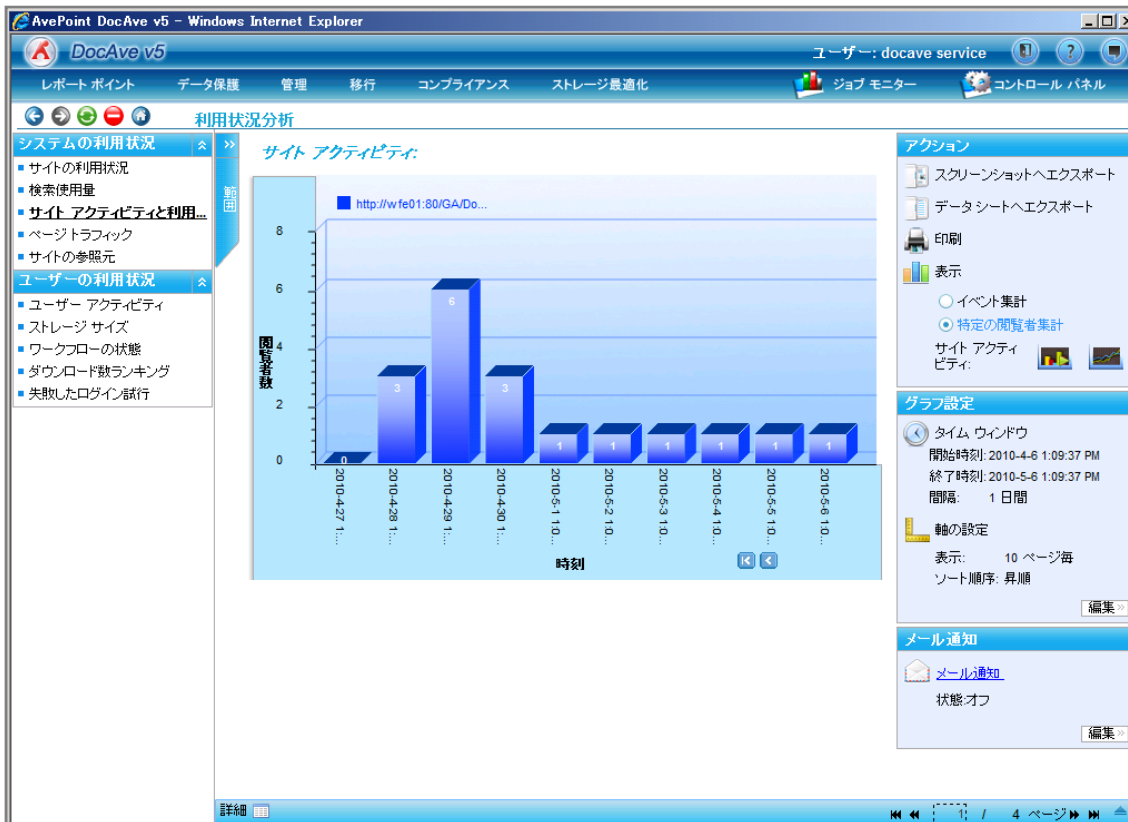
範囲プロフィール項目に「社内規定のアクセス状況」が表示されたことを確認し、[OK]をクリックします。



右ペインにリストのアクセス状況(総アクセス数)が表示されていることを確認します。アクション項目の[特定の閲覧者集計]のラジオボタンを有効化します。



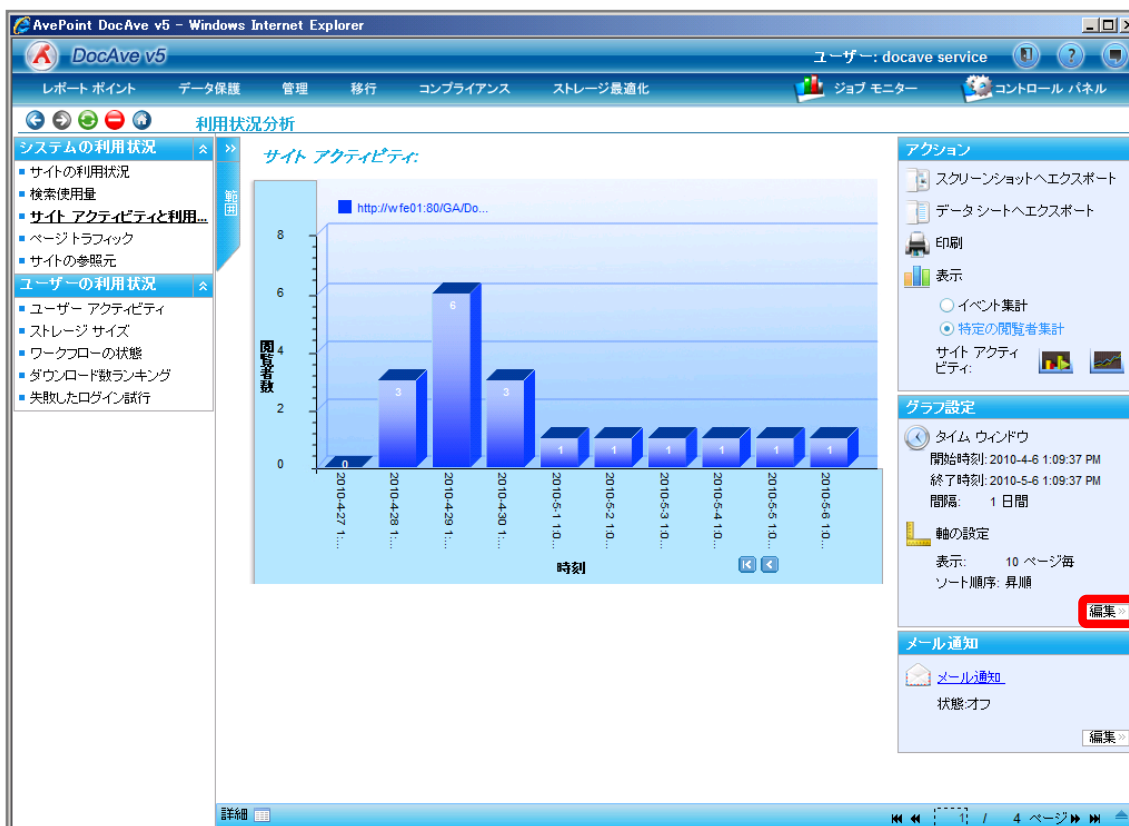
リストのアクセス状況(ユニークユーザー数)に表示が変更されていることを確認します。



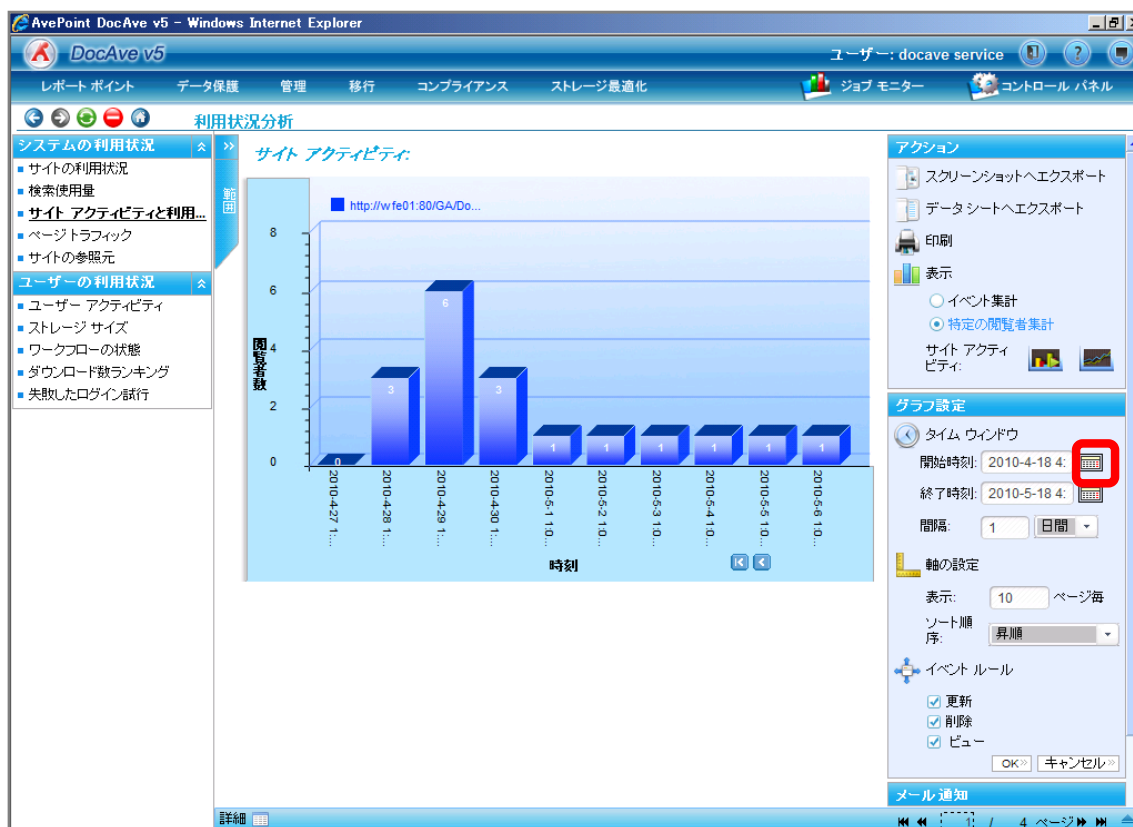
<memo>

表示されたサイトアクティビティと利用状況は、グラフ設定項目の変更を行うことで表示させる期間を変更することができます。利用状況を表示させた後の操作手順を以下に示します。

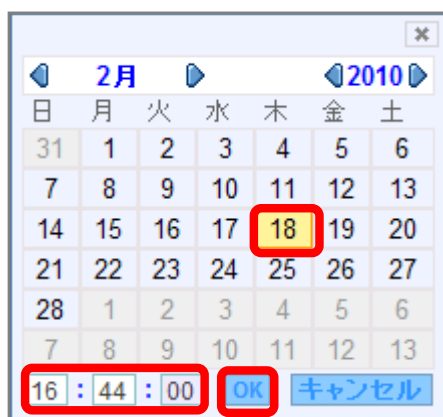
1. 右ペイングラフ設定項目の[編集]をクリックし、編集可能状態とします。



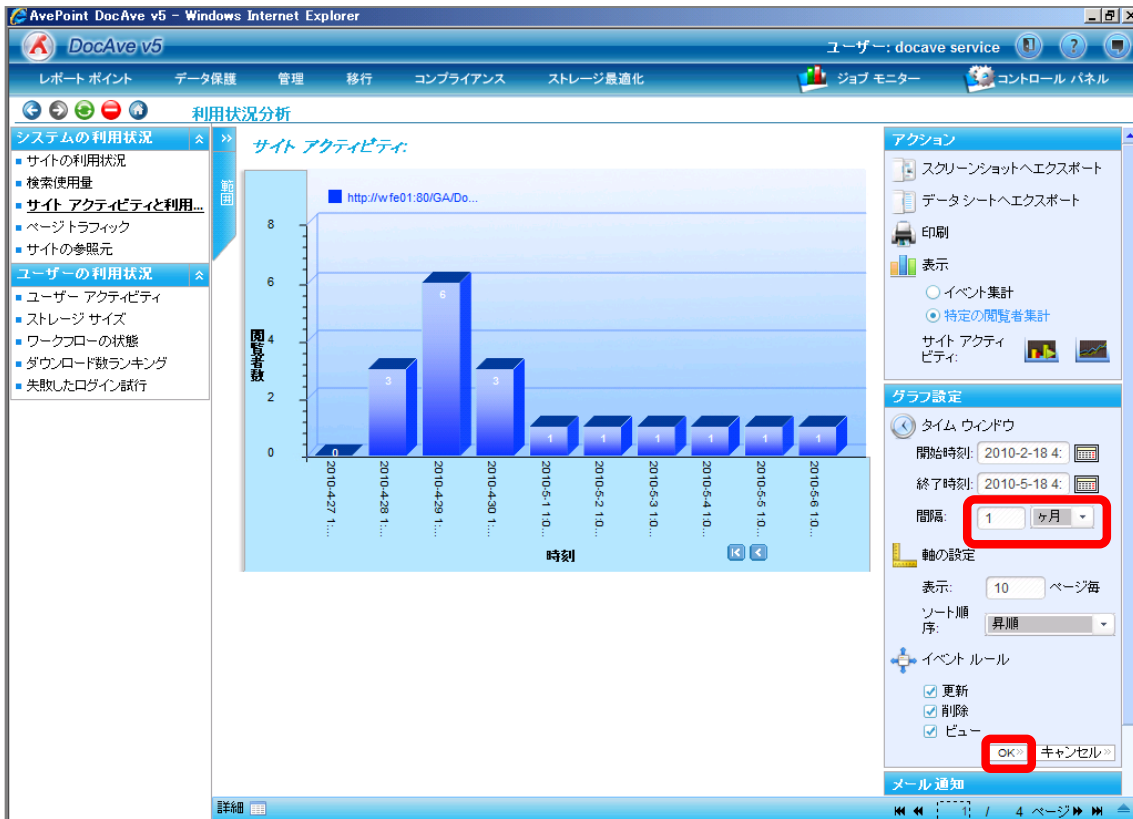
カレンダーアイコンをクリックします。



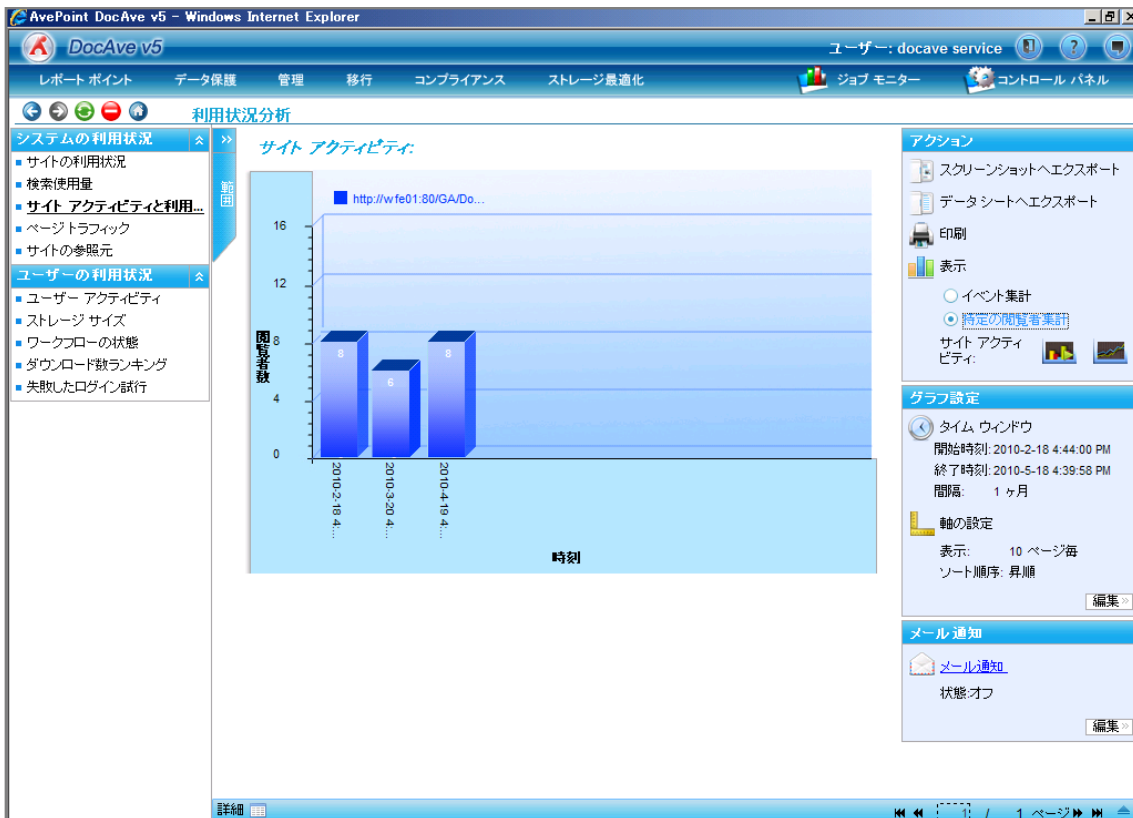
期間を指定し、[OK]をクリックします。



[間隔]を「1ヶ月」に変更し、[OK]をクリックします。



「社内規定」のアクセス状況が1ヶ月間隔で表示されるので確認します。



(5) サイトコレクション毎/ユーザー毎の利用状況を把握したい

SharePoint 運用管理者の田中さんは、利用状況の把握のため、特定のサイトコレクションに対してよく利用しているユーザーを把握する必要があります。対象のサイトコレクションは以下の通りです。

<memo>

今回のシナリオでは特定のサイトコレクションで利用頻度が高いユーザーを確認しましたが、レポート出力を行い編集することで Web アプリケーション内の利用頻度の高いユーザーを確認することも可能になります。

確認対象

確認対象
全社ポータルサイト(http://wfe01/default.aspx)

必要なオペレーション

上記シナリオを達成するために、以下のオペレーションを行います。

項番	操作	ソリューション	説明
1	監査データ収集	DocAve 監査マネージャー	レポートポイントの元情報となる監査ログを収集します。 ※こちらは事前作業「3-1-1 監査データの取得」で実施しておきます。
2	特定サイトコレクションのアクセスユーザーの確認	DocAve レポートポイント	指定した Web アプリケーションのユーザー毎のアクセス状況を表示させ、特定のサイトコレクションに絞りランキング表示させます。

操作手順

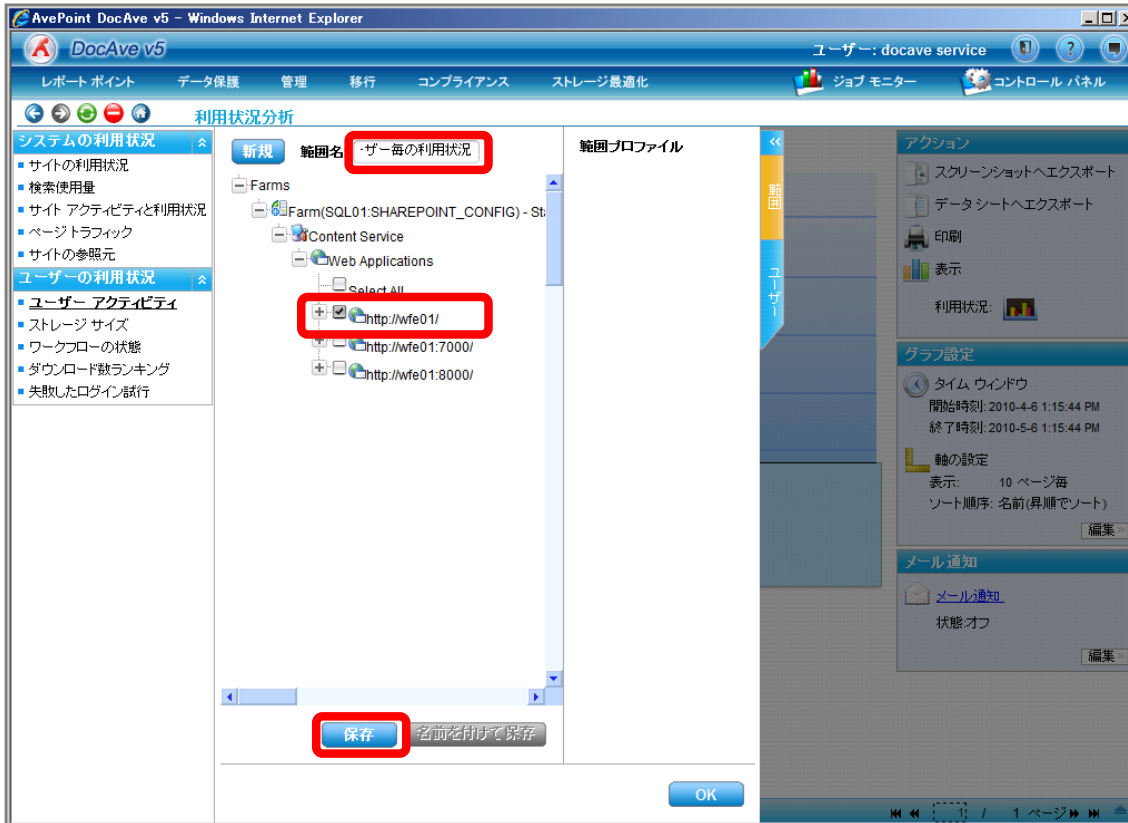
1. SharePoint に格納されている監査ログを収集します。操作手順は「3-1-1 監査データの取得」を参照してください。管理コンソールより[レポートポイント]-[利用状況分析]を選択し、利用状況画面を開きます。

The screenshot shows the AvePoint DocAve v5 management console in Internet Explorer. The top navigation bar includes 'レポートポイント', 'データ保護', '管理', '移行', 'コンプライアンス', and 'ストレージ最適化'. The '利用状況分析' (Usage Analysis) page is active, displaying a sidebar with 'システムの利用状況' and 'ユーザーの利用状況' (with 'ユーザー アクティビティ' selected). The main content area contains introductory text about DocAve and a '今日のワンポイント' (Today's Tip) section with a numbered list of steps for using the management center.

左ペインから[ユーザーアクティビティ]を選択し、右ペインの[範囲]タブをクリックします。

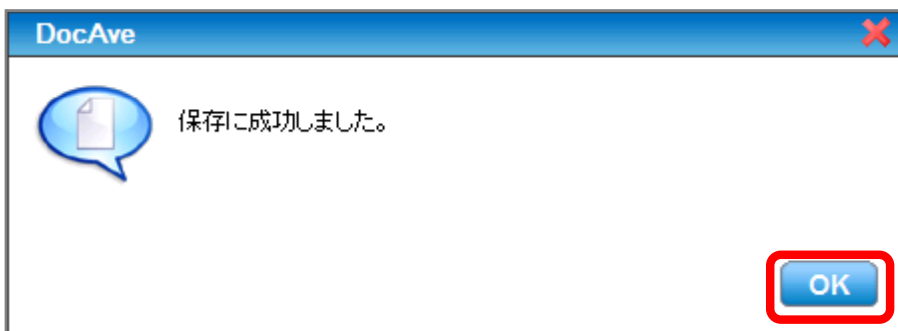
The screenshot shows the 'ユーザー アクティビティ' (User Activity) page. The left sidebar has 'ユーザー アクティビティ' selected. The main content area features a bar chart titled '最もアクティブなユーザー' (Most Active Users) with a y-axis labeled 'アクティビティ' (Activity) ranging from 0 to 0.8. The x-axis is labeled 'ユーザー' (User). The right sidebar contains 'アクション' (Actions) such as 'スクリーンショットへエクスポート' and 'データシートへエクスポート', and 'メール通知' (Email Notifications) with a '状態オフ' (Status Off) button.

範囲名を入力します。SharePoint ツリーを Web アプリケーションまで展開し、対象の Web アプリケーションにチェックを入れ[保存]をクリックします。

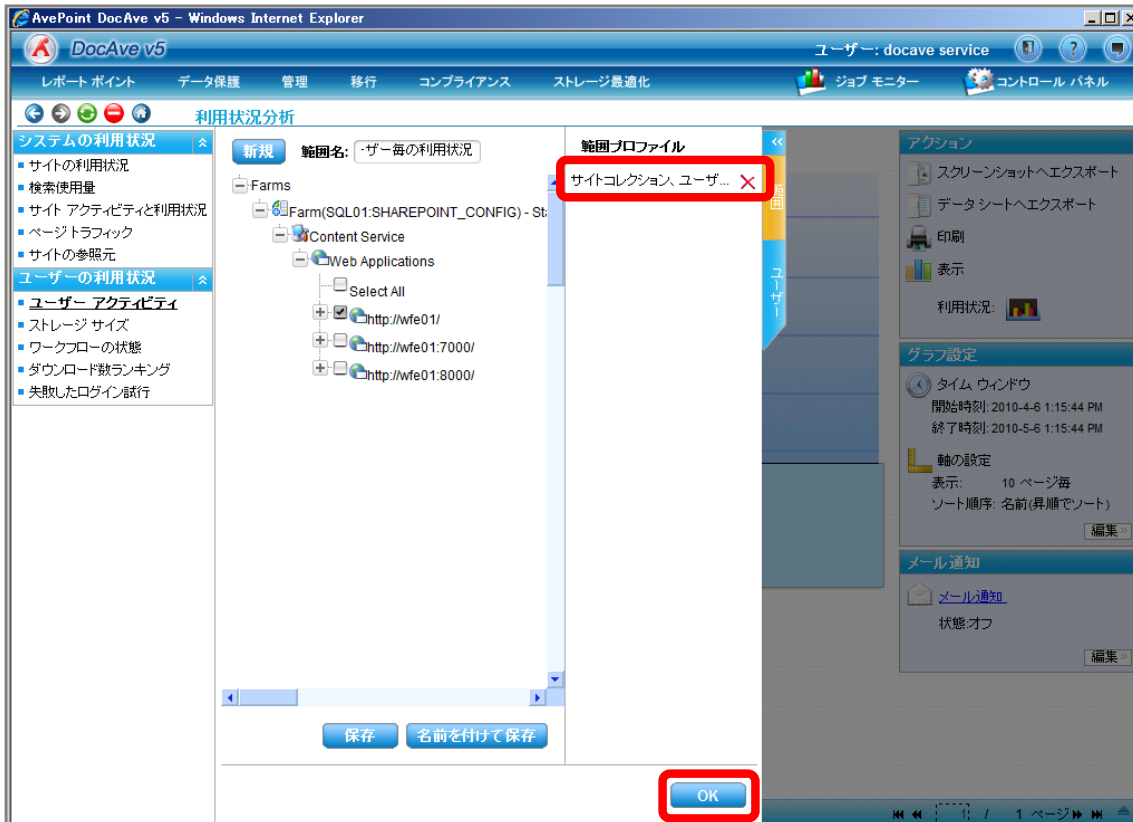


項目	説明	設定値
範囲名	設定をプロファイルとして保存します。今後再利用することが可能となります。	サイトコレクション、ユーザー毎の利用状況
SharePoint ツリー	SharePoint ツリーから利用状況を表示するオブジェクトを選択します。 [Farm]-[Farm(SQL01:SHAREPOINT_CONFIG)]-[Content Service]-[Web Applications]-[http://wfe01/]の順で展開します。	http://wfe01

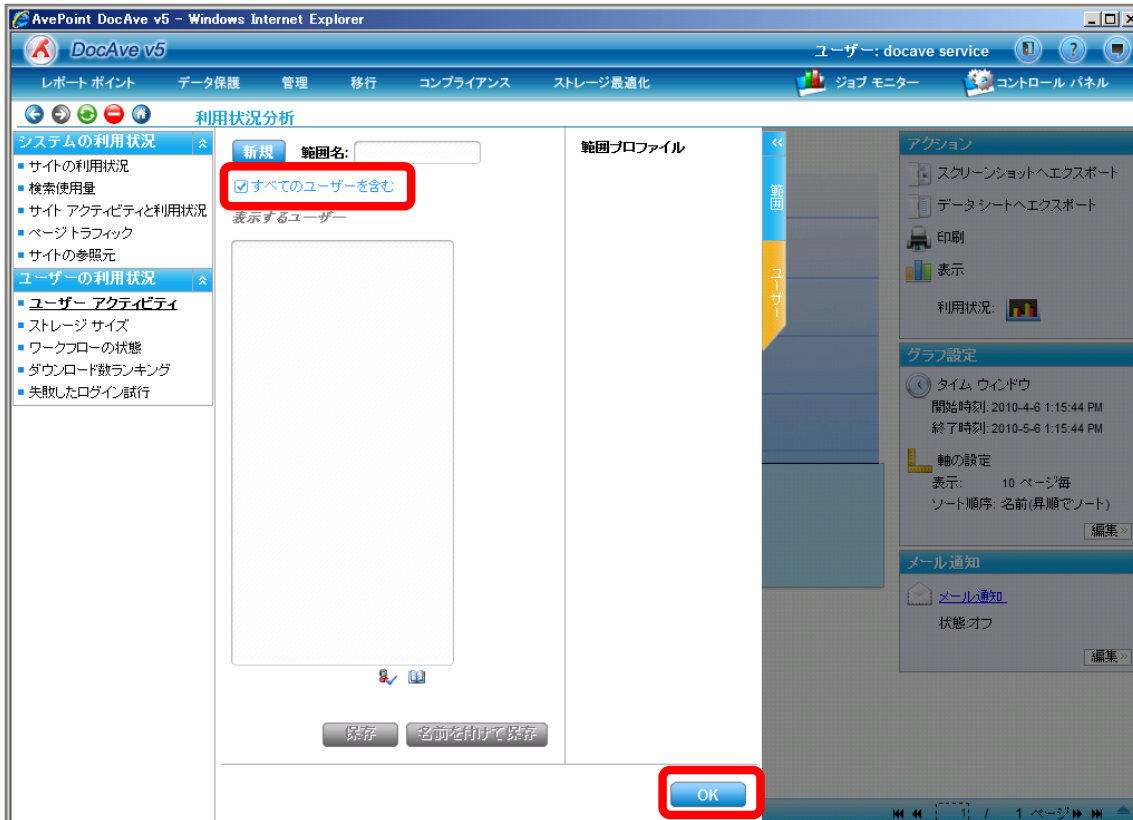
メッセージボックスが表示されるので[OK]をクリックします。



範囲プロファイル項目に「サイトコレクション、ユーザー毎の利用状況」が表示されたことを確認し、[OK]をクリックします。



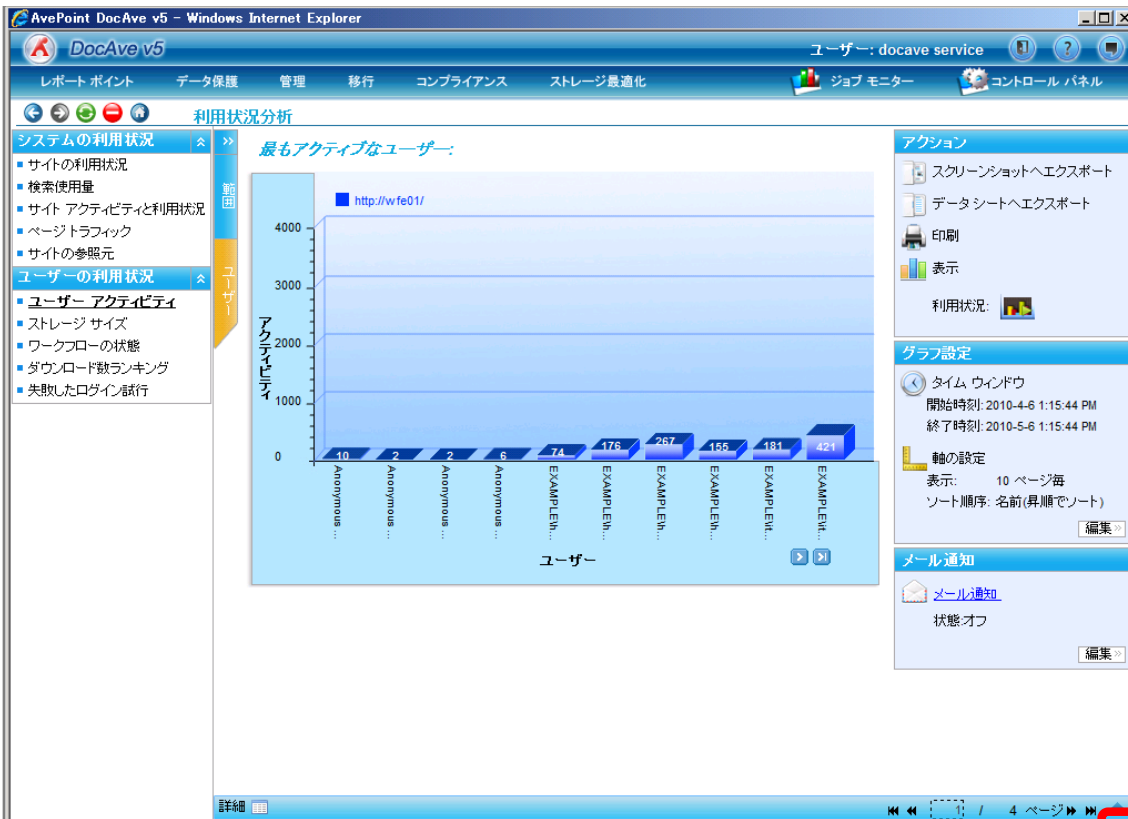
[ユーザー]タブに移動するので、「すべてのユーザーを含む」が有効化されていることを確認し[OK]をクリックします。



<memo>

[ユーザー]タブでは表示させるユーザーを指定することができます。設定方法は[すべてのユーザーを含む]を無効化し、[表示するユーザー]入力ボックスに対象のユーザーを入力します。

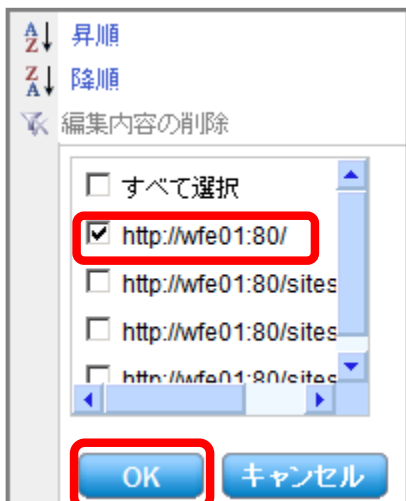
右ペインにユーザー毎のアクセス状況が表示されていることを確認します。[詳細]バーの▲をクリックします。



[サイトコレクション URL]列の▼をクリックします。

ユーザー	範囲	サイト コレクション URL	アクセス済み
Anonymous Access	http://wfe01:80	http://wfe01:80/	10
Anonymous Access	http://wfe01:80	http://wfe01:80/sites/projectA	2
Anonymous Access	http://wfe01:80	http://wfe01:80/sites/projectB	2
Anonymous Access	http://wfe01:80	http://wfe01:80/sites/test	6
EXAMPLE\hokada	http://wfe01:80	http://wfe01:80/	74
EXAMPLE\hokada	http://wfe01:80	http://wfe01:80/sites/projectB	176
EXAMPLE\hsuzuki	http://wfe01:80	http://wfe01:80/	267
EXAMPLE\hsuzuki	http://wfe01:80	http://wfe01:80/sites/projectA	155
EXAMPLE\itanaka	http://wfe01:80	http://wfe01:80/	181
EXAMPLE\itanaka	http://wfe01:80	http://wfe01:80/sites/projectA	421

Web アプリケーションに含まれるサイトコレクション URL が表示されるので、対象のサイトコレクション URL 以外のチェックボックスを無効化させ、[OK]をクリックします。

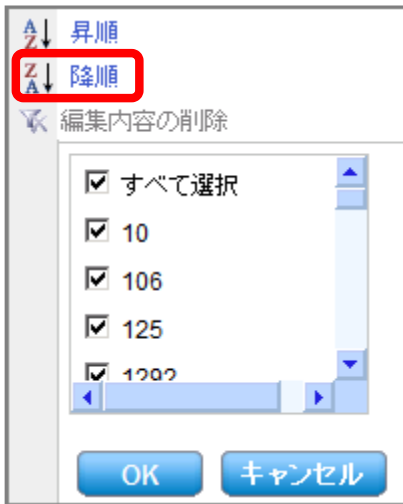


項目	説明	設定値
サイトコレクション URL 列チェックボックス	指定した Web アプリケーションに含まれる各サイトコレクション URL 名に対してチェックボックスが有効化されています。有効化されているサイトコレクションが表として表示されます。	http://wfe01:80/

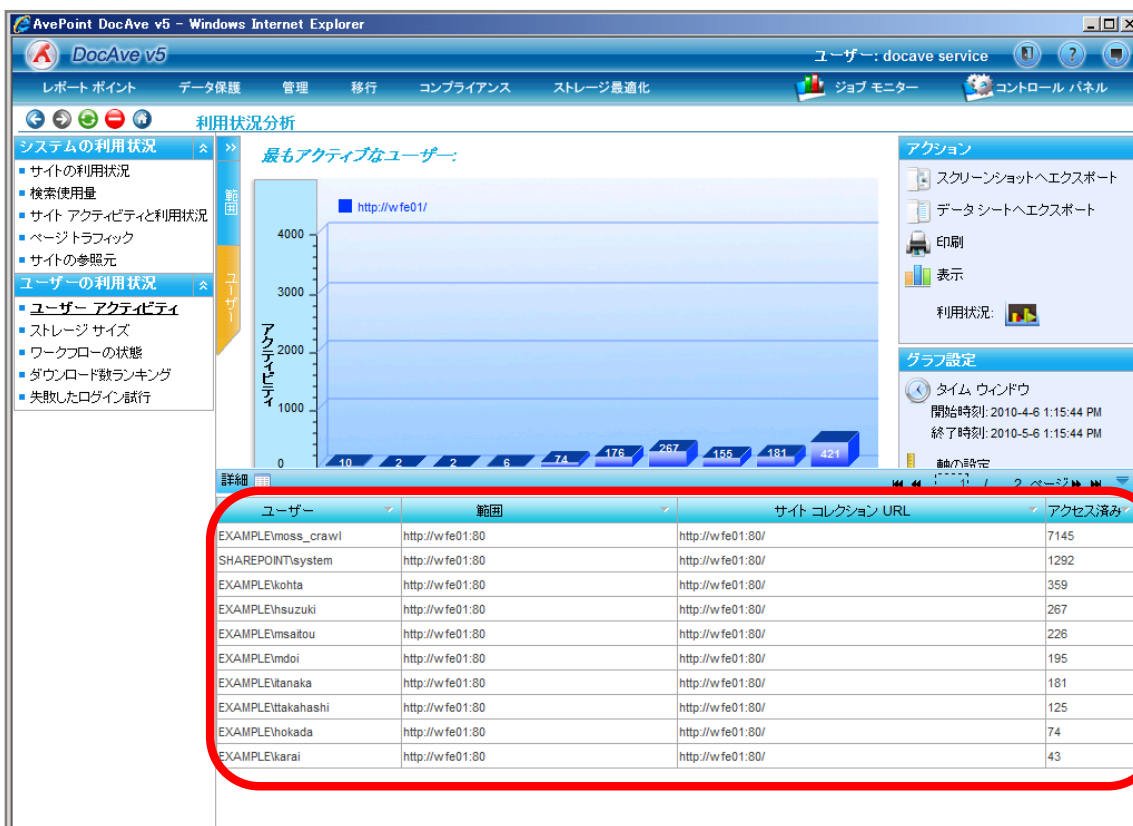
[アクセス済み]列の▼をクリックします。

ユーザー	範囲	サイト コレクション URL	アクセス済み
Anonymous Access	http://wfe01:80	http://wfe01:80/	10
EXAMPLE\hokada	http://wfe01:80	http://wfe01:80/	74
EXAMPLE\hsuzuki	http://wfe01:80	http://wfe01:80/	267
EXAMPLE\itanaka	http://wfe01:80	http://wfe01:80/	181
EXAMPLE\karai	http://wfe01:80	http://wfe01:80/	43
EXAMPLE\kohta	http://wfe01:80	http://wfe01:80/	359
EXAMPLE\mdoi	http://wfe01:80	http://wfe01:80/	195
EXAMPLE\moss_crawl	http://wfe01:80	http://wfe01:80/	7145
EXAMPLE\moss_service	http://wfe01:80	http://wfe01:80/	18
EXAMPLE\msaitou	http://wfe01:80	http://wfe01:80/	226

アクセス数が表示されるので、[降順]をクリックします。



特定のサイトコレクションの利用ユーザーがランキング表示されたことを確認します。



(6) 特定のオブジェクトのユーザー毎のストレージ使用量を把握したい

SharePoint 運用管理者の田中さんは、特定のサイトコレクション容量が肥大化していることを確認しました。容量削減のため肥大化したサイトコレクションにコンテンツを多数投稿しているユーザーを特定する必要があります。対象のサイトコレクションは以下の通りです。

確認対象

確認対象
全社ポータルサイト(http://wfe01/default.aspx)

必要なオペレーション

上記シナリオを達成するために、以下のオペレーションを行います。

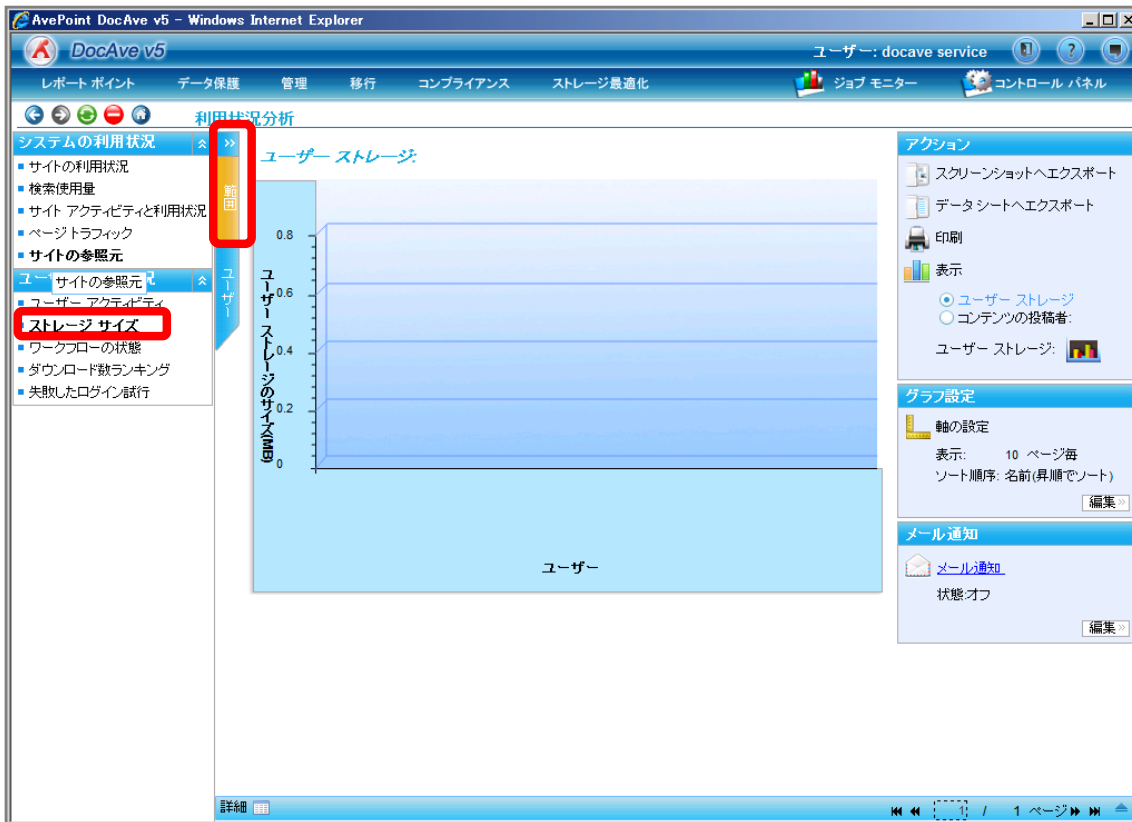
項番	操作	ソリューション	説明
1	特定サイトコレクションのユーザー毎のストレージ容量確認	DocAve レポートポイント	指定したサイトコレクションのユーザー毎の利用容量を消費量が多い順に表示させます。

操作手順

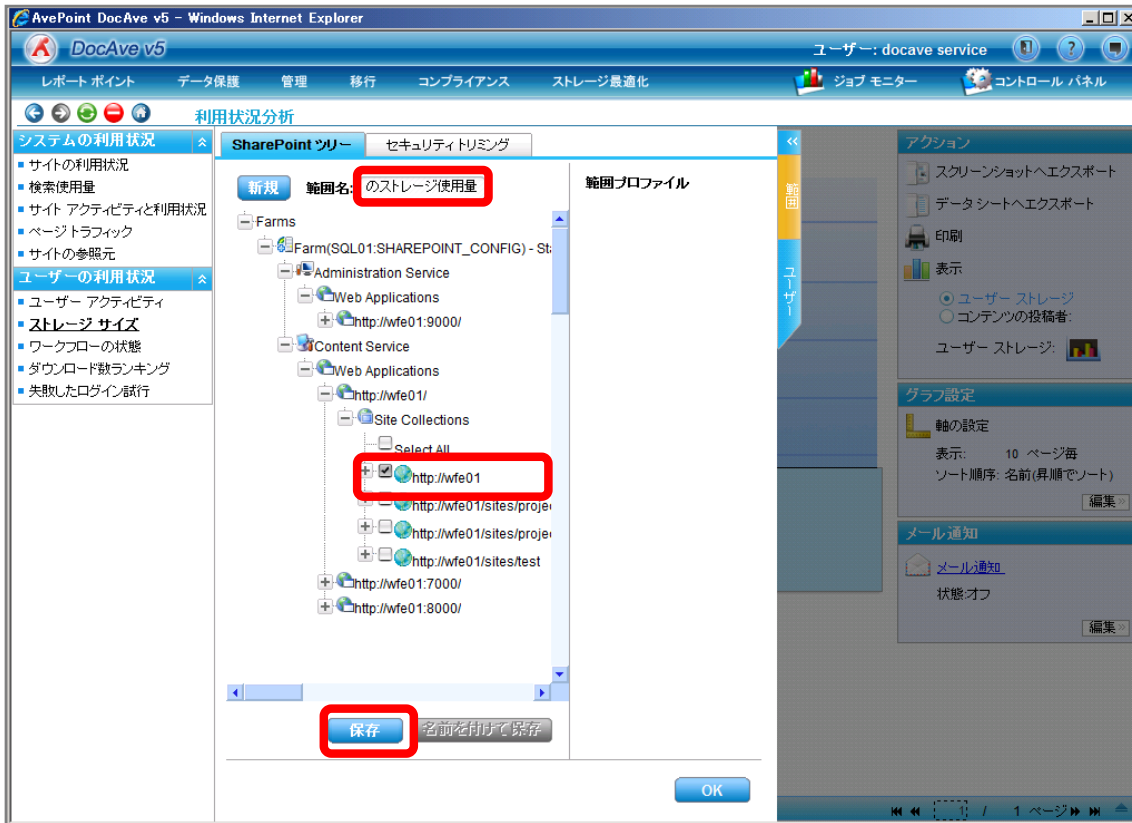
1. 管理コンソールより[レポートポイント]-[利用状況分析]を選択し、利用状況画面を開きます。



2. 左ペインから[ストレージサイズ]を選択し、右ペインの[範囲]タブをクリックします。

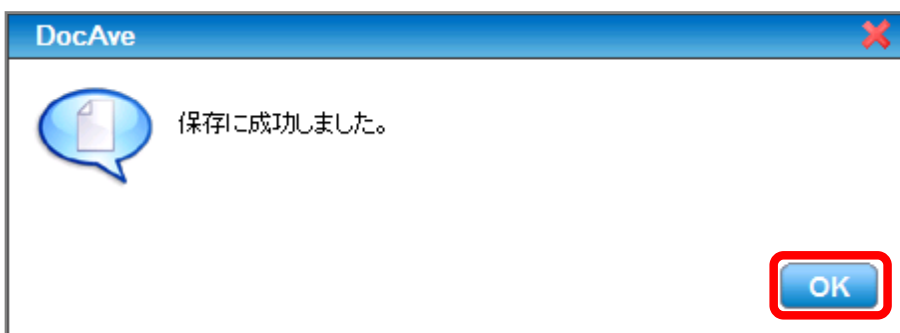


- 範囲名を入力します。SharePoint ツリーをサイトコレクションまで展開し、対象のサイトコレクションにチェックを入れ[保存]をクリックします。

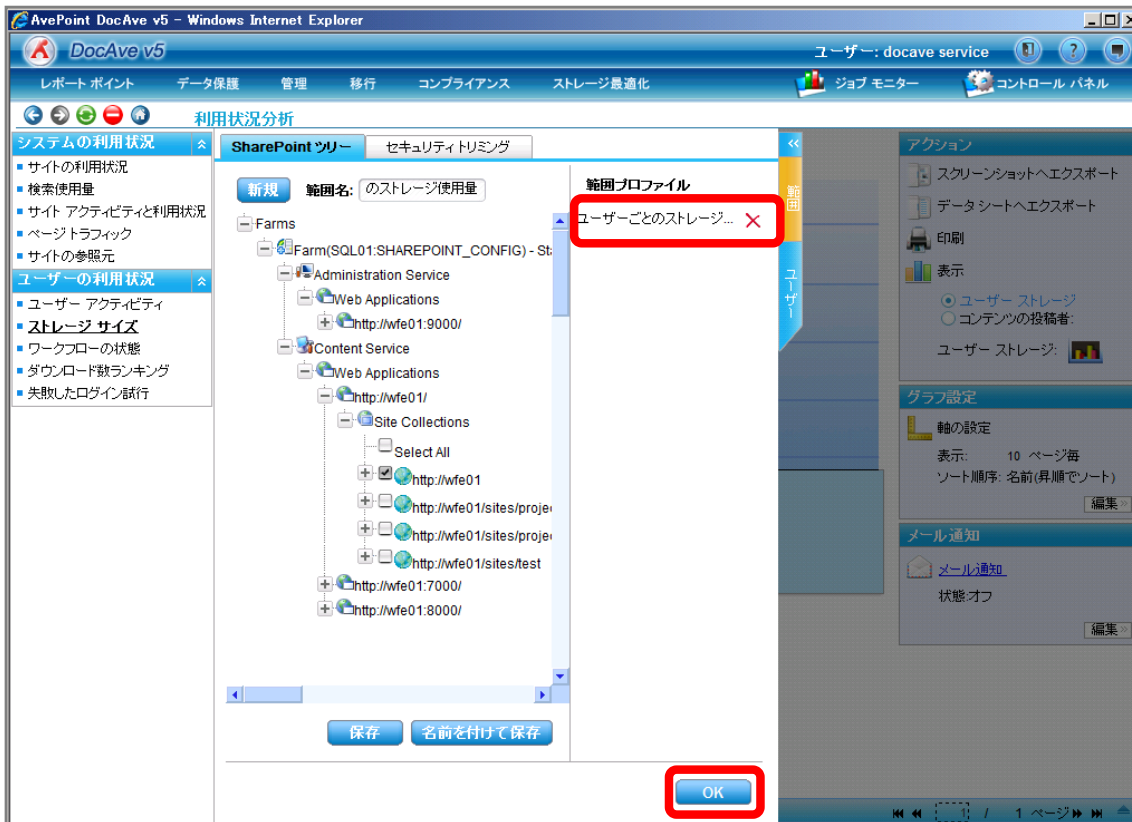


項目	説明	設定値
範囲名	設定をプロファイルとして保存します。今后再利用することが可能となります。	ユーザー毎のストレージ使用量
SharePoint ツリー	SharePoint ツリーからストレージ消費量を表示するオブジェクトを選択します。 [Farm]-[Farm(SQL01:SHAREPOINT_CONFIG)]-[Content Service]-[Web Applications]-[http://wfe01/]-[Site Collections]の順で展開します。	http://wfe01

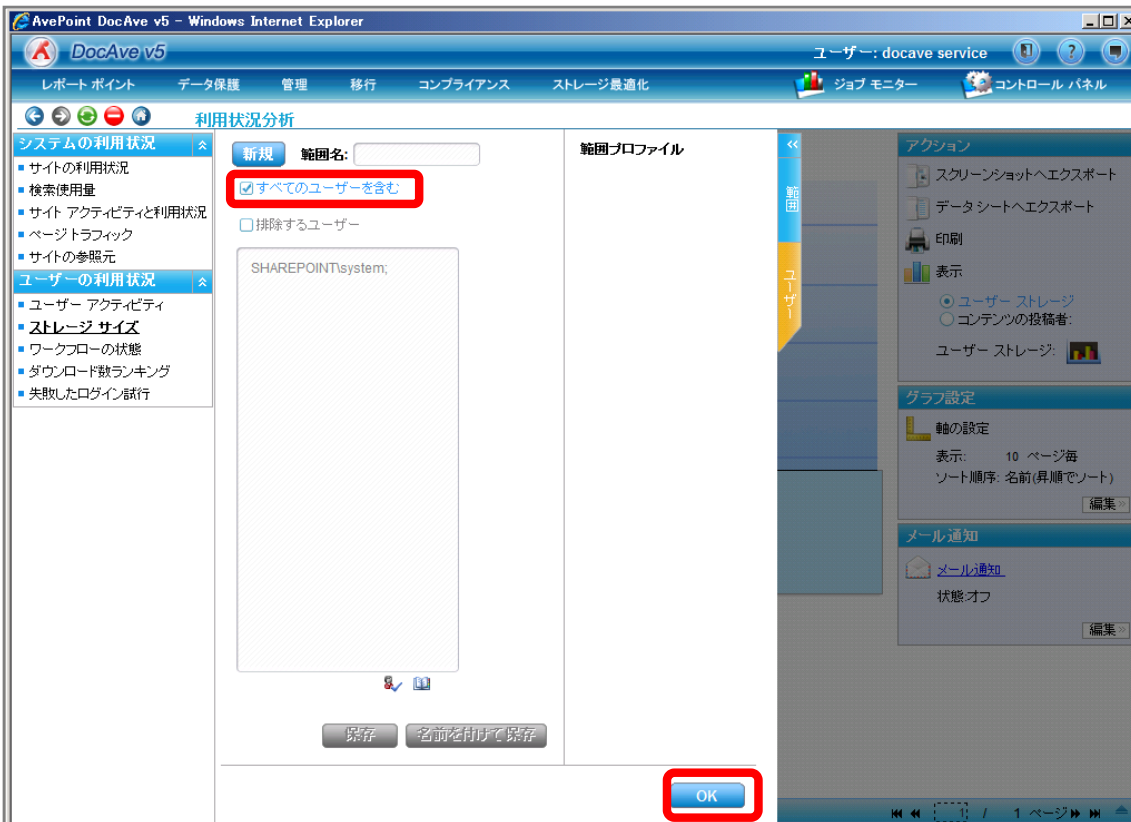
- メッセージボックスが表示されるので[OK]をクリックします。



5. 範囲プロファイル項目に「ユーザー毎のストレージ使用量」が表示されたことを確認し、[OK]をクリックします。



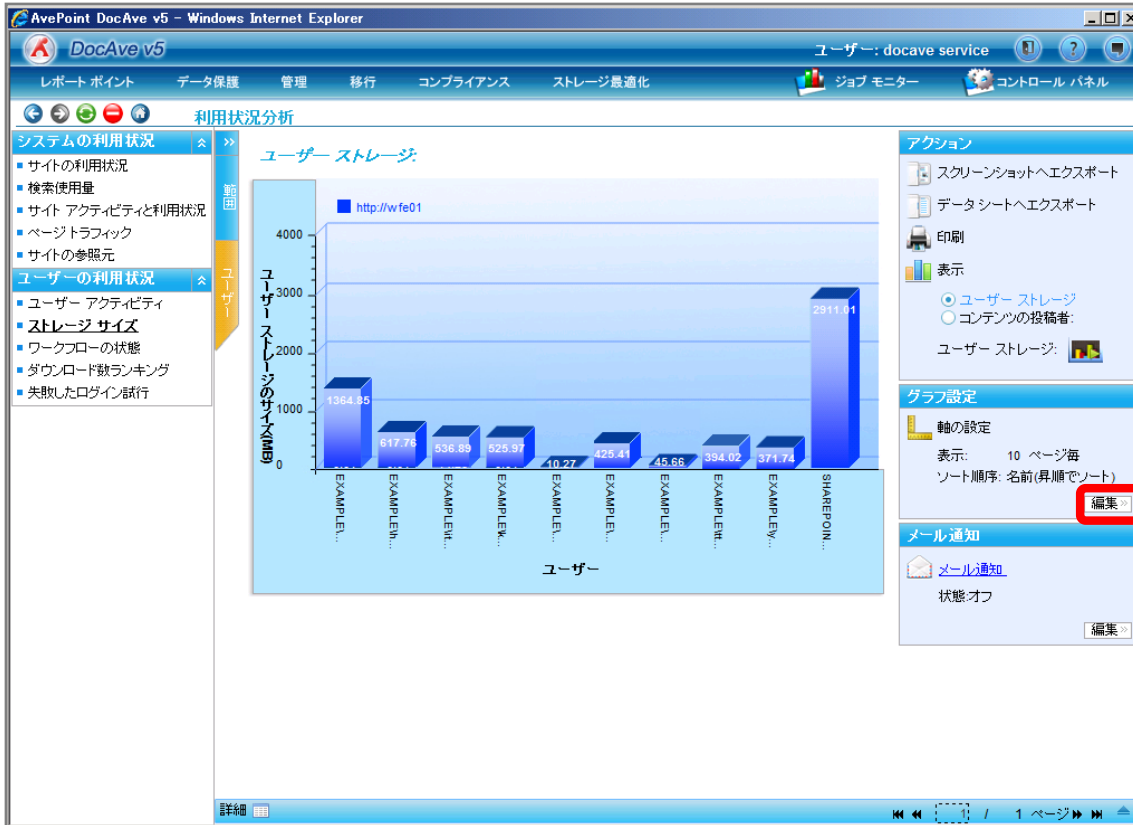
6. [ユーザー]タブに移動するので、[すべてのユーザーを含む]が有効化されていることを確認し[OK]をクリックします。



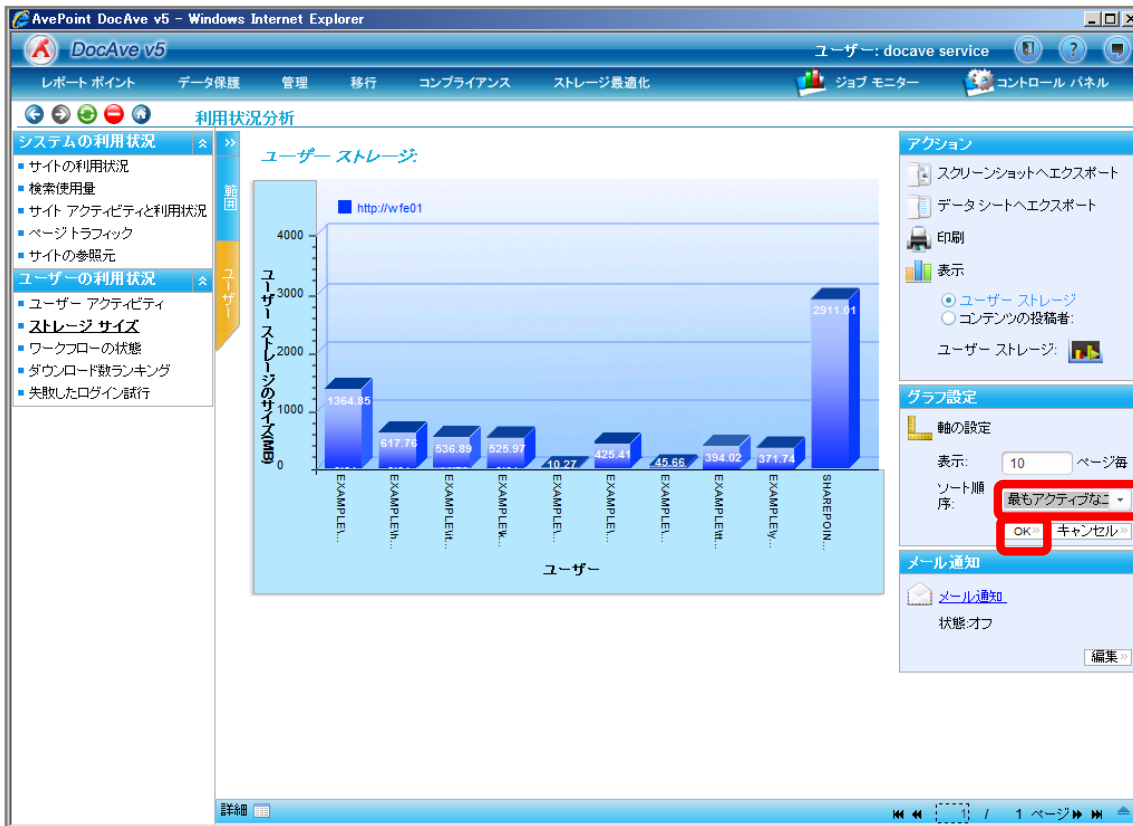
<memo>

[ユーザー]タブでは表示させるユーザーを指定することができます。特定のユーザーを排除する方法と特定のユーザーのみ表示させる2通りがあります。特定のユーザーを排除する設定方法は、[すべてのユーザーを含む]が有効化されている状態で[削除するユーザー]を有効化させ、入力ボックスに対象のユーザーを入力します。特定のユーザーのみ表示させる設定方法は[すべてのユーザーを含む]を無効化することで[削除するユーザー]が[表示するユーザー]に変更するので、入力ボックスに対象のユーザーを入力します。

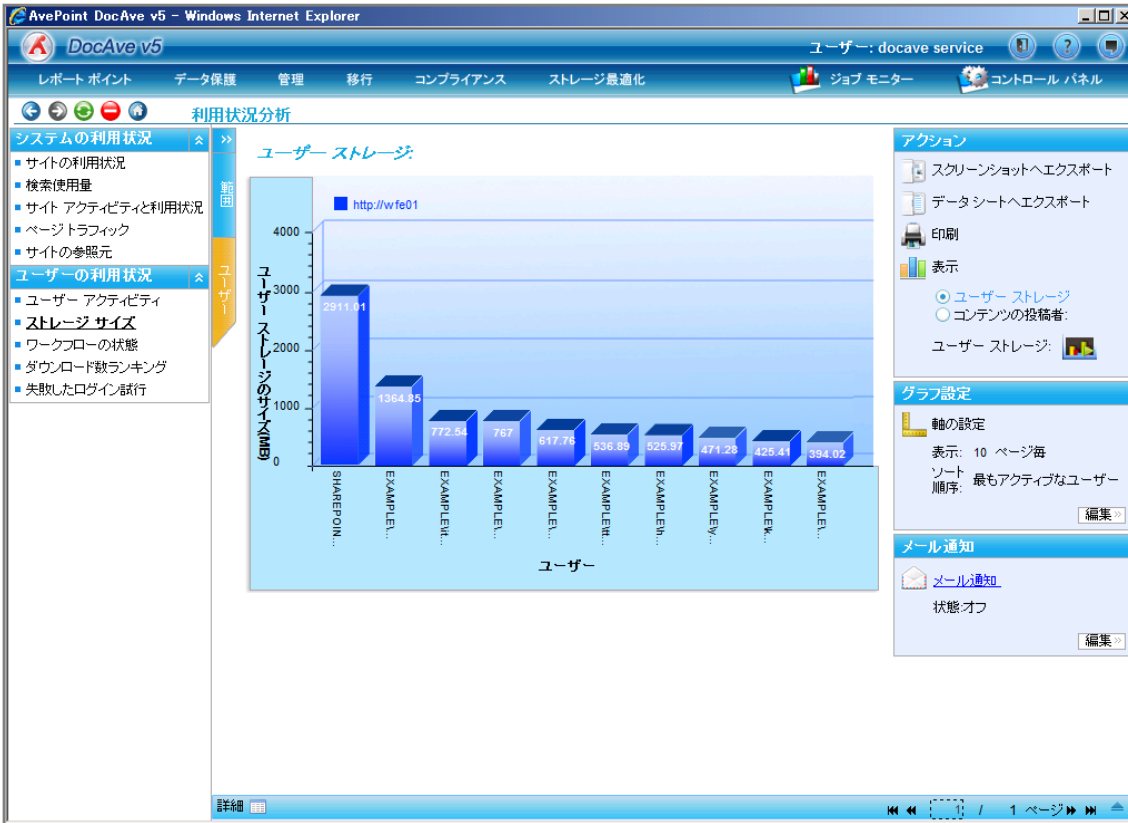
7. 右ペインにユーザー毎のストレージサイズが表示されていることを確認します。グラフ設定項目の[編集]をクリックします。



8. [ソート順序]を「最もアクティブなユーザー」に変更し、[OK]をクリックします。



9. ユーザーのストレージ消費量が降順に表示されたことを確認します。



(7) 特定のオブジェクトの通知設定数を把握したい

SharePoint 運用管理者の田中さんは、今後の通知機能利用促進もしくは通知によるパフォーマンス低下防止のため、ファーム内のどこに通知設定がされていてどんなユーザーが主に使用しているか把握する必要があります。通知設定の確認対象は以下の通りです。

確認対象

確認対象
ファーム (Farm(SQL01:SHAREPOINT_CONFIG)-Standalone Farm)

必要なオペレーション

上記シナリオを達成するために、以下のオペレーションを行います。

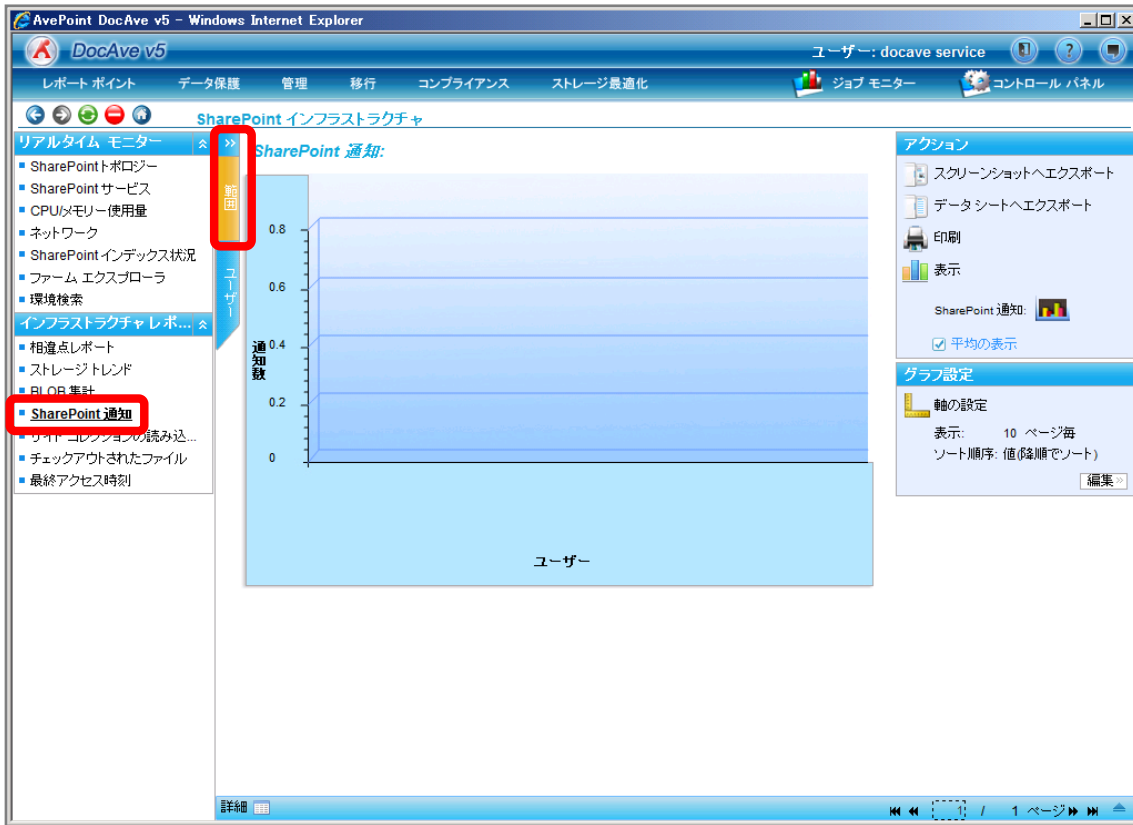
項番	操作	ソリューション	説明
1	SharePoint 環境等の情報収集	DocAve レポートポイント	レポートポイントの元情報となる SharePoint 環境等の情報を収集します。 ※こちらは事前作業「3-1-3 ストレージサイズやサイトコレクションの表示速度情報の取得」で実施しておきます。
2	通知設定の確認	DocAve レポートポイント	指定したファームに通知設定数をユーザー毎に表示させます。

操作手順

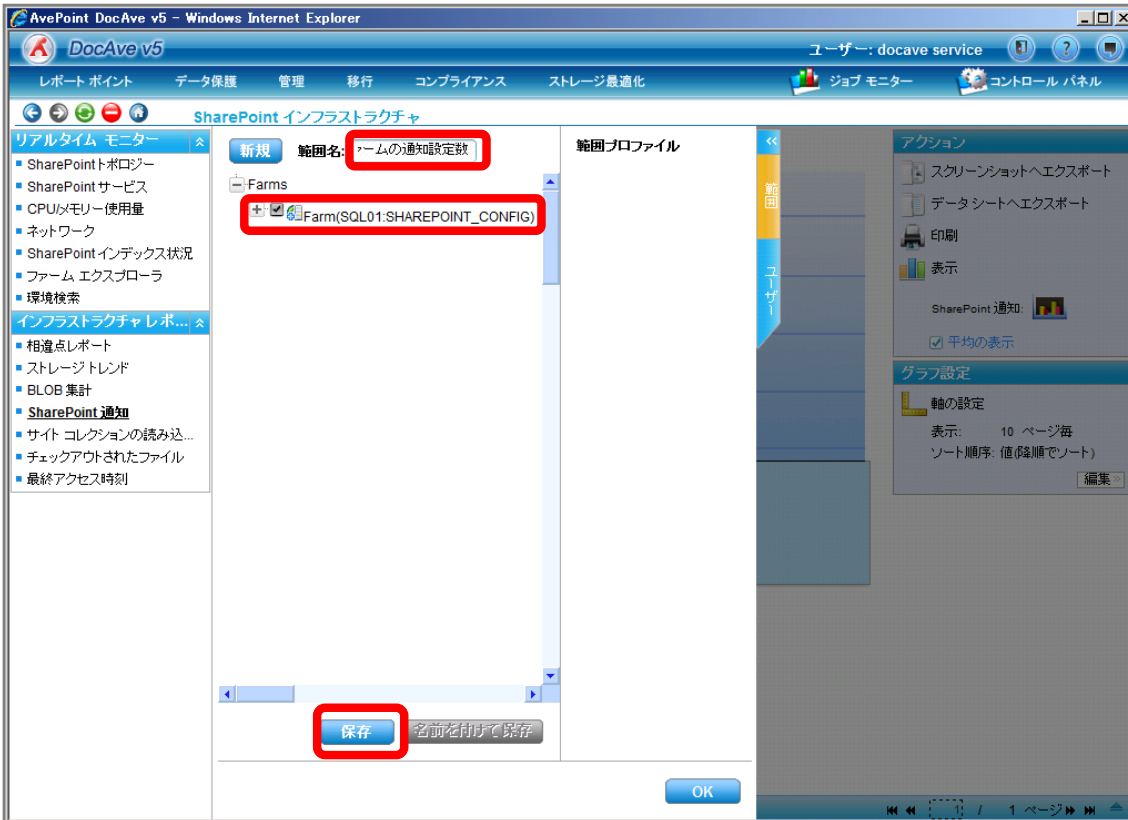
1. SharePoint 情報を収集します。操作手順は「3-1-3SharePoint 情報の取得」を参照してください。
2. 管理コンソールより[レポートポイント]-[SharePoint インフラストラクチャ]を選択し、SharePoint インフラストラクチャ画面を開きます。



3. 左ペインから[SharePoint 通知]を選択し、右ペインの[範囲]タブをクリックします。

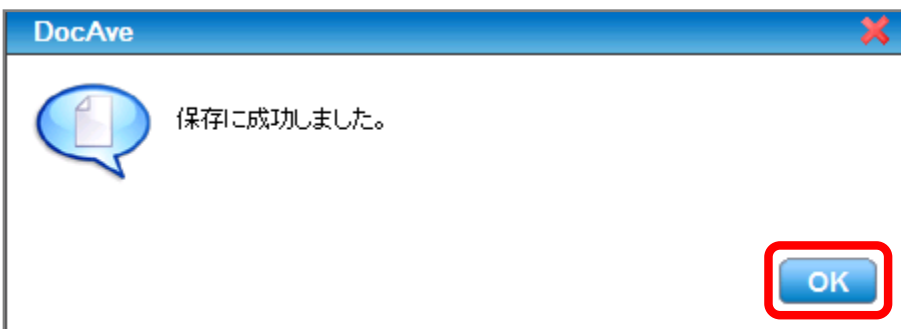


4. 範囲名を入力します。SharePoint ツリーをファームまで展開し、対象のファームにチェックを入れ[保存]をクリックします。

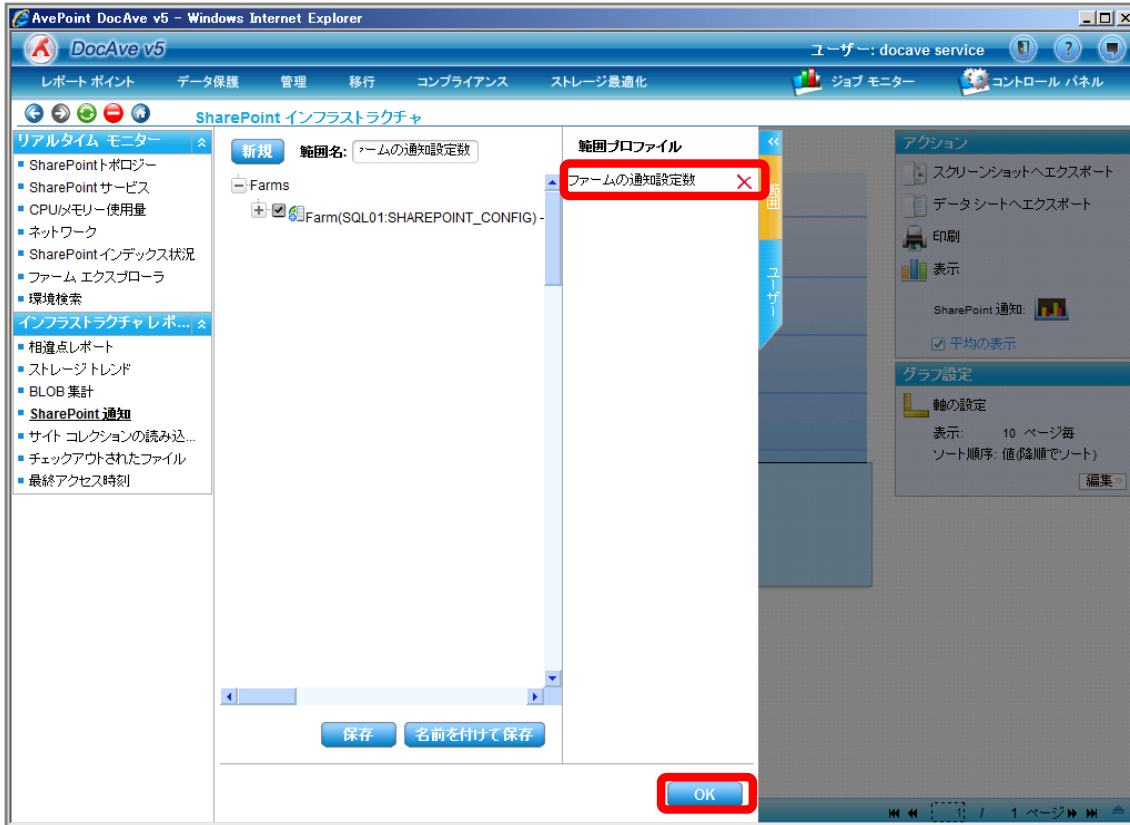


項目	説明	設定値
範囲名	設定をプロファイルとして保存します。今後再利用することが可能となります。	ファームの通知設定数
SharePoint ツリー	SharePoint ツリーから通知設定数を表示するオブジェクトを選択します。[Farm]をクリックし展開します。	Farm(SQL01:SHAREPOINT_CONFIG)-Standalone Farm

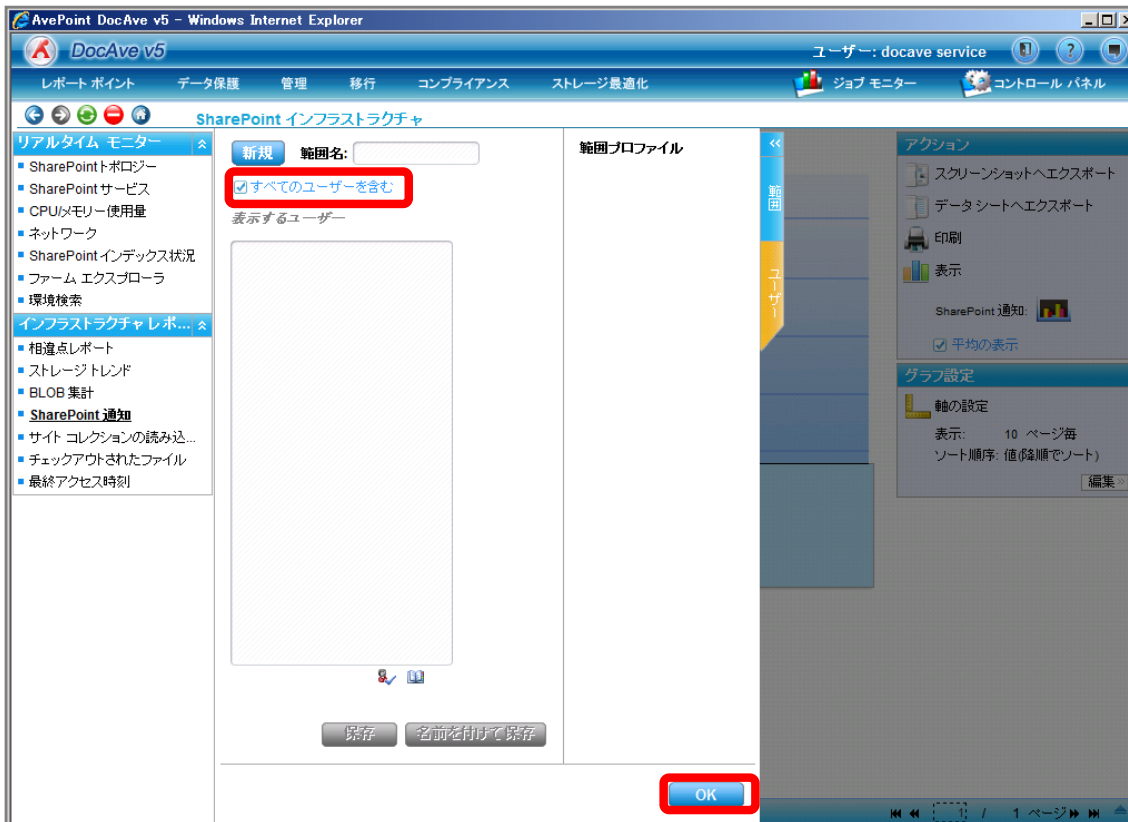
5. メッセージボックスが表示されるので[OK]をクリックします。



6. 範囲プロファイル項目に「ファームの通知設定数」が表示されたことを確認し、[OK]をクリックします。



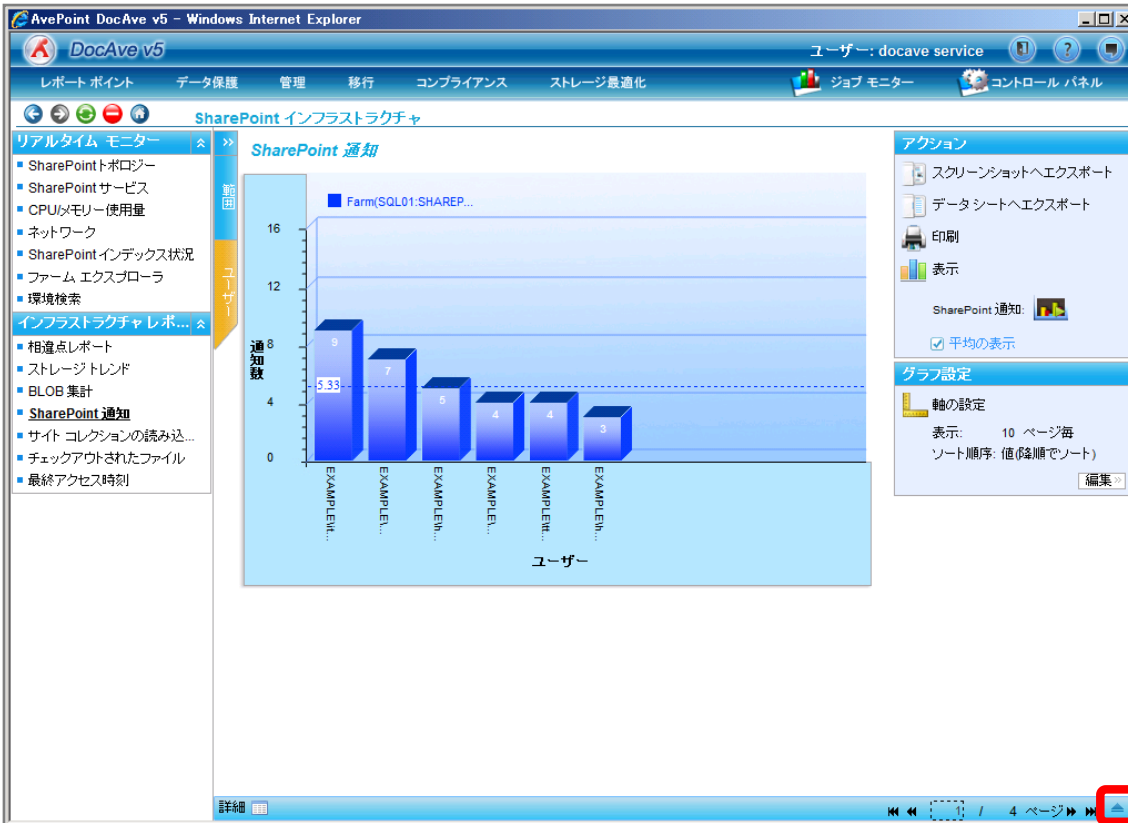
7. [ユーザー]タブに移動するので、[すべてのユーザーを含む]が有効化されていることを確認し [OK]をクリックします。



<memo>

[ユーザー]タブでは表示させるユーザーを指定することができます。設定方法は[すべてのユーザーを含む]を無効化し、[表示するユーザー]入力ボックスに対象のユーザーを入力します。

8. 右ペインにユーザー毎の通知設定数が表示されていることを確認します。[詳細]バーの▲をクリックします。



9. 通知設定がされている場所や頻度を確認します。

The screenshot shows the 'SharePoint 通知' (SharePoint Notifications) section with a table of notification settings. A red box highlights the table area. The table has columns for '通知タイトル' (Notification Title), '展開先' (Distribution List), '場所' (Location), '頻度' (Frequency), and 'ユーザー' (User).

通知タイトル	展開先	場所	頻度	ユーザー
全社通達	リストライブラリ レベル	http://w fe01/L/Lists/Announcements	日間	EXAMPLEmsai...
全社通達	リストライブラリ レベル	http://w fe01/L/Lists/Announcements	日間	EXAMPLEhsu...
全社通達	リストライブラリ レベル	http://w fe01/L/Lists/Announcements	日間	EXAMPLEhok...
お知らせ	リストライブラリ レベル	http://w fe01/HR/Lists/Announcements	日間	EXAMPLEmdoi...
お知らせ	リストライブラリ レベル	http://w fe01/HR/Lists/Announcements	日間	EXAMPLEmsai...
お知らせ	リストライブラリ レベル	http://w fe01/GA/Lists/Announcements	日間	EXAMPLEhsu...
お知らせ	リストライブラリ レベル	http://w fe01/GA/Lists/Announcements	日間	EXAMPLEttak...
全社イベント	リストライブラリ レベル	http://w fe01/L/Lists/Calendar	日間	EXAMPLEmdoi...
全社イベント	リストライブラリ レベル	http://w fe01/L/Lists/Calendar	日間	EXAMPLEmsai...
全社イベント	リストライブラリ レベル	http://w fe01/L/Lists/Calendar	日間	EXAMPLEhsu...

(8) SharePoint サイト上でサイト管理者に利用状況データを公開したい

SharePoint 運用管理者の田中さんは、各サイトコレクションのサイト管理者に自身が管理しているサイトコレクションの利用状況データを公開したいと考えています。他のサイトコレクションの利用状況は閲覧させたくありません。確認対象は以下の通りです。

<memo>

サイトの利用状況以外にも DocAve レポートポイントで確認できる機能の一部を ReportCenter サイトで確認できます。ただし、セキュリティ設定を行っている場合には、サイトコレクション以上の単位で表示される機能は利用できなくなります。また、セキュリティ設定を行わない場合には DocAve レポートポイントで作成したすべてのプロファイルが選択できるようになります。

確認対象

確認対象
全社ポータルサイト(http://wfe01/default.aspx)

必要なオペレーション

上記シナリオを達成するために、以下のオペレーションを行います。

項番	操作	ソリューション	説明
1	監査データ収集	DocAve 監査マネージャー	レポートポイントの元情報となる監査ログを収集します。 ※こちらは事前作業「3-1-1 監査データの取得」で実施しておきます。
2	セキュリティ設定の有効化	DocAve レポートポイント	Report Center サイトのセキュリティ設定を有効化させます。
3	Report Center テンプレートからサイトの作成	SharePoint	サイトコレクションに Report Center テンプレートを用いてサブサイトを作成します。
4	Report Center サイトからの利用状況閲覧	DocAve レポートポイント	作成したサブサイトからサイトの利用状況を確認します。

操作手順

1. SharePoint に格納されている監査ログを収集します。操作手順は「3-1-1 監査データの取得」を参照してください。
管理コンソールより[レポートポイント]-[レポート管理]を選択し、レポート管理画面を開きます。

AvePoint DocAve v5 - Windows Internet Explorer

DocAve v5 ユーザー: docave service

レポートポイント データ保護 管理 移行 コンプライアンス ストレージ最適化 ジョブ モニター コントロール パネル

SharePointインフラ トラックチャ DocAve レポート レポート管理

DocAveへようこそ:
DocAve は Microsoft® SharePoint 製品およびテクノロジーにおいて、業界最先端の統合インフラ管理ソリューションを提供します。

はじめに:
DocAve では SharePoint 管理における以下の要素をサポートしています。

- レポート
- データ保護
- 管理
- 移行
- コンプライアンス
- ストレージ最適化

モジュールの詳細画面を確認するには、本画面上部の各ナビゲーション ボタンをクリックしてください。

DocAve へのログイン時に表示される既定ホームページを設定するには、 ボタンをクリックしてください。

GUI 操作中に F1 ボタンをクリックするとユーザー ガイドが表示されます。ユーザー ガイドの PDF 版を参照するには [こちら](#) をクリックしてください。最新のユーザー ガイドについては弊社 Web サイトからダウンロードすることを推奨しています。(下記「リソース」項目のリンク参照)

リソース:

- 最新パッチおよび製品リリース情報については、[DocAve 製品サポート](#) ページを参照してください。自動的に更新を受信するには、[DocAve のコピーを登録](#) していることを確認してください。
- SharePoint 導入に関するベスト プラクティス、ホワイト ペーパー、およびその他のリソースについては [AvePoint リソース](#) ページを参照してください。
- お使いの DocAve システムに関するクイックスタート ガイド、ユーザーガイド、およびその他のインフラ関連情報については [AvePoint ユーザー ガイド](#) ページを参照してください。

バックアップ & リカバリー

- 管理
- 展開と複製
- ストレージ最適化
- テストとレポート
- アーカイブとコンプライアンス
- SharePoint への移行

クイック リンク:

- エージェント モニター
- マネージャー モニター
- システムリカバリー対応バックアップ設定
- ライセンス管理

今日のワンポイント:

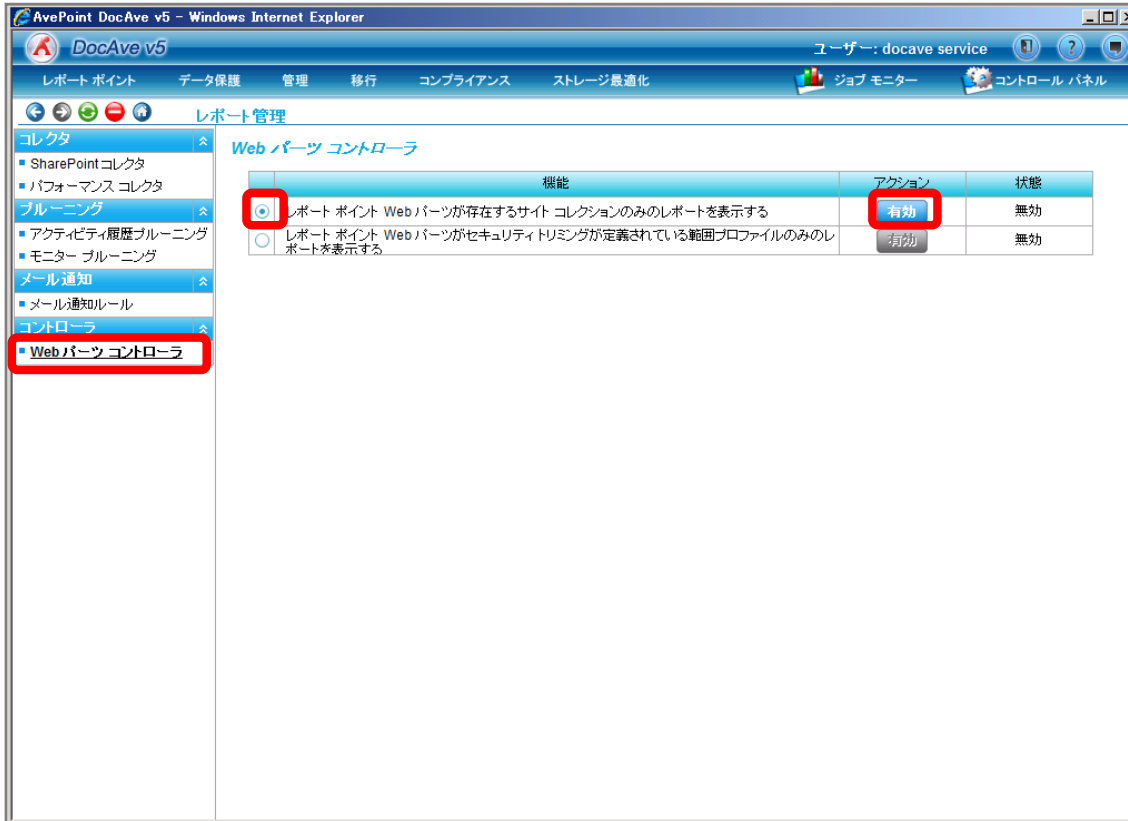
1. **DocAve 管理センターを使用して、ユーザー側で権限をコピーする方法をご存知ですか?**

製品: 管理-管理センター

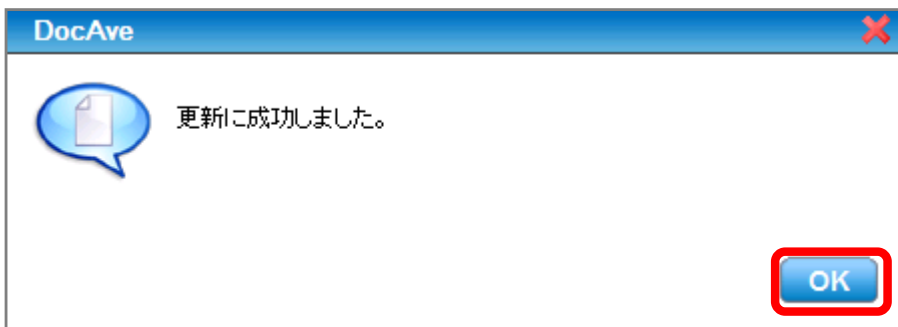
手順: 1. [管理センター]-[全体管理]の順に移動します。
2. SharePoint ツリーから SharePoint オブジェクトを選択し、右側の [セキュリティ センター] タブから [ユーザー権限のクローン作成] を選択します。
3. 選択したすべてのオブジェクトに対してユーザー権限のクローン作成をするには、この手順を繰り返します。

前へ 次へ

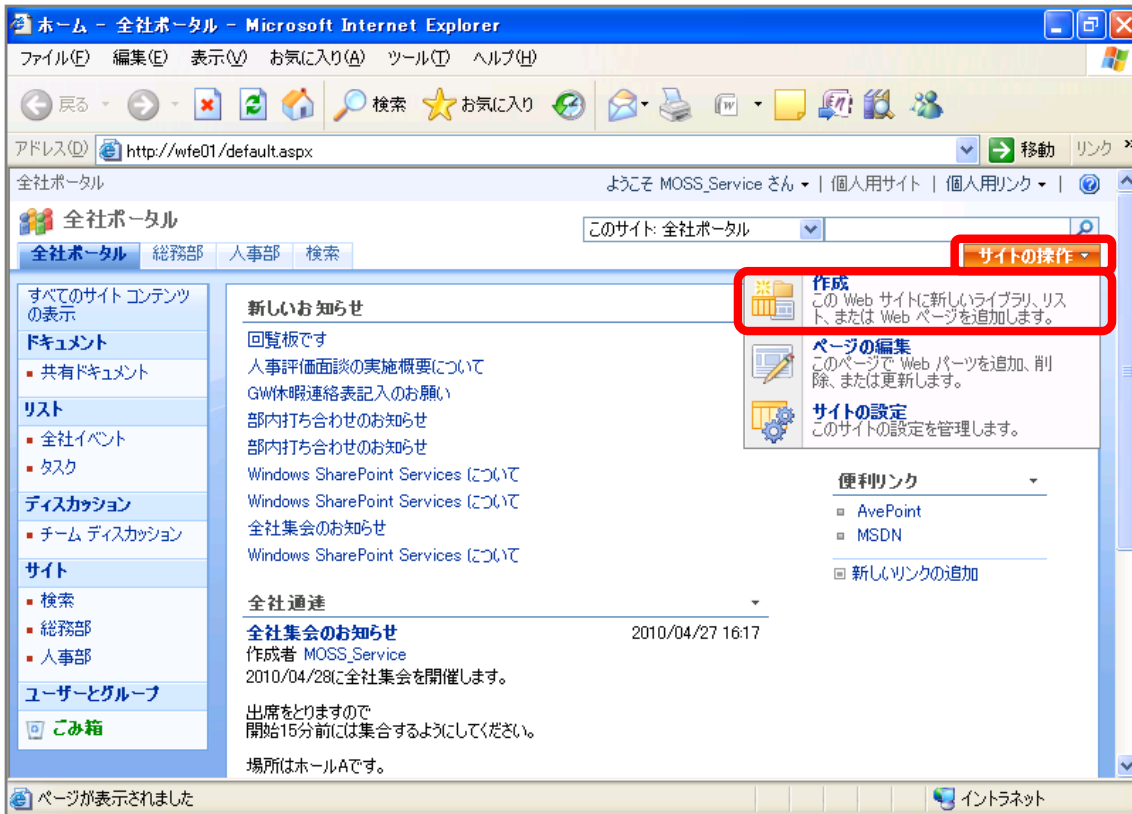
[Web パーツコントローラ]をクリックします。[レポートポイント Web パーツが存在するサイトコレクションのみレポートを表示する]を有効化させ、[有効]をクリックします。



メッセージボックスが表示されるので、[OK]をクリックします。

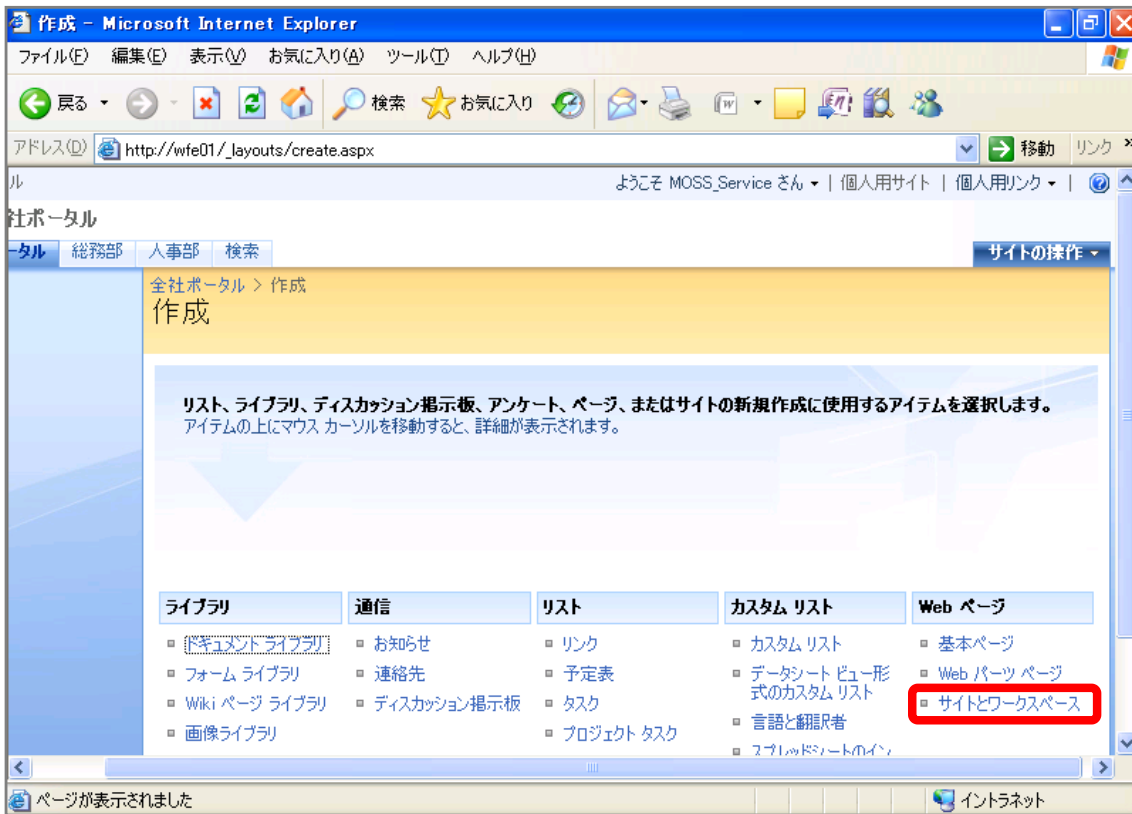


「**全社ポータルサイト**」へアクセスし、[サイトの操作]-[作成]をクリックします。

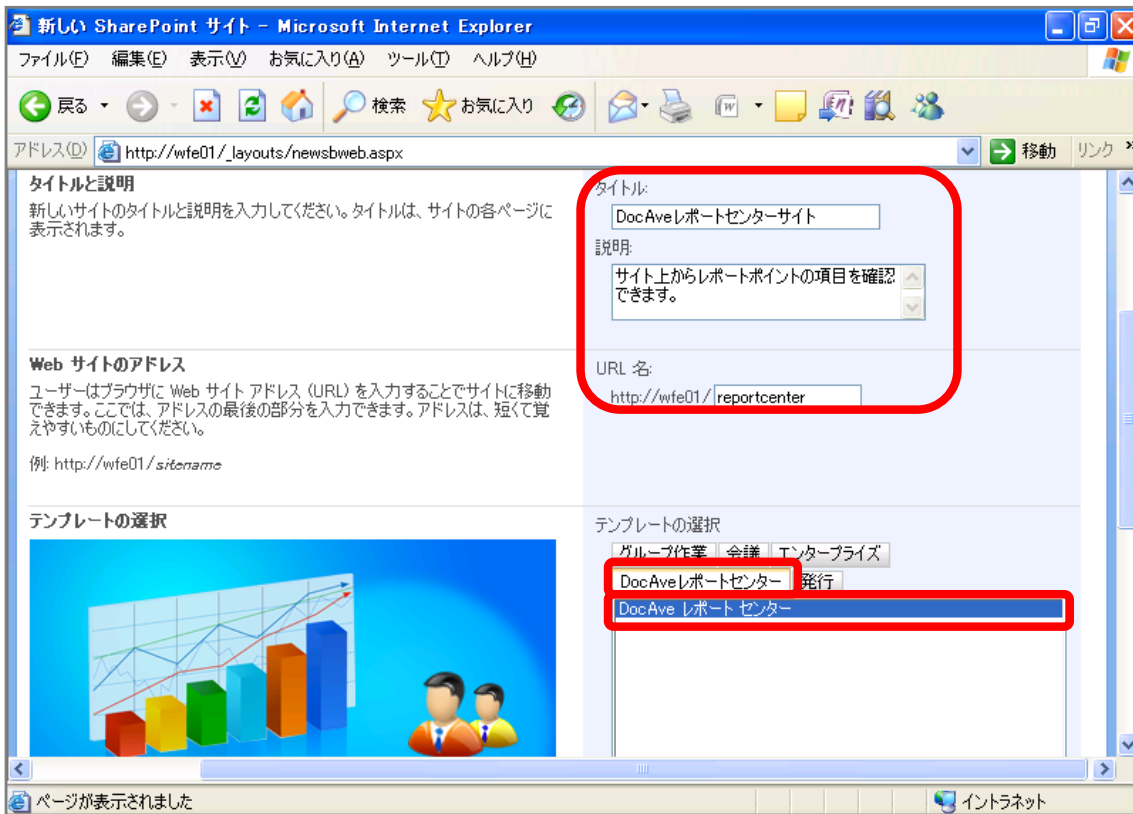


項目	説明	設定値
Report Center サイト 作成対象	Report Center サイトを作成するサイトコレクションへアクセスします。	http://wfe01/default.aspx

Web ページカテゴリの[サイトとワークスペース]をクリックします。

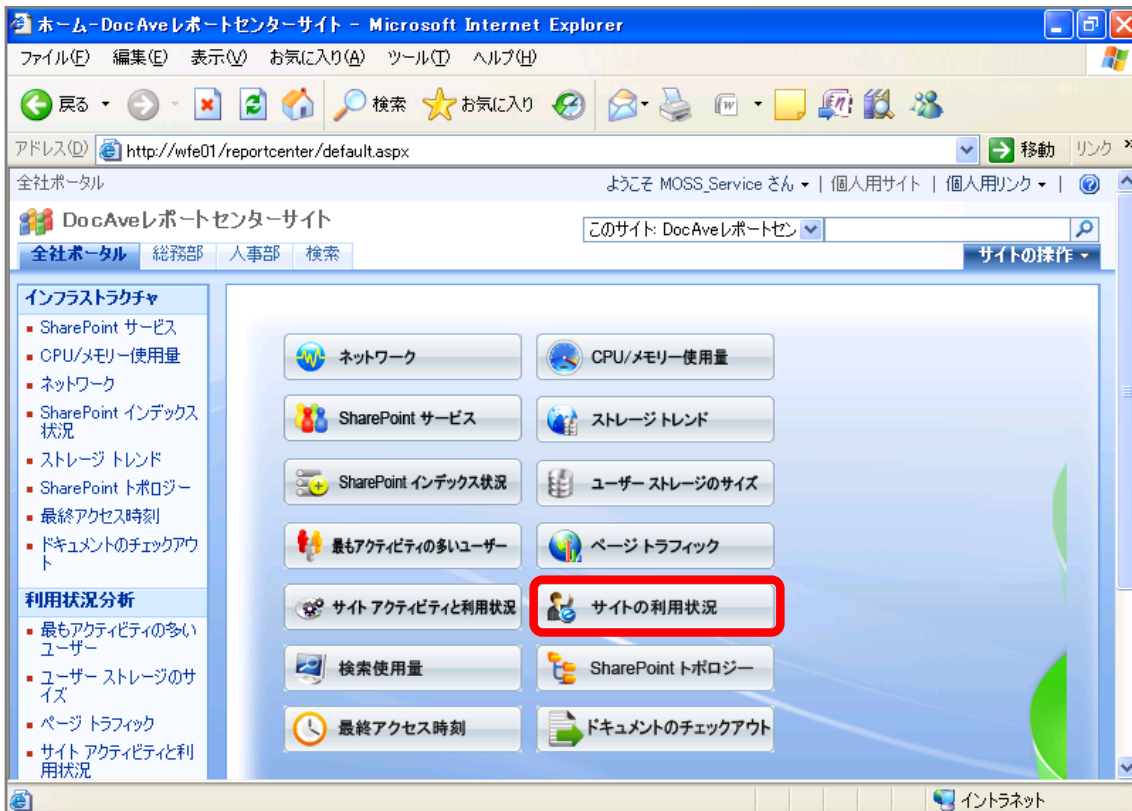


作成するサイトに対して以下の設定を行います。記載してある設定値以外を既定値とし、[作成]をクリックします。

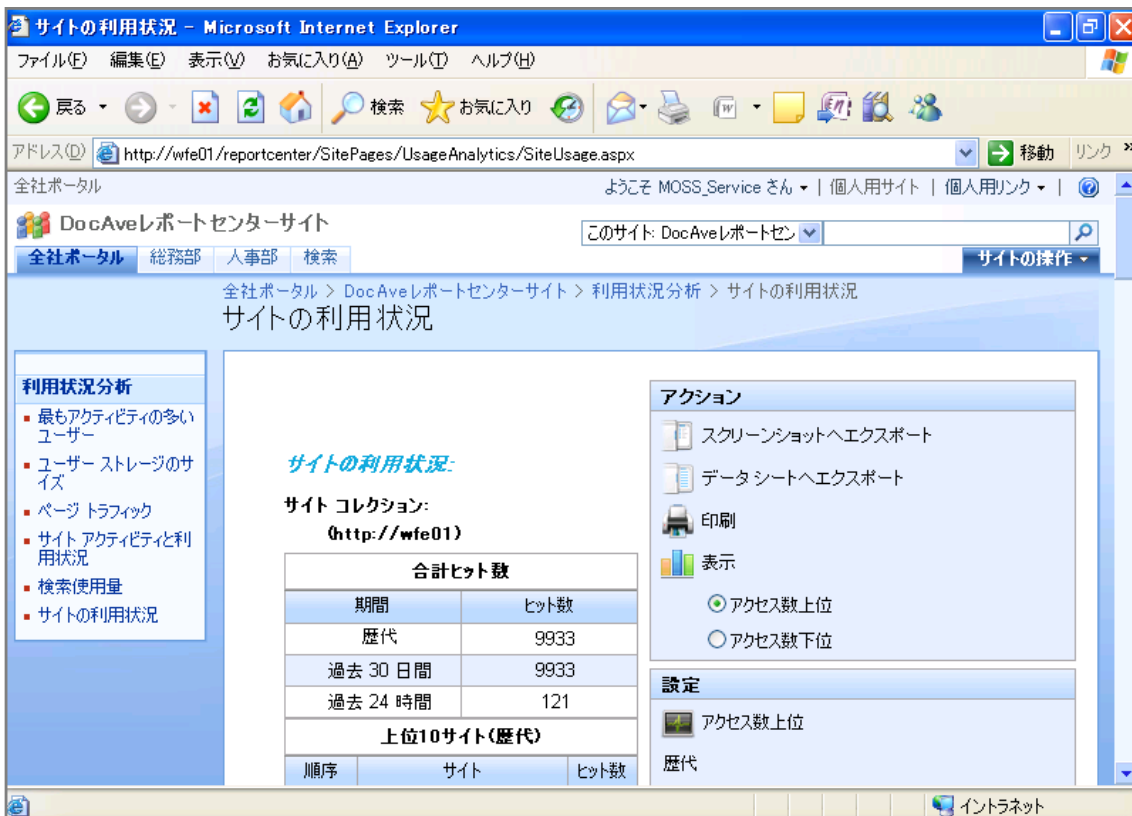


項目	説明	設定値
タイトル	新しいサイトのタイトルを入力します。	DocAve レポートセンターサイト
説明	新しいサイトの説明を入力します。入力は必須ではありません。	サイト上からレポートポイントの項目を確認できます。
Web サイトのアドレス	新しいサイトの URL を入力します。	http://wfe01/sites/reportcenter
テンプレートの選択	新しいサイトのテンプレートを選択します。DocAve レポートポイントをインストールすることにより、DocAve レポートセンタータブが追加されています。	DocAve レポートセンター

サブサイトの Web パーツページから[サイトの利用状況]をクリックします。



「全社ポータルサイト」のみの利用状況が表示されることを確認します。



<memo>

管理者用サイトとして ReportCenter サイトを用意し各サイトコレクション管理者にのみ表示する場合には、各プロフィールに権限を与えることで実施することが出来ます。ただし、サイトコレクション以上の単位で設定される項目は表示されません。また、セキュリティリミング機能を持たない項目は全てのユーザーに表示されてしまいます。セキュリティリミング機能を持つ項目は、「ストレージトレンド」/「サイトアクティビティと使用状況」/「ストレージサイズ」のみとなります。設定方法は以下の手順になります。

必要なオペレーション

項番	操作	ソリューション	説明
1	監査データ収集	DocAve 監査マネージャー	レポートポイントの元情報となる監査ログを収集します。 ※こちらは事前作業「3-1-1 監査データの取得」で実施しておきます。
2	セキュリティ設定の有効化	DocAve レポートポイント	Report Center サイトのセキュリティ設定を有効化させます。
3	プロフィールの作成とセキュリティ設定	DocAve レポートポイント	サイトアクティビティと利用状況のプロファイルを作成し、セキュリティ設定を行います。
4	Report Center テンプレートからサイトの作成	SharePoint	サイトコレクションに Report Center テンプレートを用いてサブサイトを作成します。 ※こちらは「(8) SharePoint サイト上でサイト管理者に利用状況データを公開したい」の手順と一部重複するため、重複する手順は簡略化させていただきます。
5	Report Center サイトからの利用状況閲覧	DocAve レポートポイント	作成したサブサイトからサイトアクティビティと利用状況を確認します。

操作手順

1. SharePoint に格納されている監査ログを収集します。操作手順は「3-1-1 監査データの取得」を参照してください。
2. 管理コンソールより[レポートポイント]-[レポート管理]を選択し、レポート管理画面を開きます。

AvePoint DocAve v5 - Windows Internet Explorer

DocAve v5 ユーザー: docave service

レポートポイント データ保護 管理 移行 コンプライアンス ストレージ最適化

SharePoint-インフラストラクチャ 利用状況分析 DocAve レポート レポート管理

DocAveへようこそ:
DocAve は Microsoft® SharePoint 製品およびテクノロジーにおいて、業界最先端の統合インフラ管理ソリューションを提供します。

はじめに:
DocAve では SharePoint 管理における以下の要素をサポートしています。

- レポート
- データ保護
- 管理
- 移行
- コンプライアンス
- ストレージ最適化

モジュールの詳細画面を確認するには、本画面上部の各ナビゲーション ボタンをクリックしてください。

DocAve へのログイン時に表示される既定ホームページを設定するには、🔍 ボタンをクリックしてください。

GUI 操作中に F1 ボタンをクリックするとユーザー ガイドが表示されます。ユーザー ガイドの PDF 版を参照するには [こちら](#) をクリックしてください。最新のユーザー ガイドについては弊社 Web サイトからダウンロードすることを推奨しています。(下記“リソース”項目のリンク参照)

リソース:
→ 最新パッチおよび製品リリース情報については、[DocAve 製品サポート](#) ページを参照してください。自動的に更新を受信するには、[DocAve のコピーを登録](#) していることを確認してください。

→ SharePoint 導入に関するベスト プラクティス、ホワイト ペーパー、およびその他のリソースについては [AvePoint リソース](#) ページを参照してください。

→ お使いの DocAve システムに関するクイックスタート ガイド、ユーザーガイド、およびその他のインフラ関連情報については [AvePoint ユーザーガイド](#) ページを参照してください。

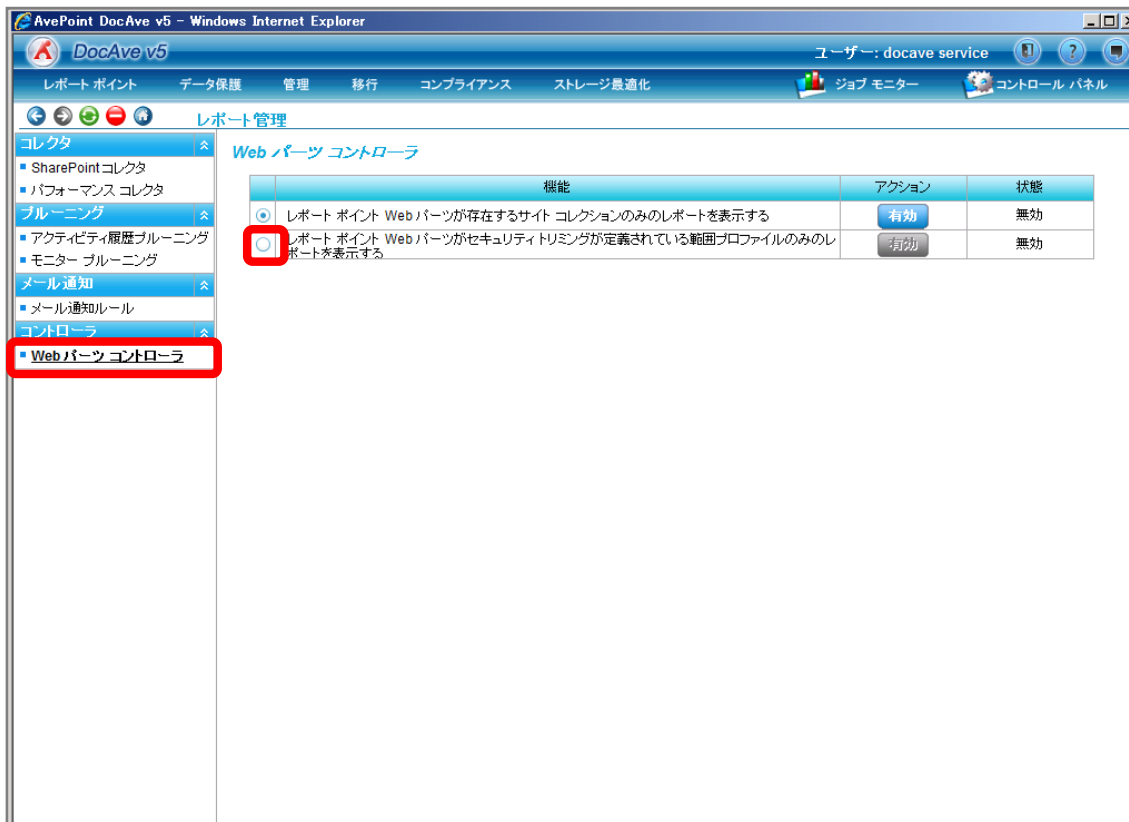
バックアップ&リカバリー
管理
展開と複製
ストレージ最適化
テストとレポート
アーカイブとコンプライアンス
SharePoint への移行

クイック リンク:
■ [エージェント モニター](#)
■ [マネージャー モニター](#)
■ [システムリカバリー対応バックアップ設定](#)
■ [ライセンス管理](#)

今日のワンポイント:
1. **DocAve 管理センター**を使用して、ユーザー間で権限をコピーする方法をご存知ですか?
製品: 管理-管理センター
手順: 1. [管理センター]→[全体管理]の順に移動します。
2. SharePoint ツリーから SharePoint オブジェクトを選択し、右側の [セキュリティ センター] タブから [ユーザー権限のクローン作成] を選択します。
3. 選択したすべてのオブジェクトに対してユーザー権限のクローン作成をするこま、この手順を繰り返します。

◀ 前へ 次へ ▶

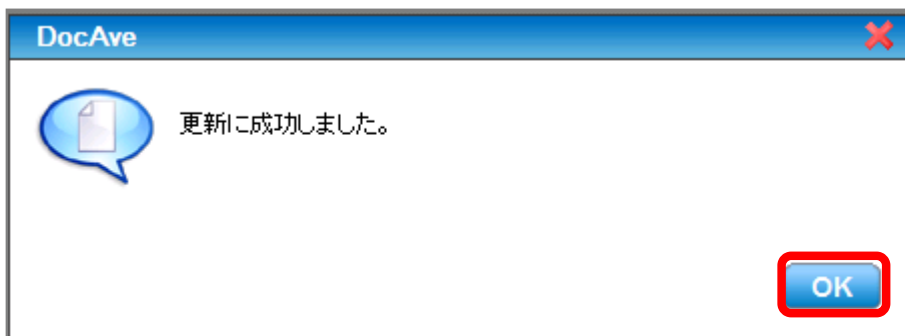
3. [Web パーツコントローラ]をクリックします。[レポートポイント Web パーツがセキュリティリングが定義されている範囲プロファイルのみレポートを表示する]を有効化させます。



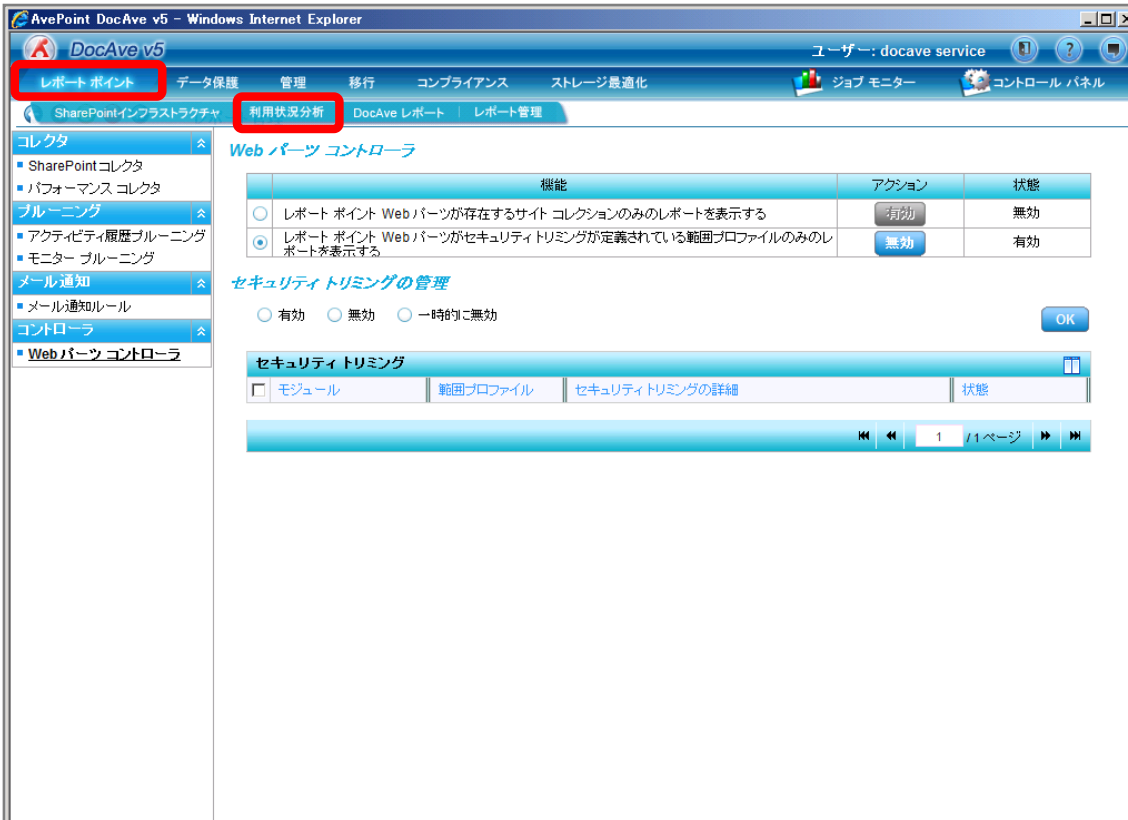
4. メッセージボックスが表示されるので[OK]をクリックします。



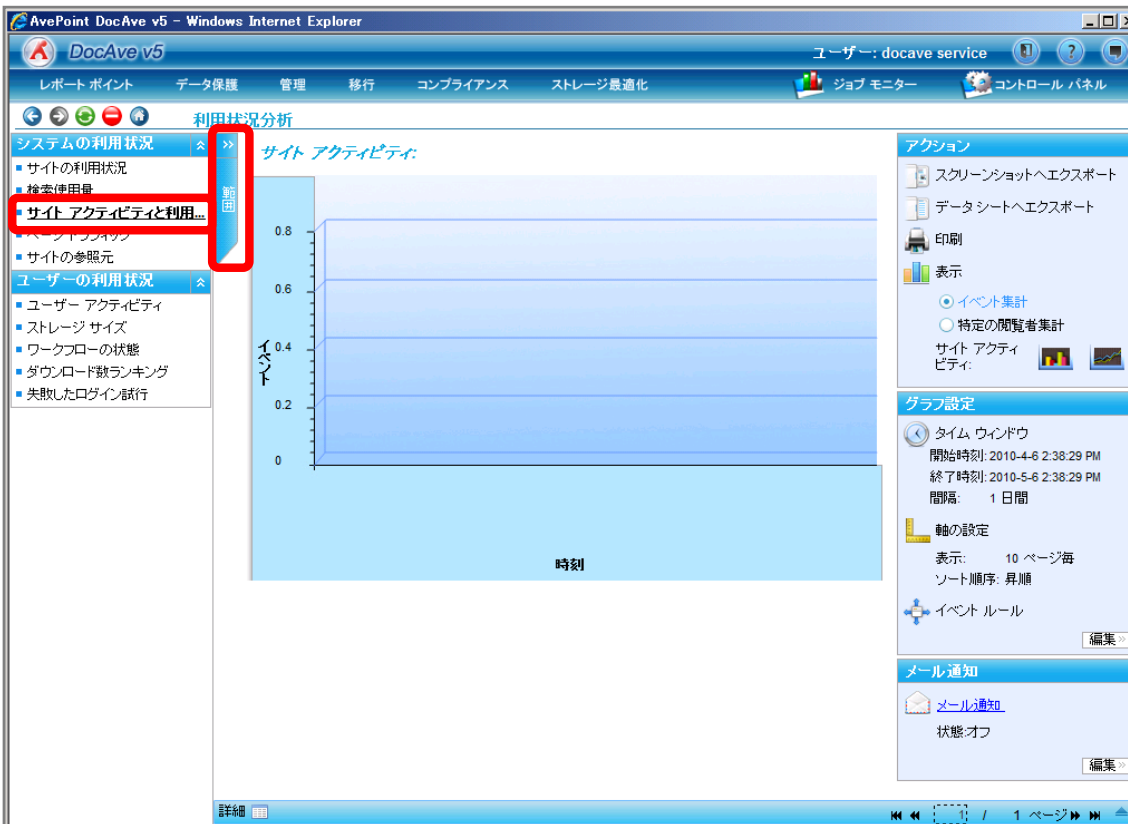
5. メッセージボックスが表示されるので[OK]をクリックします。



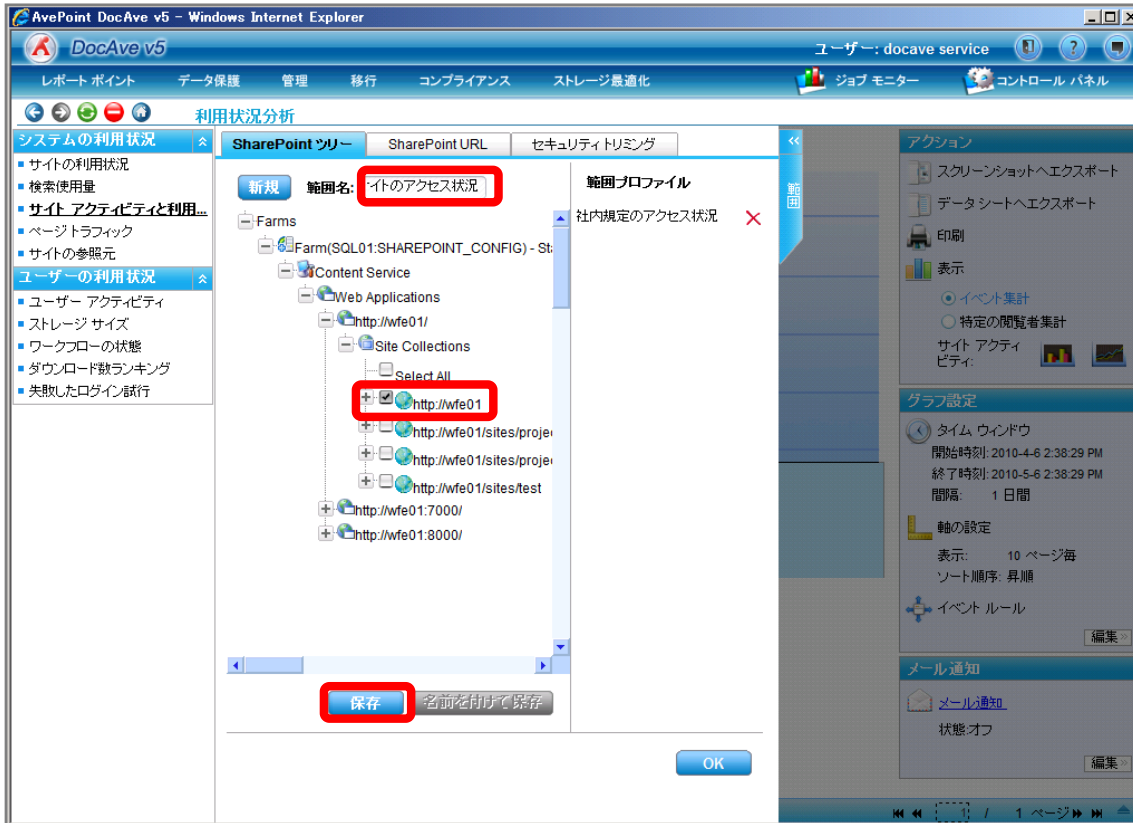
6. [レポートポイント]-[利用状況分析]を選択し、利用状況画面を開きます。



7. 左ペインから[サイトアクティビティと利用状況]を選択し、右ペインの[範囲]タブをクリックします。

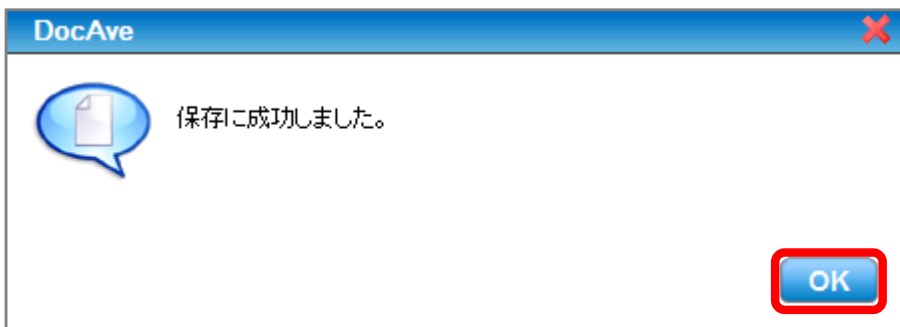


8. 範囲名を入力します。SharePoint ツリーをリストまで展開し、対象のサイトコレクションにチェックを入れ[保存]をクリックします。

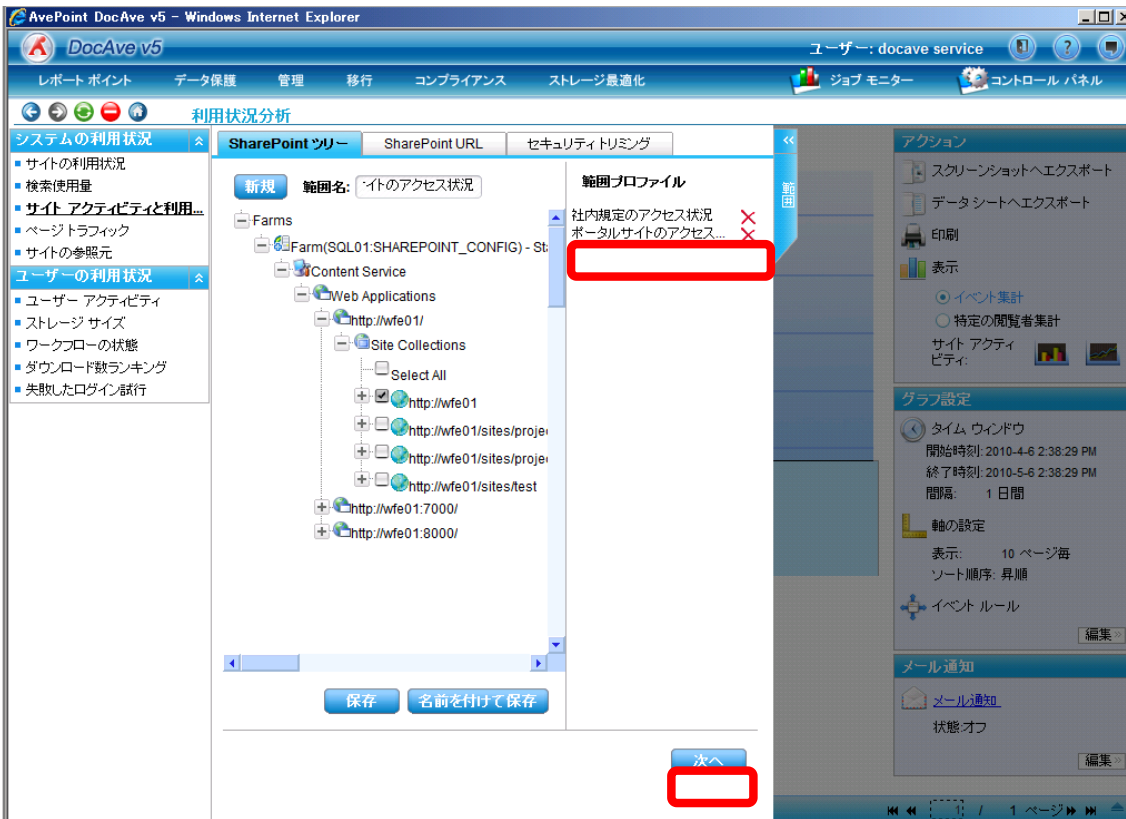


項目	説明	設定値
範囲名	設定をプロファイルとして保存します。今后再利用することが可能となります。	ポータルサイトのアクセス状況
SharePoint ツリー	SharePoint ツリーからアクセス状況を表示するオブジェクトを選択します。 [Farm]-[Farm(SQL01:SHAREPOINT_CONFIG)]-[Content Service]-[Web Applications]-[http://wfe01/]-[Site Collections]の順で展開します。	http://wfe01

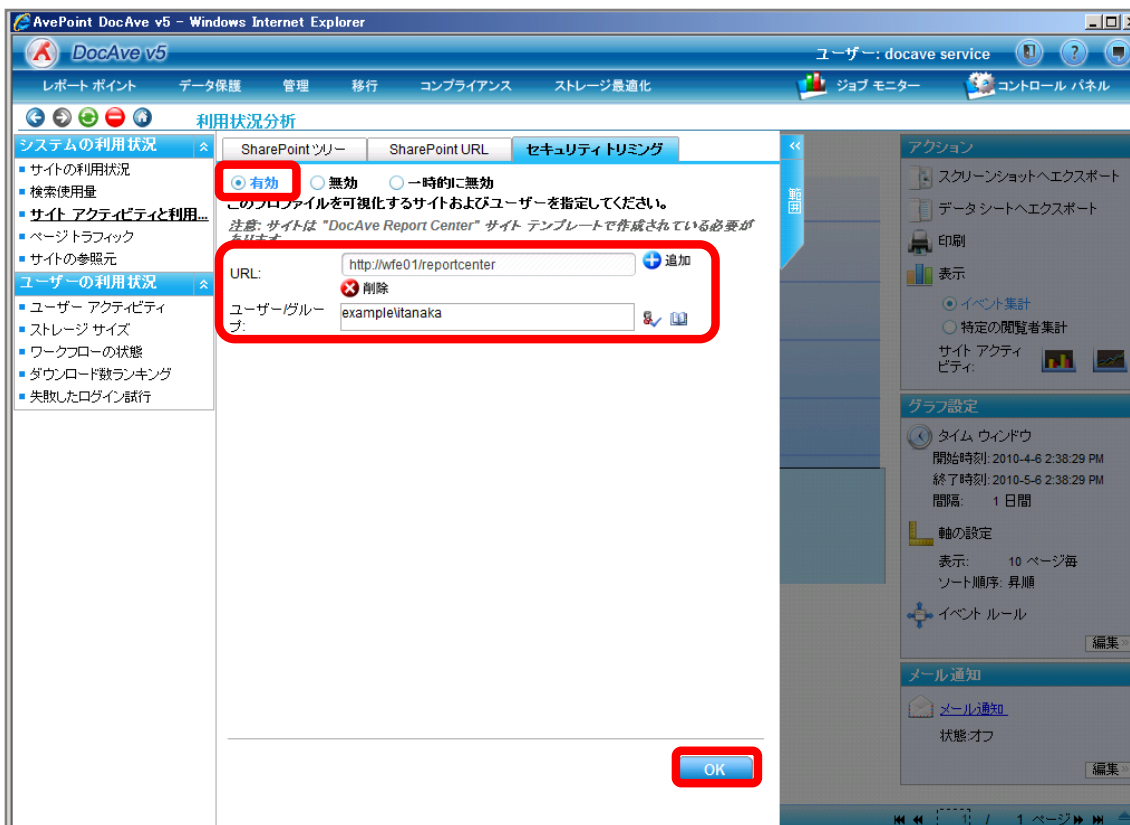
9. メッセージボックスが表示されるので[OK]をクリックします。



10. 範囲プロファイル項目に「ポータルサイトのアクセス状況」が表示されたことを確認し、[次へ]をクリックします。



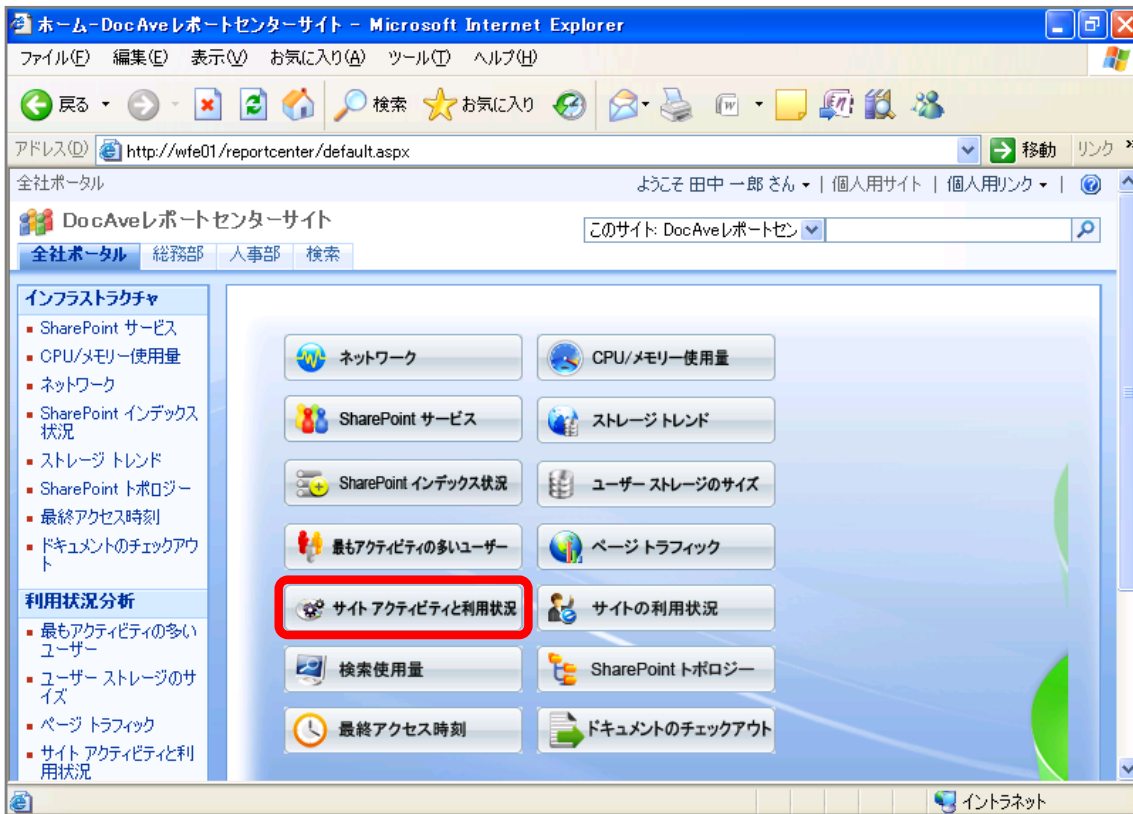
11. [有効]ラジオボタンを有効化します。[セキュリティリミシング]タブの設定を行い、[OK]をクリックします。



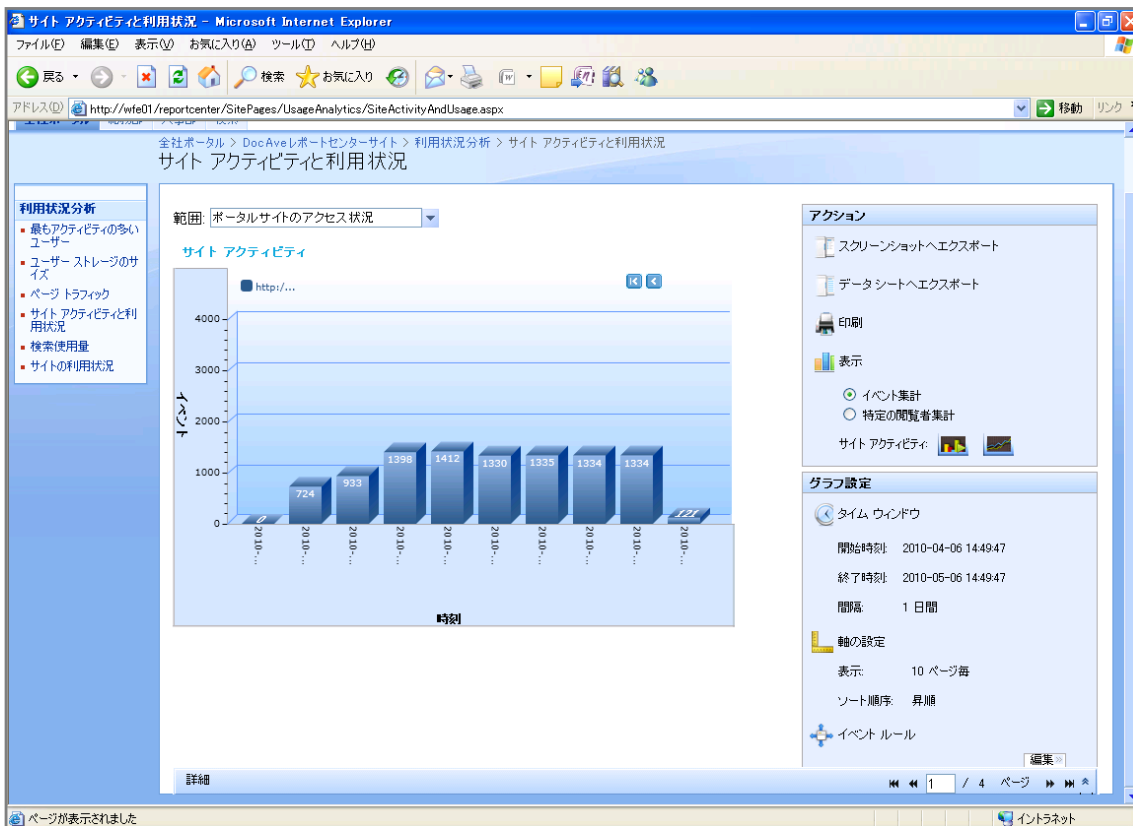
項目	説明	設定値
URL	作成したレポートセンターの URL を入力します。	http://wfe01/sites/reportcenter
ユーザー/グループ	プロファイルを表示させるユーザーを指定します。	example\itanaka

12. 対象のサイトコレクションに DocAve レポートセンターテンプレートからサブサイトを作成します。操作手順は「(8) SharePoint サイト上でサイト管理者に利用状況データを公開したい」の手順 5~7 を参照してください。

13. サブサイトの Web パーツページから[サイトアクティビティと利用状況]をクリックします。



14. [範囲プロファイル]から「ポータルサイトのアクセス状況」を選択し、サイトアクティビティと利用状況が表示されることを確認します。



<コラム> 表示させたデータのエクスポート

管理コンソール上に表示させた利用状況は様々な形式のレポートとして出力することが出来ます。出力可能なレポート形式は以下の通りです。利用状況把握のシナリオでは[スクリーンショットへエクスポート]をクリックし、スクリーンショットファイルとしてデータを出しましたが、[データシートへエクスポート]をクリックすることで PDF/CSV/MHTML/TIF/XLS/XML 形式のデータを出力することができます。ただし、[データシートへエクスポート]機能を利用するためには Microsoft SQL Server Reporting Services との接続が必要となります。[データシートへエクスポート]機能の簡単な実施手順を記載します。

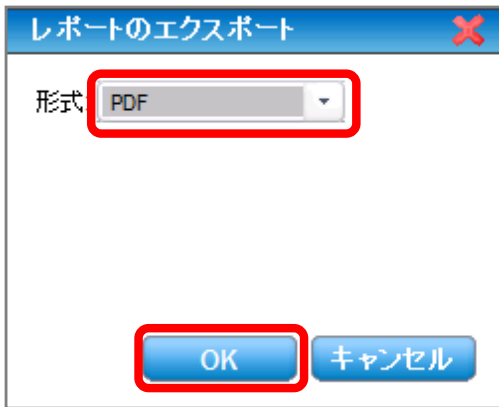
レポート形式
スクリーンショット(BMP)
PDF
CSV
MHTML
TIF
XLS
XML

操作手順

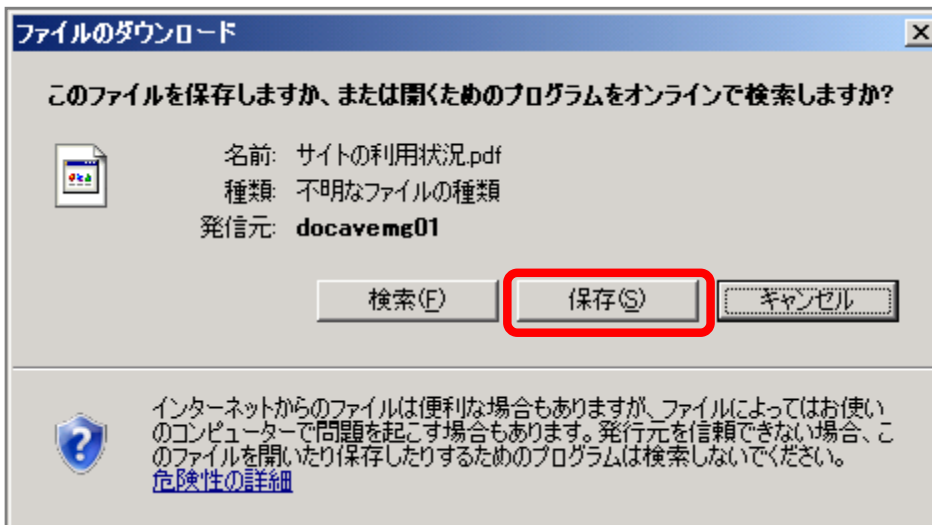
1. 各機能において右ペインに結果を表示させます。アクション項目の[データシートへエクスポート]をクリックします。

The screenshot shows the AvePoint DocAve v5 web interface. The main content area displays a report titled 'サイトの利用状況' (Site Usage) for the 'All Company Total (http://wfe01)'. It includes a table for '合計ヒット数' (Total Hit Count) and several tables for '上位10サイト(歴代)' (Top 10 Sites (Historical)), '上位10サイト(過去30日間)' (Top 10 Sites (Last 30 Days)), and '上位10ページ(歴代)' (Top 10 Pages (Historical)). On the right side, there is an 'アクション' (Actions) pane with options like 'スクリーンショットへエクスポート' (Export to Screenshot) and 'データシートへエクスポート' (Export to Data Sheet), the latter of which is highlighted with a red box. Below the actions are '設定' (Settings) and '編集' (Edit) options.

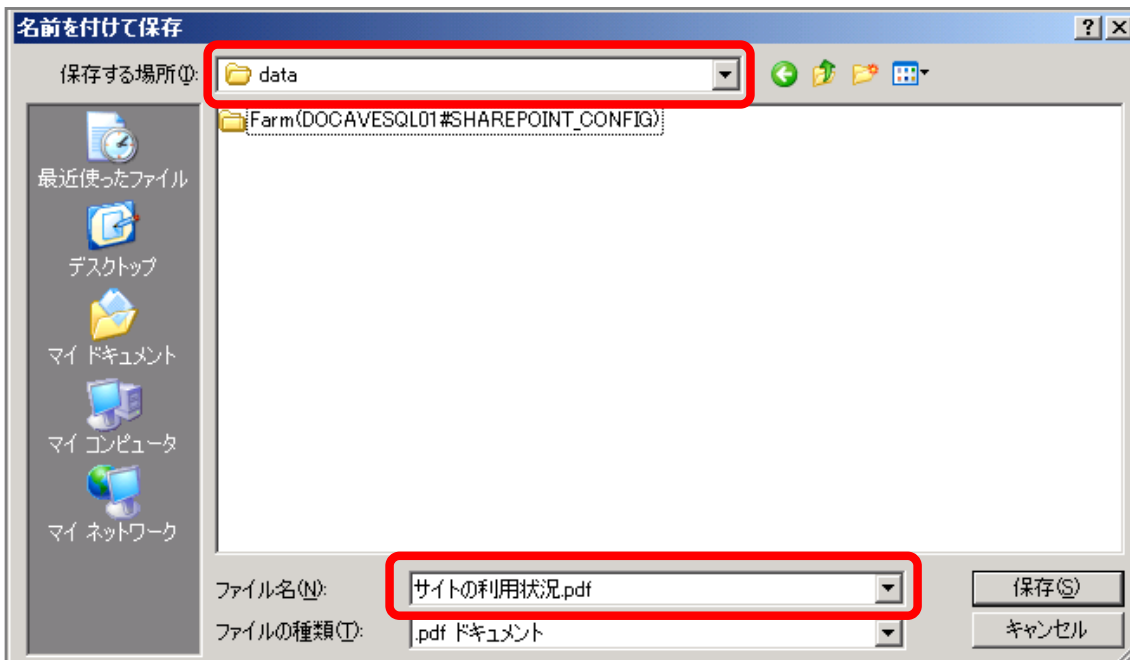
[形式]を選択し、[OK]をクリックします。



[保存]をクリックします。



保存先/ファイル名を指定して、[保存]をクリックします。



<コラム> 監査レポートを Excel で表示させたい形式に編集する

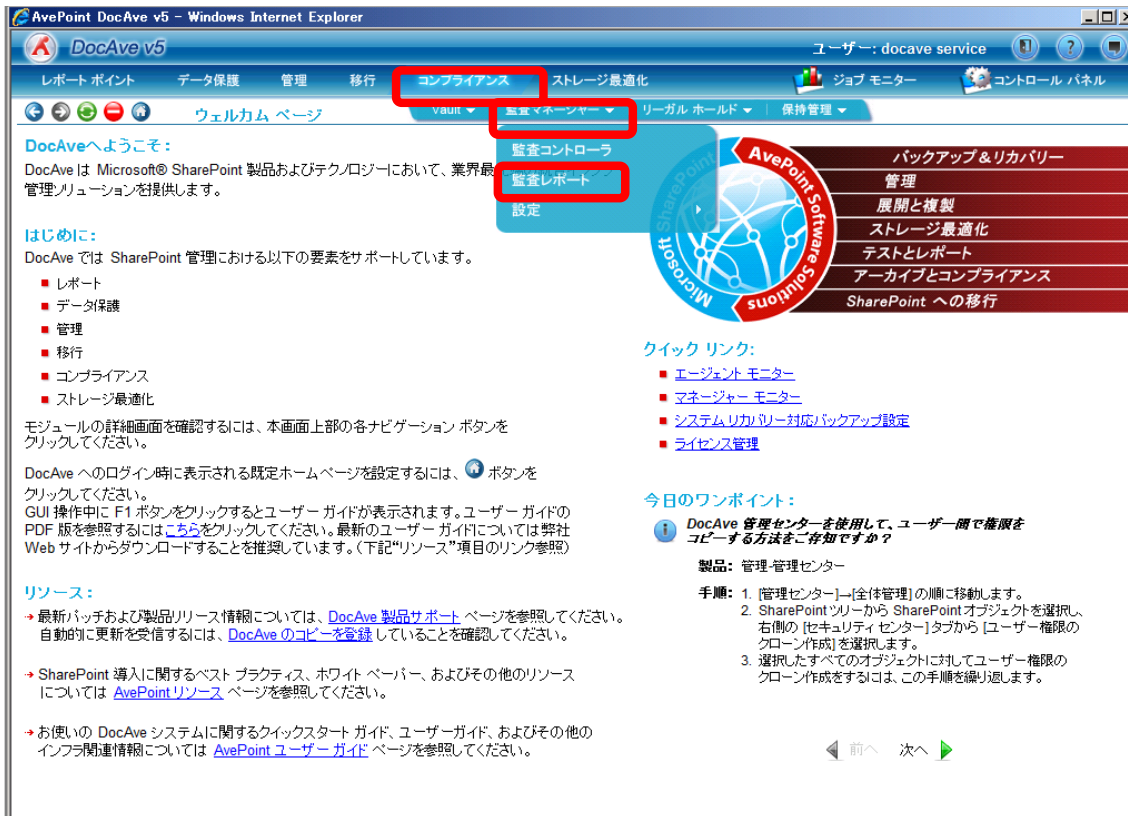
レポートポイントで表示される項目だけでは実施したい要件に合致しない内容があるかと思います。一部の要件は DocAve で抽出される監査レポートを Excel で編集することで要件に沿ったレポート出力が可能になります。一例として「特定オブジェクトの部署ごとのアクセス状況の確認」を取り上げます。部署ごとのアクセス数は SharePoint 標準機能でも DocAve の機能でも対応していない項目です。抽出した監査レポートを見てもアクションを行うユーザーアカウント情報は記録されていますが、それに対応する所属部署情報は記録されていません。こちらのレポートを表示させるためには、人事データベースから各ユーザーの所属情報を抽出し監査レポートのユーザーアカウントと結びつけることで実施します。詳しい処理は以下の手順になります。

必要なオペレーション

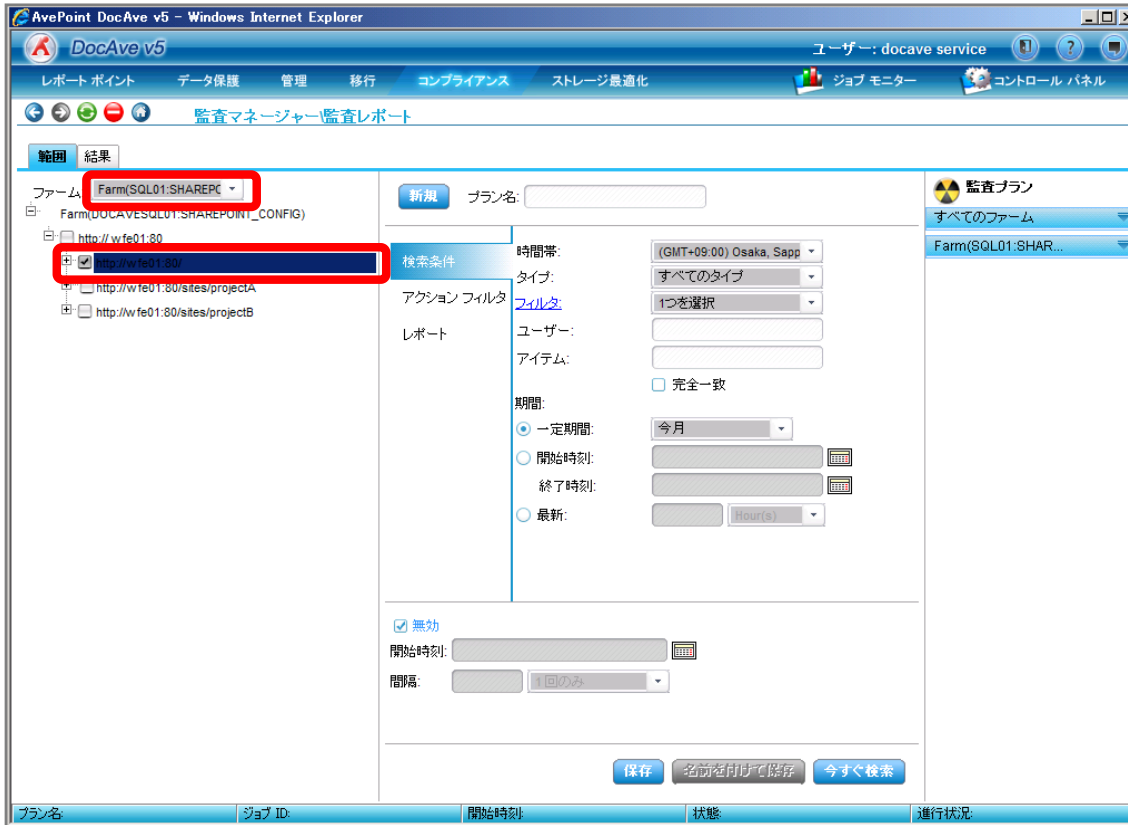
項番	操作	ソリューション	説明
1	監査データ収集	DocAve 監査マネージャー	監査ログを収集します。 ※こちらは事前作業「3-1-1 監査データの取得」で実施しておきます。
2	監査レポートエクスポート先の設定	DocAve 監査マネージャー	監査レポートの出力先を設定します。 ※こちらは事前作業「3-1-2 監査レポートエクスポート先の設定」で実施しておきます。
3	監査レポート抽出	DocAve 監査マネージャー	収集されている監査ログから条件を指定し、レポートを抽出します。
4	ユーザー情報の取得	Microsoft SQL Server	SQL Sever から各ユーザーのアカウント情報を抽出します。
5	監査ログとユーザー情報のマッピングとグラフ化	Microsoft Excel	マクロを用いたユーザー情報の結びつけとピボットテーブルを用いたデータのグラフ化を行います。

操作手順

1. SharePoint に格納されている監査ログを収集します。操作手順は「3-1-1 監査データの取得」を参照してください。
2. 監査レポートのエクスポート先の設定をします。操作手順は「3-1-2 監査レポートエクスポート先の設定」を参照してください。
3. 管理コンソールより[コンプライアンス]-[監査マネージャー]-[監査レポート]を選択し、監査レポート画面を開きます。

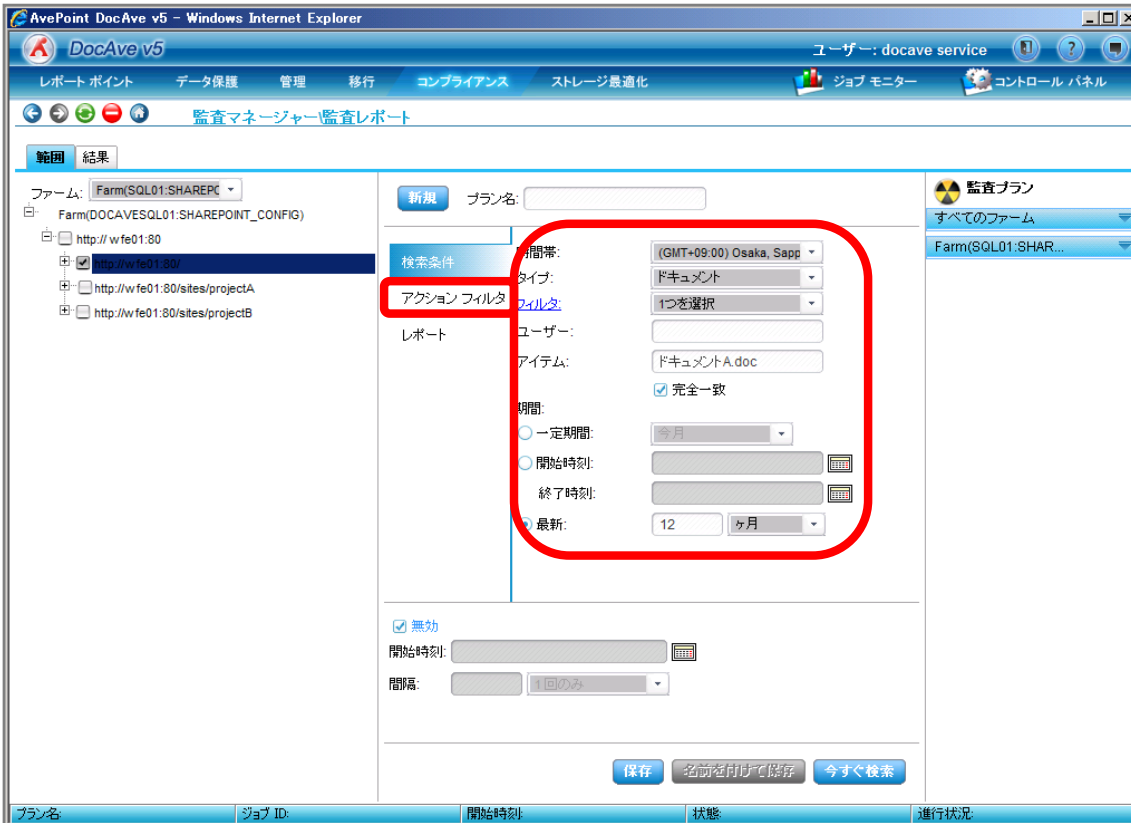


4. [ファーム]から対象のファームを選択します。SharePoint ツリーをサイトコレクションまで展開し、対象のサイトコレクションにチェックを入れます。



項目	説明	設定値
ファーム	監査ログを表示するファームを選択します。	Farm(SQL01:SHAREPOINT_CONFIG)-Standalone Farm
SharePoint ツリー	SharePoint ツリーから監査ログを表示するオブジェクトを選択します。 [Farm(SQL01:SHAREPOINT_CONFIG)]-[http://wfe01:80]の順で展開します。	http://wfe01

5. [検索条件]タブの設定を行い、[アクションフィルタ]タブをクリックします。

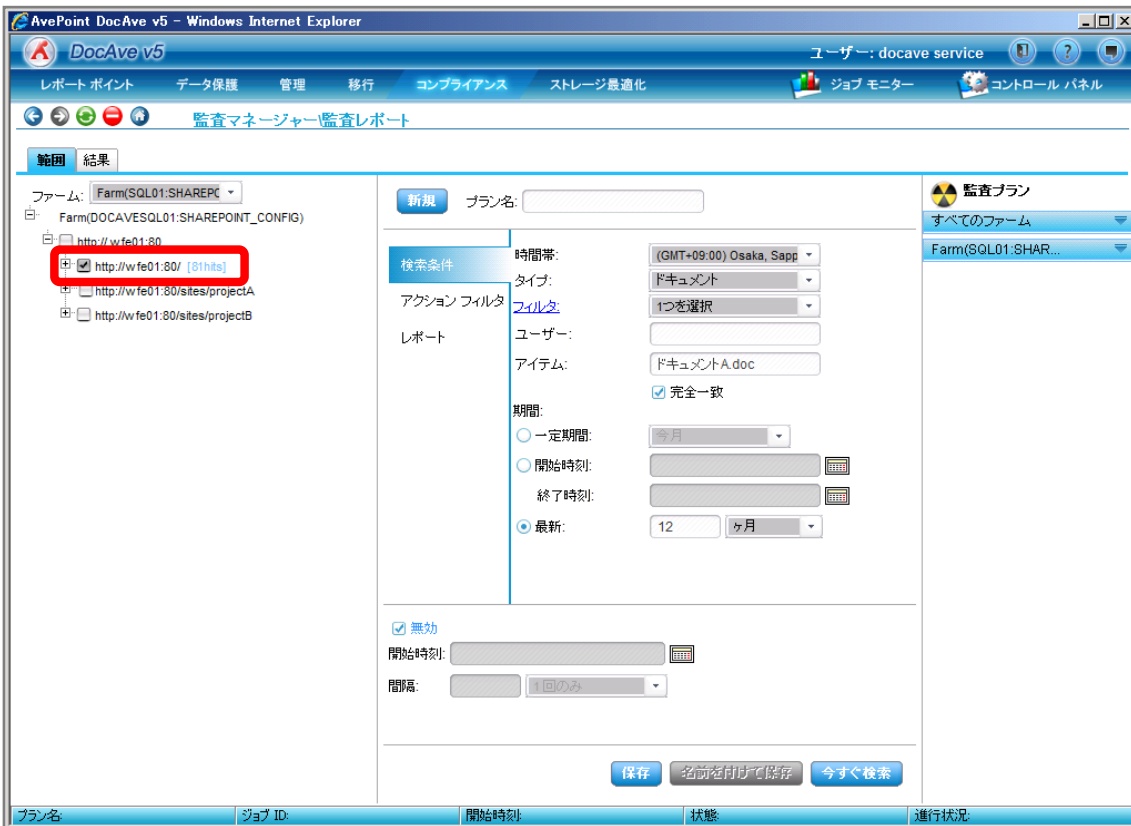


項目	説明	設定値
時間帯	使用している環境の時間帯を選択します。既定では日本環境が選択されています。	(GMT+09:00) Osaka,Sapporo,Tokyo
タイプ	選択したタイプで監査ログを抽出します。タイプはSharePoint 標準の監査ログの Item Type に準拠します。	ドキュメント
フィルタ	リスト/フォルダ/ファイル/ユーザー/URL を条件でフィルタして監査ログを抽出する際に指定します。条件を包含/排除することが可能です。[コントロールパネル]-[データ]-[フィルタポリシー]で事前に設定しておきます。	1つを選択
ユーザー	特定のユーザーが行った監査ログを抽出する際に指定します。	
アイテム	特定のアイテムの監査ログを抽出する際に指定します。URL に含まれるアイテム名を入力します。	ドキュメント A.doc
完全一致	[アイテム]で指定したアイテム名が完全に一致した監査ログを抽出する際にチェックボックスを有効化します。	有効
期間	特定の期間の監査ログを抽出します。一定期間/開始時刻と終了時刻を指定/最新～間で要件に合う項目のラジオボタンを有効化し、期間を指定します。	最新 12ヶ月

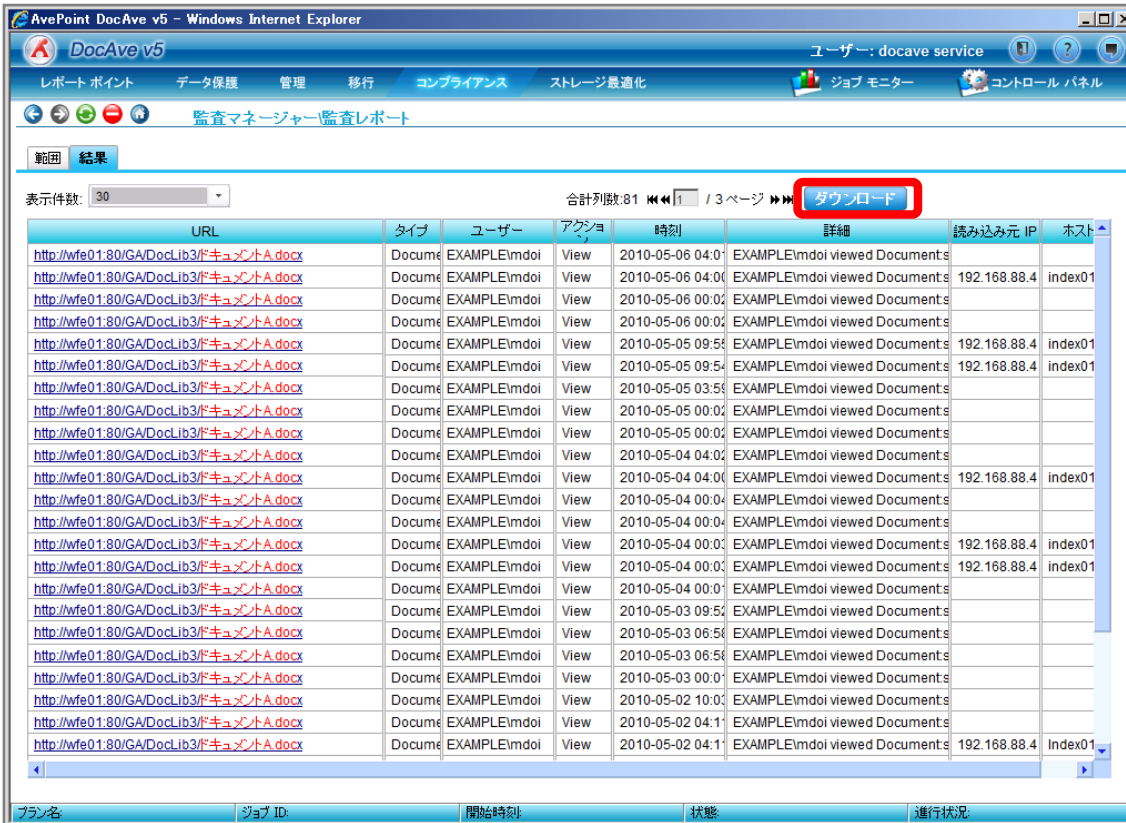
6. [アクションフィルタ]タブの[表示]のみ有効化させます。[レポート]タブは既定値とし、[今すぐ検索]をクリックします。



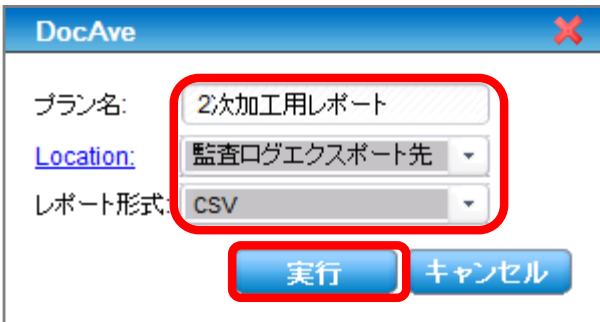
7. 検索条件に合致した数が表示されるので、「全社ポータルサイト」の URL をクリックします。



8. 表示された結果を確認し、[ダウンロード]をクリックします。

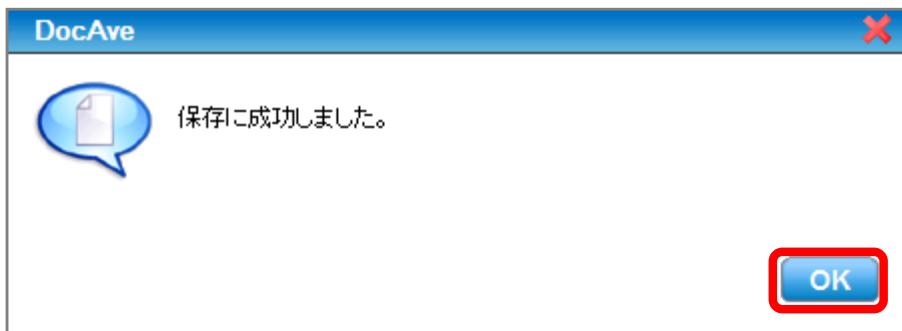


9. 設定を行い、[実行]をクリックします。



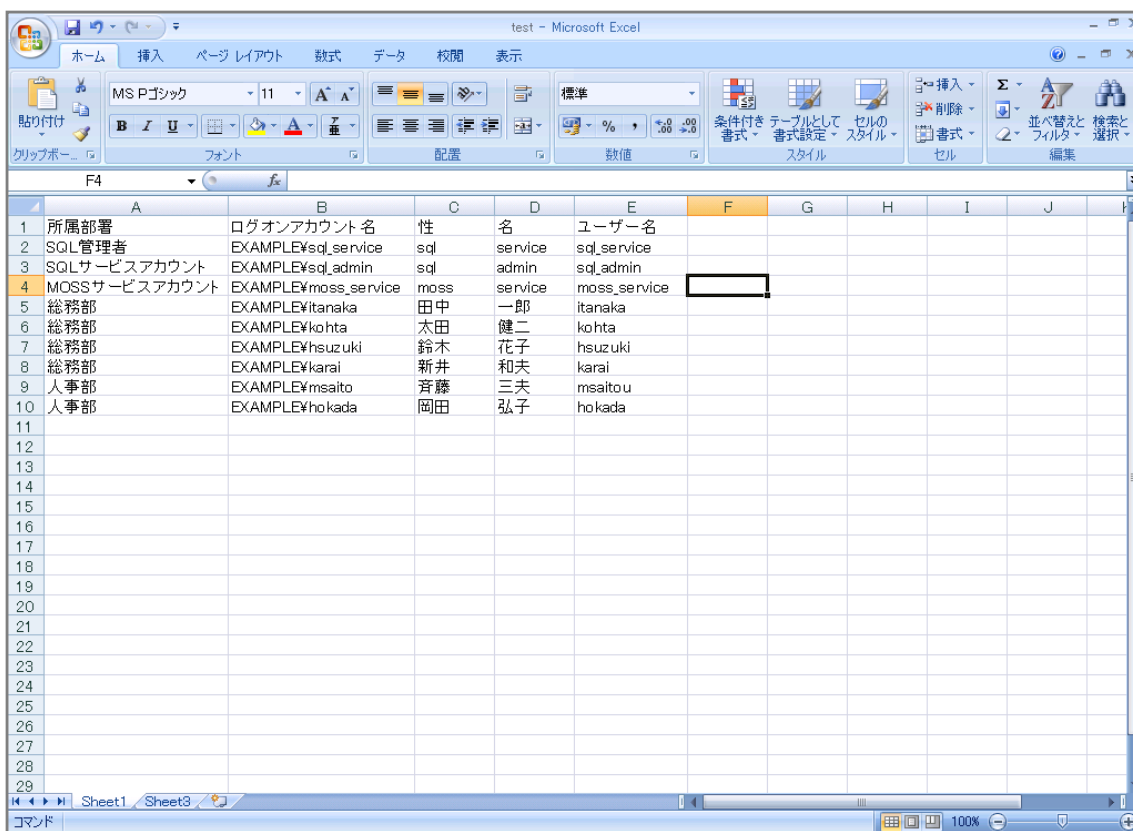
項目	説明	設定値
プラン名	プラン名を入力します。プラン名はエクスポート先に作成されるフォルダ名となります。	2次加工用レポート
Location	レポートのエクスポート先を指定します。	監査ログエクスポート先
レポート形式	抽出するレポート形式を選択します。抽出可能な形式は CSV と PDF が選択できます。	CSV

10. メッセージボックスが表示されるので[OK]をクリックします。



11. エクスポートされた CSV ファイルを 2007 形式のエクセルファイルに変換し、マクロを実施するマシンの C ドライブ配下に保存します。

12. 人事データベースからユーザーアカウント/所属部署情報を抽出し、マクロを実施するマシンの C ドライブ配下に保存します。

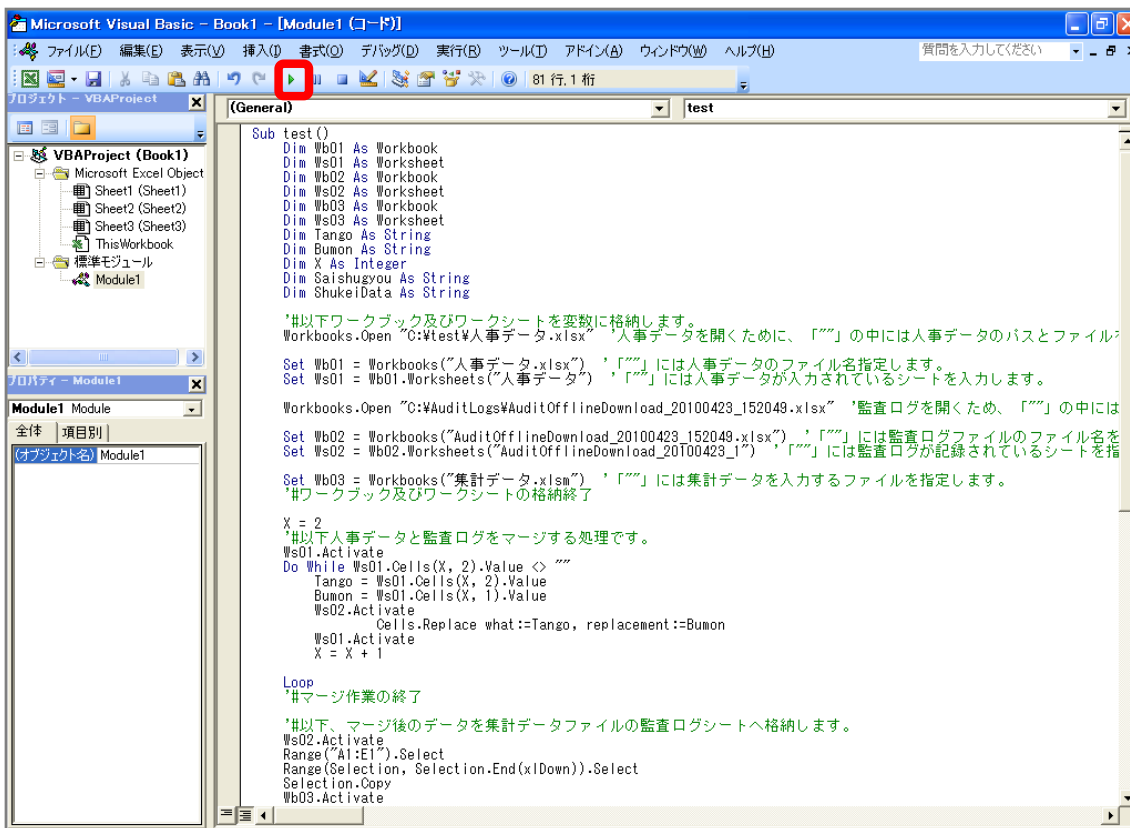


13. 集計データ用のマクロを作成し、C ドライブ配下に作成した「集計データ」フォルダに保存します。

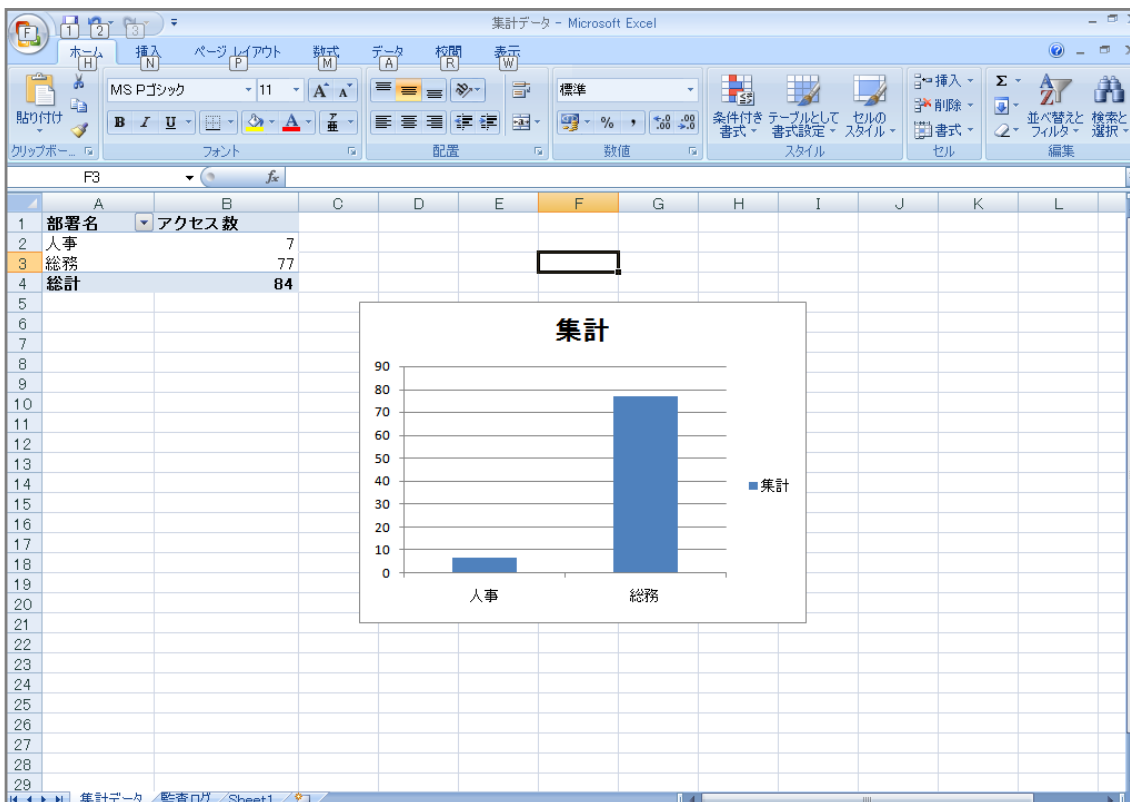
※本自習書で使用したマクロのコードは memo に掲載してあります。

14. マクロを実行します。

※マクロ実行時にマクロのセキュリティに関する警告が表示された場合には、エクセルのオプションよりマクロのセキュリティレベルを「低」に変更してください。



15. 集計ファイルに部署ごとのアクセス状況が表示されていることを確認します。



<memo>

Excel で編集する方法以外に SQL Server Reporting Service を用いてデータベースから直接編集することも可能です。SQL Server 2008 Reporting Service で編集した「特定オブジェクトの部署ごとのアクセス状況の確認」結果のイメージ図を示します。



<memo>

本自習書で使用したマクロのコードを掲載します。こちらのコードは集計データ用マクロファイルの標準モジュール内に記述してください。こちらを使用する場合には、コード内のコメントを確認し、ファイル名やシート名を使用する環境に合わせて変更する必要があります。

コード

Sub test()

Dim Wb01 As Workbook

Dim Ws01 As Worksheet

Dim Wb02 As Workbook

Dim Ws02 As Worksheet

Dim Wb03 As Workbook

Dim Ws03 As Worksheet

Dim Tango As String

Dim Bumon As String

Dim X As Integer

Dim Saishugyou As String

Dim ShukeiData As String

Workbooks.Open "C: ¥人事データ.xlsx"

'人事データを開くために、「'''」の中には人事データのパスとファイルを指定します。

```
Set Wb01 = Workbooks("人事データ.xlsx")
```

''''」には人事データのファイル名を指定します。

```
Set Ws01 = Wb01.Worksheets("人事データ")
```

''''」には人事データが入力されているシートを入力します。

```
Workbooks.Open "C:\¥ AuditOfflineDownload_20100423_152049.xlsx"
```

'監査ログを開くため、「'''」の中には監査ログのパスとファイル名を入力します。

```
Set Wb02 = Workbooks("AuditOfflineDownload_20100423_152049.xlsx")
```

''''」には監査ログファイルのファイル名を指定します。

```
Set Ws02 = Wb02.Worksheets("AuditOfflineDownload_20100423_1")
```

''''」には監査ログが記録されているシートを指定します。

```
Set Wb03 = Workbooks("集計データ.xlsm")
```

''''」には集計データを入力するファイルを指定します。

```
X = 2
```

'#以下人事データと監査ログをマージする処理です。

```
Ws01.Activate
```

```
Do While Ws01.Cells(X, 2).Value <> ""
```

```
    Tango = Ws01.Cells(X, 2).Value
```

```
    Bumon = Ws01.Cells(X, 1).Value
```

```
    Ws02.Activate
```

```
        Cells.Replace what:=Tango, replacement:=Bumon
```

```
    Ws01.Activate
```

```
    X = X + 1
```

```
Loop
```

'#マージ作業の終了

'#以下、マージ後のデータを集計データファイルの監査ログシートへ格納します。

```
Ws02.Activate
```

```
Range("A1:E1").Select
```

```
Range(Selection, Selection.End(xlDown)).Select
```

```
Selection.Copy
```

```
Wb03.Activate
```

```
Worksheets.Add.Name = "監査ログ"
```

''''」内に監査ログを格納するシート名を指定します。

```

Worksheets.Add.Name = "集計データ"
'「'''」内に集計データを格納するシートを指定します。
Sheets("監査ログ").Select
'「'''」内には集計データ内に監査ログを格納するシートを選択します。
Range("A1").Select
ActiveSheet.Paste
'#マージ後のデータを監査ログへ格納する処理の終了

'#以下、監査ログに格納したマージ後のデータでピボットテーブルの表とグラフを作成する処理です。
Application.CutCopyMode = False
Range("A1").Select
Range("A1:E1").Select
Range(Selection, Selection.End(xlDown)).Select
Saishugyou = Range(Cells(1, 1), Cells(1, 1)).End(xlDown).Row
ShukeiData = "監査ログ!R1C1:R" & Saishugyou & "C5"
'ピボットテーブルのデータ範囲を指定します。
ActiveWorkbook.PivotCaches.Create(SourceType:=xlDatabase, SourceData:=ShukeiData,
Version:=xlPivotTableVersion12).CreatePivotTable _
TableDestination:="集計データ!R1C1", TableName:="集計結果表", DefaultVersion _
:=xlPivotTableVersion12
Sheets("集計データ").Select
'ピボットテーブルが作成してあるシートを指定します。
Cells(1, 1).Select
With ActiveSheet.PivotTables("集計結果表").PivotFields("ユーザー")
.Orientation = xlRowField
.Position = 1
End With
ActiveSheet.PivotTables("集計結果表").AddDataField ActiveSheet.PivotTables("集計結果表") _
.PivotFields("時刻"), "データの個数 / 時刻", xlCount
ActiveSheet.Shapes.AddChart.Select
ActiveChart.SetSourceData Source:=Range("集計データ!A1:B1")
ActiveWorkbook.ShowPivotChartActiveFields = True
ActiveChart.ChartType = xlColumnStacked
ActiveWorkbook.ShowPivotChartActiveFields = False
Range("B1").Select
ActiveSheet.PivotTables("集計結果表").PivotFields("データの個数 / 時刻").Caption = "アクセス数"
Range("A1").Select
ActiveSheet.PivotTables("集計結果表").CompactLayoutRowHeader = "部署名"
'#ピボットテーブルとグラフ作成処理の終了
End Sub

```

3.3. 情報漏洩対策

(1) 特定のオブジェクトへのアクセス記録を確認したい

SharePoint 運用管理者の田中さんは、上司からドキュメント A の情報漏洩が発覚したため過去 1 年間でドキュメント A に対して操作を行ったユーザーを抽出するよう言われました。SharePoint サイト内にあるすべてのドキュメント A について確認する必要があります。確認対象は以下の通りです。

確認対象

確認対象
ドキュメント A.doc

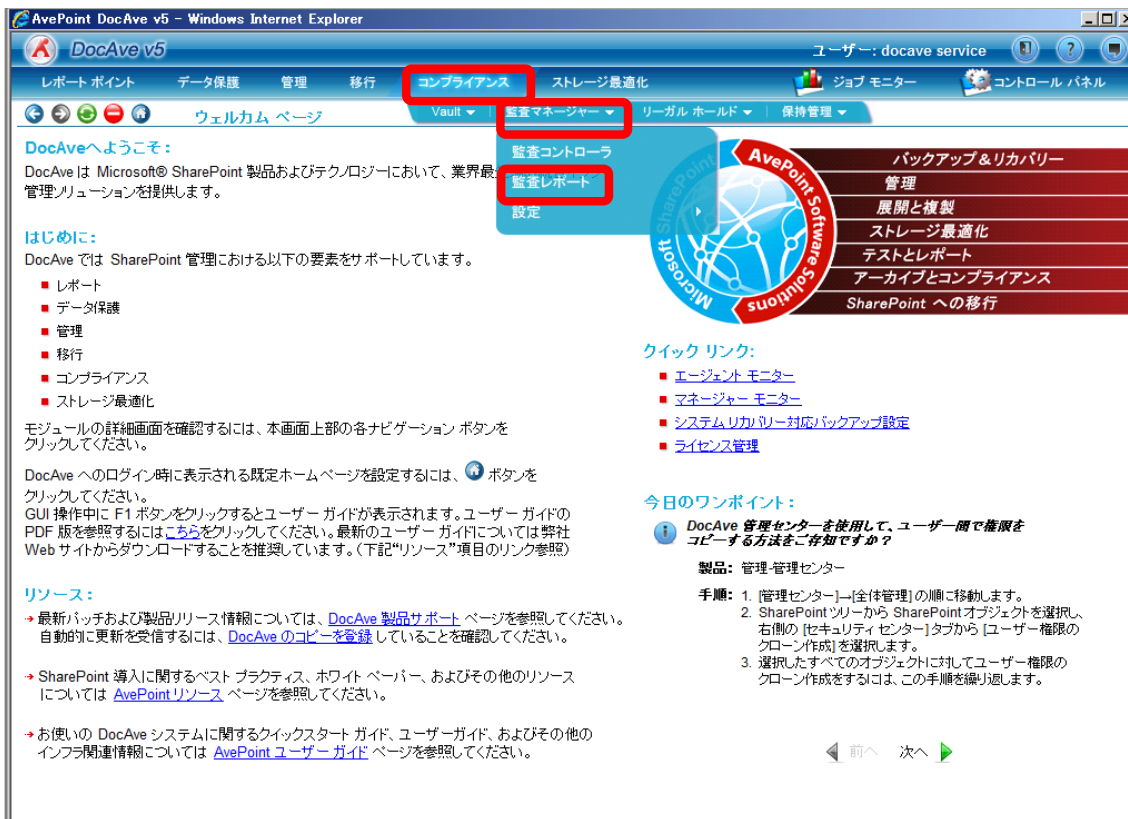
必要なオペレーション

上記シナリオを達成するために、以下のオペレーションを行います。

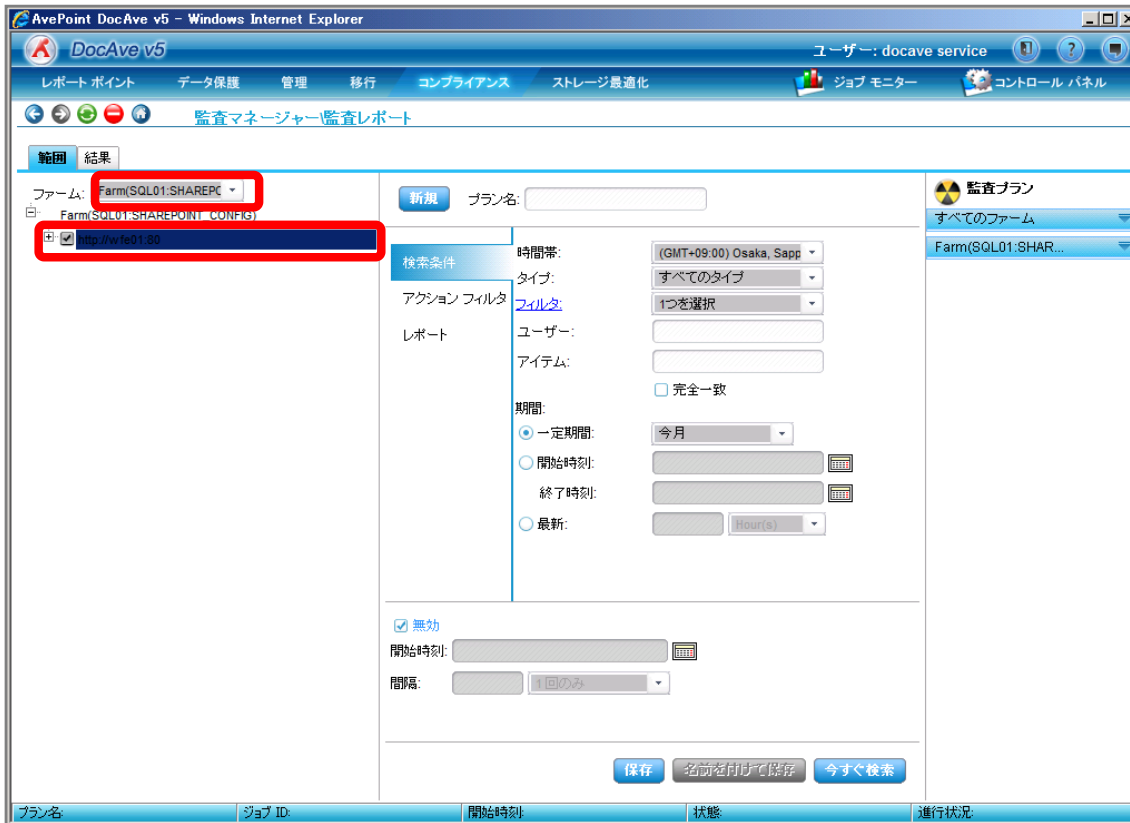
項番	操作	ソリューション	説明
1	監査データ収集	DocAve 監査マネージャー	監査ログを収集します。 ※こちらは事前作業「3-1-1 監査データの取得」で実施しておきます。
2	監査レポート抽出	DocAve 監査マネージャー	収集されている監査ログから条件を指定し、レポートを抽出します。

操作手順

1. SharePoint に格納されている監査ログを収集します。操作手順は「3-1-1 監査データの取得」を参照してください。
2. 管理コンソールより[コンプライアンス]-[監査マネージャー]-[監査レポート]を選択し、監査レポート画面を開きます。

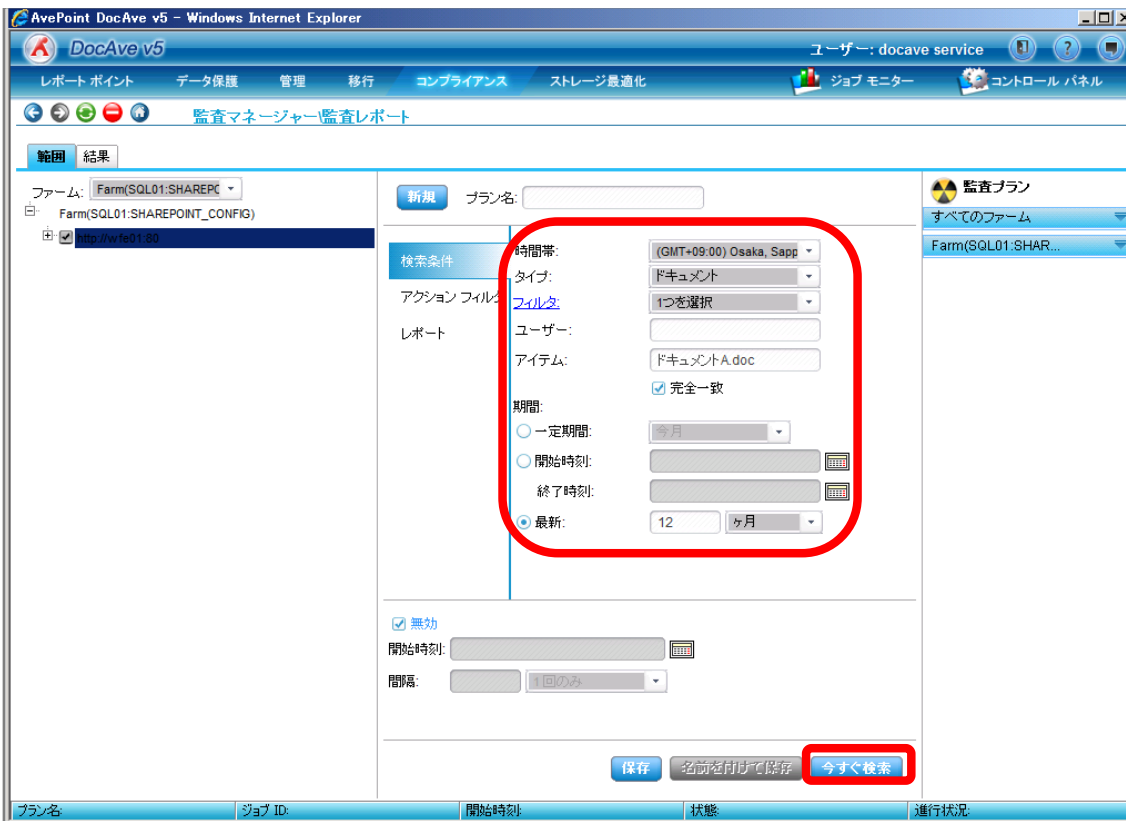


3. [ファーム]から対象のファームを選択します。SharePoint ツリーを Web アプリケーションまで展開し、対象の Web アプリケーションにチェックを入れます。



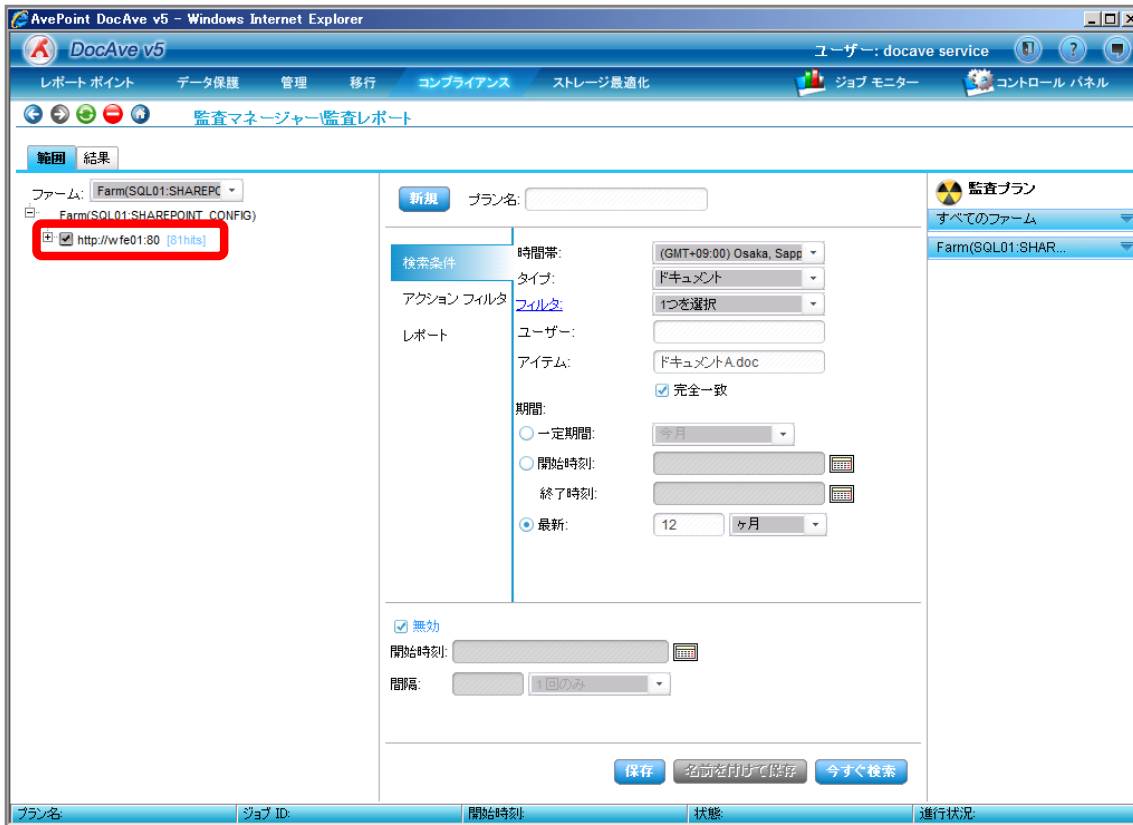
項目	説明	設定値
ファーム	監査ログを表示するファームを選択します。	Farm(SQL01:SHAREPOINT_CONFIG)-Standalone Farm
SharePoint ツリー	SharePoint ツリーから監査ログを表示するオブジェクトを選択します。 [Farm(SQL01:SHAREPOINT_CONFIG)]-[http://wfe01:80]の順で展開します。	http://wfe01/

4. [検索条件]タブの設定を行います。[アクションフィルタ]タブ、[レポート]タブは既定値とし、[今すぐ検索]をクリックします。



項目	説明	設定値
時間帯	使用している環境の時間帯を選択します。既定では日本環境が選択されています。	(GMT+09:00) Osaka,Sapporo,Tokyo
タイプ	選択したタイプで監査ログを抽出します。タイプはSharePoint 標準の監査ログの Item Type に準拠します。	ドキュメント
フィルタ	リスト/フォルダ/ファイル/ユーザー/URL を条件でフィルタして監査ログを抽出する際に指定します。条件を包含/排除することが可能です。[コントロールパネル]-[データ]-[フィルタポリシー]で事前に設定しておきます。	1つを選択
ユーザー	特定のユーザーが行った監査ログを抽出する際に指定します。	
アイテム	特定のアイテムの監査ログを抽出する際に指定します。URLに含まれるアイテム名を入力します。	ドキュメント A.doc
完全一致	[アイテム]で指定したアイテム名が完全に一致した監査ログを抽出する際にチェックボックスを有効化します。	有効
期間	特定の期間の監査ログを抽出します。一定期間/開始時刻と終了時刻を指定/最新～間で要件に合う項目のラジオボタンを有効化し、期間を指定します。	最新 12 ヶ月

5. 検索条件に合致した数が表示されるので、Web アプリケーションの URL をクリックします。



6. 表示された結果を確認します。

URL	タイプ	ユーザー	アクション	時刻	詳細	読み込み元 IP	ホスト
http://wfe01.80/sites/projectA/DocLib1/ドキュメントA.docx	Documé	EXAMPLEmoss	View	2010-05-06 04:00	EXAMPLEMOSS_Crawl viewed Doc		
http://wfe01.80/sites/projectA/DocLib1/ドキュメントA.docx	Documé	EXAMPLEmoss	View	2010-05-06 04:00	EXAMPLEMOSS_Crawl viewed Doc	192.168.88.4	index01
http://wfe01.80/sites/projectA/DocLib2/ドキュメントA.docx	Documé	EXAMPLEmoss	View	2010-05-06 00:00	EXAMPLEMOSS_Crawl viewed Doc		
http://wfe01.80/sites/projectB/DocLib1/ドキュメントA.docx	Documé	EXAMPLEmoss	View	2010-05-06 00:00	EXAMPLEMOSS_Crawl viewed Doc		
http://wfe01.80/GA/DocLib3/ドキュメントA.docx	Documé	EXAMPLEmoss	View	2010-05-05 09:54	EXAMPLEMOSS_Crawl viewed Doc	192.168.88.4	index01
http://wfe01.80/GA/DocLib3/ドキュメントA.docx	Documé	EXAMPLEmoss	View	2010-05-05 09:54	EXAMPLEMOSS_Crawl viewed Doc	192.168.88.4	index01
http://wfe01.80/sites/projectA/DocLib1/ドキュメントA.docx	Documé	EXAMPLEmoss	View	2010-05-05 03:55	EXAMPLEMOSS_Crawl viewed Doc		
http://wfe01.80/sites/projectA/DocLib2/ドキュメントA.docx	Documé	EXAMPLEmoss	View	2010-05-05 00:00	EXAMPLEMOSS_Crawl viewed Doc		
http://wfe01.80/sites/projectA/DocLib2/ドキュメントA.docx	Documé	EXAMPLEmoss	View	2010-05-05 00:00	EXAMPLEMOSS_Crawl viewed Doc		
http://wfe01.80/sites/projectA/DocLib1/ドキュメントA.docx	Documé	EXAMPLEmoss	View	2010-05-04 04:00	EXAMPLEMOSS_Crawl viewed Doc		
http://wfe01.80/sites/projectA/DocLib1/ドキュメントA.docx	Documé	EXAMPLEmoss	View	2010-05-04 04:00	EXAMPLEMOSS_Crawl viewed Doc	192.168.88.4	index01
http://wfe01.80/GA/DocLib3/ドキュメントA.docx	Documé	EXAMPLEmoss	View	2010-05-04 00:00	EXAMPLEMOSS_Crawl viewed Doc		
http://wfe01.80/sites/projectA/DocLib2/ドキュメントA.docx	Documé	EXAMPLEmoss	View	2010-05-04 00:00	EXAMPLEMOSS_Crawl viewed Doc		
http://wfe01.80/GA/DocLib3/ドキュメントA.docx	Documé	EXAMPLEmoss	View	2010-05-04 00:00	EXAMPLEMOSS_Crawl viewed Doc	192.168.88.4	index01
http://wfe01.80/sites/projectA/DocLib2/ドキュメントA.docx	Documé	EXAMPLEmoss	View	2010-05-04 00:00	EXAMPLEMOSS_Crawl viewed Doc	192.168.88.4	index01
http://wfe01.80/sites/projectA/DocLib1/ドキュメントA.docx	Documé	EXAMPLEmoss	View	2010-05-04 00:00	EXAMPLEMOSS_Crawl viewed Doc		
http://wfe01.80/sites/projectA/DocLib1/ドキュメントA.docx	Documé	EXAMPLEmoss	View	2010-05-03 09:55	EXAMPLEMOSS_Crawl viewed Doc		
http://wfe01.80/GA/DocLib3/ドキュメントA.docx	Documé	EXAMPLEmoss	View	2010-05-03 06:54	EXAMPLEMOSS_Crawl viewed Doc		
http://wfe01.80/sites/projectA/DocLib2/ドキュメントA.docx	Documé	EXAMPLEmoss	View	2010-05-03 06:54	EXAMPLEMOSS_Crawl viewed Doc		
http://wfe01.80/sites/projectA/DocLib1/ドキュメントA.docx	Documé	EXAMPLEmoss	View	2010-05-03 00:00	EXAMPLEMOSS_Crawl viewed Doc		
http://wfe01.80/GA/DocLib3/ドキュメントA.docx	Documé	EXAMPLEmoss	View	2010-05-02 10:00	EXAMPLEMOSS_Crawl viewed Doc		
http://wfe01.80/sites/projectA/DocLib1/ドキュメントA.docx	Documé	EXAMPLEmoss	View	2010-05-02 04:11	EXAMPLEMOSS_Crawl viewed Doc		
http://wfe01.80/sites/projectA/DocLib1/ドキュメントA.docx	Documé	EXAMPLEmoss	View	2010-05-02 04:11	EXAMPLEMOSS_Crawl viewed Doc	192.168.88.4	Index01

<memo>

表示された結果を CSV/PDF 形式でレポート出力することが可能です。操作手順は以下の通りです。

必要なオペレーション

項番	操作	ソリューション	説明
1	監視データ収集	DocAve 監視マネージャー	監視ログを収集します。 ※こちらは事前作業「3-1-1 監視データの取得」で実施しておきます。
2	監視レポートエクスポート先の設定	DocAve 監視マネージャー	監視レポートの出力先を設定します。 ※こちらは事前作業「3-1-2 監視レポートエクスポート先の設定」で実施しておきます。
3	監視レポート抽出	DocAve 監視マネージャー	収集されている監視ログから条件を指定し、レポートを抽出し、CSV 形式でレポート出力します。 ※こちらは「(1) 特定のオブジェクトへのアクセス記録を確認したい」の手順と一部重複するため、重複する手順は簡略化させていただきます。

操作手順

1. SharePoint に格納されている監査ログを収集します。操作手順は「3-1-1 監査データの取得」を参照してください。
2. 監査レポートのエクスポート先の設定をします。操作手順は「3-1-2 監査レポートエクスポート先の設定」を参照してください。
3. 特定の条件の監査ログを抽出し、結果を表示させます。操作手順は「(1) 特定のオブジェクトへのアクセス記録を確認したい」手順 2～6 を参照してください。
4. [ダウンロード]をクリックします。

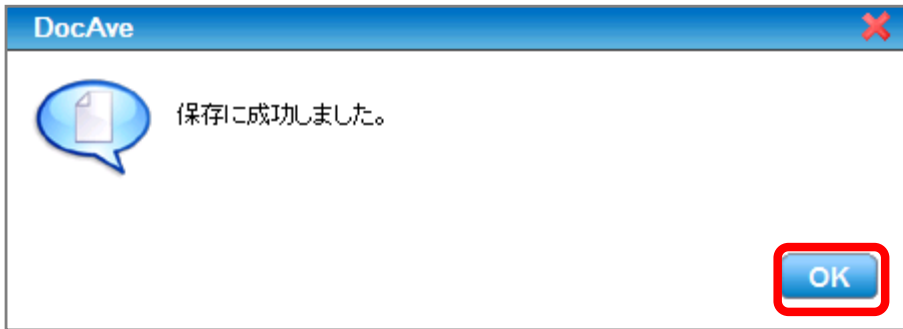
The screenshot shows the AvePoint DocAve v5 web interface. At the top, there are navigation tabs like 'レポートポイント', 'データ保護', '管理', '移行', 'コンプライアンス', and 'ストレージ最適化'. Below these, there's a '監視マネージャー-監査レポート' section. A table displays a list of audit logs with columns for URL, タイプ (Type), ユーザー (User), アクション (Action), 時刻 (Time), 詳細 (Details), 読み込み元 (Source), and ホスト (Host). A red box highlights the 'ダウンロード' (Download) button located above the table. At the bottom of the interface, there are fields for 'プラン名' (Plan Name), 'ジョブ ID' (Job ID), '開始時刻' (Start Time), '状態' (Status), and '進行状況' (Progress).

5. 設定を行い、[実行]をクリックします。

The screenshot shows the 'DocAve' configuration dialog box. It has a title bar with a close button. Inside, there are three input fields: 'プラン名:' (Plan Name) with the value '監査レポート抽出', 'Location:' with a dropdown menu showing '監査ログエクスポート先', and 'レポート形式:' (Report Format) with a dropdown menu showing 'CSV'. At the bottom, there are two buttons: '実行' (Execute) and 'キャンセル' (Cancel). A red box highlights the '実行' button.

項目	説明	設定値
プラン名	プラン名を入力します。プラン名はエクスポート先に作成されるフォルダ名となります。	監査レポート抽出
Location	レポートのエクスポート先を指定します。	監査ログエクスポート先
レポート形式	抽出するレポート形式を選択します。抽出可能な形式は CSV と PDF が選択できます。	CSV

6. メッセージボックスが表示されるので[OK]をクリックします。



7. 保存した CSV ファイルを確認します。

A1	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
1	URL	タイプ	ユーザー	アクション	時刻	詳細	読み込みホスト名			
2	http://wfe01.80/GA/DocLib3/ドキュメント A.docx	Document	EXAMPLE\	View	40299.00304	EXAMPLE\MOSS_Crawl viewed	Document/GA/DocLib3/ド			
3	http://wfe01.80/GA/DocLib3/ドキュメント A.docx	Document	EXAMPLE\	View	40298.00376	EXAMPLE\MOSS_Crawl viewed	Document/GA/DocLib3/ド			
4	http://wfe01.80/GA/DocLib3/ドキュメント A.docx	Document	EXAMPLE\	Update	2010/4/28 13:03	EXAMPLE\itanaka updated	Document/GA/DocLib3/ドキュ			
5	http://wfe01.80/GA/DocLib3/ドキュメント A.docx	Document	EXAMPLE\	View	2010/5/5 9:55	EXAMPLE\192.168.88.index01	example.com			
6	http://wfe01.80/GA/DocLib3/ドキュメント A.docx	Document	EXAMPLE\	View	2010/5/5 9:54	EXAMPLE\192.168.88.index01	example.com			
7	http://wfe01.80/GA/DocLib3/ドキュメント A.docx	Document	EXAMPLE\	View	40303.00285	EXAMPLE\MOSS_Crawl viewed	Document/GA/DocLib3/ド			
8	http://wfe01.80/GA/DocLib3/ドキュメント A.docx	Document	EXAMPLE\	View	40303.00229	EXAMPLE\192.168.88.index01	example.com			
9	http://wfe01.80/GA/DocLib3/ドキュメント A.docx	Document	EXAMPLE\	View	2010/5/3 6:58	EXAMPLE\MOSS_Crawl viewed	Document/GA/DocLib3/ド			
10	http://wfe01.80/GA/DocLib3/ドキュメント A.docx	Document	EXAMPLE\	View	2010/5/2 10:03	EXAMPLE\MOSS_Crawl viewed	Document/GA/DocLib3/ド			
11	http://wfe01.80/GA/DocLib3/ドキュメント A.docx	Document	EXAMPLE\	View	40300.00167	EXAMPLE\MOSS_Crawl viewed	Document/GA/DocLib3/ド			
12	http://wfe01.80/sites/projectA/DocLib1/ドキュメント A.docx	Document	EXAMPLE\	View	2010/4/30 15:24	EXAMPLE\192.168.88.CLIENT01	example.com			
13	http://wfe01.80/sites/projectA/DocLib1/ドキュメント A.docx	Document	EXAMPLE\	View	2010/4/30 14:48	EXAMPLE\mdoi viewed	Document/sites/projectA/DocLib1			
14	http://wfe01.80/sites/projectA/DocLib1/ドキュメント A.docx	Document	EXAMPLE\	View	40299.00286	EXAMPLE\MOSS_Crawl viewed	Document/sites/projectA/			
15	http://wfe01.80/sites/projectA/DocLib2/ドキュメント A.docx	Document	EXAMPLE\	View	40299.00284	EXAMPLE\MOSS_Crawl viewed	Document/sites/projectA/			
16	http://wfe01.80/sites/projectA/DocLib2/ドキュメント A.docx	Document	EXAMPLE\	View	40299.00237	EXAMPLE\MOSS_Crawl viewed	Document/sites/projectA/			
17	http://wfe01.80/sites/projectA/DocLib1/ドキュメント A.docx	Document	EXAMPLE\	View	40299.00233	EXAMPLE\MOSS_Crawl viewed	Document/sites/projectA/			
18	http://wfe01.80/sites/projectA/DocLib2/ドキュメント A.docx	Document	EXAMPLE\	View	40298.00299	EXAMPLE\MOSS_Crawl viewed	Document/sites/projectA/			
19	http://wfe01.80/sites/projectA/DocLib1/ドキュメント A.docx	Document	EXAMPLE\	View	40298.00274	EXAMPLE\MOSS_Crawl viewed	Document/sites/projectA/			
20	http://wfe01.80/sites/projectA/DocLib2/ドキュメント A.docx	Document	EXAMPLE\	View	40298.00216	EXAMPLE\MOSS_Crawl viewed	Document/sites/projectA/			
21	http://wfe01.80/sites/projectA/DocLib1/ドキュメント A.docx	Document	EXAMPLE\	View	40298.00194	EXAMPLE\MOSS_Crawl viewed	Document/sites/projectA/			
22	http://wfe01.80/sites/projectA/DocLib2/ドキュメント A.docx	Document	EXAMPLE\	CheckIn	2010/4/28 14:00	EXAMPLE\takahashi checked in	Document/sites/projectA/			
23	http://wfe01.80/sites/projectA/DocLib2/ドキュメント A.docx	Document	EXAMPLE\	View	2010/4/28 14:00	EXAMPLE\takahashi viewed	Document/sites/projectA/			
24	http://wfe01.80/sites/projectA/DocLib2/ドキュメント A.docx	Document	EXAMPLE\	View	2010/4/28 13:59	EXAMPLE\takahashi viewed	Document/sites/projectA/			
25	http://wfe01.80/sites/projectA/DocLib2/ドキュメント A.docx	Document	EXAMPLE\	Update	2010/4/28 13:59	EXAMPLE\takahashi updated	Document/sites/projectA/			
26	http://wfe01.80/sites/projectA/DocLib2/ドキュメント A.docx	Document	EXAMPLE\	View	2010/4/28 13:59	EXAMPLE\takahashi viewed	Document/sites/projectA/			
27	http://wfe01.80/sites/projectA/DocLib1/ドキュメント A.docx	Document	EXAMPLE\	View	2010/4/28 13:58	EXAMPLE\takahashi viewed	Document/sites/projectA/			
28	http://wfe01.80/sites/projectA/DocLib1/ドキュメント A.docx	Document	EXAMPLE\	CheckOut	2010/4/28 13:58	EXAMPLE\takahashi checked out	Document/sites/projectA/			
29	http://wfe01.80/sites/projectA/DocLib2/ドキュメント A.docx	Document	EXAMPLE\	View	2010/4/28 13:56	EXAMPLE\takahashi viewed	Document/sites/projectA/			
30	http://wfe01.80/sites/projectA/DocLib2/ドキュメント A.docx	Document	EXAMPLE\	CheckOut	2010/4/28 13:56	EXAMPLE\takahashi checked out	Document/sites/projectA/			
31	http://wfe01.80/sites/projectA/DocLib2/ドキュメント A.docx	Document	EXAMPLE\	View	2010/4/28 13:56	EXAMPLE\takahashi viewed	Document/sites/projectA/			
32	http://wfe01.80/sites/projectA/DocLib2/ドキュメント A.docx	Document	EXAMPLE\	Update	2010/4/28 13:56	EXAMPLE\takahashi updated	Document/sites/projectA/			
33	http://wfe01.80/sites/projectA/DocLib2/ドキュメント A.docx	Document	EXAMPLE\	View	2010/4/28 13:54	EXAMPLE\takahashi viewed	Document/sites/projectA/			
34	http://wfe01.80/sites/projectA/DocLib2/ドキュメント A.docx	Document	EXAMPLE\	View	2010/4/28 13:54	EXAMPLE\takahashi viewed	Document/sites/projectA/			

(2) 特定のユーザーのアクセス記録を確認したい

SharePoint 運用管理者の田中さんは、上司から土井松五郎さんが情報漏洩を行っていることが発覚したため過去 1 年間に土井松五郎さんがすべての SharePoint サイトで行った作業を抽出するように言われました。土井松五郎さんに権限のあるサイトがどこにあるか分かっていません。確認対象は以下の通りです。

確認対象

確認対象
土井松五郎(example¥mdoi)

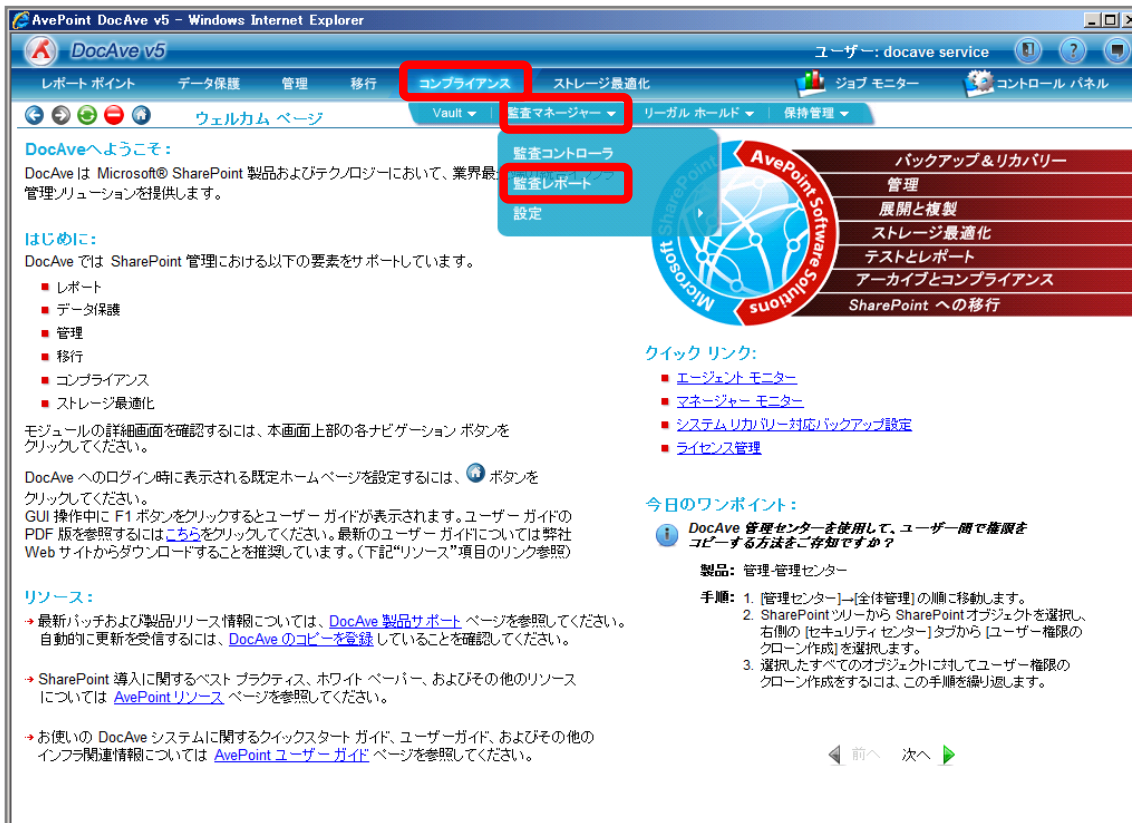
必要なオペレーション

上記シナリオを達成するために、以下のオペレーションを行います。

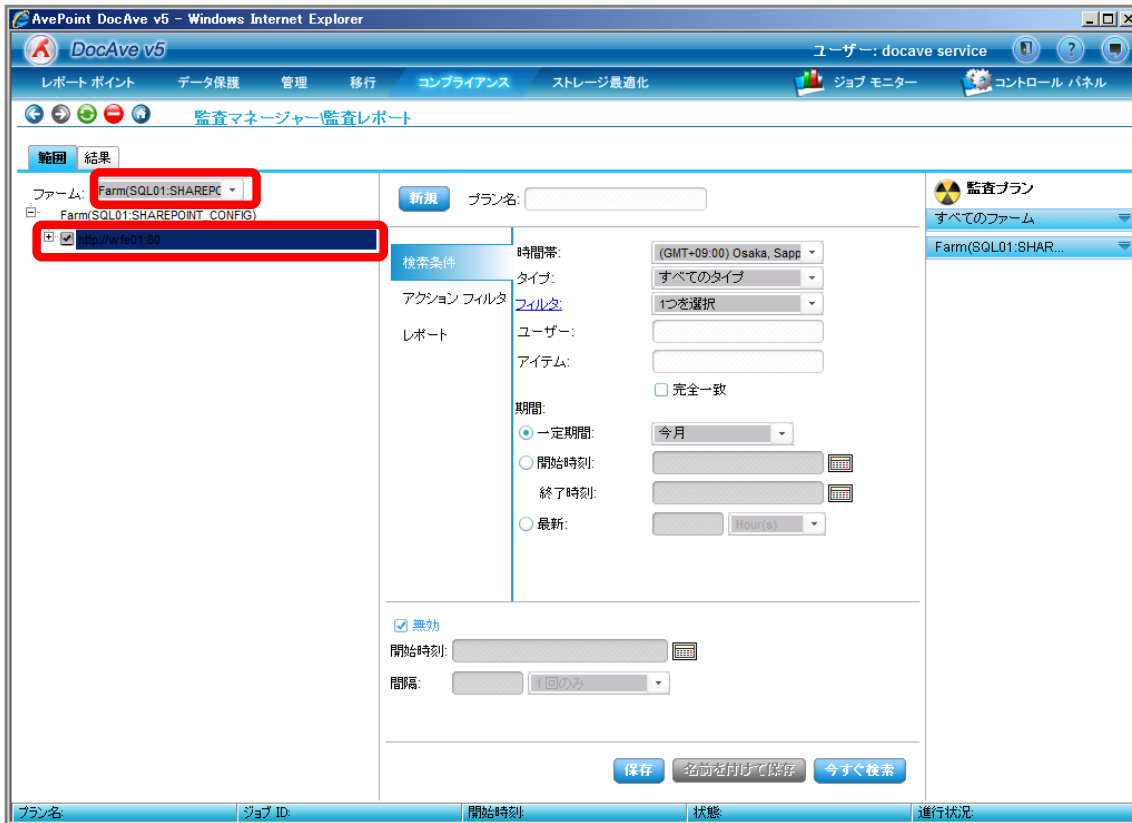
項番	操作	ソリューション	説明
1	監査データ収集	DocAve 監査マネージャー	監査ログを収集します。 ※こちらは事前作業「3-1-1 監査データの取得」で実施しておきます。
2	監査レポート抽出	DocAve 監査マネージャー	収集されている監査ログから条件を指定し、レポートを抽出します。

操作手順

1. SharePoint に格納されている監査ログを収集します。操作手順は「3-1-1 監査データの取得」を参照してください。
2. 管理コンソールより[コンプライアンス]-[監査マネージャー]-[監査レポート]を選択し、監査レポート画面を開きます。

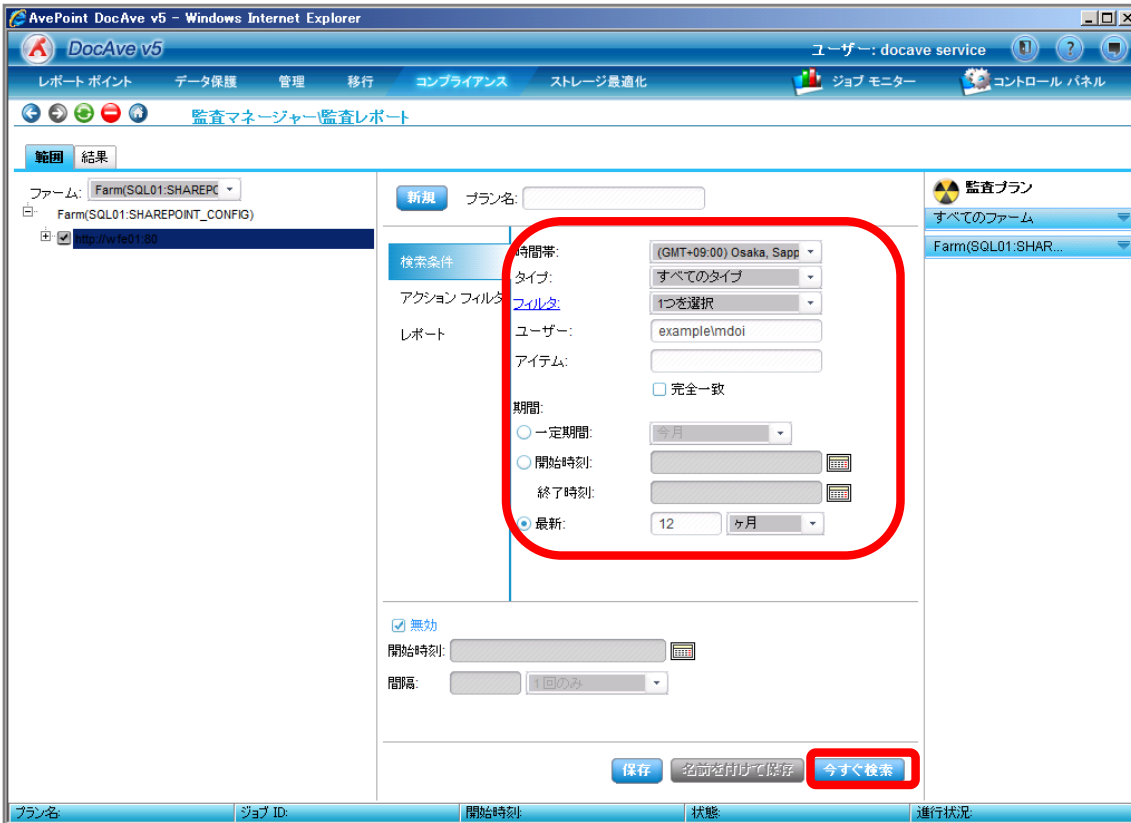


3. [ファーム]から対象のファームを選択します。SharePoint ツリーを Web アプリケーションまで展開し、対象の Web アプリケーションにチェックを入れます。



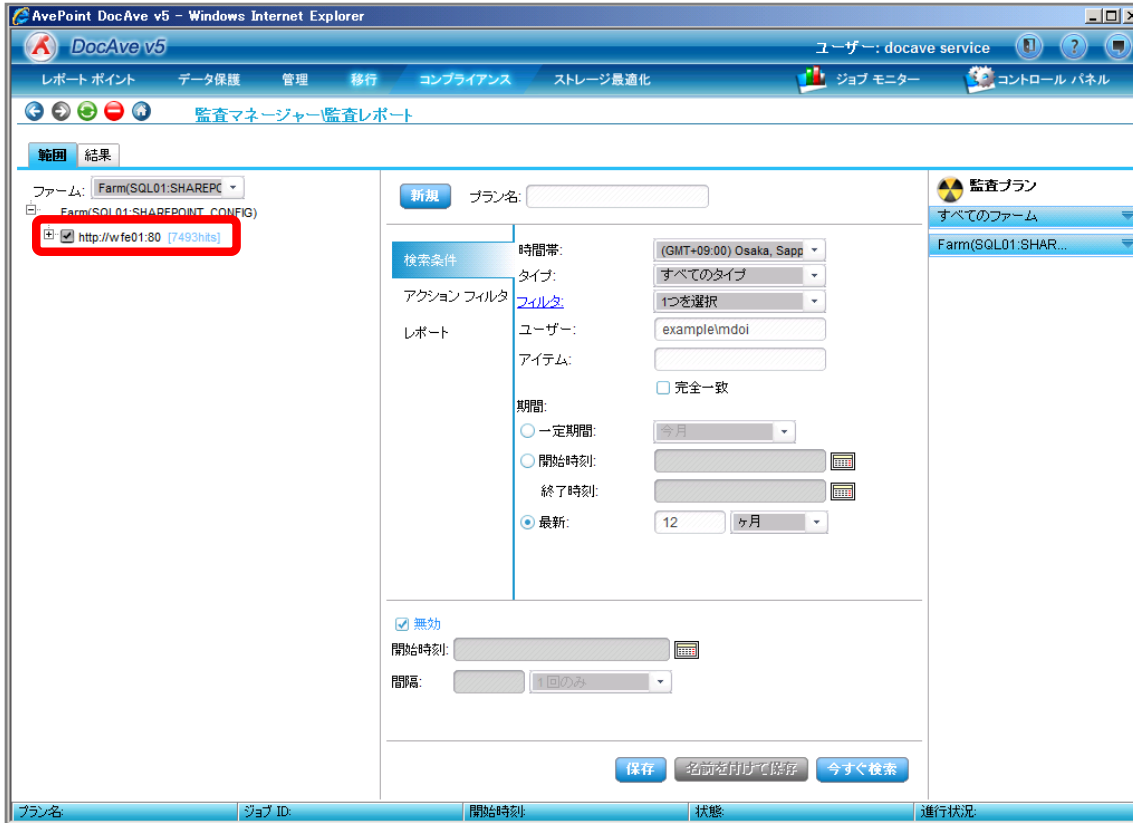
項目	説明	設定値
ファーム	監査ログを表示するファームを選択します。	Farm(SQL01:SHAREPOINT_CONFIG)-Standalone Farm
SharePoint ツリー	SharePoint ツリーから監査ログを表示するオブジェクトを選択します。 [Farm(SQL01:SHAREPOINT_CONFIG)]-[http://wfe01:80]の順で展開します。	http://wfe01/

4. [検索条件]タブの設定を行います。[アクションフィルタ]タブ、[レポート]タブは既定値とし、[今すぐ検索]をクリックします。



項目	説明	設定値
時間帯	使用している環境の時間帯を選択します。既定では日本環境が選択されています。	(GMT+09:00) Osaka,Sapporo,Tokyo
タイプ	選択したタイプで監査ログを抽出します。タイプは SharePoint 標準の監査ログの Item Type に準拠します。	すべてのタイプ
フィルタ	リスト/フォルダ/ファイル/ユーザー/URL を条件でフィルタして監査ログを抽出する際に指定します。条件を包含/排除することが可能です。[コントロールパネル]-[データ]-[フィルタポリシー]で事前に設定しておきます。	1つを選択
ユーザー	特定のユーザーが行った監査ログを抽出する際に指定します。	example¥mdoi
アイテム	特定のアイテムの監査ログを抽出する際に指定します。URL に含まれるアイテム名を入力します。	
完全一致	[アイテム]で指定したアイテム名が完全に一致した監査ログを抽出する際にチェックボックスを有効化します。	無効
期間	特定の期間の監査ログを抽出します。一定期間/開始時刻と終了時刻を指定/最新～間で要件に合う項目のラジオボタンを有効化し、期間を指定します。	最新 12 ヶ月

5. 検索条件に合致した数が表示されるので、Web アプリケーションの URL をクリックします。



6. 表示された結果を確認します。

The screenshot shows the AvePoint DocAve v5 monitoring interface. At the top, there are navigation tabs: レポートポイント, データ保護, 管理, 移行, コンプライアンス, ストレージ最適化, ジョブ モニター, and コントロール パネル. The main title is 監査マネージャー-監査レポート. Below the title, there are buttons for 範囲 and 結果. A dropdown menu shows 表示件数: 30. To the right, it says 合計件数: 7493 / 250 ページ and a ダウンロード button. The main area contains a table with the following columns: URL, タイプ, ユーザー, アクション, 時刻, 詳細, 読み込み元 IP, and ホスト名. The table lists various actions like Update, View, and List performed on URLs starting with http://wfe01.80/sites/projectA/... by the user EXAMPLE\mdoi. At the bottom, there are fields for プラン名, ジョブ ID, 開始時刻, 状態, and 進行状況.

URL	タイプ	ユーザー	アクション	時刻	詳細	読み込み元 IP	ホスト名
http://wfe01.80/sites/projectA/...	Documen	EXAMPLE\mdoi	Update	2010-05-06 06:00:00	EXAMPLE\mdoi updated Document:si...		
http://wfe01.80/sites/projectA/...	List	EXAMPLE\mdoi	Update	2010-05-06 06:00:00	EXAMPLE\mdoi updated List:sites/...		
http://wfe01.80/sites/projectA/...	Documen	EXAMPLE\mdoi	View	2010-05-06 05:59:26	EXAMPLE\mdoi viewed Document:si...	192.168.88.3	SQL01.example
http://wfe01.80/sites/projectA/...	List	EXAMPLE\mdoi	View	2010-05-06 05:59:26	EXAMPLE\mdoi viewed List:sites/p...	192.168.88.3	SQL01.example
http://wfe01.80/sites/projectA/...	Documen	EXAMPLE\mdoi	View	2010-05-06 05:59:26	EXAMPLE\mdoi viewed Document:si...	192.168.88.3	SQL01.example
http://wfe01.80/sites/projectA/...	Documen	EXAMPLE\mdoi	Update	2010-05-06 05:56:00	EXAMPLE\mdoi updated Document:si...		
http://wfe01.80/sites/projectA/...	List	EXAMPLE\mdoi	Update	2010-05-06 05:56:00	EXAMPLE\mdoi updated List:sites/...		
http://wfe01.80/sites/projectA/...	List	EXAMPLE\mdoi	View	2010-05-06 05:55:33	EXAMPLE\mdoi viewed List:sites/p...	192.168.88.3	SQL01.example
http://wfe01.80/sites/projectA/...	Documen	EXAMPLE\mdoi	View	2010-05-06 05:55:33	EXAMPLE\mdoi viewed Document:si...	192.168.88.3	SQL01.example
http://wfe01.80/sites/projectA/...	Documen	EXAMPLE\mdoi	View	2010-05-06 05:55:26	EXAMPLE\mdoi viewed Document:si...		
http://wfe01.80/sites/projectA/...	List	EXAMPLE\mdoi	View	2010-05-06 05:51:26	EXAMPLE\mdoi viewed List:sites/p...	192.168.88.3	SQL01.example
http://wfe01.80/sites/projectA/...	Documen	EXAMPLE\mdoi	View	2010-05-06 05:51:26	EXAMPLE\mdoi viewed Document:si...	192.168.88.3	SQL01.example
http://wfe01.80/sites/projectA/...	List	EXAMPLE\mdoi	View	2010-05-06 05:51:26	EXAMPLE\mdoi viewed List:sites/p...	192.168.88.3	SQL01.example
http://wfe01.80/sites/projectA/...	Documen	EXAMPLE\mdoi	View	2010-05-06 05:51:26	EXAMPLE\mdoi viewed Document:si...	192.168.88.3	SQL01.example
http://wfe01.80/sites/projectA/...	Documen	EXAMPLE\mdoi	Update	2010-05-06 05:48:00	EXAMPLE\mdoi updated Document:si...		
http://wfe01.80/sites/projectA/...	List	EXAMPLE\mdoi	Update	2010-05-06 05:48:00	EXAMPLE\mdoi updated List:sites/...		
http://wfe01.80/sites/projectA/...	List	EXAMPLE\mdoi	View	2010-05-06 05:47:26	EXAMPLE\mdoi viewed List:sites/p...	192.168.88.3	SQL01.example
http://wfe01.80/sites/projectA/...	Documen	EXAMPLE\mdoi	View	2010-05-06 05:47:26	EXAMPLE\mdoi viewed Document:si...	192.168.88.3	SQL01.example
http://wfe01.80/sites/projectA/...	List	EXAMPLE\mdoi	View	2010-05-06 05:47:26	EXAMPLE\mdoi viewed List:sites/p...		
http://wfe01.80/sites/projectA/...	Documen	EXAMPLE\mdoi	View	2010-05-06 05:47:26	EXAMPLE\mdoi viewed Document:si...		
http://wfe01.80/sites/projectA/...	Documen	EXAMPLE\mdoi	Update	2010-05-06 05:44:00	EXAMPLE\mdoi updated Document:si...		
http://wfe01.80/sites/projectA/...	List	EXAMPLE\mdoi	Update	2010-05-06 05:44:00	EXAMPLE\mdoi updated List:sites/...		
http://wfe01.80/sites/projectA/...	List	EXAMPLE\mdoi	View	2010-05-06 05:43:26	EXAMPLE\mdoi viewed List:sites/p...	192.168.88.3	SQL01.example
http://wfe01.80/sites/projectA/...	Documen	EXAMPLE\mdoi	View	2010-05-06 05:43:26	EXAMPLE\mdoi viewed Document:si...	192.168.88.3	SQL01.example

(3) 一定期間経過した監査データを退避させたい

SharePoint 運用管理者の田中さんは、監査ログが溜まり続けて SQL 容量を圧迫しているので移動させたいと考えています。ただし、情報漏洩などがあった時のために移動させた監査ログを再度確認できるようにしておく必要があります。移動対象は以下の通りです。

移動対象

移動対象
1年以上前の監査ログ

必要なオペレーション

上記シナリオを達成するために、以下のオペレーションを行います。

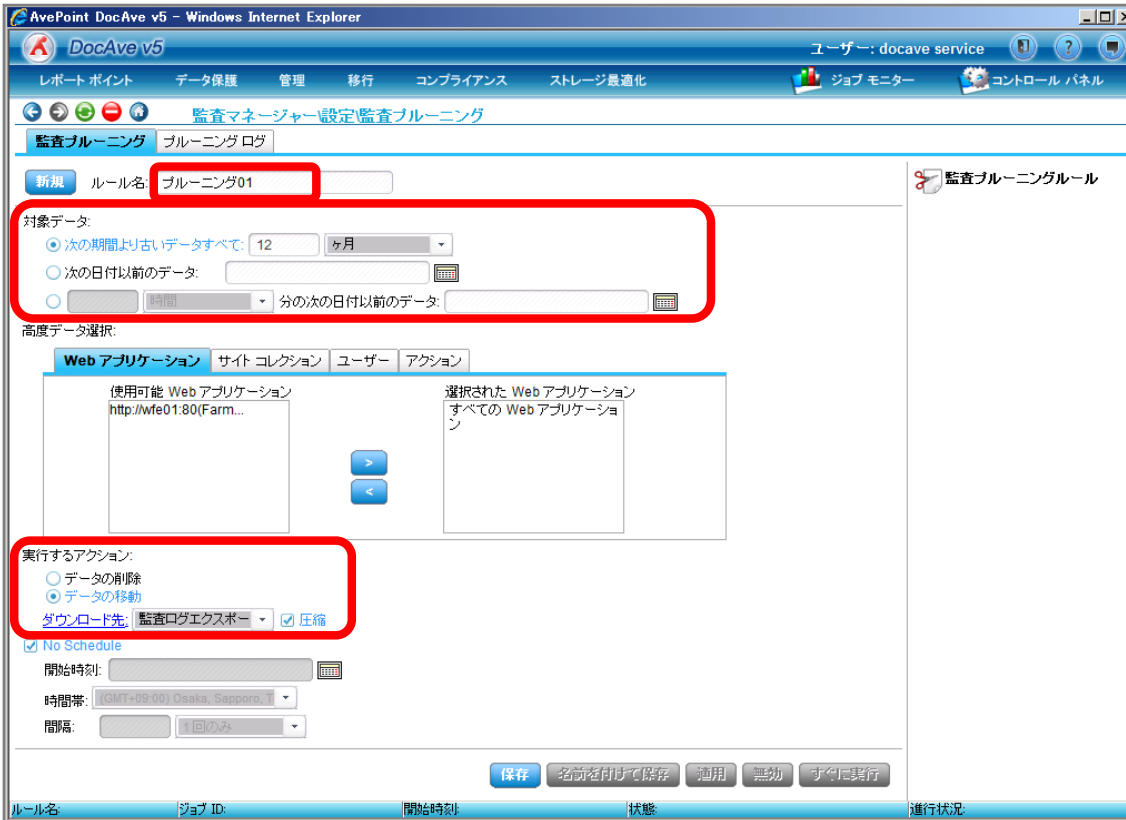
項番	操作	ソリューション	説明
1	監査データ収集	DocAve 監査マネージャー	監査ログを収集します。 ※こちらは事前作業「3-1-1 監査データの取得」で実施しておきます。
2	監査ログ退避先の設定	DocAve 監査マネージャー	監査ログの退避先を設定しておきます。こちらの退避先は監査レポートエクスポート先で設定した出力先が使用できます。 ※こちらは事前作業「3-1-2 監査レポートエクスポート先の設定」で実施しておきます。
3	監査ログの移動ルール作成と適用	DocAve 監査マネージャー	収集されている監査ログのうち条件に適合する監査ログを指定の場所に退避させます。
4	退避ログのリストア	DocAve 監査マネージャー	退避させたログをリストアし、再度利用できるようにします。

操作手順

1. SharePoint に格納されている監査ログを収集します。操作手順は「3-1-1 監査データの取得」を参照してください。
2. 監査レポートのエクスポート先の設定をします。操作手順は「3-1-2 監査レポートエクスポート先の設定」を参照してください。
3. 管理コンソールより[コンプライアンス]-[監査マネージャー]-[設定]-[監査プルーニング]を選択し、監査プルーニング画面を開きます。



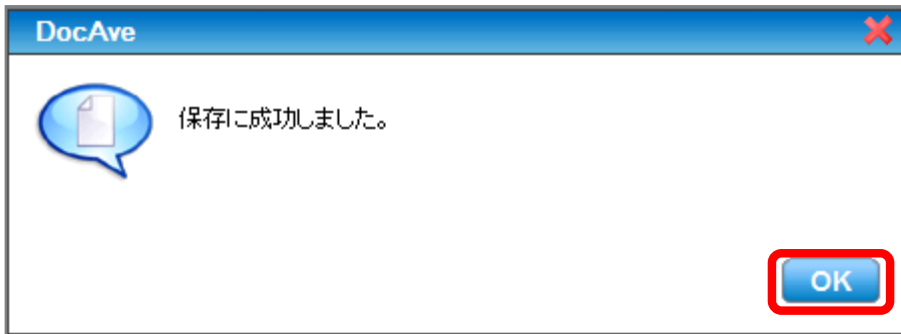
4. [ルール名]を入力します。設定を行い、[保存]をクリックします。



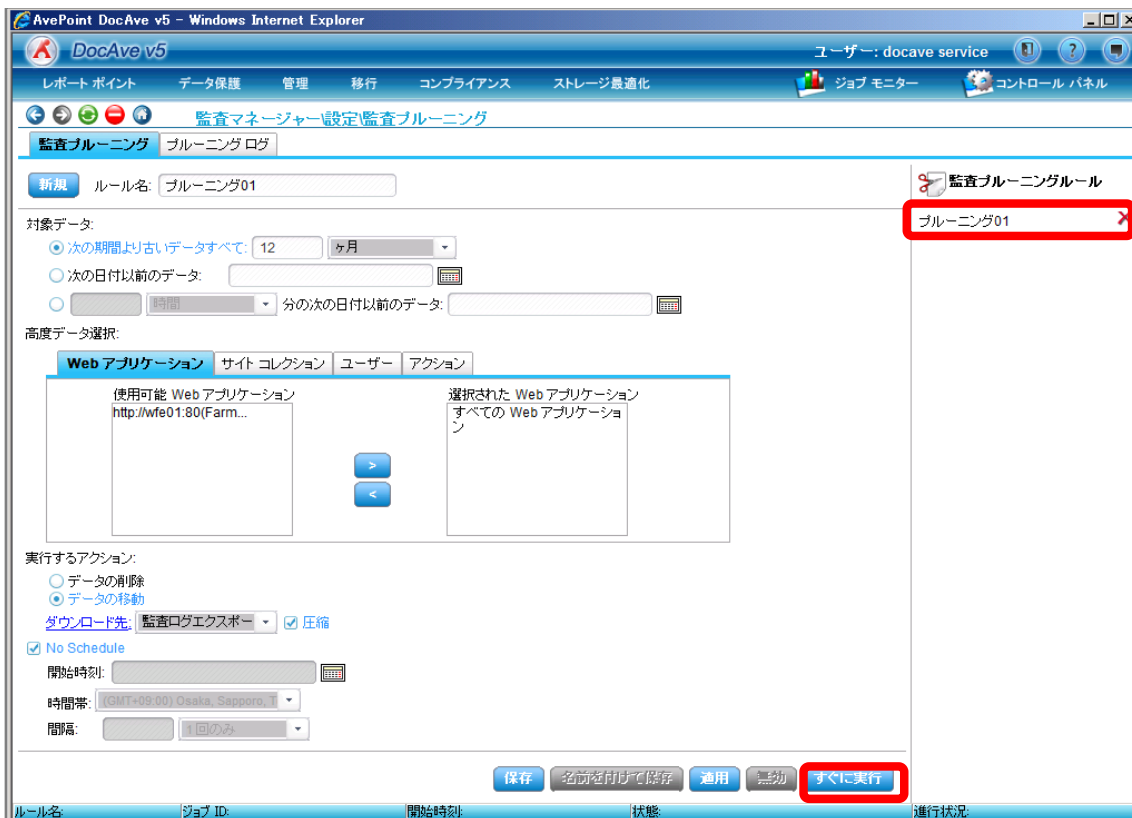
項目	説明	設定値
ルール名	設定をルールとして保存します。今後再利用することが可能となります。	ブルーニング 01
対象データ	退避させる監査ログの期間を設定します。以下 3 つのラジオボタンを有効化させ、期間を指定します。 <ul style="list-style-type: none"> ・次の期間より古いデータすべて ・次の日付以前のデータ ・～分の次の日付以前のデータ 	次の期間より古いデータすべて 12 ヶ月
高度データ選択	退避させるログの種類を指定します。 Web アプリケーション/サイトコレクション/ユーザー/アクションの組み合わせで対象を絞ることができます。既定ではすべてのログが対象になります。	Web アプリケーション: すべての Web アプリケーション サイトコレクション: すべてのサイトコレクション ユーザー: すべてのユーザー アクション: すべてのアクション
実行するアクション	監査ログを退避させるか削除させるか選択します。退避させる場合は退避場所とデータを圧縮させるか選択します。	データの移動 ダウンロード先: 監査ログエクスポート先 圧縮: 有効
No Schedule	チェックボックスを無効とし開始時刻/間隔を指定することで、スケジュール実行が可能となります。スケジュール実行する際	無効

には[保存]をクリックしたあと、[適用]をクリックする必要があります。

5. メッセージボックスが表示されるので[OK]をクリックします。



6. 監査ブルーニングルール項目に「ブルーニング 01」が表示されたことを確認し、[すぐに実行]をクリックします。

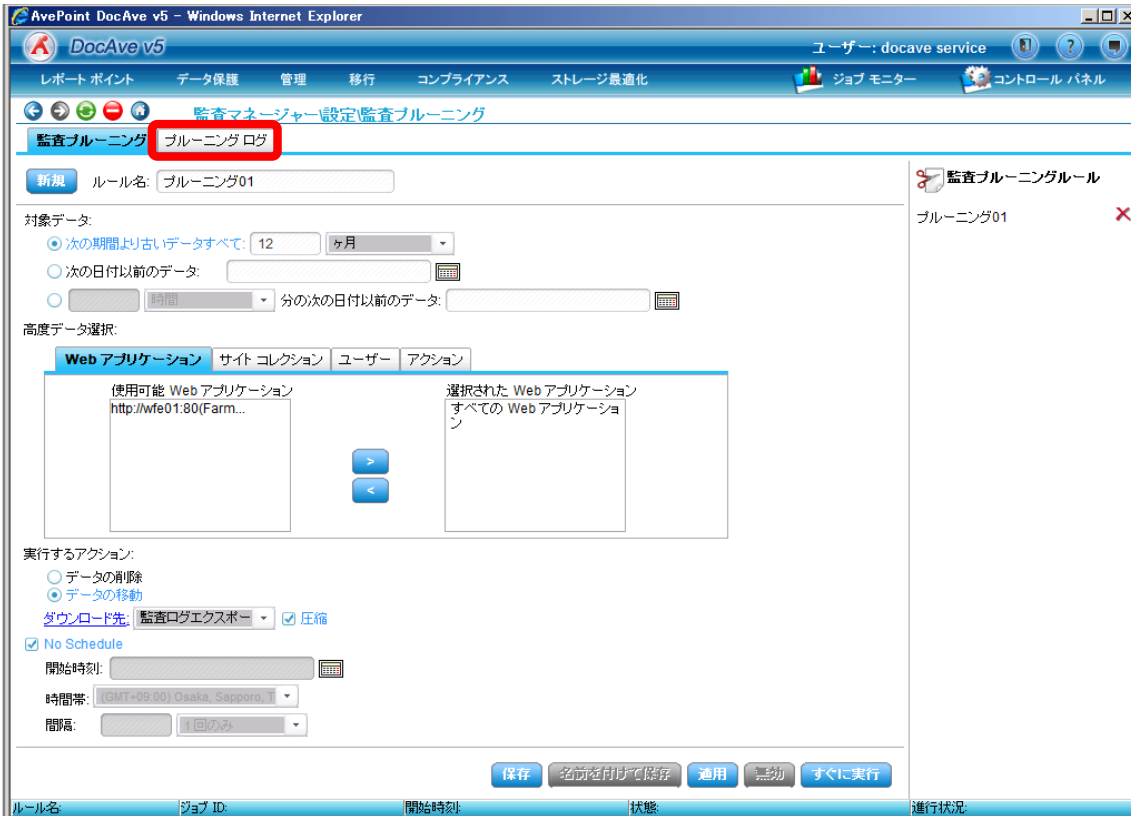


7. メッセージボックスが表示されるので[OK]をクリックします。

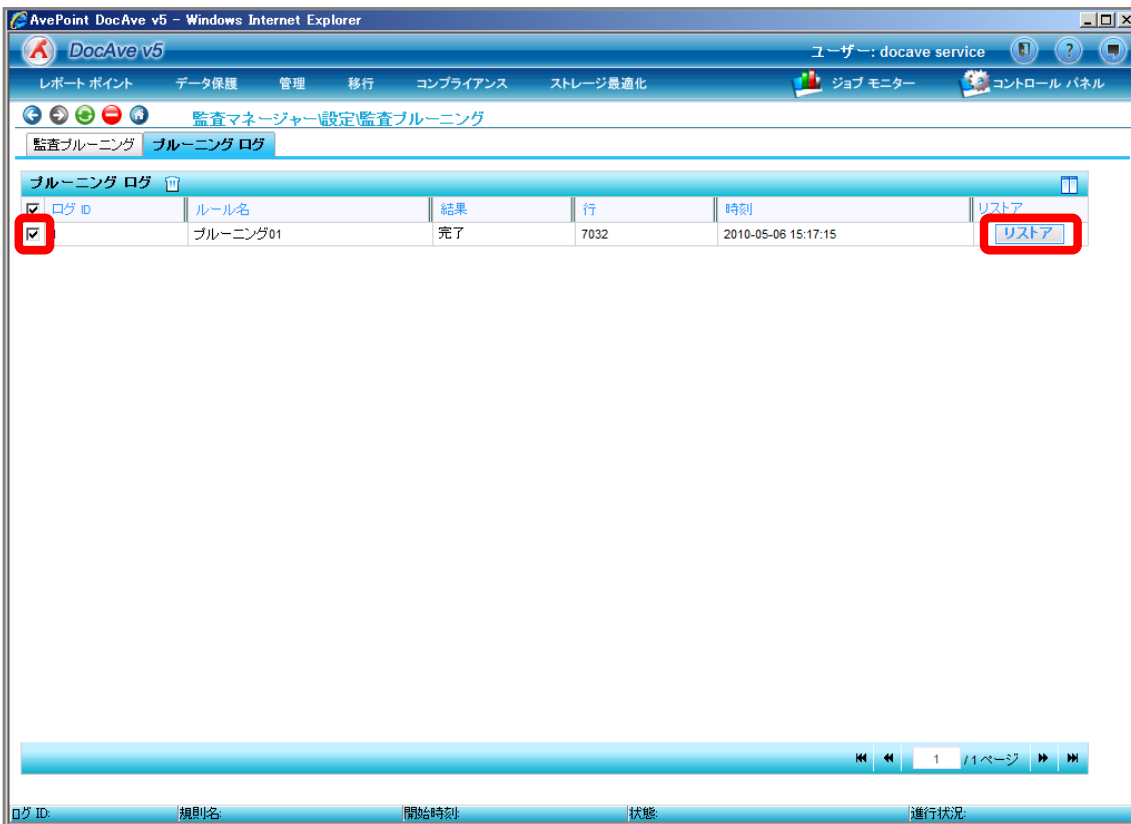


<移動させた監査ログを再度確認する場合>

8. [ブルーニングログ]タブをクリックし、ブルーニングログ画面を表示します。



9. リストアを行うログのチェックボックスを有効化させ、[リストア]をクリックします。



3.4. ストレージ消費状況の可視化

(1) コンテンツ DB のサイズ、空き容量を監視したい

SharePoint 運用管理者の田中さんは、SharePoint の正常運用を行うためにコンテンツ DB が 100GB を超えないように監視する必要があります。システムで自動監視を行いたいため 80GB を超えた時点で通知を受け取りたいと考えています。確認対象は以下の通りです。

<memo>

今回のシナリオではコンテンツ DB のサイズの監視を行いました。手順 4 の[使用可能領域]でサイズを指定することによりコンテンツ DB の空き容量を監視することができます。

確認対象

確認対象
WSS_Content_Portal_01
WSS_Content_Portal_02

必要なオペレーション

上記シナリオを達成するために、以下のオペレーションを行います。

項番	操作	ソリューション	説明
1	SharePoint 環境等の情報収集	DocAve レポートポイント	レポートポイントの元情報となる SharePoint 環境等の情報を収集します。 ※こちらは事前作業「3-1-3 ストレージサイズやサイトコレクションの表示速度情報の取得」で実施しております。
2	メール通知先の設定	DocAve コントロールパネル	メール通知先や使用する SMTP サーバーを設定します。 ※こちらは事前作業「3-1-5 メール通知先の設定」で実施しております。
3	閾値設定	DocAve レポートポイント	コンテンツ DB の閾値やメール通知先の選択を行います。
4	メール通知の有効化	DocAve レポートポイント	レポートポイントのストレージトレンド機能でメール通知を有効化させます。

操作手順

1. SharePoint 情報を収集します。操作手順は「3-1-3SharePoint データの取得」を参照してください。
2. メール通知先を設定します。操作手順は「3-1-5 メール通知先の設定」を参照してください。
3. 管理コンソールより[レポートポイント]-[レポート管理]を選択し、レポート管理画面を開きます。

AvePoint DocAve v5 - Windows Internet Explorer

DocAve v5

ユーザー: docave service

レポートポイント データ保護 管理 移行 コンプライアンス ストレージ最適化

SharePoint-インフラストラクチャ 利用状況分析 DocAve レポート レポート管理

DocAveへようこそ:

DocAve は Microsoft® SharePoint® 製品およびテクノロジーにおいて、業界最先端の統合インフラ管理ソリューションを提供します。

はじめに:

DocAve では SharePoint 管理における以下の要素をサポートしています。

- レポート
- データ保護
- 管理
- 移行
- コンプライアンス
- ストレージ最適化

モジュールの詳細画面を確認するには、本画面上部の各ナビゲーション ボタンをクリックしてください。

DocAve へのログイン時に表示される既定ホームページを設定するには、🔍 ボタンをクリックしてください。

GUI 操作中に F1 ボタンをクリックするとユーザー ガイドが表示されます。ユーザー ガイドの PDF 版を参照するには [こちら](#) をクリックしてください。最新のユーザー ガイドについては弊社 Web サイトからダウンロードすることを推奨しています。(下記「リソース」項目のリンク参照)

リソース:

- 最新パッチおよび製品リリース情報については、[DocAve 製品サポート](#) ページを参照してください。自動的に更新を受信するには、[DocAve のコピーを登録](#) していることを確認してください。
- SharePoint 導入に関するベスト プラクティス、ホワイト ペーパー、およびその他のリソースについては [AvePoint リソース](#) ページを参照してください。
- お使いの DocAve システムに関するクイックスタート ガイド、ユーザーガイド、およびその他のインフラ関連情報については [AvePoint ユーザー ガイド](#) ページを参照してください。

クイックリンク:

- [エージェント モニター](#)
- [マネージャー モニター](#)
- [システムリカバリー対応バックアップ設定](#)
- [ライセンス管理](#)

今日のワンポイント:

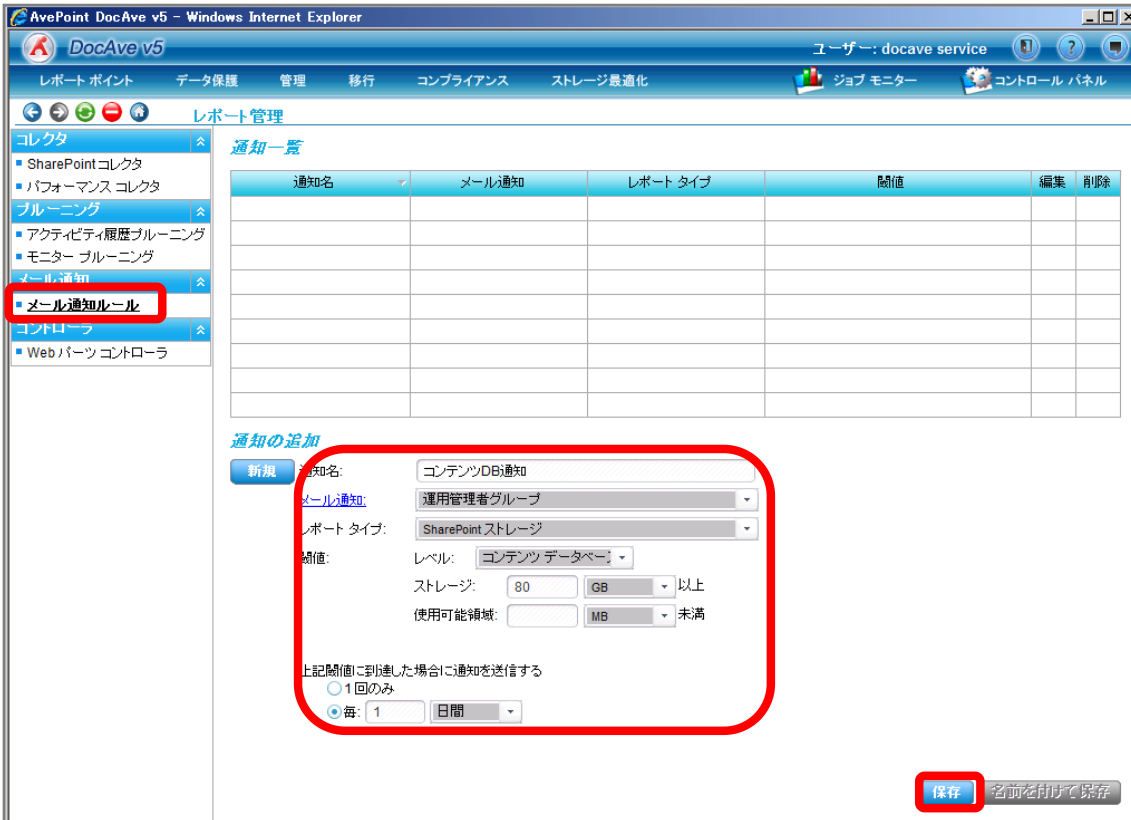
1 DocAve 管理センターを使用して、ユーザー間で権限をコピーする方法をご存知ですか？

製品: 管理-管理センター

手順: 1. [管理センター]→[全体管理]の順に移動します。
2. SharePoint ツリーから SharePoint オブジェクトを選択し、右側の [セキュリティ センター] タブから [ユーザー権限のクローン作成] を選択します。
3. 選択したすべてのオブジェクトに対してユーザー権限のクローン作成をするには、この手順を繰り返します。

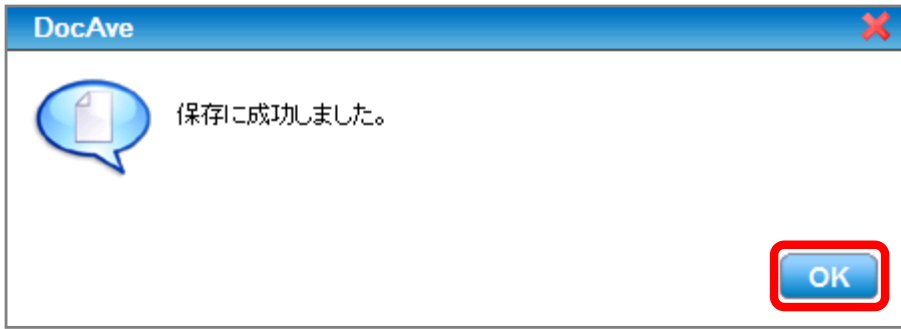
前へ 次へ

4. 左ペインから[メール通知ルール]を選択します。画面下の通知の追加カテゴリにて設定を行い、[保存]をクリックします。

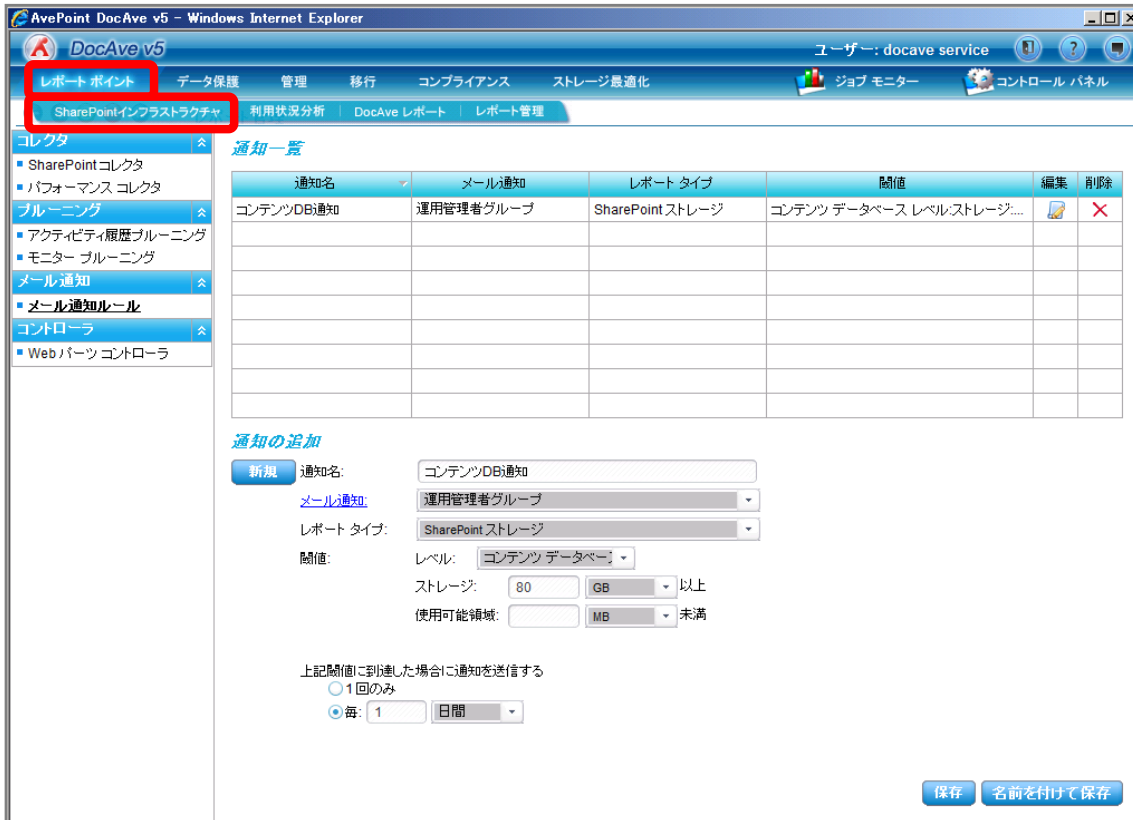


項目	説明	設定値
通知名	通知名を入力します。	コンテンツ DB 通知
メール通知	事前に[コントロールパネル]-[レポート]-[メール通知]で設定したメール通知名を選択します。	運用管理者グループ
レポートタイプ	レポートポイントのどの機能に対してメール通知を行うか選択します。	SharePoint ストレージ
閾値	メール通知を行う閾値を入力します。	レベル: コンテンツデータベース ストレージ: 80GB
メール通知間隔	メール通知を行う間隔を指定します。対象のラジオボタンを有効化させて値を入力します。	毎: 1 日間

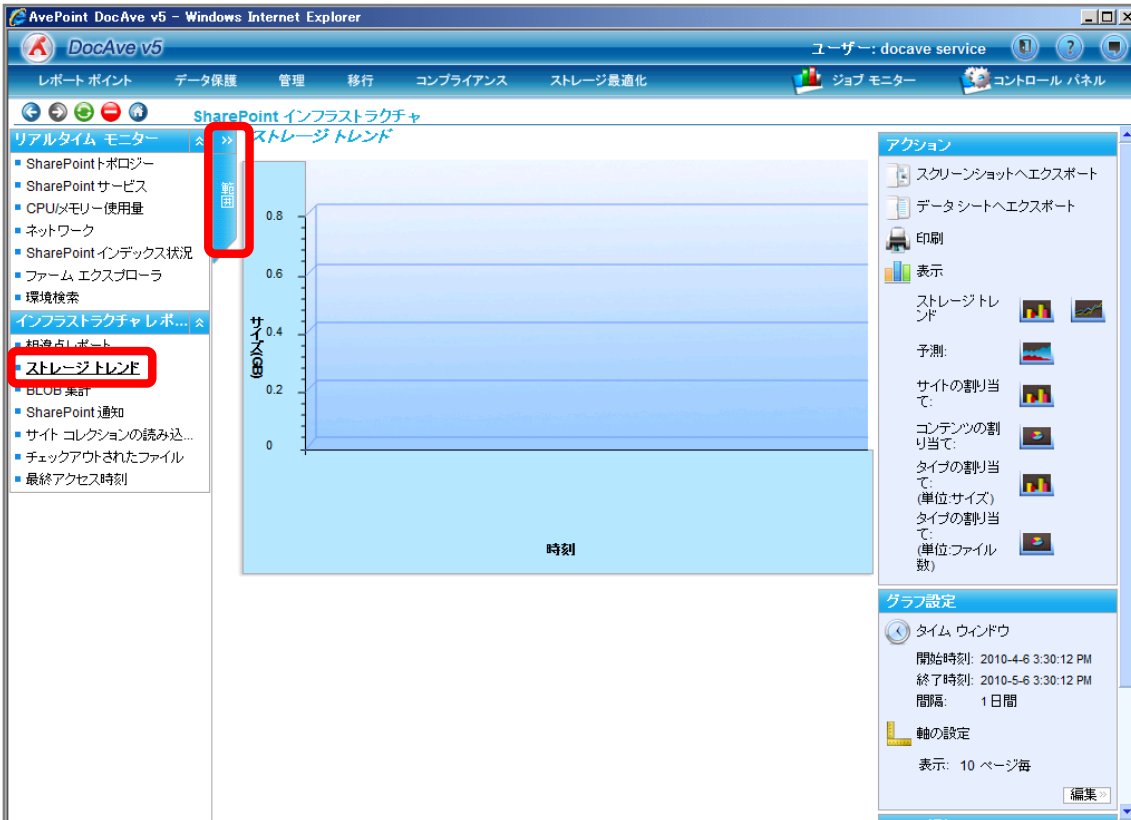
5. メッセージボックスが表示されるので、[OK]をクリックします。



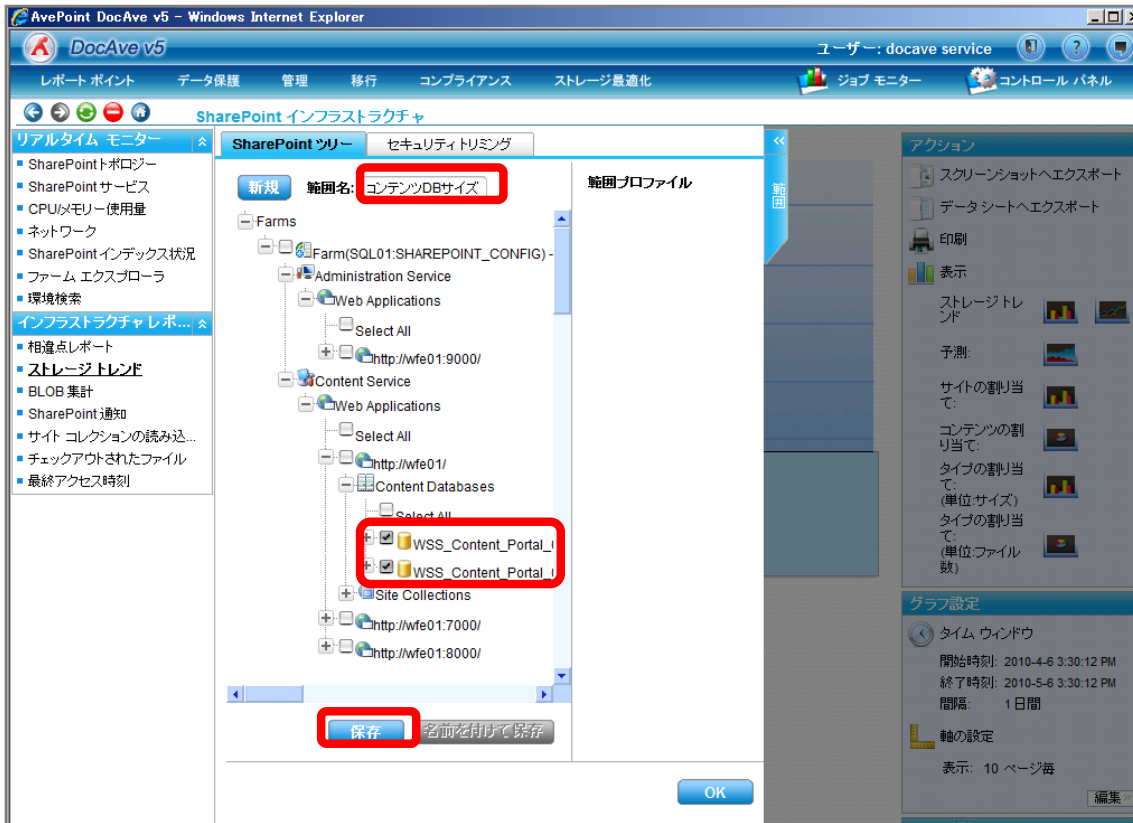
6. [レポートポイント]-[SharePoint インフラストラクチャ]を選択し、SharePoint インフラストラクチャ画面を開きます。



7. 左ペインから[ストレージトレンド]を選択し、右ペインの[範囲]タブをクリックします。

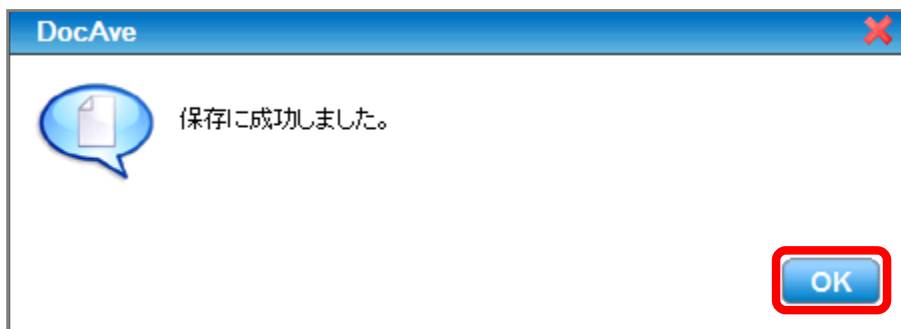


8. 範囲名を入力します。SharePoint ツリーをコンテンツ DB まで展開し、対象のコンテンツ DB にチェックを入れ[保存]をクリックします。

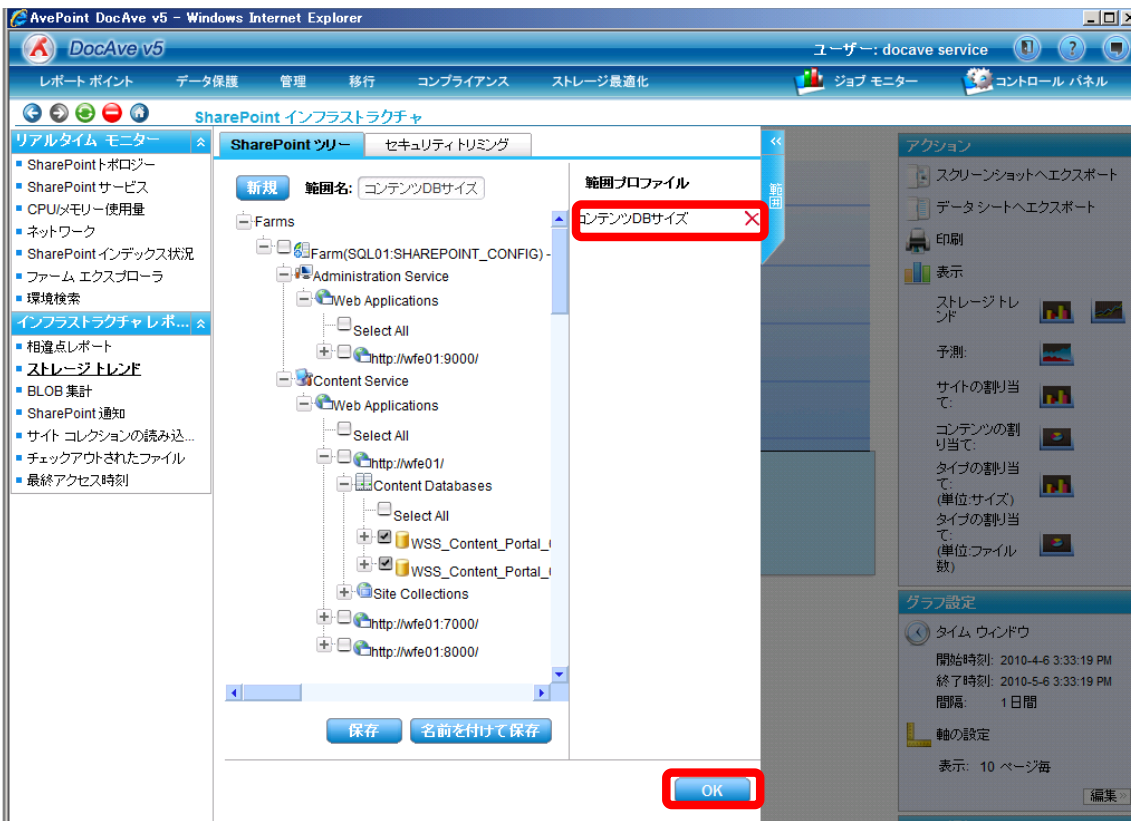


項目	説明	設定値
範囲名	設定をプロファイルとして保存します。今后再利用することが可能となります。	コンテンツ DB サイズ
SharePoint ツリー	SharePoint ツリーからコンテンツ DB の使用サイズを表示するオブジェクトを選択します。 [Farm]-[Farm(SQL01:SHAREPOINT_CONFIG)]-[Content Service]-[Web Applications]-[http://wfe01/]-[Content Databases]の順で展開します。	WSS_Content_Portal_01 WSS_Content_Portal_02

9. メッセージボックスが表示されるので[OK]をクリックします。



10. 範囲プロファイル項目に「コンテンツ DB サイズ」が表示されたことを確認し、[OK]をクリックします。



11. 右ペインにコンテンツ DB のサイズが表示されていることを確認します。メール通知項目の[編集]をクリックします。

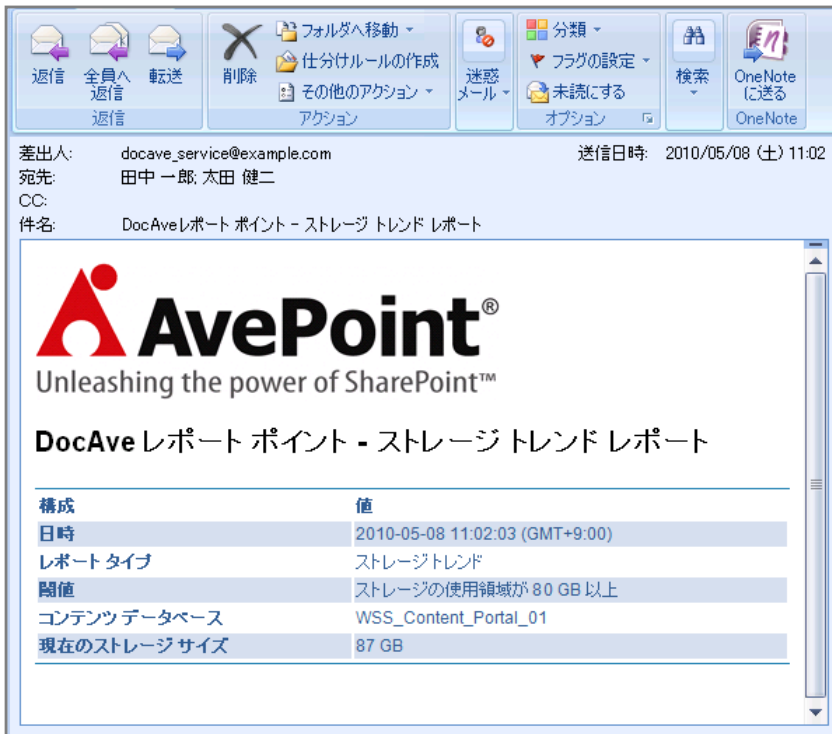


12. [通知名]に「コンテンツ DB 通知」を選択し、[OK]をクリックします。



項目	説明	設定値
通知名	[レポートポイント]-[レポート管理]-[メール通知ルール]で事前に設定した通知名を選択します。	コンテンツ DB 通知

13. 閾値を超えた際に通知メールを受け取ります。



(2) サイトコレクションのサイズを監視したい

SharePoint 運用管理者の田中さんは、SharePoint の正常運用を行うためにサイトコレクションのサイズが 15GB を超えないように監視する必要があります。SharePoint ファームには多数のサイトコレクションがあり、サイズが 10GB を超えたサイトコレクションがある場合、運用管理を行っている全員が通知を受け取りたいと考えています。確認対象は以下の通りです。

確認対象

確認対象
全社ポータルサイト(http://wfe01/default.aspx)
A プロジェクトサイト(http://wfe01/sites/projectA/default.aspx)
B プロジェクトサイト(http://wfe01/sites/projectB/default.aspx)

必要なオペレーション

上記シナリオを達成するために、以下のオペレーションを行います。

項番	操作	ソリューション	説明
1	SharePoint 環境等の情報収集	DocAve レポートポイント	レポートポイントの元情報となる SharePoint 環境等の情報を収集します。 ※こちらは事前作業「3-1-3 ストレージサイズやサイトコレクションの表示速度情報の取得」で実施しておきます。
2	メール通知先の設定	DocAve コントロールパネル	メール通知先や使用する SMTP サーバーを設定します。 ※こちらは事前作業「3-1-5 メール通知先の設定」で実施しておきます。
3	閾値設定	DocAve レポートポイント	サイトコレクションの閾値やメール通知先の選択を行います。
4	メール通知の有効化	DocAve レポートポイント	レポートポイントのストレージトレンド機能でメール通知を有効化させます。

操作手順

1. SharePoint 情報を収集します。操作手順は「3-1-3SharePoint 情報の取得」を参照してください。
2. メール通知先を設定します。操作手順は「3-1-5 メール通知先の設定」を参照してください。
3. 管理コンソールより[レポートポイント]-[レポート管理]を選択し、レポート管理画面を開きます。

AvePoint DocAve v5 - Windows Internet Explorer

DocAve v5 ユーザー: docave service

レポートポイント データ保護 管理 移行 コンプライアンス ストレージ最適化

SharePoint-インフラストラクチャ 利用状況分析 DocAve レポート レポート管理

DocAveへようこそ:

DocAve は Microsoft® SharePoint 製品およびテクノロジーにおいて、業界最先端の統合インフラ管理ソリューションを提供します。

はじめに:

DocAve では SharePoint 管理における以下の要素をサポートしています。

- レポート
- データ保護
- 管理
- 移行
- コンプライアンス
- ストレージ最適化

モジュールの詳細画面を確認するには、本画面上部の各ナビゲーション ボタンをクリックしてください。

DocAve へのログイン時に表示される既定ホームページを設定するには、 ボタンをクリックしてください。

GUI 操作中に F1 ボタンをクリックするとユーザー ガイドが表示されます。ユーザー ガイドの PDF 版を参照するには [こちら](#) をクリックしてください。最新のユーザー ガイドについては弊社 Web サイトからダウンロードすることを推奨しています。(下記“リソース”項目のリンク参照)

リソース:

- 最新パッチおよび製品リリース情報については、[DocAve 製品サポート](#) ページを参照してください。自動的に更新を受信するには、[DocAve のコピーを登録](#) していることを確認してください。
- SharePoint 導入に関するベスト プラクティス、ホワイト ペーパー、およびその他のリソースについては [AvePoint リソース](#) ページを参照してください。
- お使いの DocAve システムに関するクイックスタート ガイド、ユーザーガイド、およびその他のインフラ関連情報については [AvePoint ユーザーガイド](#) ページを参照してください。

バックアップ&リカバリー
管理
展開と複製
ストレージ最適化
テストとレポート
アーカイブとコンプライアンス
SharePoint への移行

クイック リンク:

- [エージェント モニター](#)
- [マネージャー モニター](#)
- [システムリカバリー対応バックアップ認定](#)
- [ライセンス管理](#)

今日のワンポイント:

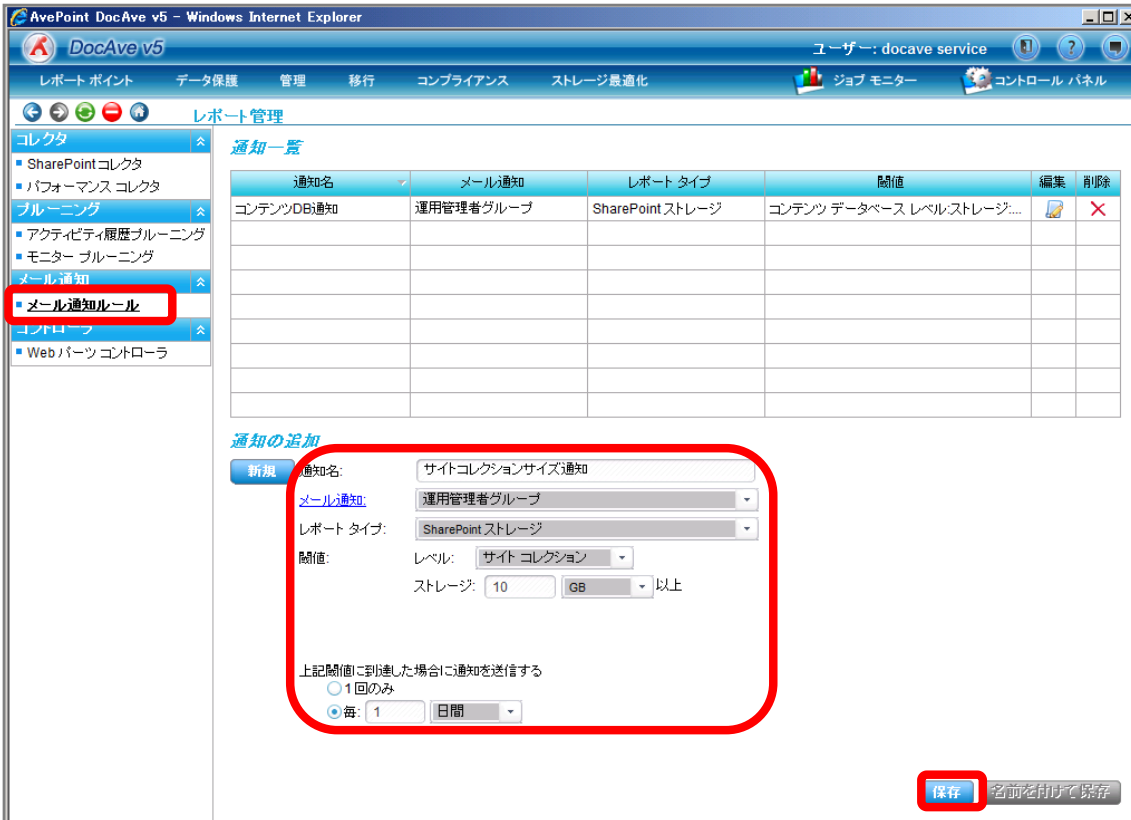
1 DocAve 管理センターを使用して、ユーザー間で権限をコピーする方法をご存知ですか？

製品: 管理-管理センター

手順: 1. [管理センター]-[全体管理]の順に移動します。
2. SharePoint ツリーから SharePoint オブジェクトを選択し、右側の [セキュリティ センター] タブから [ユーザー権限のクローン作成] を選択します。
3. 選択したすべてのオブジェクトに対してユーザー権限のクローン作成をするには、この手順を繰り返します。

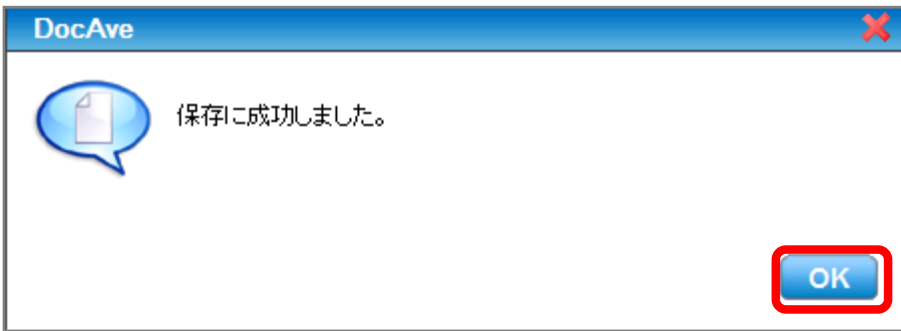
前へ 次へ

4. 左ペインから[メール通知ルール]を選択します。画面下の通知の追加カテゴリにて設定を行い、[保存]をクリックします。

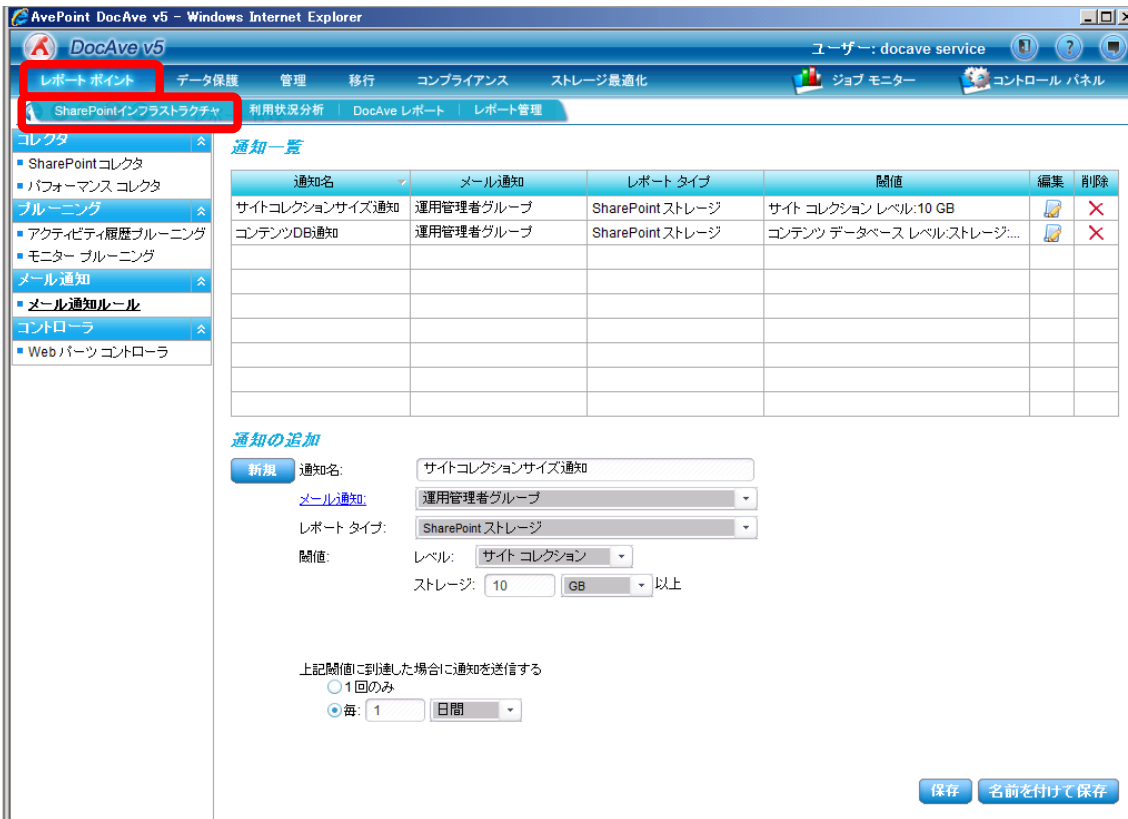


項目	説明	設定値
通知名	通知名を入力します。	サイトコレクションサイズ通知
メール通知	事前に[コントロールパネル]-[レポート]-[メール通知]で設定したメール通知名を選択します。	運用管理者グループ
レポートタイプ	レポートポイントのどの機能に対してメール通知を行うか選択します。	SharePoint ストレージ
閾値	メール通知を行う閾値を入力します。	レベル: サイトコレクション ストレージ: 10GB
メール通知間隔	メール通知を行う間隔を指定します。対象のラジオボタンを有効化させて値を入力します。	毎: 1 日間

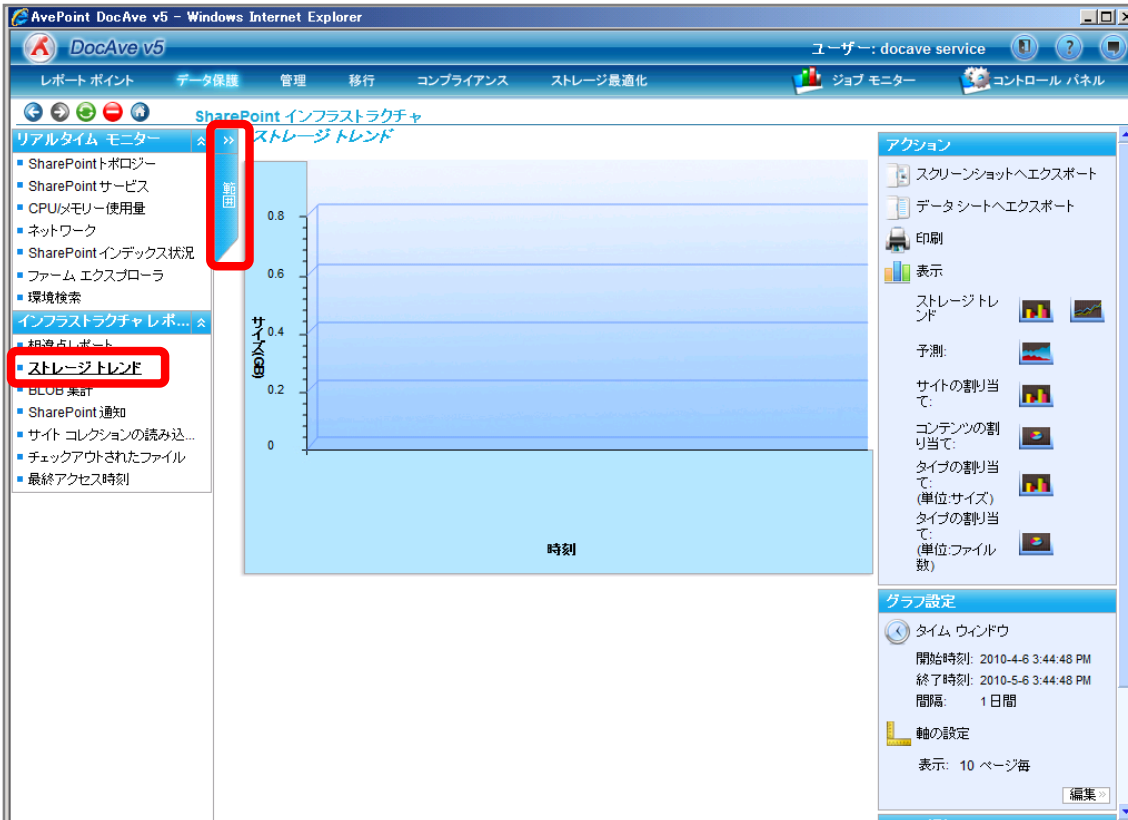
5. メッセージボックスが表示されるので、[OK]をクリックします。



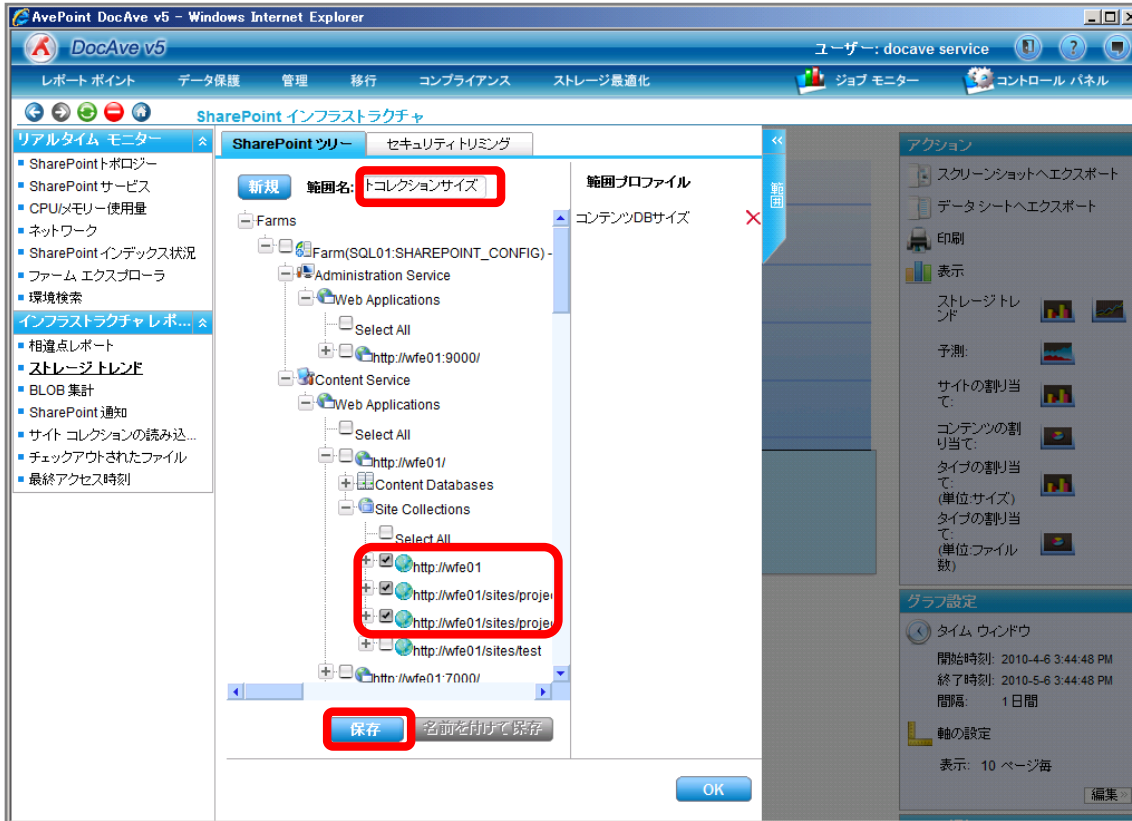
6. [レポートポイント]-[SharePoint インフラストラクチャ]を選択し SharePoint インフラストラクチャ画面を開きます。



7. 左ペインから[ストレージトレンド]を選択し、右ペインの[範囲]タブをクリックします。

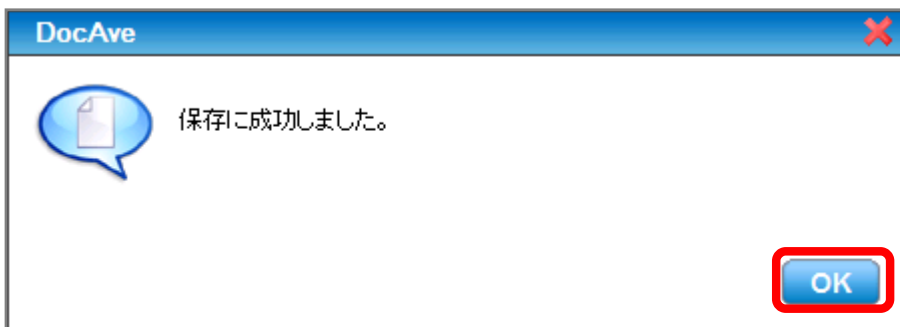


8. 範囲名を入力します。SharePoint ツリーをサイトコレクションまで展開し、対象のサイトコレクションにチェックを入れ[保存]をクリックします。

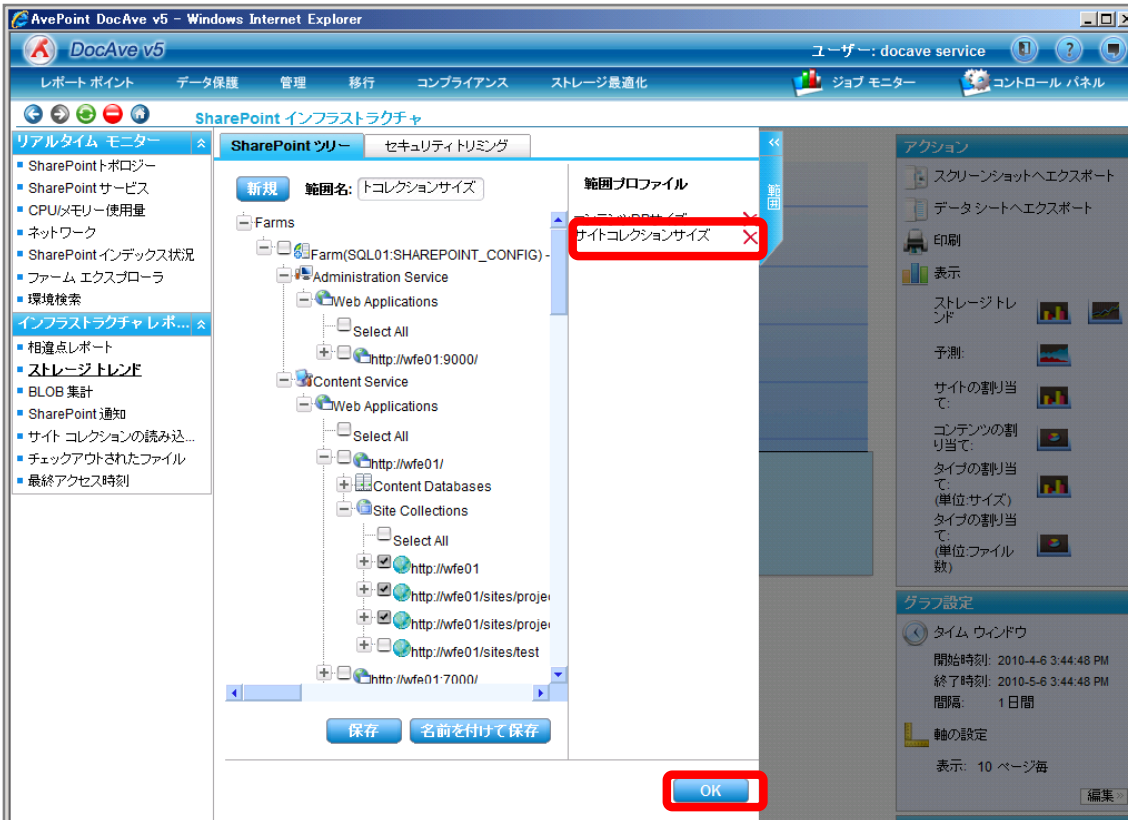


項目	説明	設定値
範囲名	設定をプロファイルとして保存します。今后再利用することが可能となります。	サイトコレクションサイズ
SharePoint ツリー	SharePoint ツリーからサイトコレクションのサイズを表示するオブジェクトを選択します。 [Farm]-[Farm(SQL01:SHAREPOINT_CONFIG)]-[Content Service]-[Web Applications]-[http://wfe01/]-[Site Collections]の順で展開します。	http://wfe01 http://wfe01/sites/projectA http://wfe01/sites/projectB

9. メッセージボックスが表示されるので[OK]をクリックします。



10. 範囲プロファイル項目に「サイトコレクションサイズ」が表示されたことを確認し、[OK]をクリックします。



11. 右ペインにサイトコレクションのサイズが表示されていることを確認します。メール通知項目の[編集]をクリックします。

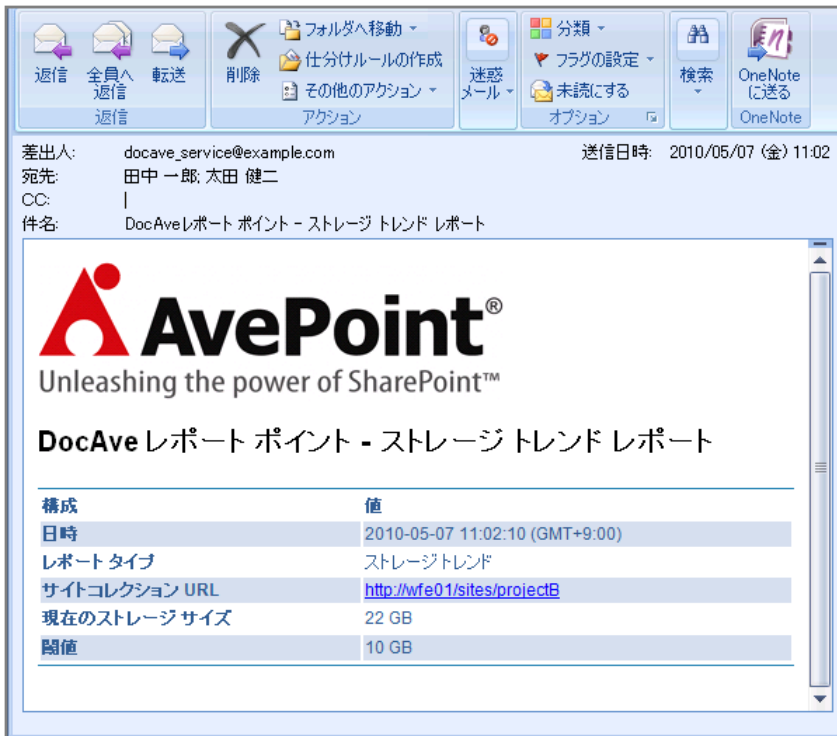


12. [通知名]に「サイトコレクションサイズ通知」を選択し、[OK]をクリックします。



項目	説明	設定値
通知名	[レポートポイント]-[レポート管理]-[メール通知ルール]で事前に設定した通知名を選択します。	サイトコレクションサイズ通知

13. 閾値を超えた際に通知メールを受け取ります。



(3) リスト/ライブラリのアイテム数を確認し、問題があれば移動させたい。

SharePoint 運用管理者の田中さんは、ユーザーから B プロジェクトサイズの表示速度が遅いと連絡を受けました。B プロジェクトサイトのリスト/ライブラリのサイズやアイテム数を確認し、容量が大きいもしくは 1500 アイテムを超えているリスト/ライブラリを分割させる必要があります。確認対象は以下の通りです。

<memo>

今回のシナリオでは 1500 アイテムを超えたリスト/ライブラリがあると想定します。容量が大きいリスト/ライブラリを確認するには、手順 8 の[アイテム]列を[サイズ]列に置き換えて実施してください。

確認対象

確認対象
B プロジェクトサイト(http://wfe01/sites/projectB/default.aspx)

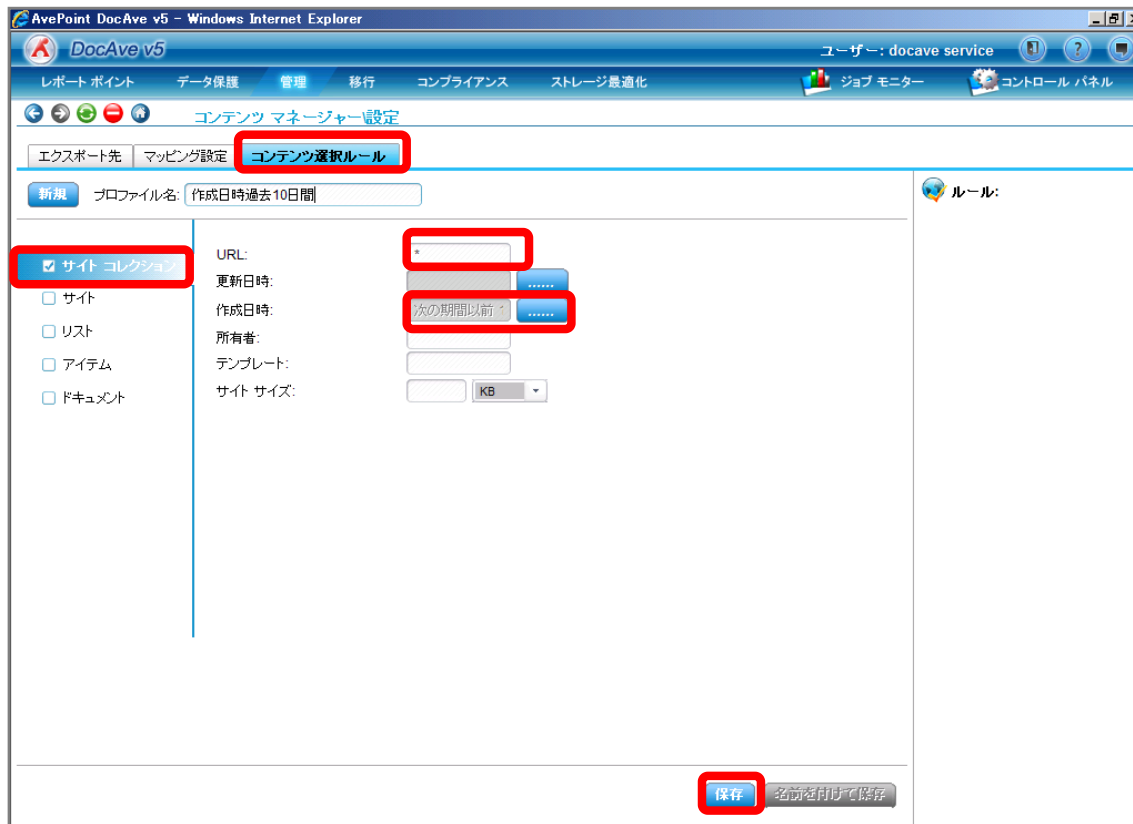
必要なオペレーション

上記シナリオを達成するために、以下のオペレーションを行います。

項番	操作	ソリューション	説明
1	SharePoint 環境等の情報収集	DocAve レポートポイント	レポートポイントの元情報となる SharePoint 環境等の情報を収集します。 ※こちらは事前作業「3-1-3 ストレージサイズやサイトコレクションの表示速度情報の取得」で実施しておきます。
2	リスト/ライブラリのサイズ/アイテム数確認	DocAve レポートポイント	サイトコレクションのリスト/ライブラリのサイズやアイテム数を確認します。
3	リスト/ライブラリの分割	DocAve コンテンツマネージャー	容量が大きいもしくは 1500 アイテムを超えたリスト/ライブラリを分割します。

<memo>

リスト/ライブラリの分割の手順 12 を実施するためには事前に[管理]-[コンテンツマネージャー]-[設定]の[コンテンツ選択ルール]で設定、保存しておく必要があります。



項目	説明	設定値
プロファイル名	設定をプロファイルとして保存します。今後再利用することが可能となります。	作成日時過去 10 日間
サイトコレクション	チェックボックスを有効化することによって、タブ内でサイトコレクション単位のルールを設定します。	有効
URL	移動対象の URL を指定します。*を入力することによりすべての URL が対象となります。	*
作成日時	コンテンツの作成日時により移動対象を絞ることができます。入力ボックス右にある をクリックし、[次の期間以前]を有効化させ「10 日間」を設定します。	次の期間以前 : 10 日間

操作手順

1. SharePoint 情報を収集します。操作手順は「3-1-3SharePoint 情報の取得」を参照してください。
2. 管理コンソールより[レポートポイント]-[SharePoint インフラストラクチャ]を選択し、SharePoint インフラストラクチャ画面を開きます。

DocAve v5 ユーザー: docave service

レポートポイント データ保護 管理 移行 コンプライアンス ストレージ最適化

SharePointインフラストラクチャ 利用状況分析 DocAve レポート レポート管理

DocAveへようこそ:

DocAveは Microsoft® SharePoint 製品およびテクノロジーにおいて、業界最先端の統合インフラ管理ソリューションを提供します。

はじめに:

DocAveでは SharePoint 管理における以下の要素をサポートしています。

- レポート
- データ保護
- 管理
- 移行
- コンプライアンス
- ストレージ最適化

モジュールの詳細画面を確認するには、本画面上部の各ナビゲーション ボタンをクリックしてください。

DocAve へのログイン時に表示される既定ホームページを設定するには、 ボタンをクリックしてください。

GUI 操作中に F1 ボタンをクリックするとユーザー ガイドが表示されます。ユーザー ガイドの PDF 版を参照するには [こちら](#) をクリックしてください。最新のユーザー ガイドについては弊社 Web サイトからダウンロードすることを推奨しています。(下記「リソース」項目のリンク参照)

リソース:

- 最新パッチおよび製品リリース情報については、[DocAve 製品サポート](#) ページを参照してください。自動的に更新を受信するには、[DocAve のコピーを登録](#) していることを確認してください。
- SharePoint 導入に関するベスト プラクティス、ホワイト ペーパー、およびその他のリソースについては [AvePoint リソース](#) ページを参照してください。
- お使いの DocAve システムに関するクイックスタート ガイド、ユーザーガイド、およびその他のインフラ関連情報については [AvePoint ユーザー ガイド](#) ページを参照してください。

クイックリンク:

- [エージェント モニター](#)
- [マネージャー モニター](#)
- [システムリカバリー対応バックアップ設定](#)
- [ライセンス管理](#)

今日のワンポイント:

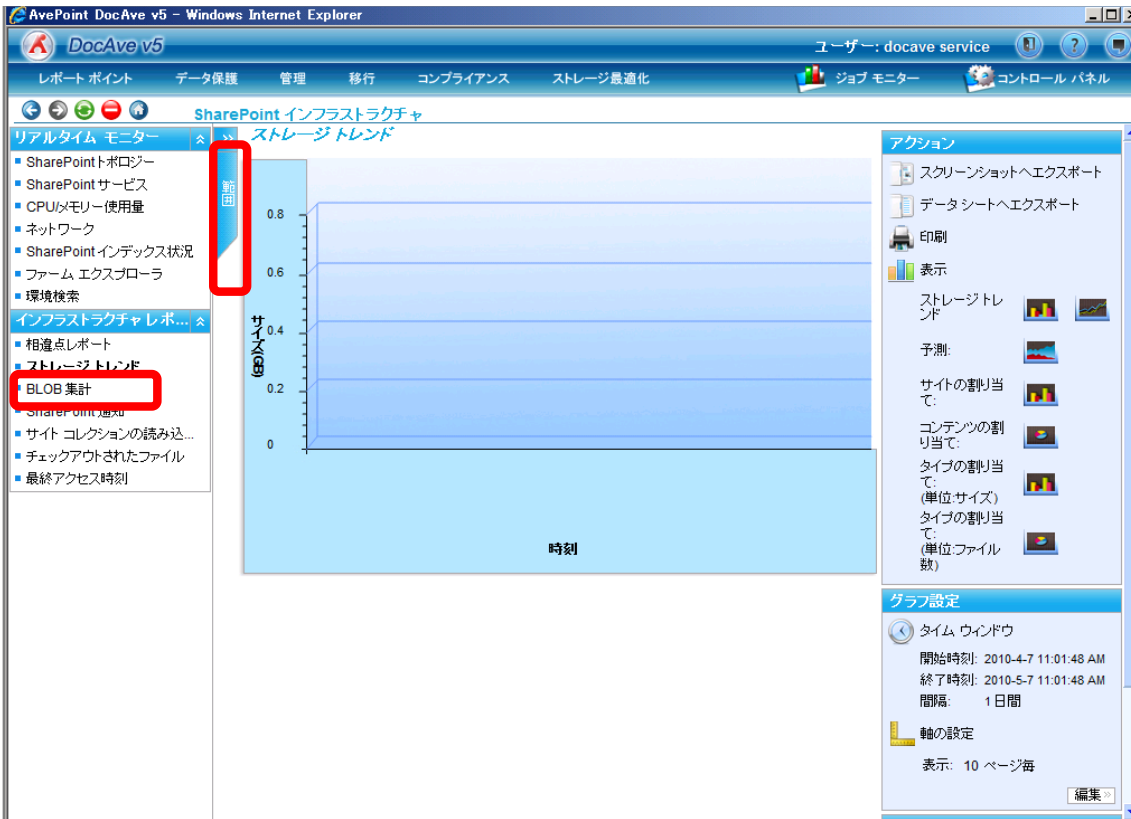
DocAve 管理センターを使用して、ユーザー間で権限をコピーする方法をご存知ですか?

製品: 管理-管理センター

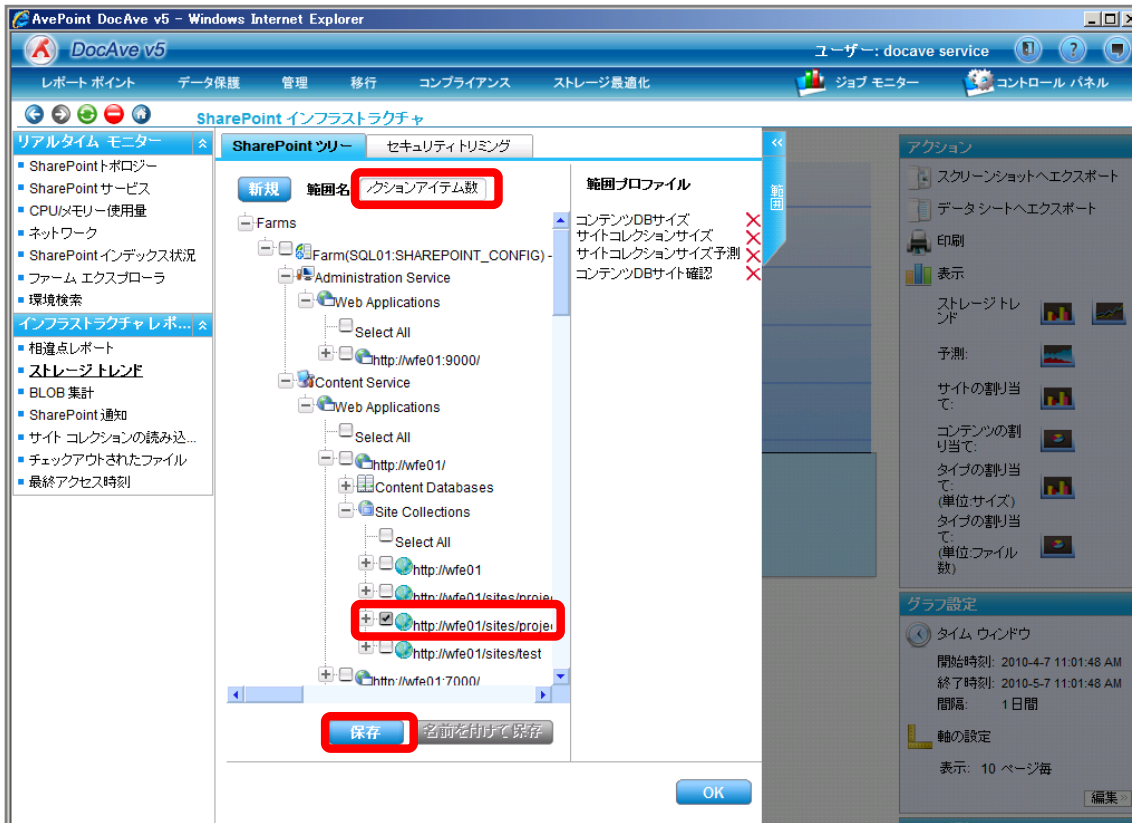
手順: 1. [管理センター]→[全体管理]の順に移動します。
2. SharePoint ツリーから SharePoint オブジェクトを選択し、右側の [セキュリティセンター] タブから [ユーザー権限のクローン作成] を選択します。
3. 選択したすべてのオブジェクトに対してユーザー権限のクローン作成をするには、この手順を繰り返します。

前へ 次へ

3. 左ペインから[ストレージトレンド]を選択し、右ペインの[範囲]タブをクリックします。

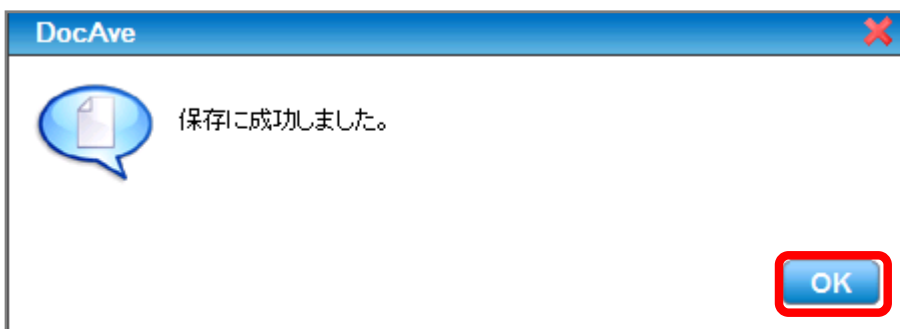


4. 範囲名を入力します。SharePoint ツリーをサイトコレクションまで展開し、対象のサイトコレクションにチェックを入れ[保存]をクリックします。

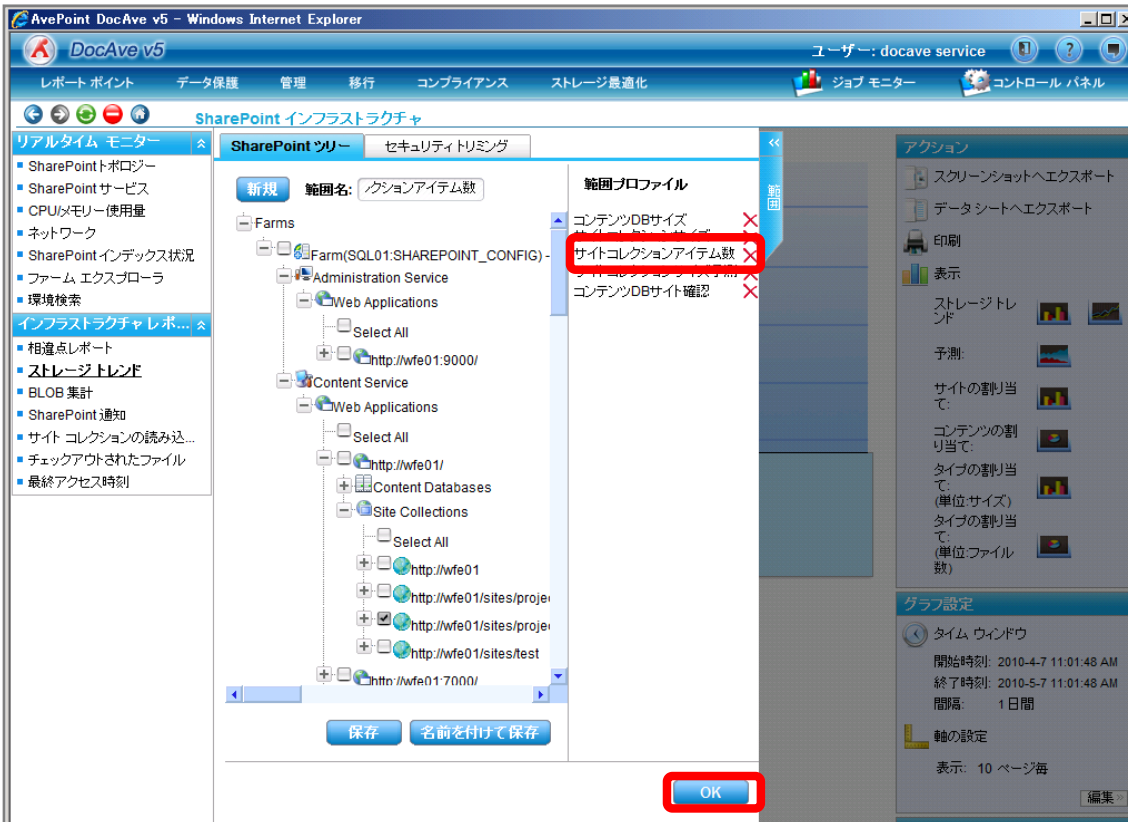


項目	説明	設定値
範囲名	設定をプロファイルとして保存します。今后再利用することが可能となります。	サイトコレクションアイテム数
SharePoint ツリー	SharePoint ツリーからサイズやアイテム数を表示するサイトコレクションを選択します。 [Farm]-[Farm(SQL01:SHAREPOINT_CONFIG)]-[Content Service]-[Web Applications]-[http://wfe01/]-[Site Collections]の順で展開します。	http://wfe01/sites/projectB

5. メッセージボックスが表示されるので[OK]をクリックします。



6. 範囲プロファイル項目に「サイトコレクションアイテム数」が表示されたことを確認し、[OK]をクリックします。



7. 右ペインにサイトコレクションのサイズが表示されていることを確認します。[詳細]バーの▲をクリックします。



8. [アイテム]列の▼をクリックします。

The screenshot shows the AvePoint DocAve v5 interface. The main content area displays a table of SharePoint items. The 'Items' column header has a dropdown arrow highlighted with a red box. The table lists various items such as 'Calendar', 'Document Libraries', 'Site Templates', etc., with columns for 'Type', 'URL', 'Name', 'Size', and 'Items'.

種類	URL	名前	サイズ	アイテム
イベント	http://wfe01/sites/projectB/Lists/Calendar	予定表	17.19 KB	1
ドキュメント ライブラリ	http://wfe01/sites/projectB/DocLib1	作業用ライブラリ	27545.09 KB	5
サイト テンプレート ギャラリー	http://wfe01/sites/projectB/_catalogs/wt	サイト テンプレート ギャラリー	17.54 KB	0
カスタム リスト	http://wfe01/sites/projectB/Lists/List	レポート メタデータ	43.75 KB	11
リンク	http://wfe01/sites/projectB/Lists/Links	リンク	12.02 KB	1
ドキュメント ライブラリ	http://wfe01/sites/projectB/DocLib2	提出用ライブラリ	43.89 KB	10
マスタ ページ ギャラリー	http://wfe01/sites/projectB/_catalogs/masterpage	マスタ ページ ギャラリー	121.83 KB	17
Web パーツ ギャラリー	http://wfe01/sites/projectB/_catalogs/wp	Web パーツ ギャラリー	68.04 KB	34
ユーザー情報	http://wfe01/sites/projectB/_catalogs/users	ユーザー情報リスト	9.63 KB	12
タスク	http://wfe01/sites/projectB/Lists/Tasks	ToDoリスト	40.22 KB	301

9. [降順]をクリックし、アイテム数を確認します。1500 アイテムを超えるリスト/ライブラリをメモします。

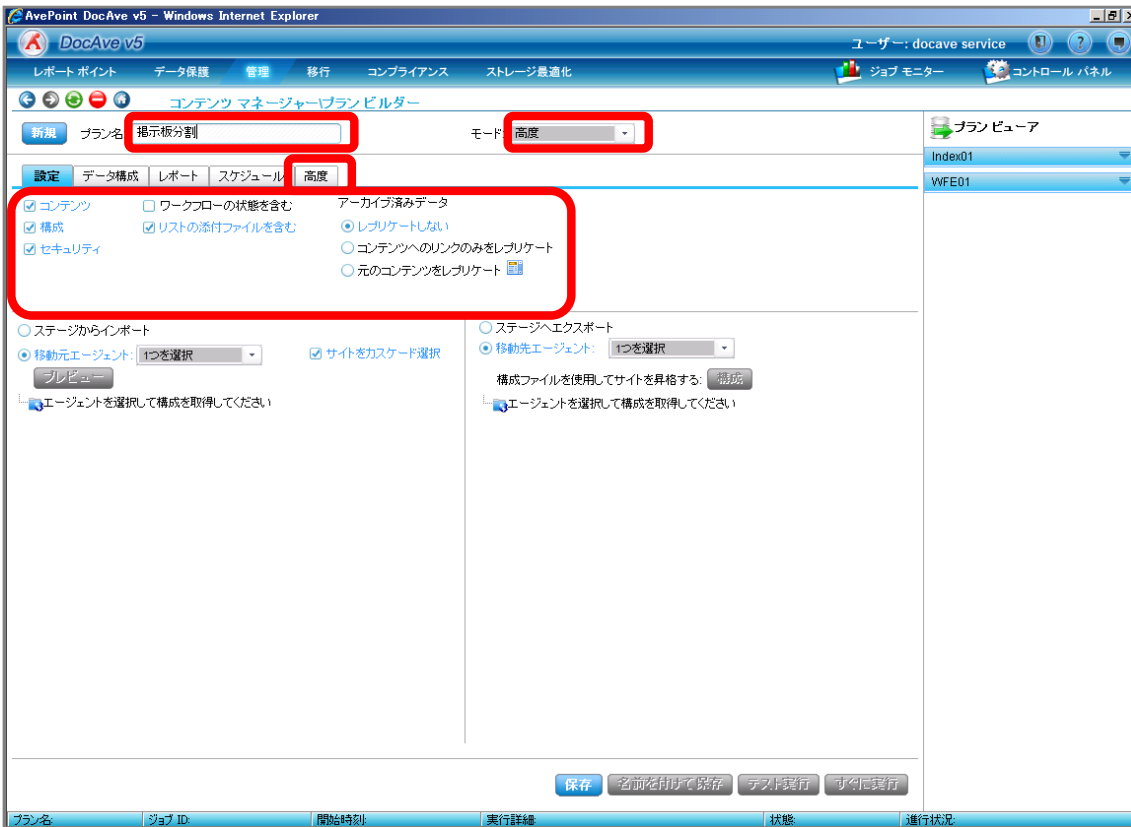
The screenshot shows the same AvePoint DocAve v5 interface. A context menu is open over the 'Items' column header, with the '降順' (Descending) option selected. The table below shows the items sorted by item count in descending order.

種類	URL	名前	サイズ	アイテム
ディスカッション掲示板	http://wfe01/sites/projectB/Lists/Team Discussion	チーム ディスカッション	20848261.23 KB	1530
お知らせ	http://wfe01/sites/projectB/Lists/Announcements	お知らせ	2979322.17 KB	352
タスク	http://wfe01/sites/projectB/Lists/Tasks	ToDoリスト	40.22 KB	301
Web パーツ ギャラリー	http://wfe01/sites/projectB/_catalogs/wp	Web パーツ ギャラリー	68.04 KB	34
マスタ ページ ギャラリー	http://wfe01/sites/projectB/_catalogs/masterpage	マスタ ページ ギャラリー	121.83 KB	17
ユーザー情報	http://wfe01/sites/projectB/_catalogs/users	ユーザー情報リスト	9.63 KB	12
カスタム リスト	http://wfe01/sites/projectB/Lists/List	レポート メタデータ	43.75 KB	11
ドキュメント ライブラリ	http://wfe01/sites/projectB/Shared Documents	共有ドキュメント	43.89 KB	11
ドキュメント ライブラリ	http://wfe01/sites/projectB/DocLib2	提出用ライブラリ	43.89 KB	10
ドキュメント ライブラリ	http://wfe01/sites/projectB/DocLib1	作業用ライブラリ	27545.09 KB	5

10. [管理]-[コンテンツマネージャー]-[プランビルダー]を選択し、プランビルダー画面を開きます。

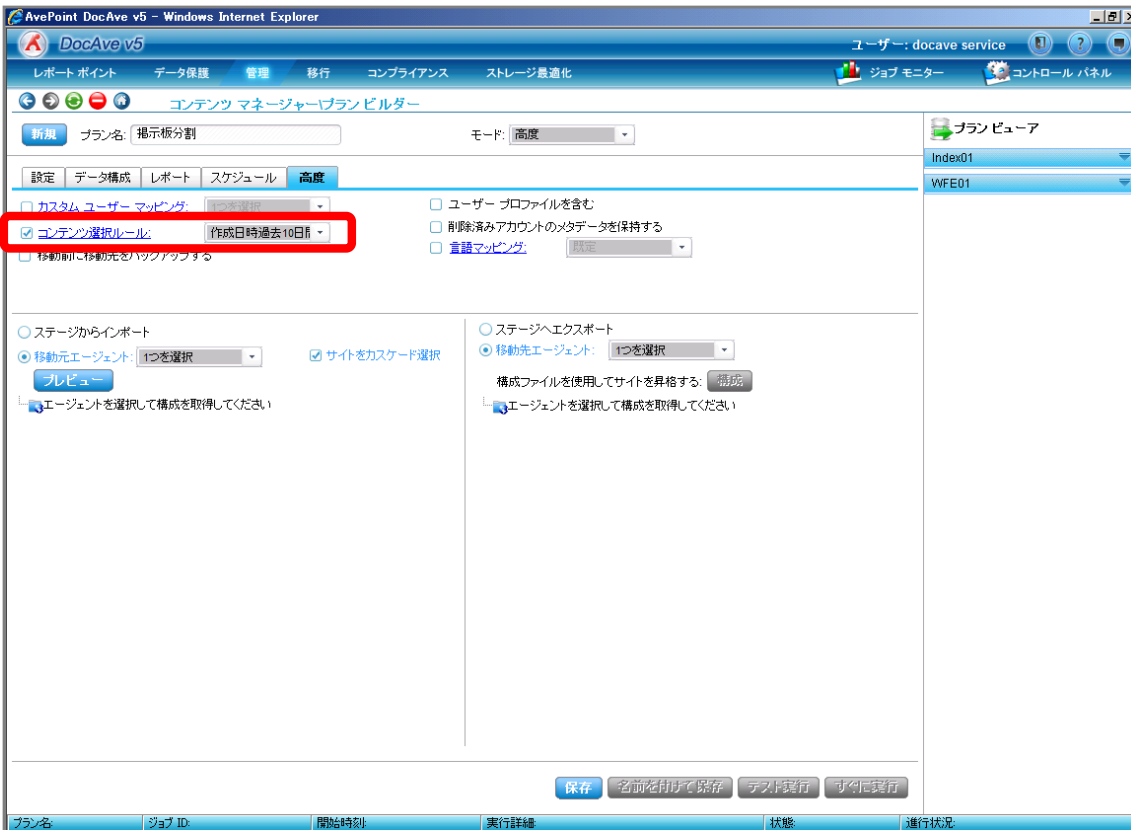


11. [モード]で「高度」を選択後、[プラン名]を入力し、[設定]タブの設定を行います。[高度]タブをクリックします。



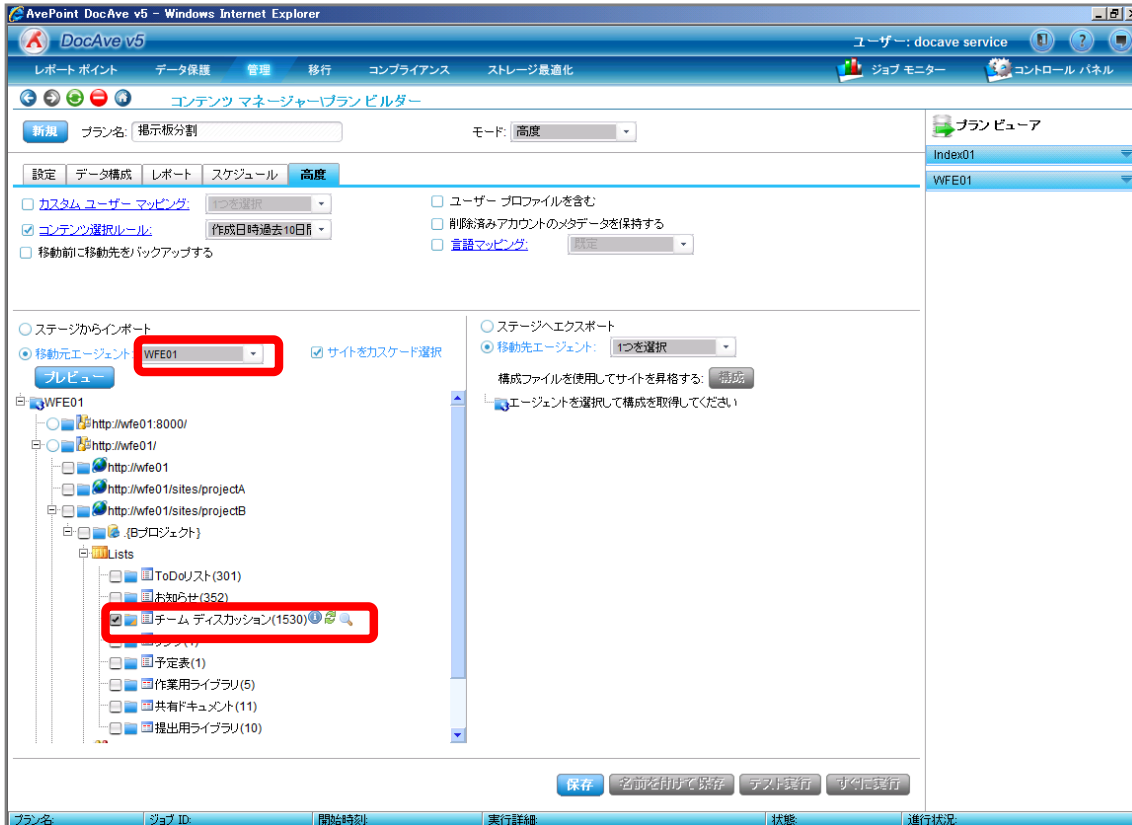
項目	説明	設定値
プラン名	プランを保存します。スケジュール実行や今後再利用することが可能となります。	掲示板分割
モード	移行モードを選択します。	高度
コンテンツ	チェックボックスを有効にすると、すべてのアイテム、ファイル、およびバージョンがレプリケートされます。	有効
構成	チェックボックスを有効にすると、構成およびプロパティがレプリケートされます。	有効
セキュリティ	チェックボックスを有効にすると、セキュリティのレプリケートによって、ユーザー、グループ、および権限が上書きされます。セキュリティは、コンテンツが存在しているか、または[コンテンツ]が選択されている場合にのみレプリケートできます。	有効
ワークフローの状態を含む	チェックボックスを有効にすると、選択したコンテンツのワークフローの状態がレプリケートされます。	無効
リストの添付ファイルを含む	チェックボックスを有効にすると、選択したコンテンツの添付ファイルも移動されます。	有効
アーカイブ済みデータ	アーカイブ済みのスタブのレプリケート設定をします。	レプリケートしない

12. [コンテンツ選択ルール]を有効化し、「設定日時過去 10 日間」を選択します。



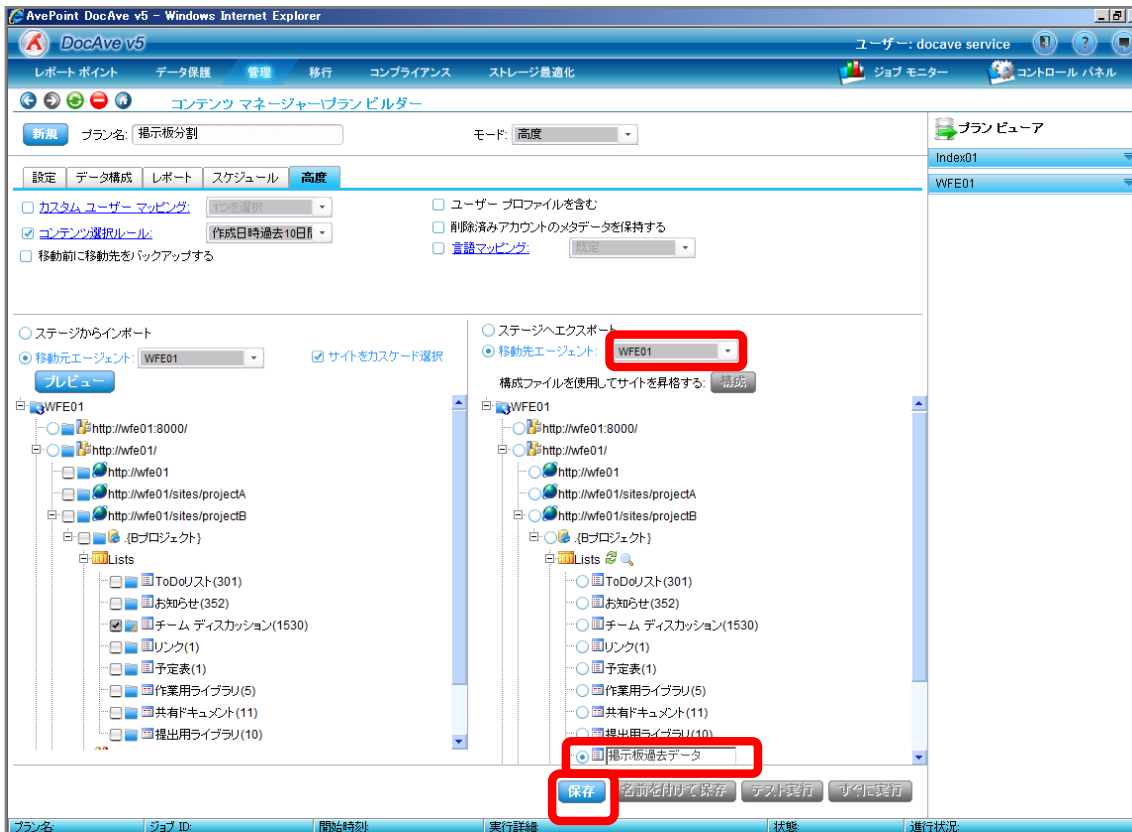
項目	説明	設定値
コンテンツ選択ルール	事前に作成してあるルールを選択します。選択することにより、移動対象を絞ることができます。	作成日時過去 10 日間

13. 画面下左側の [移行元エージェント] を選択します。続いて、SharePoint ツリーを展開し、移行元のコンテンツを選択します。



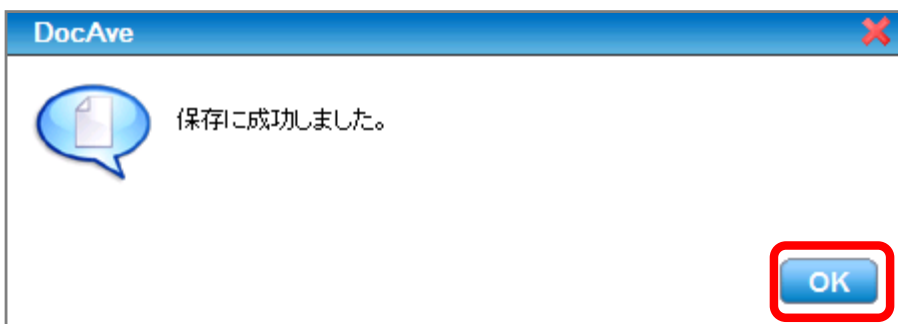
項目	説明	設定値
移行元エージェント	移行元のエージェントを選択します。	WFE01
移行元コンテンツ	移行元のコンテンツを選択します。	<ul style="list-style-type: none"> ・ http://wfe01/ ・ http://wfe01/sites/project ・ {B プロジェクト} ・ Lists ・ チームディスカッション

14. 画面下右側の [移行先エージェント] を選択します。SharePoint ツリーを展開し、移行先を選択し、[保存] をクリックします。

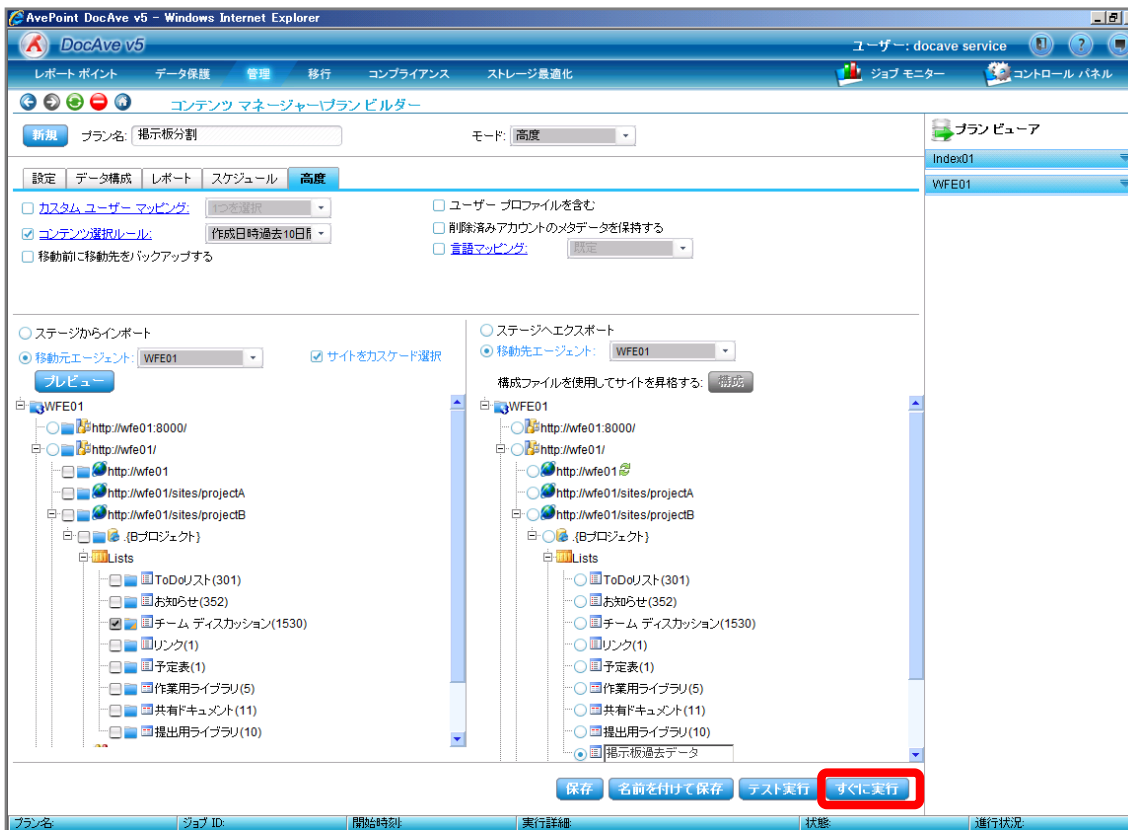


項目	説明	設定値
移行先エージェント	移行先のエージェントを選択します。	WFE01
移行先コンテンツ	移行先のコンテンツを選択します。コンテンツ移動時に移行先コンテンツを新たに作成する場合には、空の入力ボックスのラジオボタンを有効化させてコンテンツ名を入力します。	<ul style="list-style-type: none"> ・ http://wfe01/ ・ http://wfe01/sites/project ・ {B プロジェクト} ・ Lists ・ 掲示板過去データ

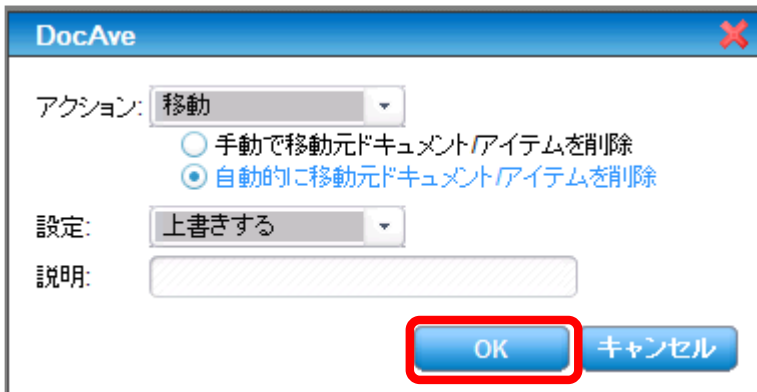
15. メッセージボックスが表示されるので [OK] をクリックします。



16. [すぐに実行]をクリックします。



17. アクションと設定を行うメッセージが表示されます。設定し、[OK] をクリックします。



(4) アーカイブ機能を利用しているサイトコレクション/サイトの外部デバイスサイズを監視したい

運用している SharePoint 環境では、データベース容量確保のため DocAve アーカイブモジュールを用いて定期的にアーカイブを実施しています。運用管理者の田中さんは、リソースが不足しないようにアーカイブ先消費量を確認する必要があります。確認対象は以下の通りです。

確認対象

確認対象
全社ポータルサイト(http://wfe01/default.aspx)
A プロジェクトサイト(http://wfe01/sites/projectA/default.aspx)
B プロジェクトサイト(http://wfe01/sites/projectB/default.aspx)

必要なオペレーション

上記シナリオを達成するために、以下のオペレーションを行います。

項番	操作	ソリューション	説明
1	SharePoint 環境等の情報収集	DocAve レポートポイント	レポートポイントの元情報となる SharePoint 環境等の情報を収集します。 ※こちらは事前作業「3-1-3 ストレージサイズやサイトコレクションの表示速度情報の取得」で実施しておきます。
2	アーカイブ先消費量の確認	DocAve レポートポイント	指定したサイトコレクションのアーカイブ先消費量を確認します。

操作手順

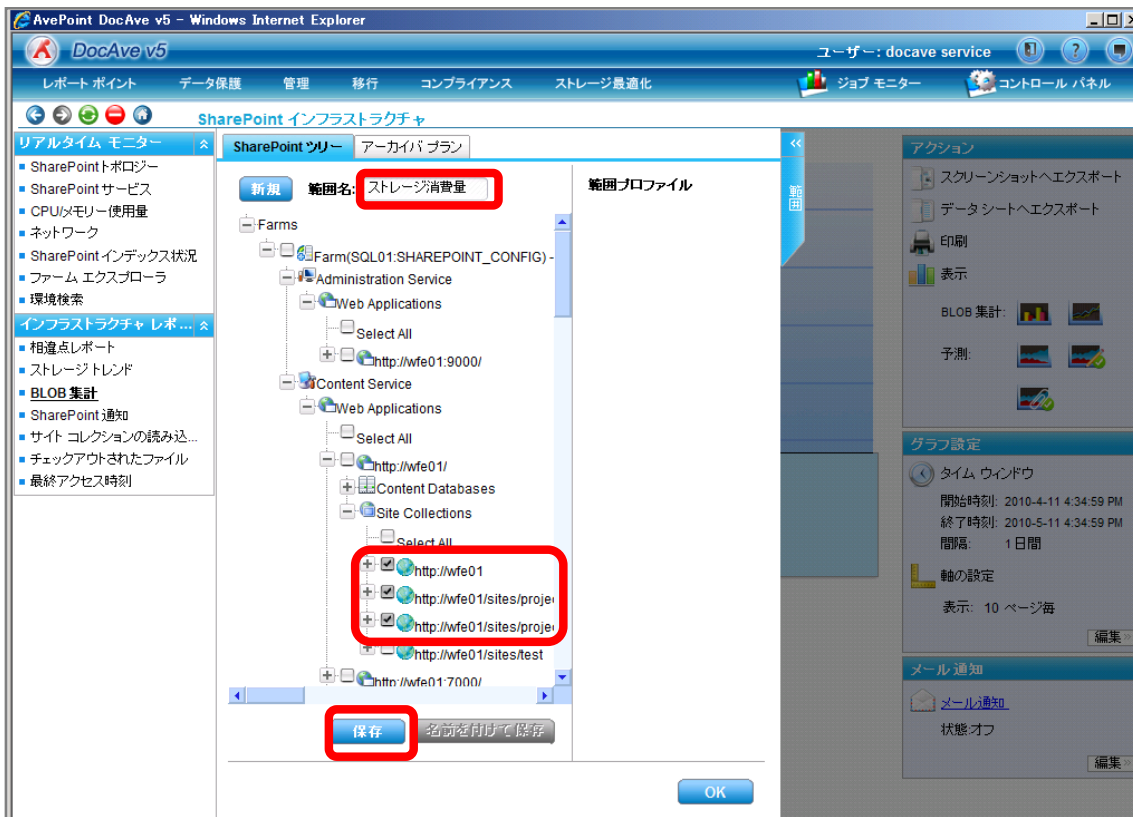
1. SharePoint 情報を収集します。操作手順は「3-1-3SharePoint データの取得」を参照してください。
2. 管理コンソールより[レポートポイント]-[SharePoint インフラストラクチャ]を選択し、SharePoint インフラストラクチャ画面を開きます。



3. 左ペインから[BLOB 集計]を選択し、右ペインの[範囲]タブをクリックします。

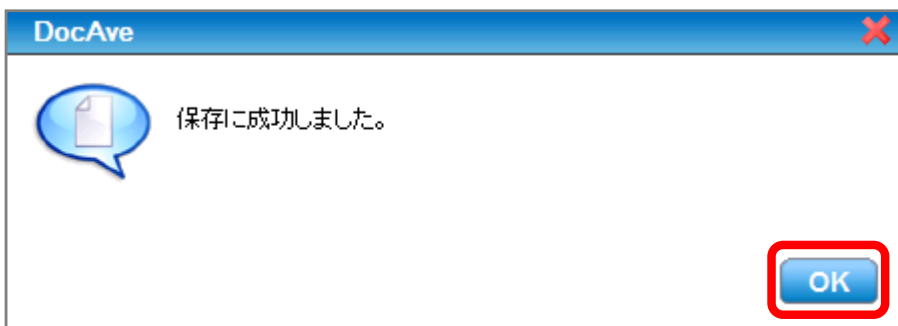
The screenshot displays the AvePoint DocAve v5 web interface. The browser title is 'AvePoint DocAve v5 - Windows Internet Explorer'. The user is logged in as 'docave service'. The main navigation bar includes 'レポート ポイント', 'データ保護', '管理', '移行', 'コンプライアンス', 'ストレージ最適化', 'ジョブ モニター', and 'コントロール パネル'. The current page is 'SharePoint インフラストラクチャ' (SharePoint Infrastructure) and the specific report is 'BLOB 集計' (BLOB Summary). In the left sidebar, under 'インフラストラクチャ レポート' (Infrastructure Reports), 'BLOB 集計' is selected. The main content area shows a line graph with the y-axis labeled 'サイズ (GB)' (Size in GB) ranging from 0 to 0.8, and the x-axis labeled '時刻' (Time). The right sidebar contains several sections: 'アクション' (Actions) with options like 'スクリーンショットへエクスポート' and 'データシートへエクスポート'; 'グラフ設定' (Graph Settings) with a 'タイム ウィンドウ' (Time Window) section showing '開始時刻: 2010-4-11 4:34:59 PM', '終了時刻: 2010-5-11 4:34:59 PM', and '間隔: 1日間'; and 'メール通知' (Email Notifications) with a 'メール通知' link and '状態オフ' (Status Off) option. A red box highlights the 'BLOB 集計' item in the left sidebar, and another red box highlights the '範囲' (Range) tab in the right sidebar.

4. 範囲名を入力します。SharePoint ツリーをサイトコレクションまで展開し、対象のサイトコレクションにチェックを入れ[保存]をクリックします。

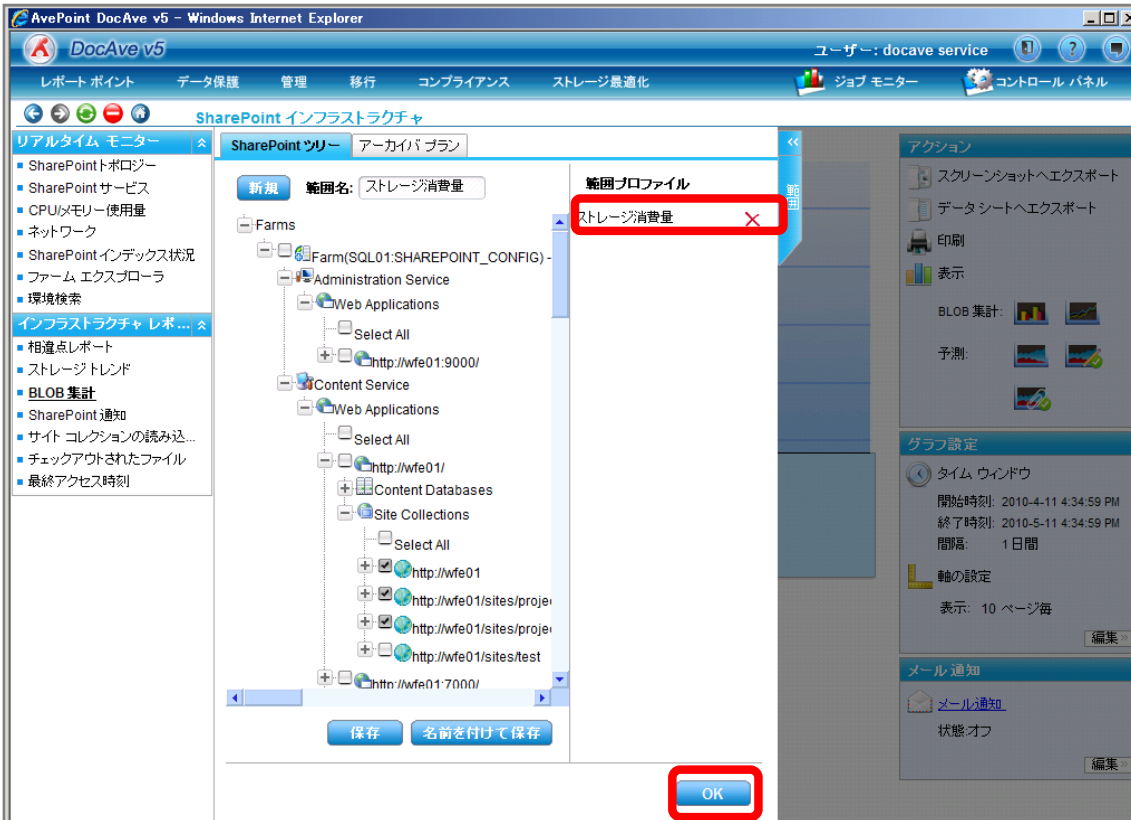


項目	説明	設定値
範囲名	設定をプロファイルとして保存します。今後再利用することが可能となります。	ストレージ消費量
SharePoint ツリー	SharePoint ツリーからサイトコレクションのサイズを表示するオブジェクトを選択します。 [Farm]-[Farm(SQL01:SHAREPOINT_CONFIG)]-[Content Service]-[Web Applications]-[http://wfe01/]-[Site Collections]の順で展開します。	http://wfe01 http://wfe01/sites/projectA http://wfe01/sites/projectB

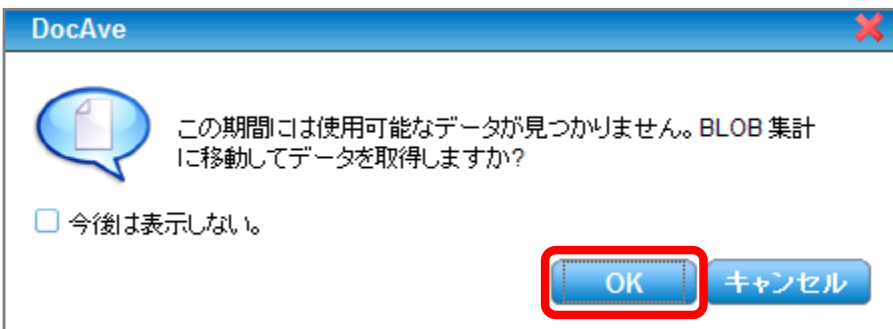
5. メッセージボックスが表示されるので[OK]をクリックします。



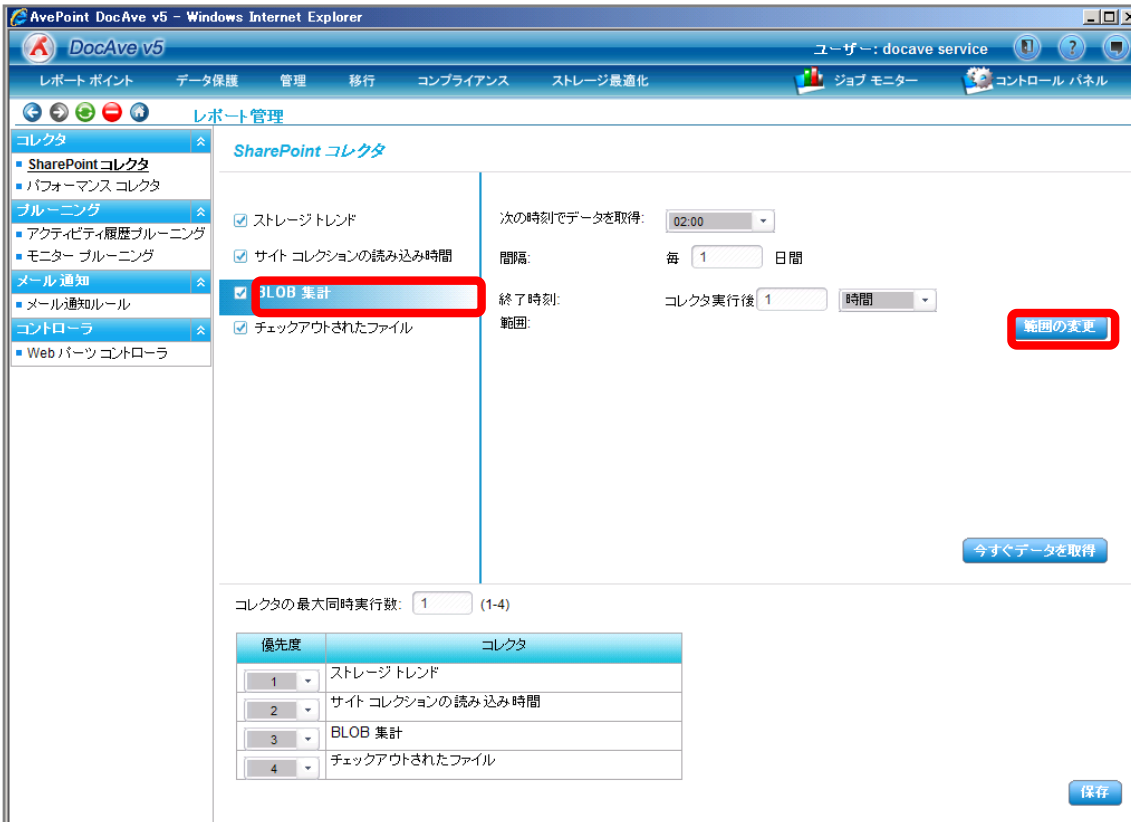
6. 範囲プロファイル項目に「ストレージ消費量」が表示されたことを確認し、[OK]をクリックします。



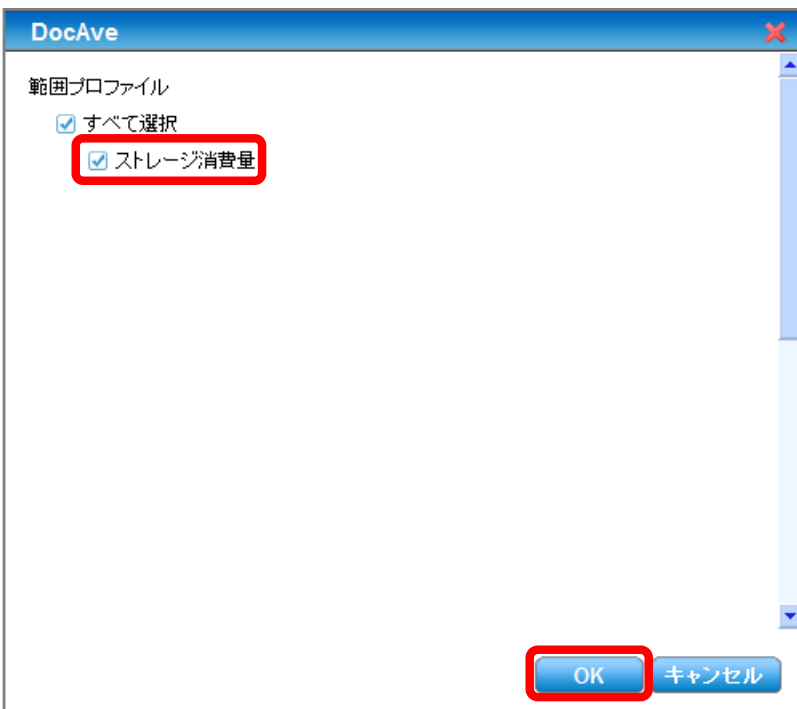
7. メッセージボックスが表示されるので、[OK]をクリックします。



8. [BLOB 集計]をクリックし、[範囲の変更]をクリックします。



9. 「ストレージ消費量」が有効化されていることを確認し、[OK]をクリックします。



10. [保存]をクリックします。

The screenshot shows the 'SharePoint コレクタ' configuration page in the AvePoint DocAve v5 web interface. The left sidebar contains a navigation menu with categories like 'レポート管理', 'ブルーニング', and 'メール通知'. The main content area has several configuration options, including 'ストレージトレンド', 'サイト コレクションの読み込み時間', 'BLOB 集計', and 'チェックアウトされたファイル'. The 'BLOB 集計' option is checked. To the right, there are settings for '次の時刻でデータを取得' (02:00), '間隔' (毎 1 日間), '終了時刻' (コレクタ実行後 1 時間), and '範囲' (ストレージ消費量). A '範囲の変更' button is visible. At the bottom, there is a '今すぐデータを取得' button and a 'コレクタの最大同時実行数' set to 1. A table lists the collectors and their priorities:

優先度	コレクタ
1	ストレージトレンド
2	サイト コレクションの読み込み時間
3	BLOB 集計
4	チェックアウトされたファイル

A red box highlights the '保存' button in the bottom right corner.

11. メッセージボックスが表示されるので[OK]をクリックします。

The screenshot shows a message box titled 'DocAve' with a close button (X) in the top right corner. The message text is '保存に成功しました。' (Save successful). There is a document icon on the left. In the bottom right corner, there is an 'OK' button highlighted with a red box.

12. [今すぐデータを取得]をクリックします。

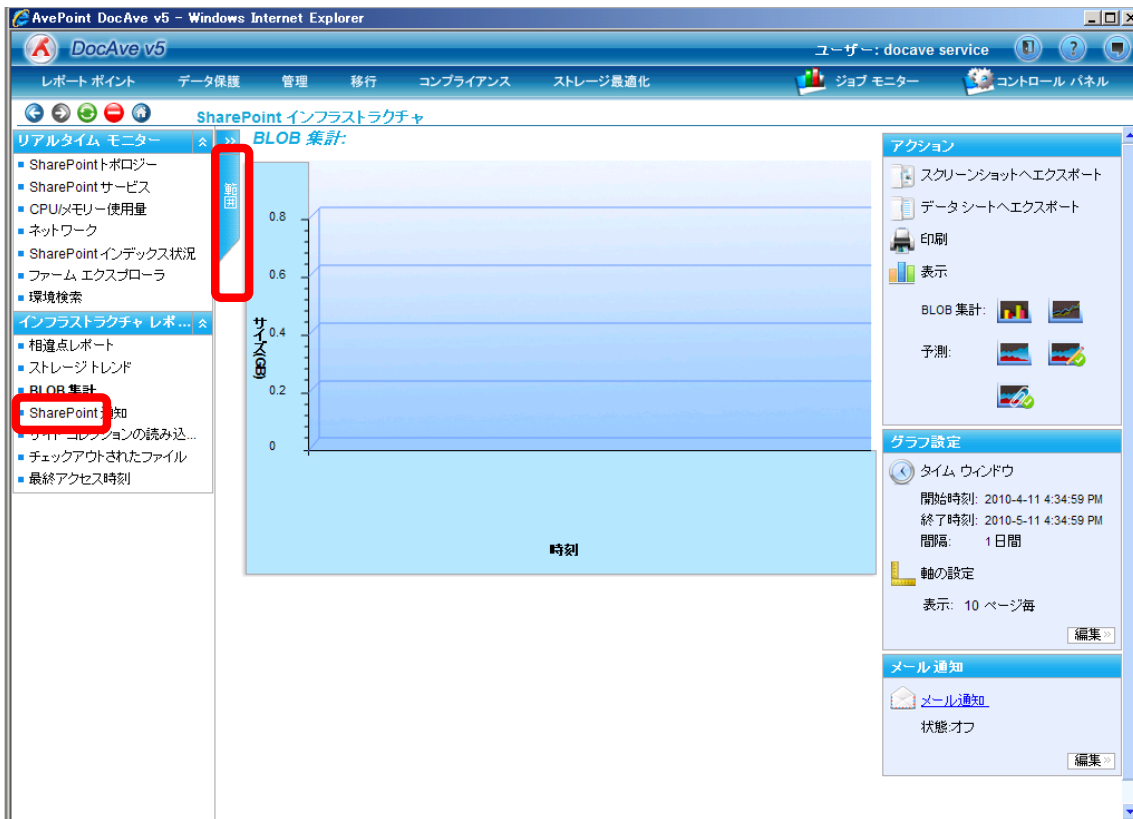
The screenshot shows the AvePoint DocAve v5 web interface in Internet Explorer. The page title is 'SharePoint コレクタ'. On the left is a navigation menu with categories like 'コレクタ', 'ブルーニング', 'メール通知', and 'コントローラ'. The main content area has several configuration options with checkboxes: 'ストレージトレンド', 'サイトコレクションの読み込み時間', 'BLOB 集計', and 'チェックアウトされたファイル'. To the right, there are settings for '次の時刻でデータを取得' (02:00), '間隔' (毎 1 日間), '終了時刻', and '範囲' (ストレージ消費量). A '範囲の変更' button is also present. At the bottom right, the '今すぐデータを取得' button is highlighted with a red box. Below the configuration area, there is a table for collector priorities and a '保存' button.

優先度	コレクタ
1	ストレージトレンド
2	サイトコレクションの読み込み時間
3	BLOB 集計
4	チェックアウトされたファイル

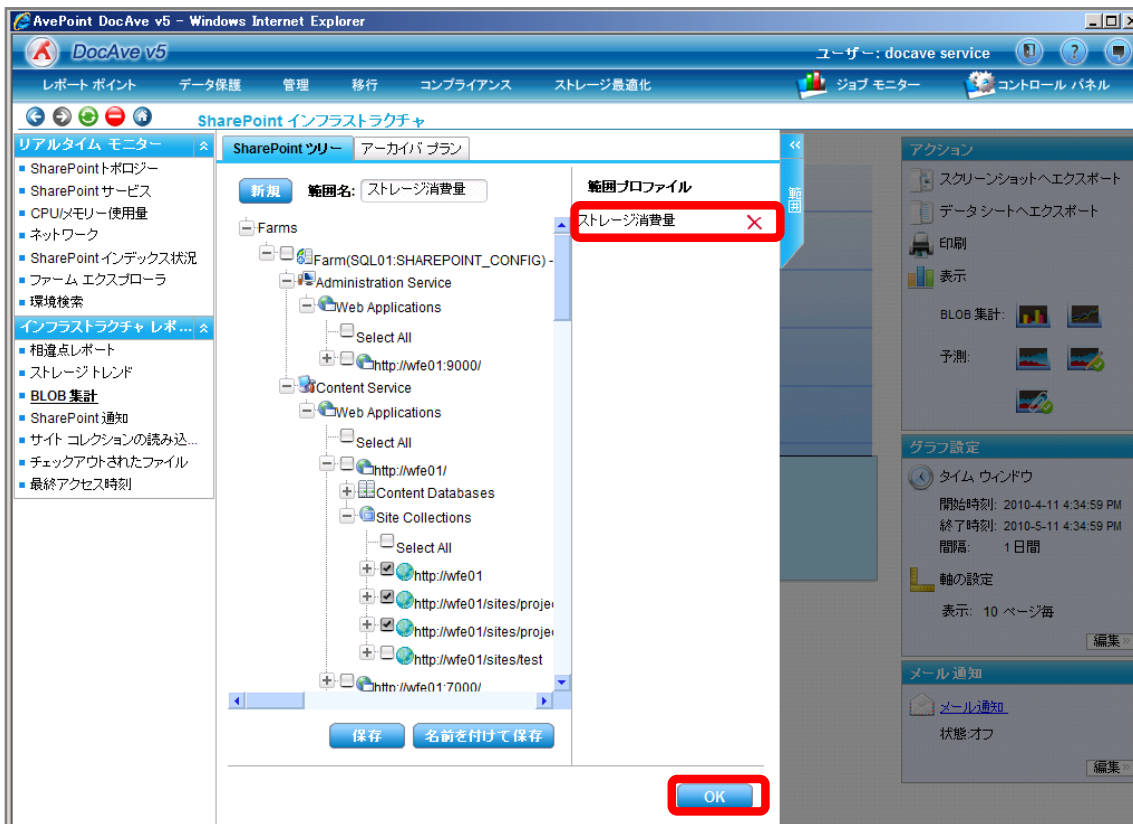
13. メッセージボックスが表示されるので[OK]をクリックします。

The screenshot shows a 'DocAve' message box dialog. The title bar says 'DocAve' with a red close button. The message text is: 'データの取得中、サーバーのパフォーマンスが低下する可能性があります。本当に続行しますか?' Below the message is a checkbox labeled '今後は表示しない。'. At the bottom right, there are two buttons: 'OK' and 'キャンセル'. The 'OK' button is highlighted with a red box.

14. [レポートポイント]-[SharePoint インフラストラクチャ]を選択します。左ペインから[BLOB 集計]を選択し、右ペインから[範囲]を選択します。



15. 右ペインの[範囲]タブをクリックし、「ストレージ消費量」を選択します。[OK]をクリックします。



16. 指定したサイトコレクションのアーカイブ先消費量を確認します。



(5) ストレージ圧迫しているオブジェクトを特定したい

SharePoint 運用管理者の田中さんは、コンテンツ DB が閾値を超えた通知を DocAve から受け取りました。サイズを圧迫しているサイトコレクションを特定したいと考えています。対象のコンテンツ DB は以下の通りです。

確認対象

確認対象
WSS_Content_Portal_01

必要なオペレーション

上記シナリオを達成するために、以下のオペレーションを行います。

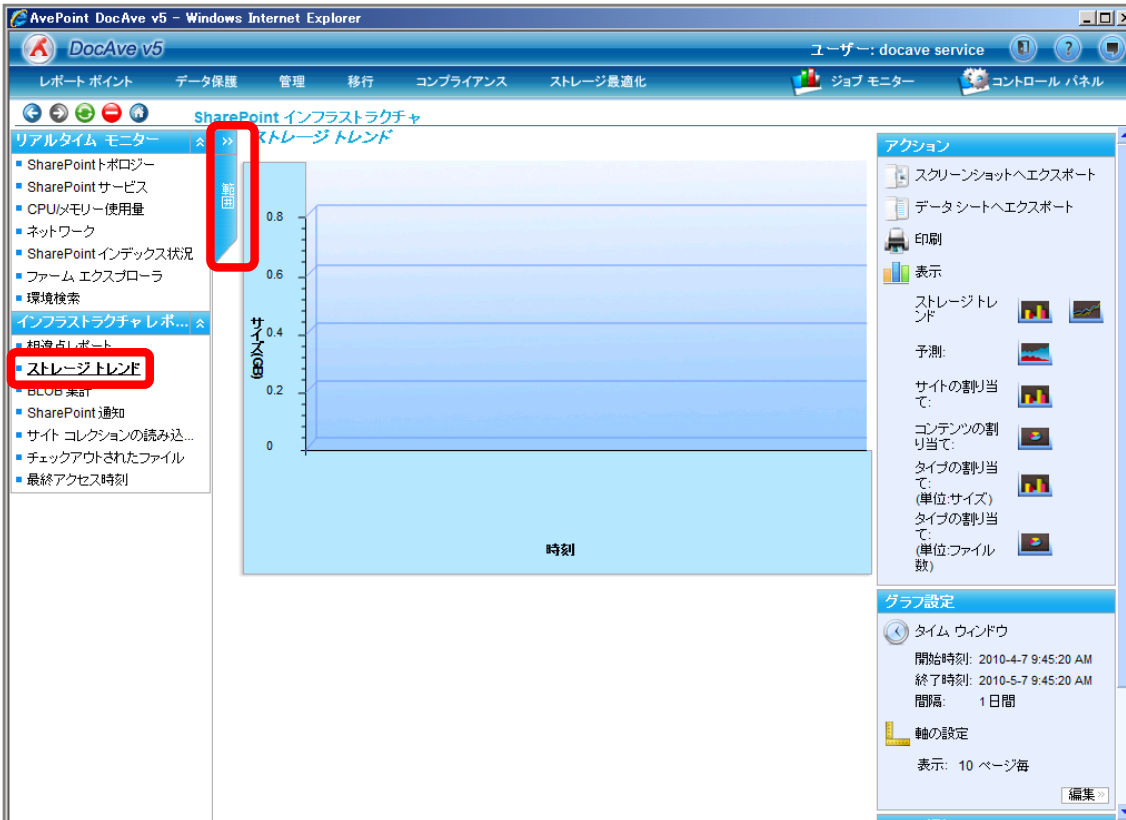
項番	操作	ソリューション	説明
1	SharePoint 環境等の情報収集	DocAve レポートポイント	レポートポイントの元情報となる SharePoint 環境等の情報を収集します。 ※こちらは事前作業「3-1-3 ストレージサイズやサイトコレクションの表示速度情報の取得」で実施しておきます。
2	通知されたコンテンツ DB に含まれるサイトコレクションサイズ確認	DocAve レポートポイント	通知されたコンテンツ DB に含まれるサイトコレクションのサイズやサイト数などの情報を確認します。

操作手順

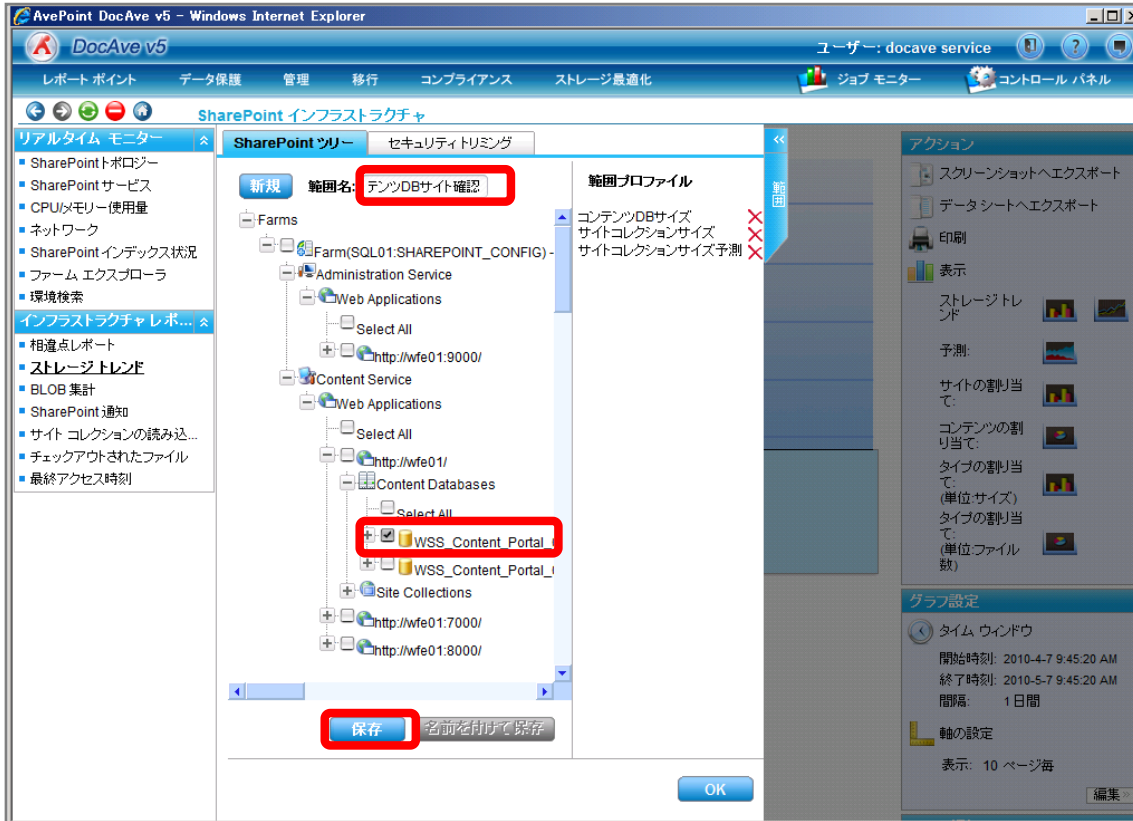
1. SharePoint 情報を収集します。操作手順は「3-1-3SharePoint 情報の取得」を参照してください。
2. [レポートポイント]-[SharePoint インフラストラクチャ]を選択し SharePoint インフラストラクチャ画面を開きます。



3. 左ペインから[ストレージトレンド]を選択し、右ペインの[範囲]タブをクリックします。

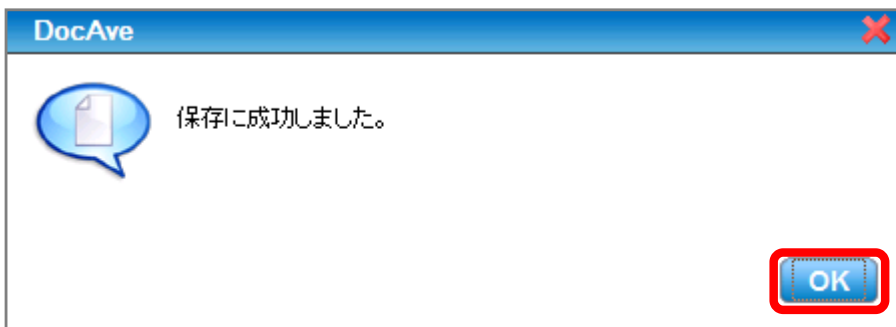


4. 範囲名を入力します。SharePoint ツリーをコンテンツ DB まで展開し、対象のコンテンツ DB にチェックを入れ[保存]をクリックします。

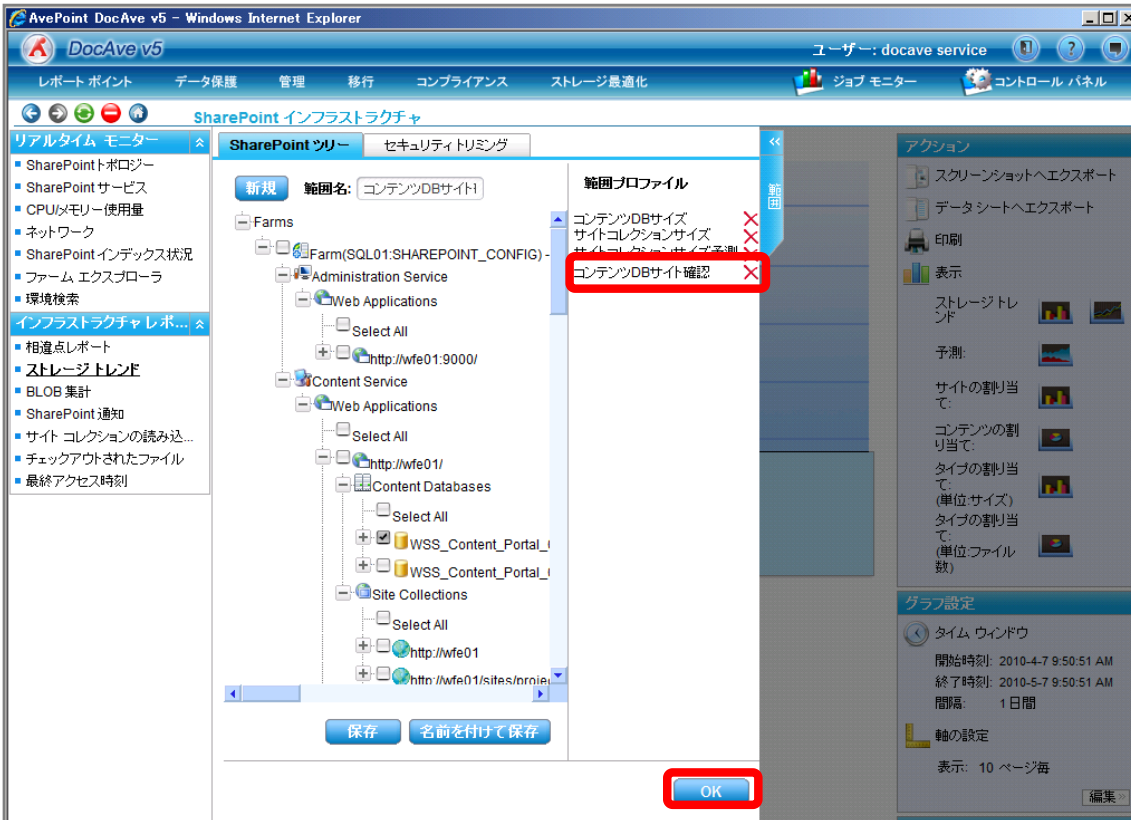


項目	説明	設定値
範囲名	設定をプロファイルとして保存します。今後再利用することが可能となります。	コンテンツ DB サイト確認
SharePoint ツリー	SharePoint ツリーからサイトコレクションのサイズを表示するオブジェクトを選択します。 [Farm]-[Farm(SQL01:SHAREPOINT_CONFIG)]-[Content Service]-[Web Applications]-[http://wfe01/]-[Content Databases]の順で展開します。	WSS_Content_Portal_01

5. メッセージボックスが表示されるので[OK]をクリックします。



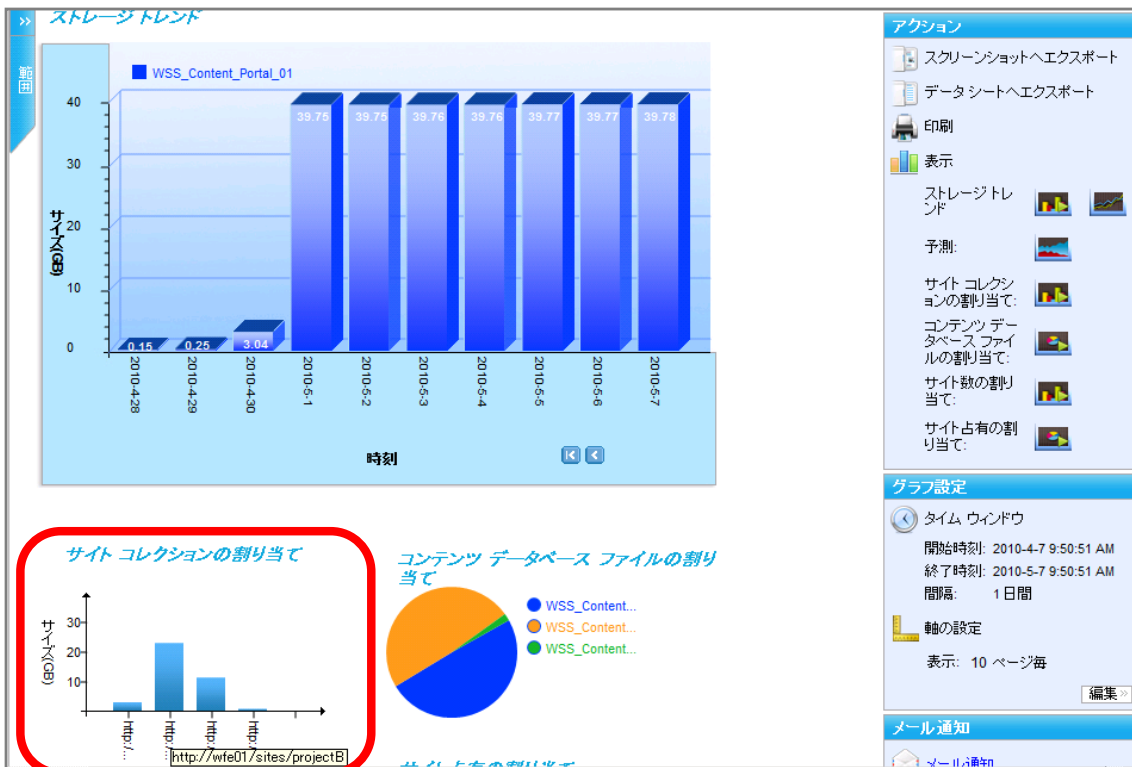
6. 範囲プロファイル項目に「コンテンツ DB サイト確認」が表示されたことを確認し、[OK]をクリックします。



7. 右ペインにコンテンツ DB のサイズが表示されていることを確認します。



8. [サイトコレクションの割り当て]からサイズが大きいサイトコレクションを特定します。



<memo>

ストレージを圧迫しているオブジェクト特定後にアクセス状況を確認し、利用状況や運用ルールに応じて以下の対処法が考えられます。それぞれの操作手順を記載いたします。

- <対処法-1> 特定したサイトコレクションの所有者を確認し、連絡する
- <対処法-2> 特定したサイトコレクションのコンテンツ DB を変更する
- <対処法-3> 特定したサイトコレクションをアーカイブする

確認対象

確認対象
B プロジェクトサイト(http://wfe01/sites/projectB/default.aspx)

必要なオペレーション

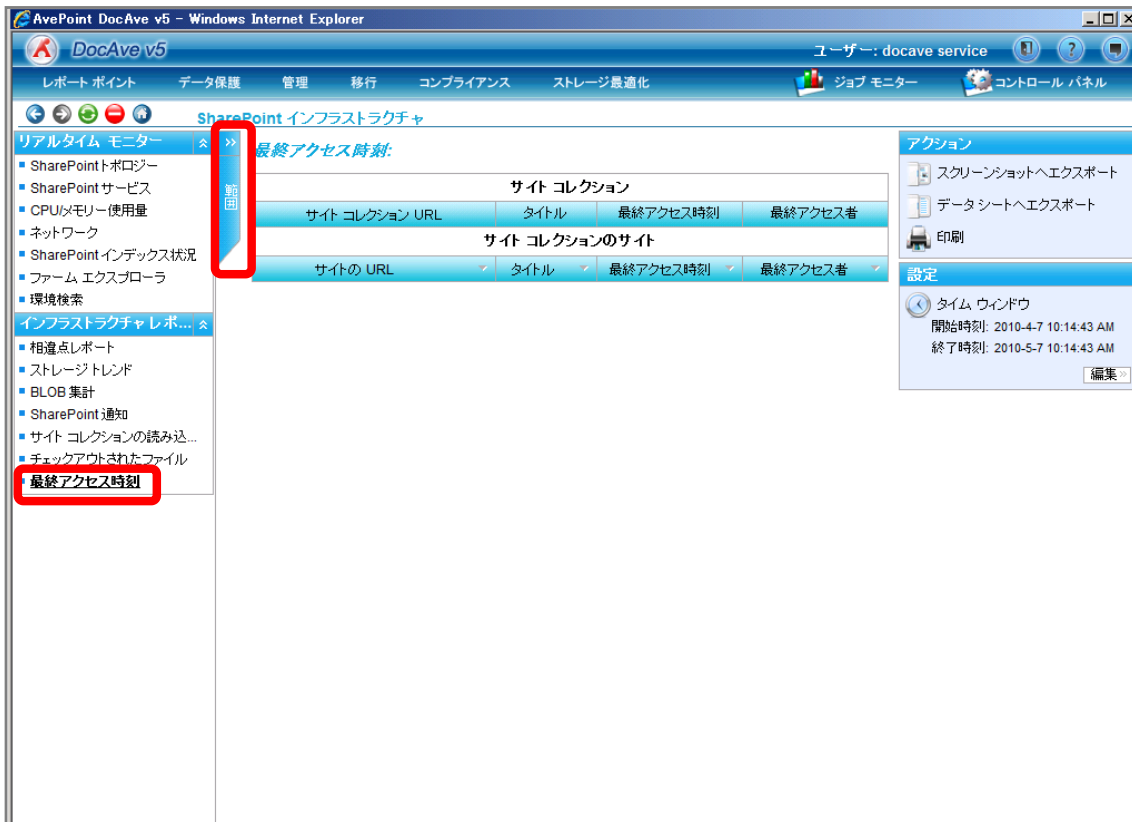
項番	操作	ソリューション	説明
1	特定したサイトコレクションのアクセス状況確認	DocAve レポートポイント	特定したサイトコレクションの最終アクセス時刻を確認します。

操作手順

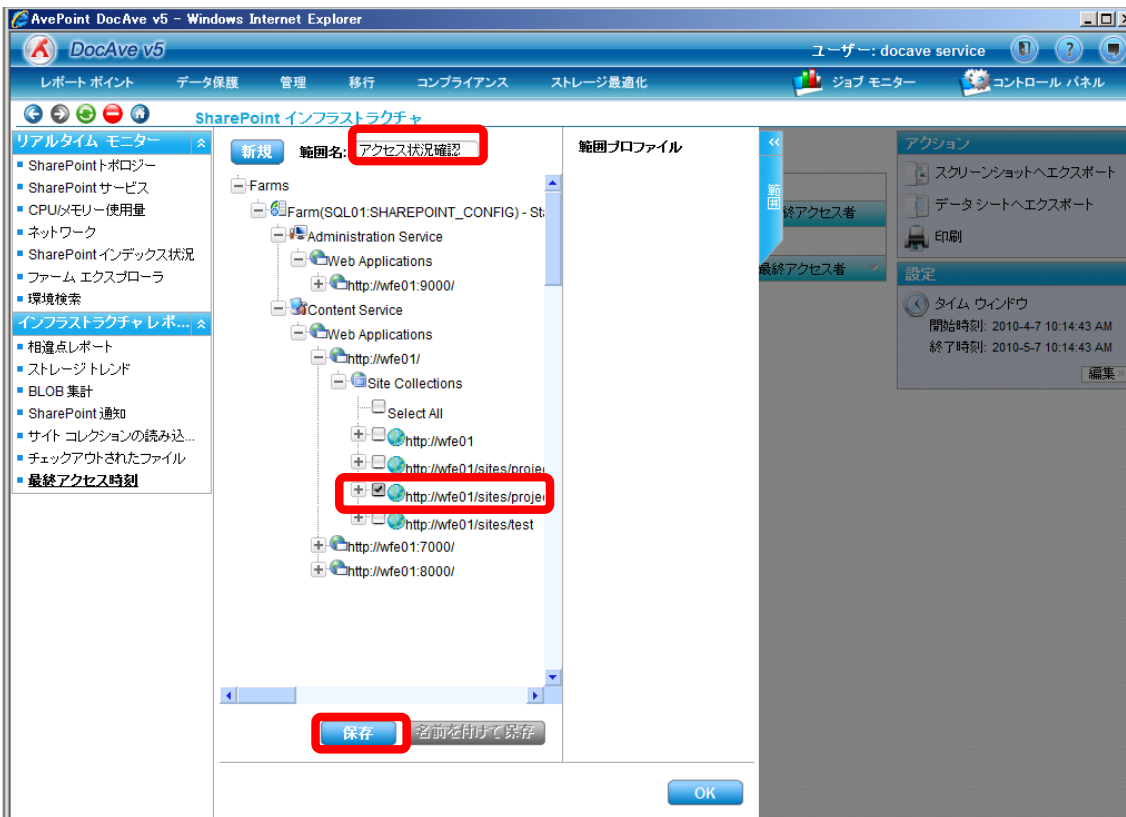
1. [レポートポイント]-[SharePoint インフラストラクチャ]を選択し SharePoint インフラストラクチャ画面を開きます。



2. 左ペインから[最終アクセス時刻]を選択し、右ペインの[範囲]タブをクリックします。

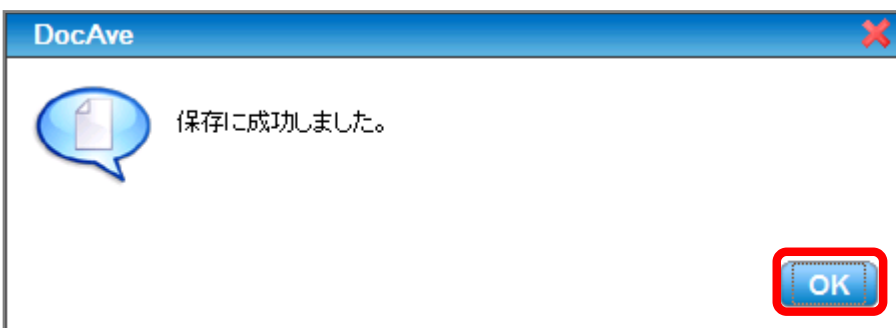


3. 範囲名を入力します。SharePoint ツリーをサイトコレクションまで展開し、対象のサイトコレクションにチェックを入れ[保存]をクリックします。

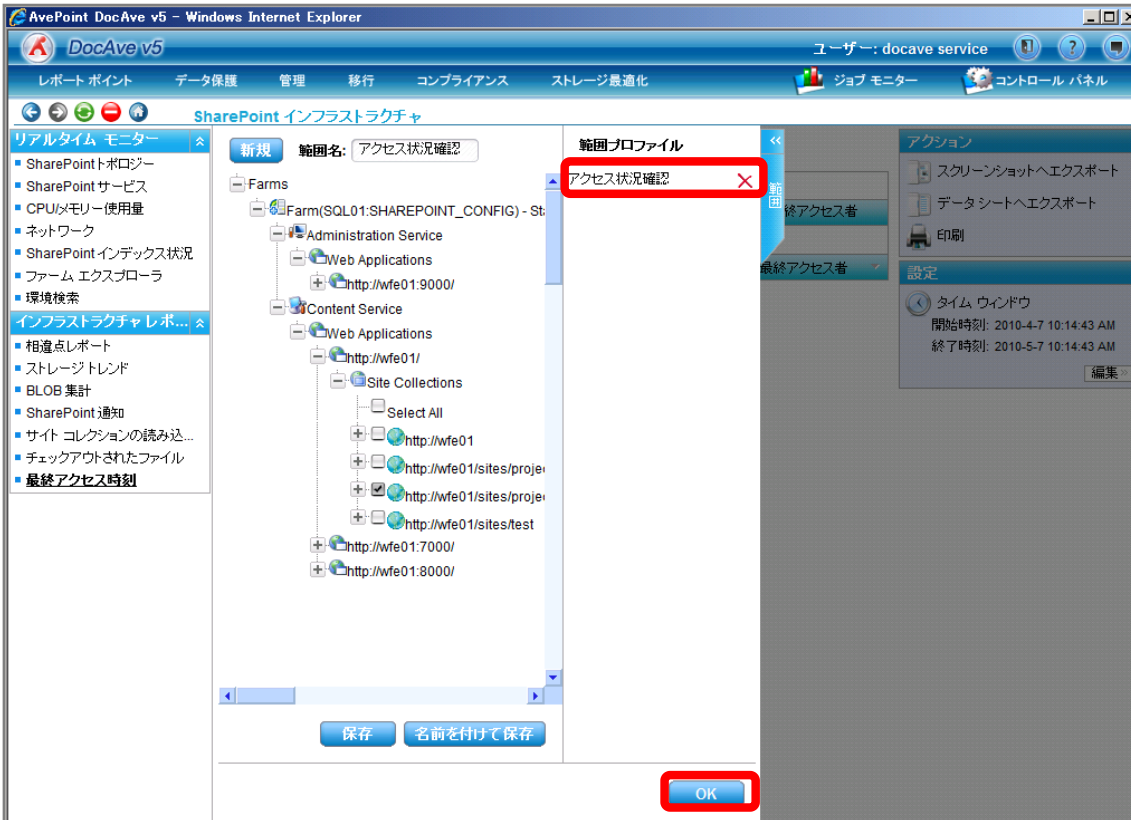


項目	説明	設定値
範囲名	設定をプロファイルとして保存します。今後再利用することが可能となります。	最終アクセス状況確認
SharePoint ツリー	SharePoint ツリーからサイトコレクションの最終アクセス時間を表示するオブジェクトを選択します。 [Farm]-[Farm(SQL01:SHAREPOINT_CONFIG)]-[Content Service]-[Web Applications]-[http://wfe01/]-[Site Collections]の順で展開します。	http://wfe01/sites/projectB

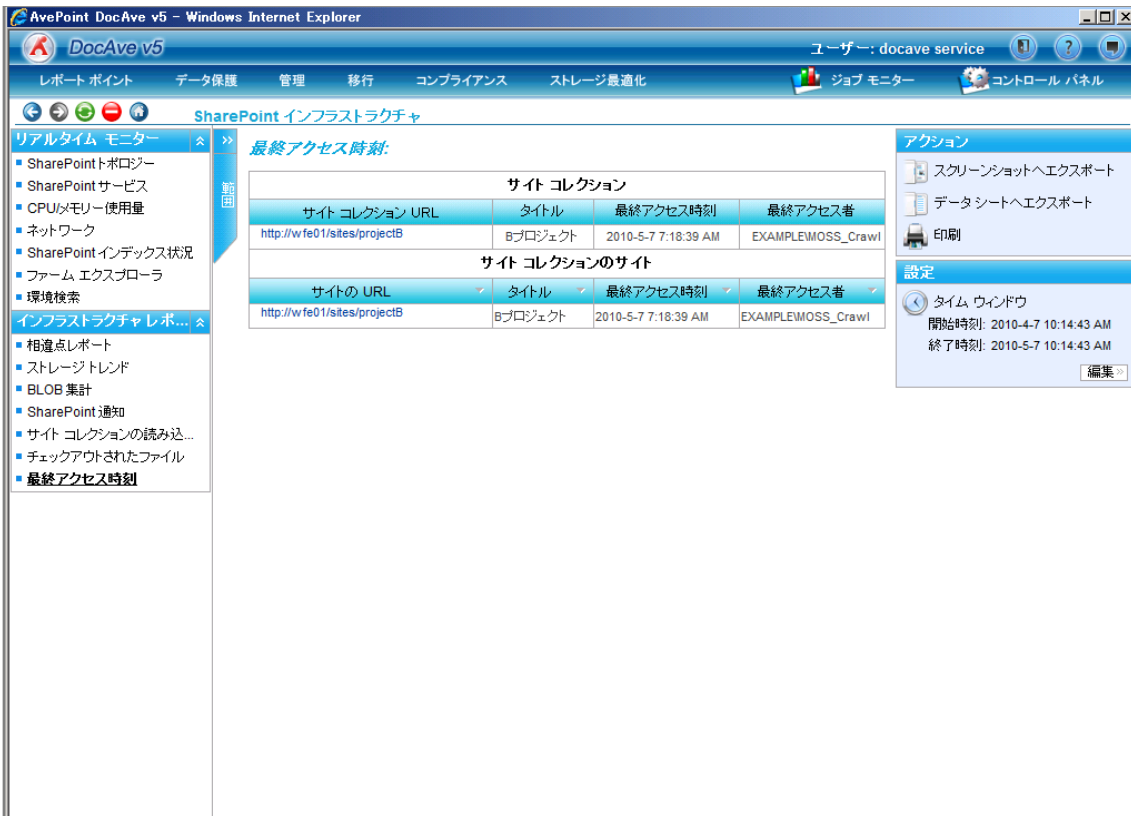
4. メッセージボックスが表示されるので[OK]をクリックします。



5. 範囲プロフィール項目に「最終アクセス状況確認」が表示されたことを確認し、[OK]をクリックします。



6. 右ペインにサイトの最終アクセス時刻が表示されるので、アクセス状況を確認します。



<対処法-1>特定したサイトコレクションの所有者を確認し、連絡する
必要なオペレーション

項番	操作	ソリューション	説明
1	特定したサイトコレクションの所有者確認	DocAve レポートポイント	特定したサイトコレクションの所有者を確認し、連絡します。

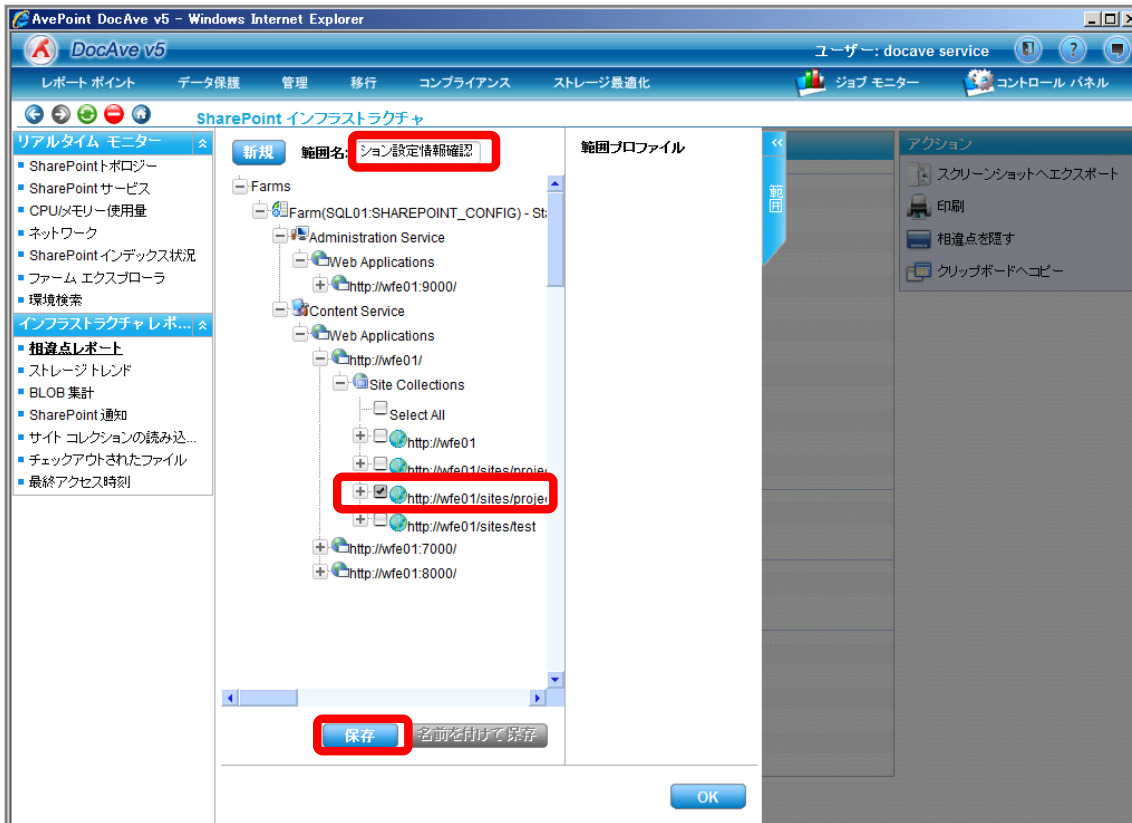
操作手順

1. [レポートポイント]-[SharePoint インフラストラクチャ]を選択し SharePoint インフラストラクチャ画面を開きます。

2. 左ペインから[相違点レポート]を選択し、右ペインの[範囲]タブをクリックします。

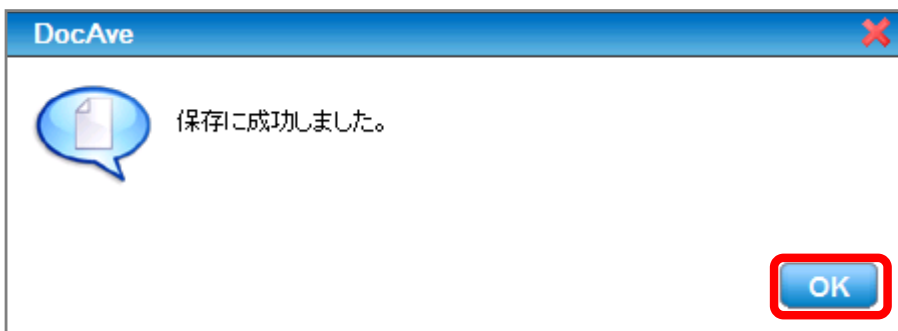


- 範囲名を入力します。SharePoint ツリーをサイトコレクションまで展開し、対象のサイトコレクションにチェックを入れ[保存]をクリックします。

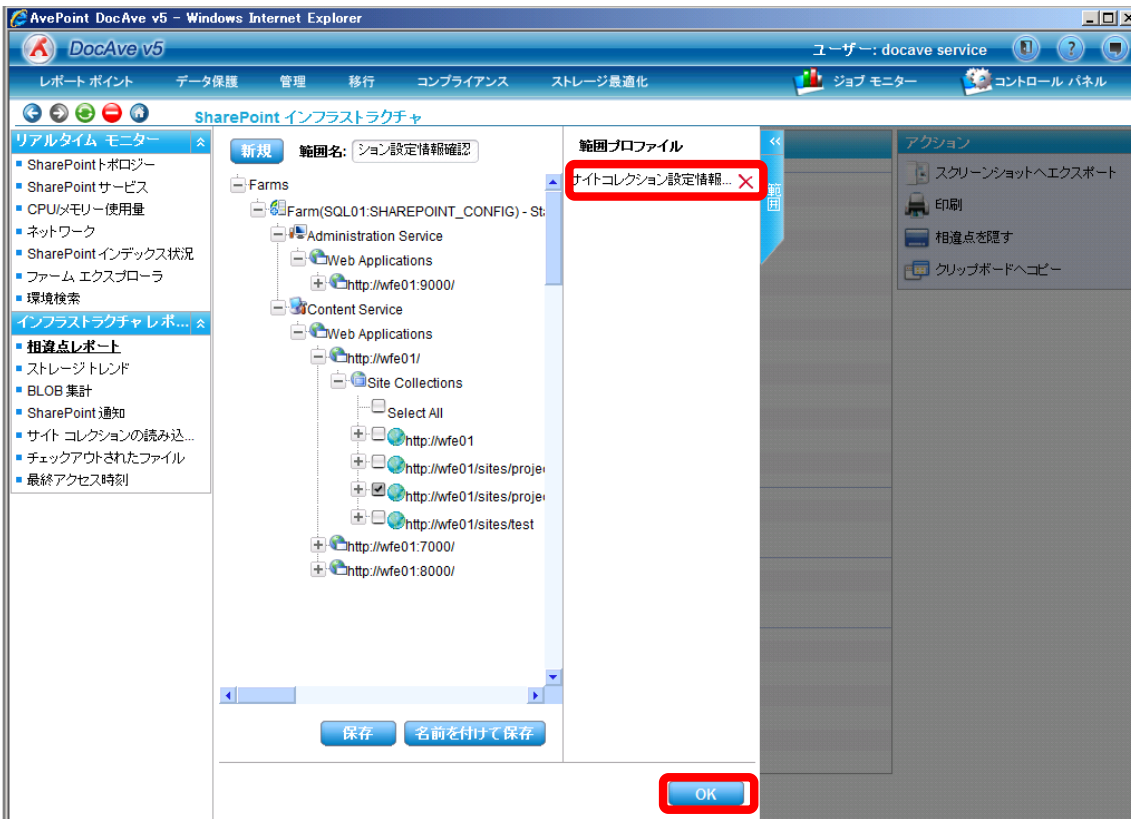


項目	説明	設定値
範囲名	設定をプロファイルとして保存します。今后再利用することが可能となります。	サイトコレクション設定情報確認
SharePoint ツリー	SharePoint ツリーからサイトコレクションの設定情報を表示するオブジェクトを選択します。 [Farm]-[Farm(SQL01:SHAREPOINT_CONFIG)]-[Content Service]-[Web Applications]-[http://wfe01/]-[Site Collections]の順で展開します。	http://wfe01/sites/projectB

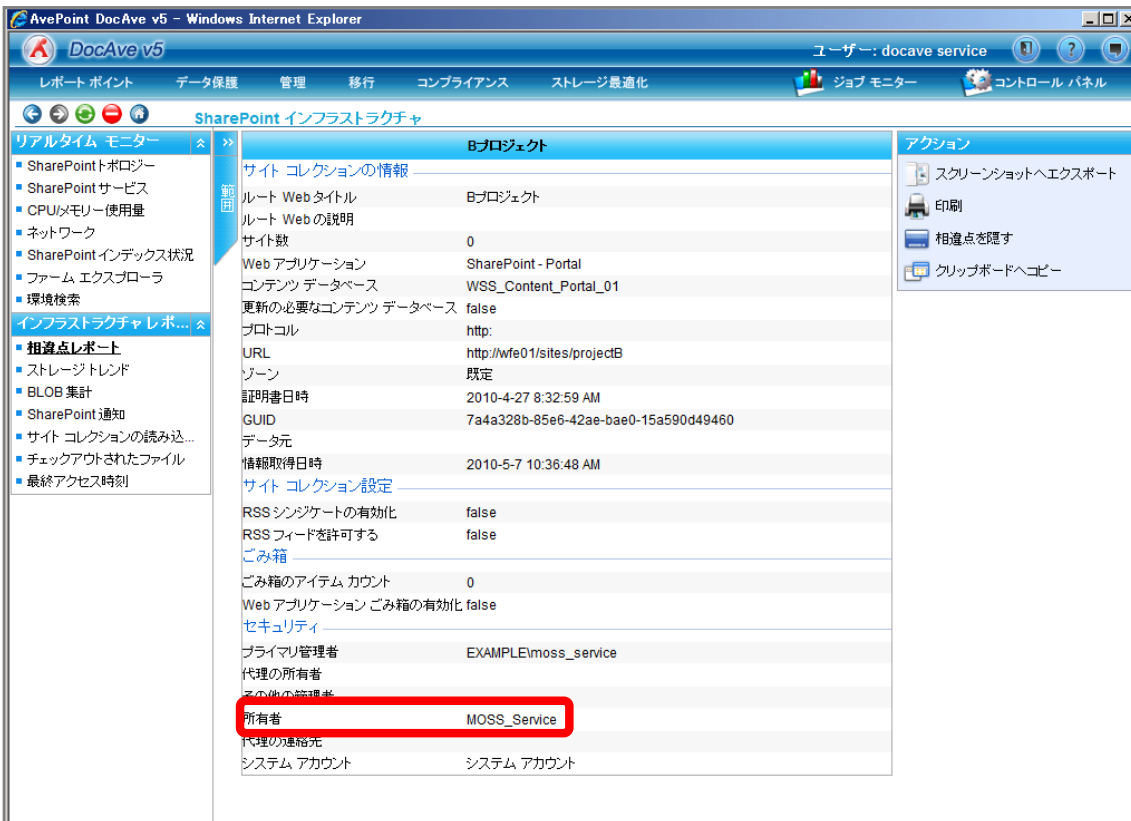
- メッセージボックスが表示されるので[OK]をクリックします。



5. 範囲プロファイル項目に「サイトコレクションの設定情報確認」が表示されたことを確認し、[OK]をクリックします。



6. 右ペインに表示されるサイトコレクションの設定情報から所有者を確認します。



7. 所有者へサイトの整理を行うよう連絡します。

<対処法-2>特定したサイトコレクションのコンテンツ DB を変更する

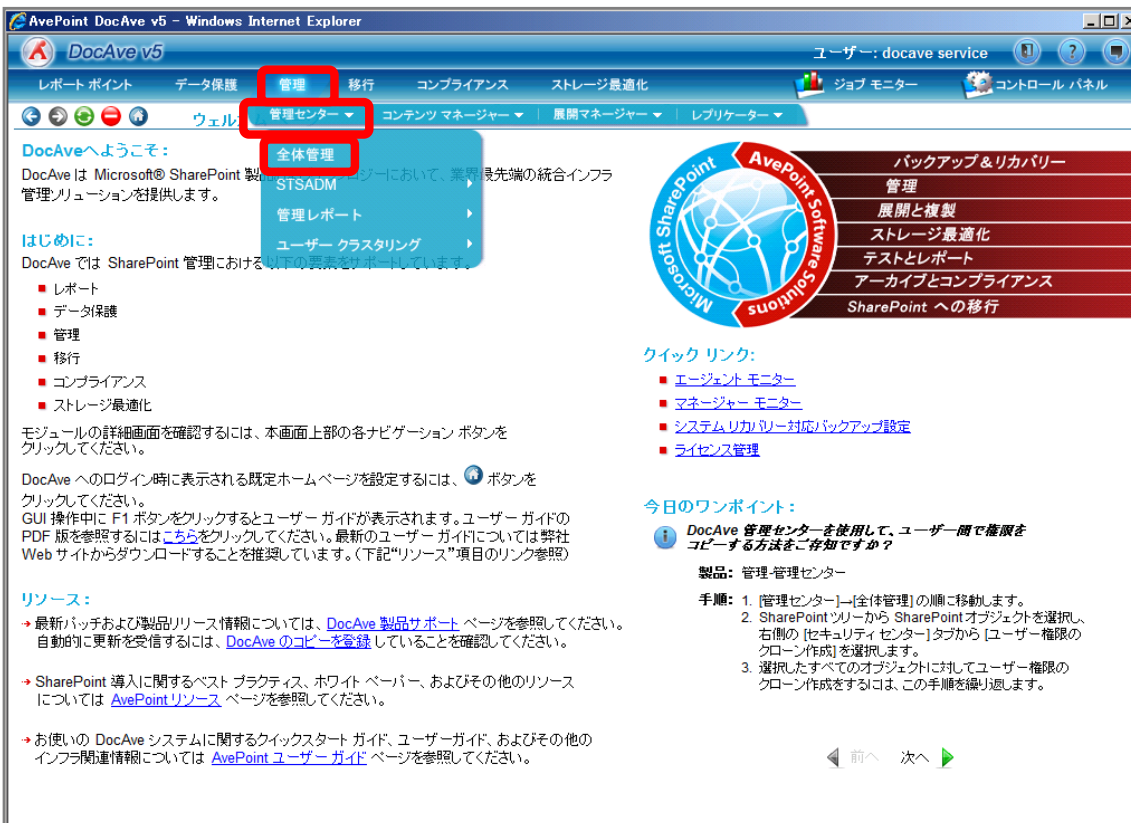
※コンテンツ DB の変更を行う場合には、予め対象のサイトコレクションのバックアップを取得しておいてください。

必要なオペレーション

項番	操作	ソリューション	説明
1	特定したサイトコレクションのコンテンツ DB 変更	DocAve 管理センター	特定したサイトコレクションを別のコンテンツ DB へ変更します。

操作手順

1. [管理]-[管理センター]-[全体管理]を選択し、全体管理画面を開きます。



2. 左ペインの SharePoint ツリーをサイトコレクションまで展開し、「B プロジェクトサイト」にチェックを入れます。右ペインの[コンテンツデータベースの変更]をクリックします。



項目	説明	設定値
SharePoint ツリー	SharePoint ツリーからコンテンツ DB を変更するオブジェクトを選択します。 [Farm]-[Farm(SQL01:SHAREPOINT_CONFIG)]-[Content Service]-[Web Applications]-[http://wfe01/]-[Site Collections]の順で展開します。	http://wfe01/sites/projectB

3. 設定を行い、[移動]をクリックします。

サイトの移動
✕

このサイト コレクションを別のデータベースに移動します。

サイト コレクション URL: http://wfe01/sites/projectB

サイト コレクションの移動先:

コンテンツ データベース	サイズ	MDF の使用可能領域	ディスクの空き容量
<input checked="" type="radio"/> WSS_Content_Portal_02	11MB	0.81MB	7.56GB

メール通知: 1つを選択

移動
スケジュール
キャンセル

項目	説明	設定値
サイトコレクション URL	選択したサイトコレクションの URL が表示されます。	http://wfe01/sites/projectB
サイトコレクションの移動先	移動先のコンテンツ DB を選択します。	WSS_Contents_Portal_02
メール通知	チェックボックスを有効にすることで、サイトコレクションの移動を実行した際に実施結果を通知します。	無効

<対処法-3>特定したサイトコレクションをアーカイブする
必要なオペレーション

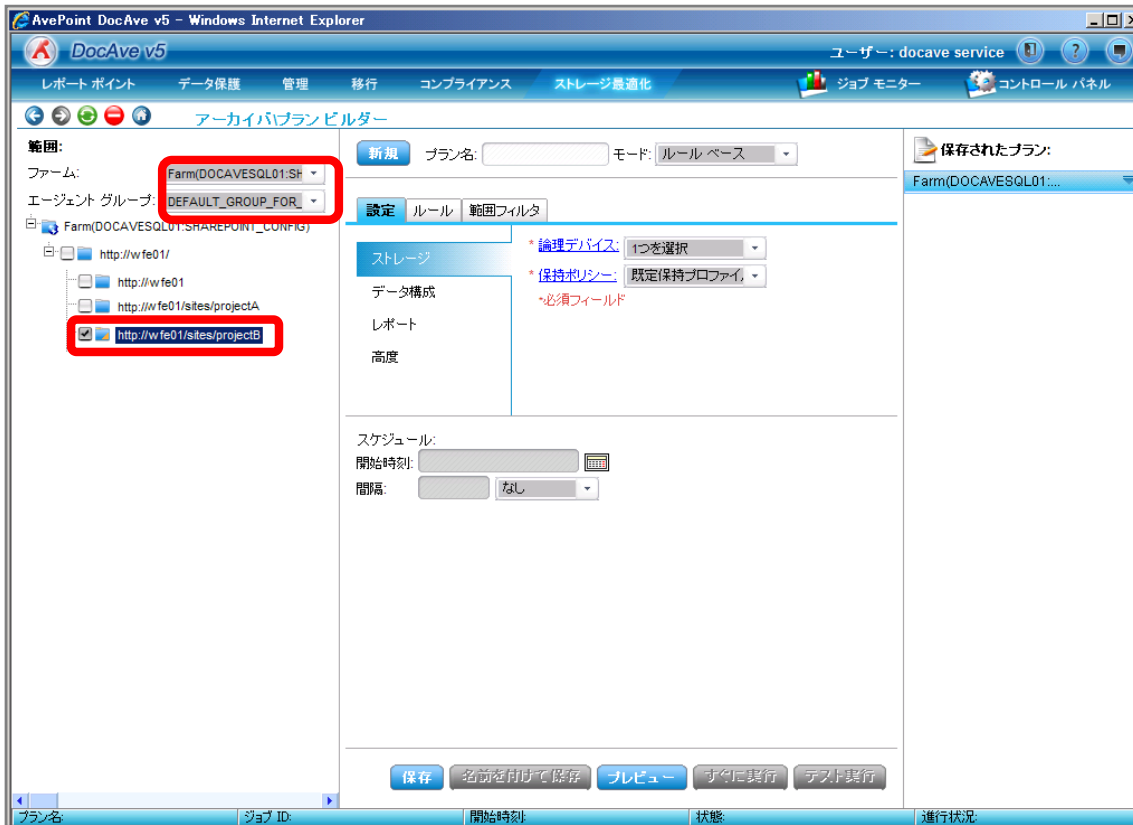
項番	操作	ソリューション	説明
1	特定したサイトコレクションのアーカイブ	DocAve アーカイバ	特定したサイトコレクションのアーカイブを行います。

操作手順

1. [ストレージ最適化]-[アーカイバ]-[プランビルダー]を選択し、プランビルダー画面を開きます。

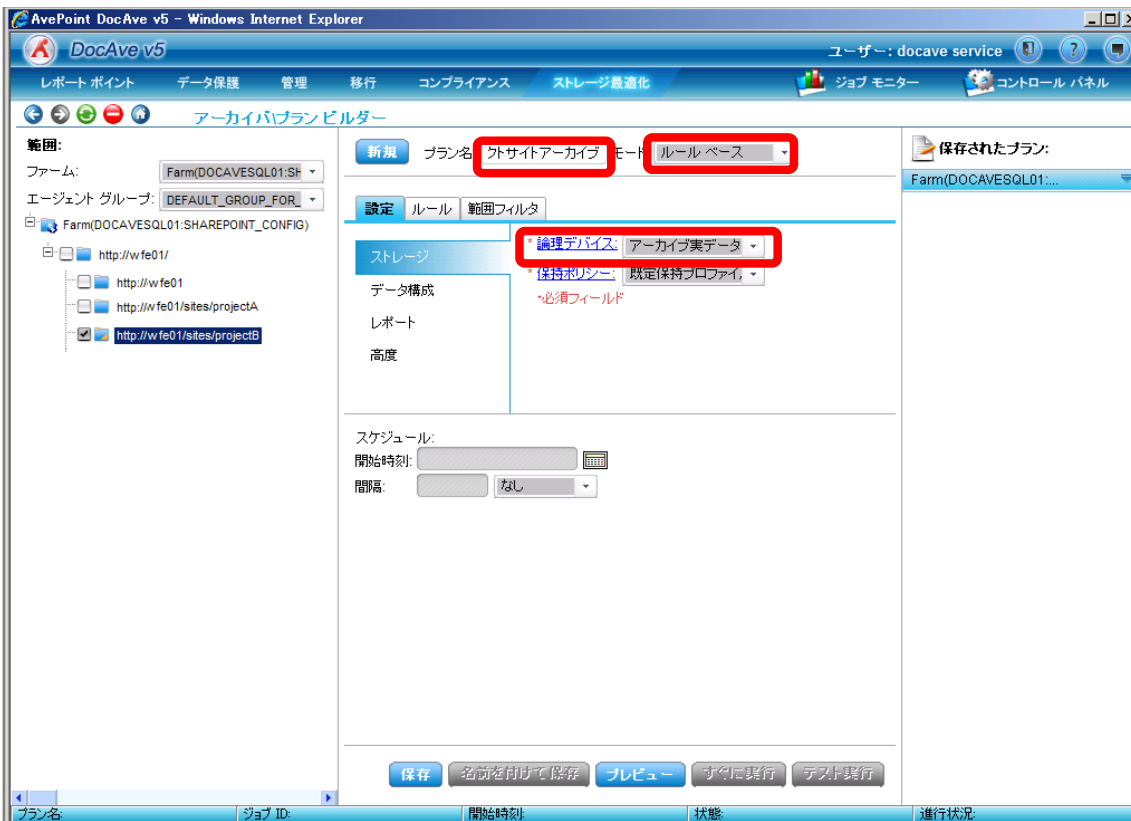


[ファーム]、[エージェントグループ]を選択します。SharePoint ツリーをサイトコレクションまで展開し、「B プロジェクトサイト」にチェックを入れます。



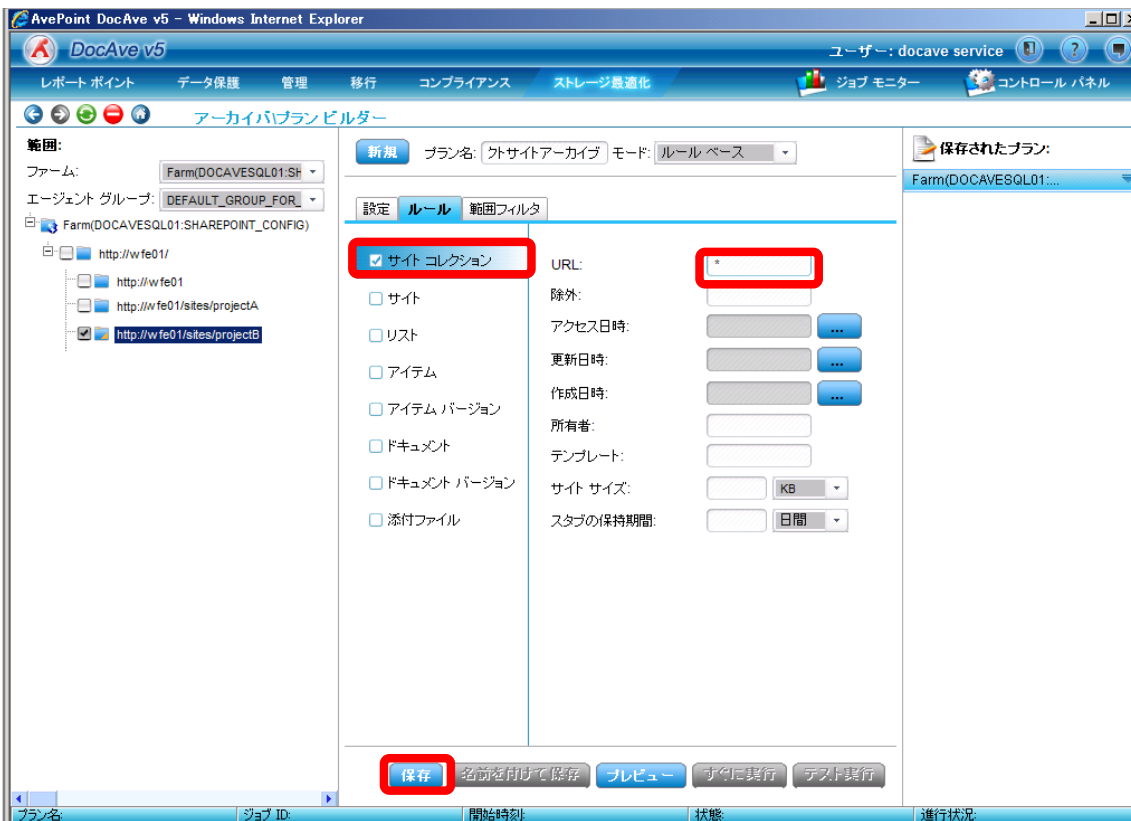
項目	説明	設定値
ファーム	アーカイブを実施するファームを選択します。	Farm(SQL01:SHAREPOINT_CONFIG)-Standalone Farm
エージェントグループ	アーカイブ時に使用するエージェントグループを選択します。既定ではすべてのエージェントが含まれています。	DEFAULT_GROUP_FOR_Farm (SQL01:SHAREPOINT_CONFIG)
SharePoint ツリー	SharePoint ツリーからアーカイブ対象オブジェクトを選択します。 [Farm(SQL01:SHAREPOINT_CONFIG)]-[http://wfe01/]の順で展開します。	http://wfe01/sites/projectB

[プラン名]を入力し、[モード]を「ルールベース」とします。[設定]タブの[論理デバイス]を選択し、残りの設定は既定値のまま[ルール]タブをクリックします。



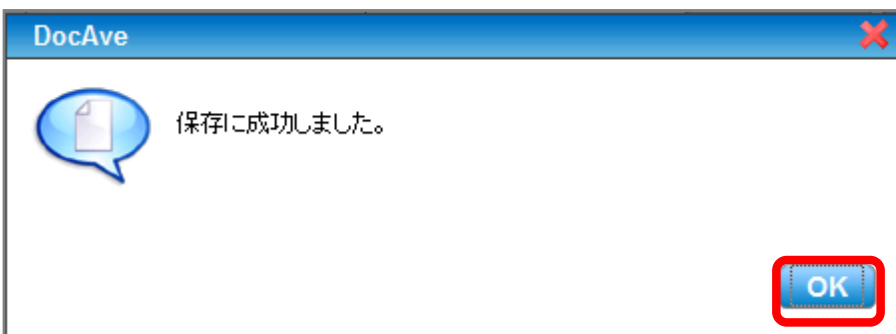
項目	説明	設定値
プラン名	プランを保存します。スケジュール実行や今後再利用することが可能となります。	B プロジェクトサイトアーカイブ
モード	アーカイブの実施モードを選択します。	ルールベース
論理デバイス	アーカイブしたデータの実データ保存先を指定します。こちらは[コントロールパネル]-[データ]-[デバイス管理]で事前設定しておく必要があります。	アーカイブ実データ
保持ポリシー	アーカイブしたデータの保持期間を設定します。こちらは[コントロールパネル]-[データ]-[保持ポリシー]で事前設定しておく必要があります。既定では無期限保持の「既定保持ポリシー」が選択されています。	既定保持ポリシー

[サイトコレクション]のチェックボックスを有効化します。[URL]に「*」を入力し、残りの設定は既定値のまま[保存]をクリックします。

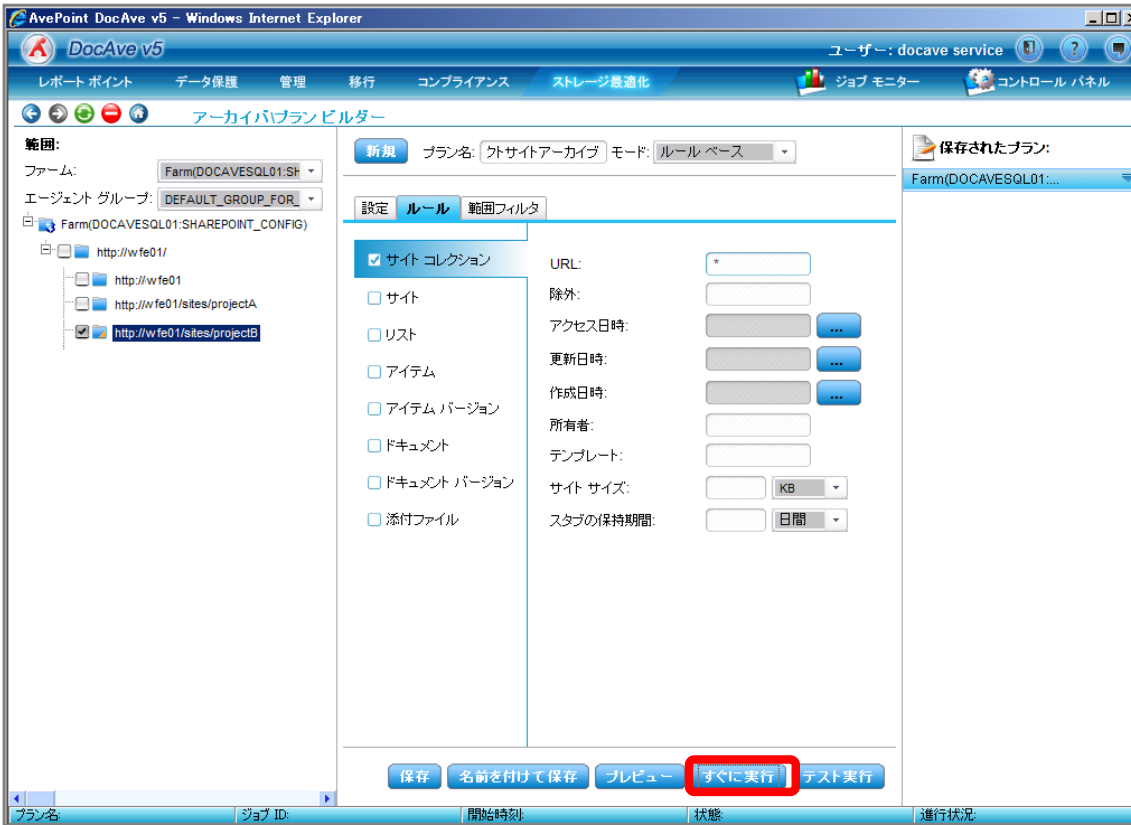


項目	説明	設定値
URL	アーカイブ対象とする URL を指定します。SharePoint ツリーから選択したオブジェクトすべてをアーカイブ対象とする場合には「*」を入力します。	*

メッセージボックスが表示されるので、[OK]をクリックします。



[すぐに実行]をクリックします。



3.5. パフォーマンスの把握

(1) 複数ある SharePoint サーバーの CPU やネットワーク使用状況をまとめて把握したい

SharePoint 運用管理者の田中さんは、ユーザーから SharePoint のパフォーマンスが遅くなっていると問い合わせがあったためすぐにパフォーマンスを確認する必要があります。確認対象は以下の通りです。

<memo>

今回のシナリオでは CPU/メモリー使用量の操作手順を記述しています。ネットワーク使用状況を確認する場合は手順 2 の [CPU/メモリー使用量]を[ネットワーク]に置き換えて操作を実施してください。

確認対象

確認対象
WFE サーバー
Index サーバー

必要なオペレーション

上記シナリオを達成するために、以下のオペレーションを行います。

項番	操作	ソリューション	説明
1	CPU/メモリー消費量確認	DocAve レポートポイント	CPU/メモリー、ネットワーク消費量を表示させます。

操作手順

1. [レポートポイント]-[SharePoint インフラストラクチャ]を選択し SharePoint インフラストラクチャ画面を開きます。



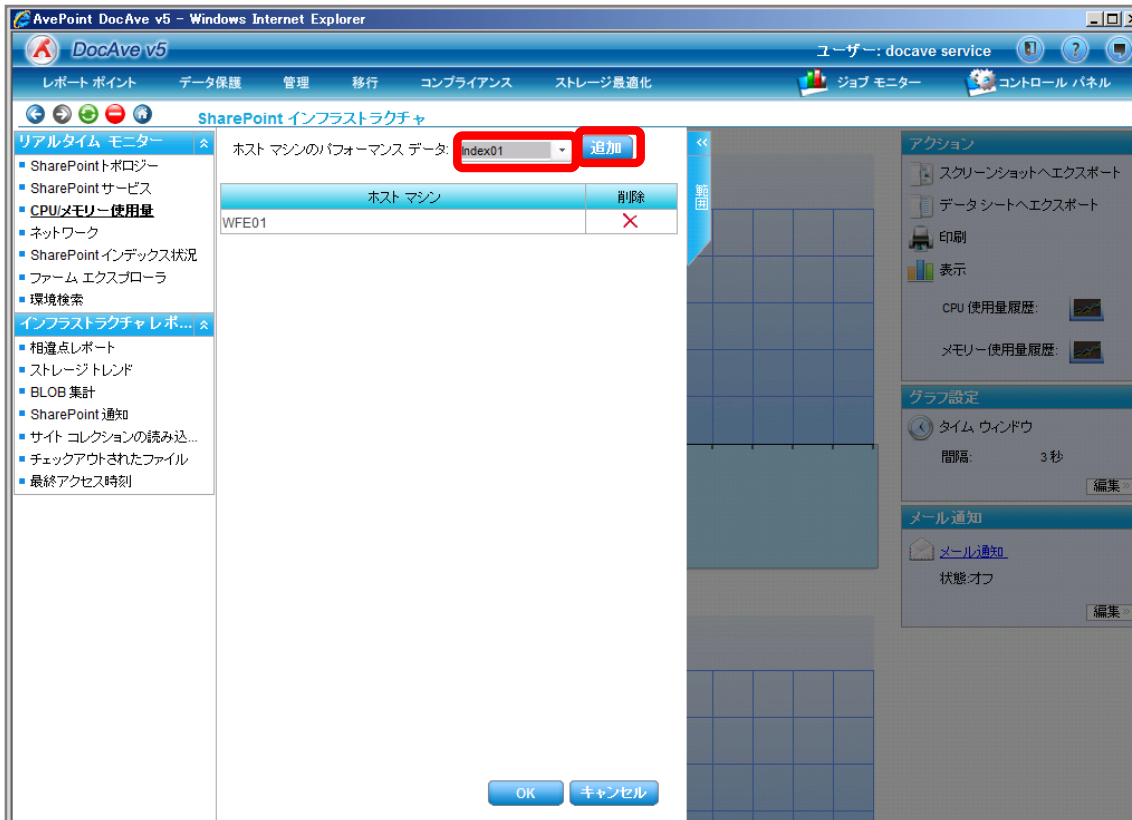
The screenshot shows the AvePoint DocAve v5 web interface in Internet Explorer. The user is logged in as 'docave service'. The navigation bar includes 'レポートポイント', 'データ保護', '管理', '移行', 'コンプライアンス', and 'ストレージ最適化'. The 'SharePoint インフラストラクチャ' menu item is highlighted with a red box. The main content area displays a welcome message, a list of features (レポート, データ保護, 管理, 移行, コンプライアンス, ストレージ最適化), and a list of quick links (エージェント モニター, マネージャー モニター, システムリカバリー対応バックアップ設定, ライセンス管理). A sidebar on the right contains a navigation menu with items like 'バックアップ & リカバリー', '管理', '展開と複製', 'ストレージ最適化', 'テストとレポート', 'アーカイブとコンプライアンス', and 'SharePoint への移行'.

2. 左ペインから[CPU/メモリー使用量]を選択し、右ペインの[範囲]タブをクリックします。



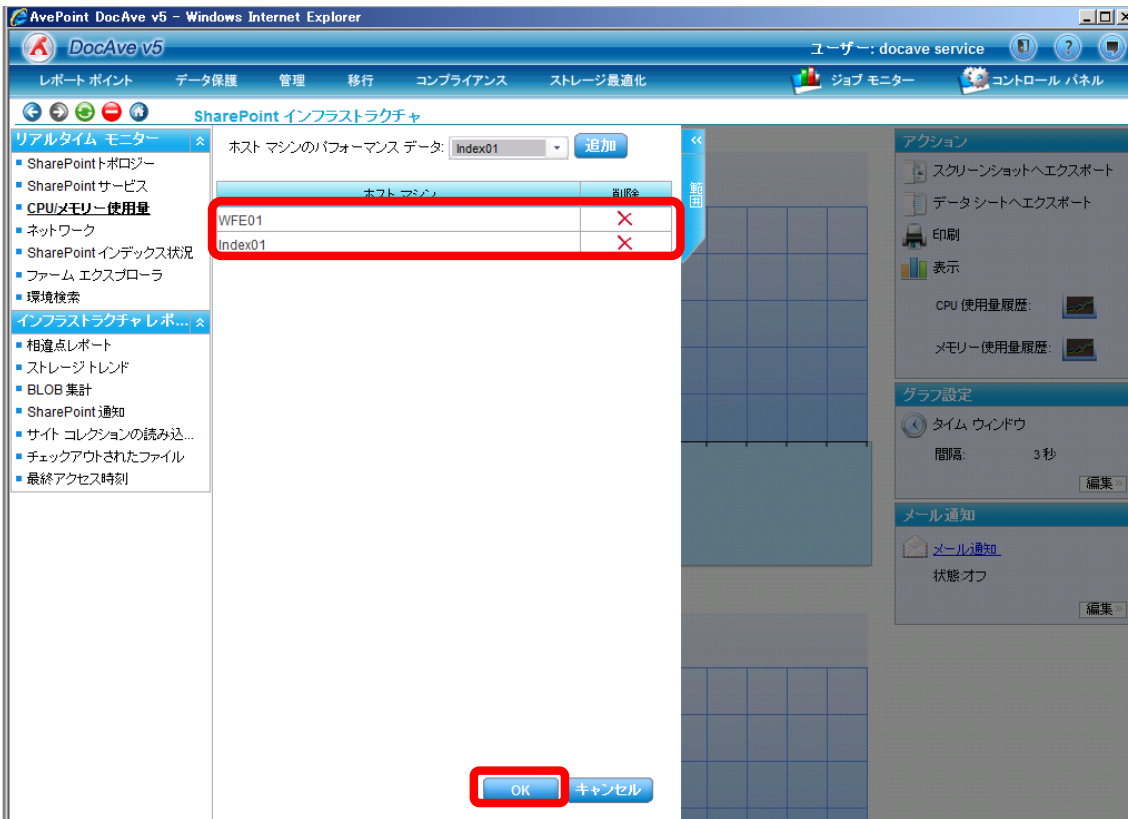
The screenshot shows the AvePoint DocAve v5 web interface with the 'CPU/メモリー使用量' menu item highlighted in the left sidebar. The main content area displays two line graphs: 'CPU 使用量履歴' (CPU Usage History) and 'メモリー使用量履歴' (Memory Usage History). The right sidebar contains an 'アクション' (Action) panel with options like 'スクリーンショットへエクスポート', 'データシートへエクスポート', '印刷', and '表示'. Below the action panel is a 'グラフ設定' (Graph Settings) panel with a 'タイム ウィンドウ' (Time Window) set to '3秒' and a 'メール通知' (Email Notification) section with a 'メール通知' link and a '状態: オフ' (Status: Off) indicator.

3. 対象のマシンを選択し、[追加]をクリックします。

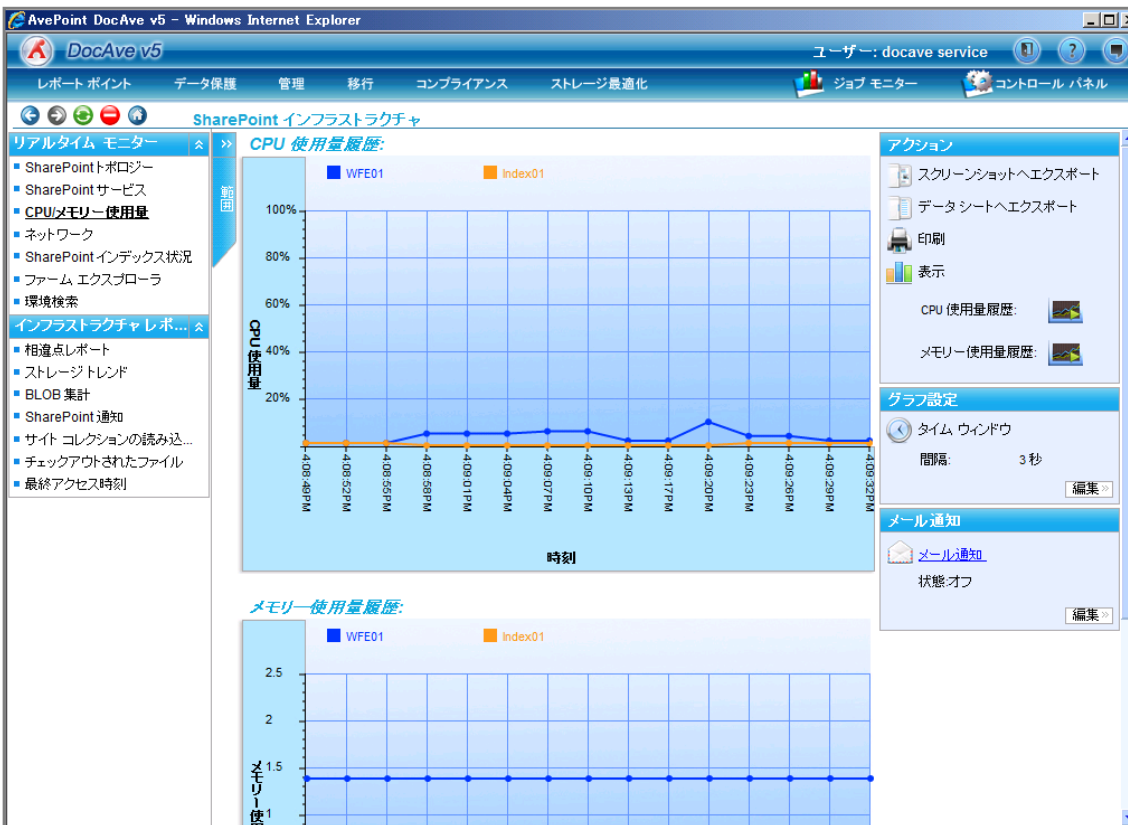


項目	説明	設定例
ホストマシンのパフォーマンスデータ	ドロップダウンメニューからパフォーマンスを確認するマシンを選択します。ドロップダウンメニューには DocAve エージェントが導入されているマシンが表示されます。	WFE01 Index01

4. 追加したマシン名が表示されていることを確認し、[OK]をクリックします。



5. 右ペインにCPU 使用量/メモリー使用量が表示されることを確認します。



(2) CPU やネットワーク使用量が高負荷になるタイミングを特定したい

SharePoint 運用管理者の田中さんは、SharePoint システムの正常運用のため、CPU やメモリー消費量が高くなった時に通知

を受け取りたいと考えています。確認対象は以下の通りです。

<memo>

今回のシナリオでは CPU/メモリー使用量の操作手順を記述しています。ネットワーク使用状況を確認する場合は手順 2 の[レポートタイプ]および手順 7 の[CPU/メモリー使用量]を[ネットワーク]に置き換えて操作を実施してください。

確認対象

確認対象
WFE サーバー
Index サーバー

必要なオペレーション

上記シナリオを達成するために、以下のオペレーションを行います。

項番	操作	ソリューション	説明
1	パフォーマンスデータ収集	DocAve レポートポイント	レポートポイントの元情報となるパフォーマンスデータを収集します。 ※こちらは事前作業「3-1-4 パフォーマンスデータの収集」で実施しておきます。
2	メール通知先の設定	DocAve コントロールパネル	メール通知先や使用する SMTP サーバーを設定します。 ※こちらは事前作業「3-1-5 メール通知先の設定」で実施しておきます。
3	閾値設定	DocAve レポートポイント	CPU/メモリーの閾値やメール通知先の選択を行います。
4	メール通知の有効化	DocAve レポートポイント	レポートポイントの CPU/メモリー機能でメール通知を有効化させます。

操作手順

1. パフォーマンスデータを収集します。操作手順は「3-1-4 パフォーマンスデータの収集」を参照してください。
2. メール通知先を設定します。操作手順は「3-1-5 メール通知先の設定」を参照してください。
3. 管理コンソールより[レポートポイント]-[レポート管理]を選択し、レポート管理画面を開きます。

DocAve v5

ユーザー: docave service

レポートポイント データ保護 管理 移行 コンプライアンス ストレージ最適化

SharePointインフラストラクチャ 利用状況分析 DocAve レポート レポート管理

DocAveへようこそ:

DocAve は Microsoft® SharePoint 製品およびテクノロジーにおいて、業界最先端の統合インフラ管理ソリューションを提供します。

はじめに:

DocAve では SharePoint 管理における以下の要素をサポートしています。

- レポート
- データ保護
- 管理
- 移行
- コンプライアンス
- ストレージ最適化

モジュールの詳細画面を確認するには、本画面上部の各ナビゲーション ボタンをクリックしてください。

DocAve へのログイン時に表示される既定ホームページを設定するには、 ボタンをクリックしてください。

GUI 操作中に F1 ボタンをクリックするとユーザー ガイドが表示されます。ユーザー ガイドの PDF 版を参照するには [こちら](#) をクリックしてください。最新のユーザー ガイドについては弊社 Web サイトからダウンロードすることを推奨しています。(下記「リソース」項目のリンク参照)

リソース:

- 最新パッチおよび製品リリース情報については、[DocAve 製品サポート](#) ページを参照してください。自動的に更新を受信するには、[DocAve のコピーを登録](#) していることを確認してください。
- SharePoint 導入に関するベスト プラクティス、ホワイト ペーパー、およびその他のリソースについては [AvePoint リソース](#) ページを参照してください。
- お使いの DocAve システムに関するクイックスタート ガイド、ユーザーガイド、およびその他のインフラ関連情報については [AvePoint ユーザー ガイド](#) ページを参照してください。

Microsoft SharePoint AvePoint Software Solutions

バックアップ & リカバリー
管理
展開と複製
ストレージ最適化
テストとレポート
アーカイブとコンプライアンス
SharePoint への移行

クイックリンク:

- [エージェント モニター](#)
- [マネージャー モニター](#)
- [システムリカバリー対応バックアップ設定](#)
- [ライセンス管理](#)

今日のワンポイント:

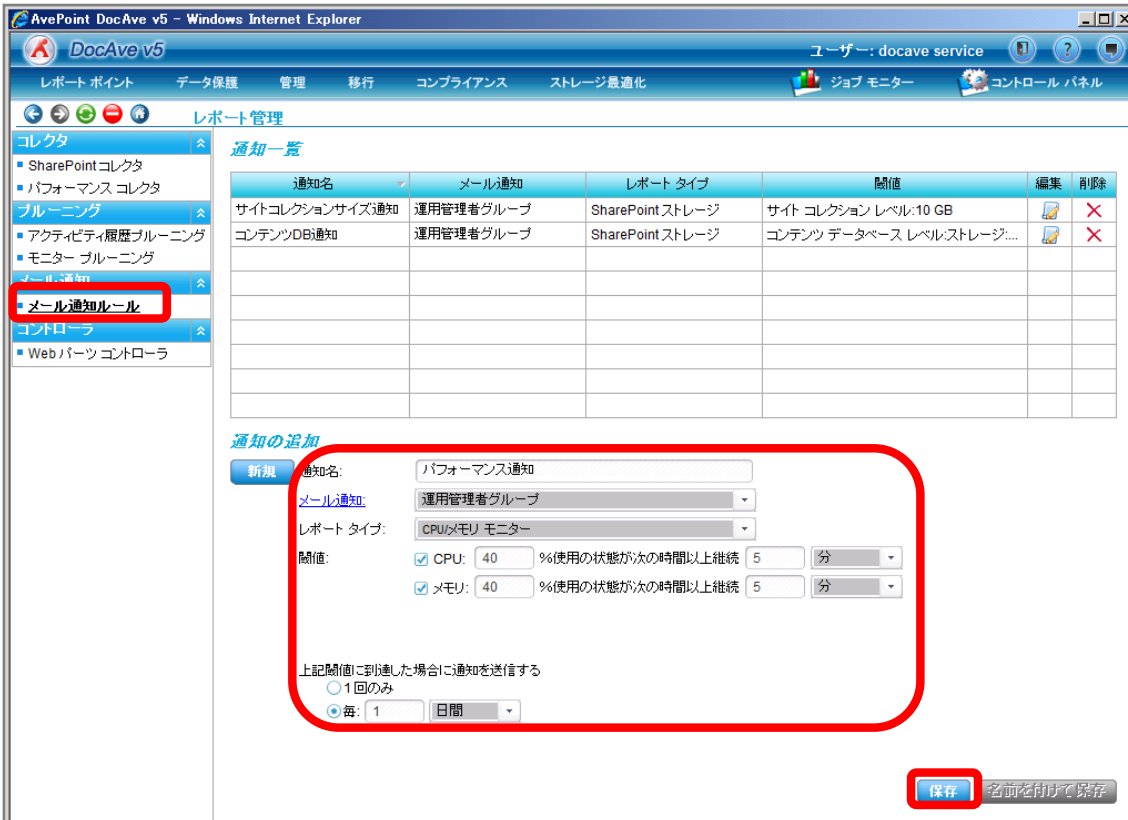
DocAve 管理センターを使用して、ユーザー間で権限をコピーする方法をご存知ですか?

製品: 管理-管理センター

手順: 1. [管理センター]→[全体管理]の順に移動します。
2. SharePoint ツリーから SharePoint オブジェクトを選択し、右側の [セキュリティセンター] タブから [ユーザー権限のクローン作成] を選択します。
3. 選択したすべてのオブジェクトに対してユーザー権限のクローン作成をするには、この手順を繰り返します。

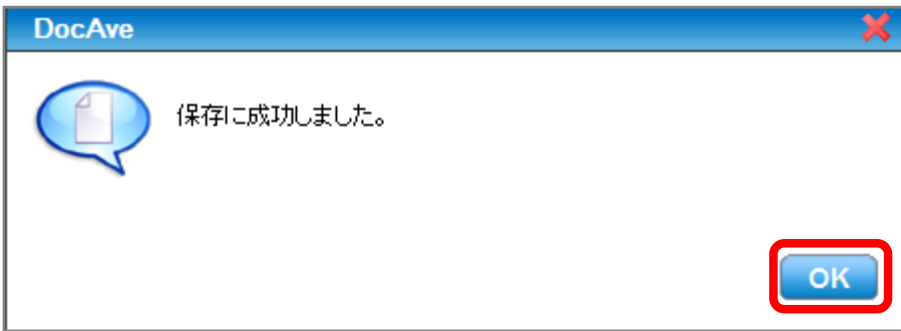
前へ 次へ

4. 左ペインから[メール通知ルール]を選択します。画面下の通知の追加カテゴリにて設定を行い、[保存]をクリックします。

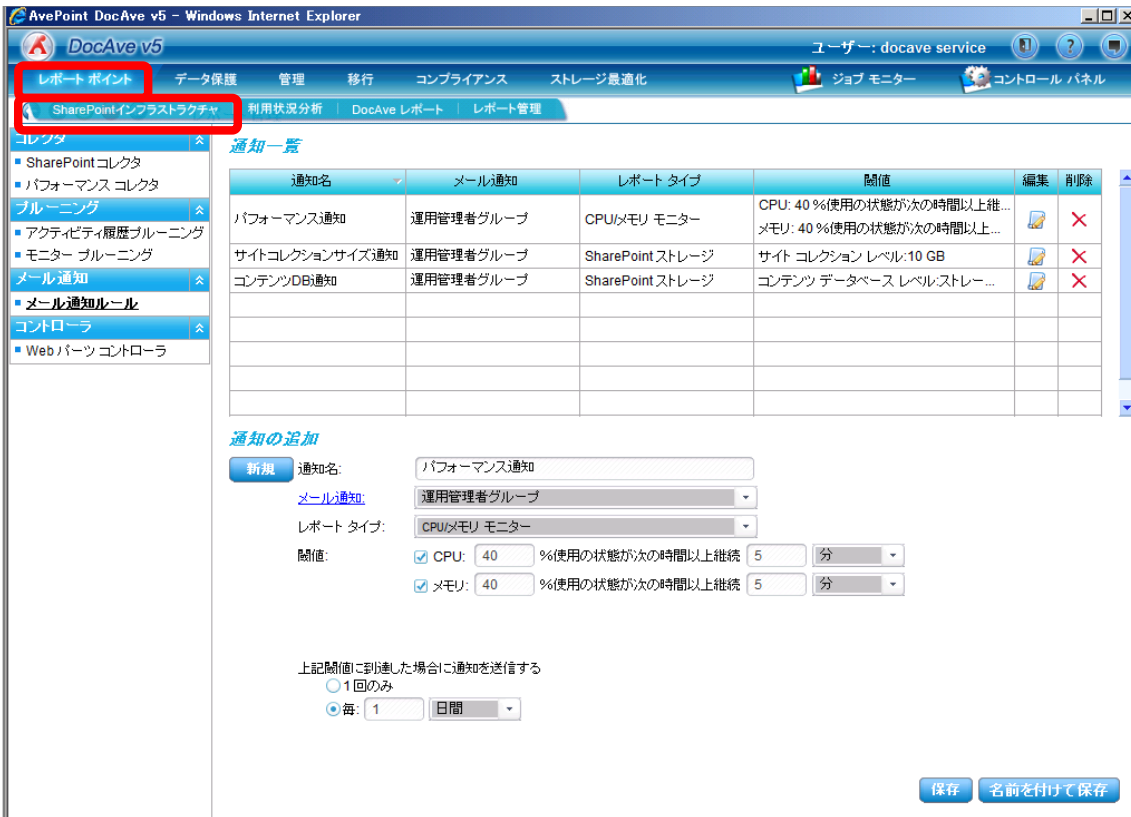


項目	説明	設定値
通知名	通知名を入力します。	パフォーマンス通知
メール通知	事前に[コントロールパネル]-[レポート]-[メール通知]で設定したメール通知名を選択します。	運用管理者グループ
レポートタイプ	レポートポイントのどの機能に対してメール通知を行うか選択します。	CPU/メモリ モニター
閾値	メール通知を行う対象のラジオボタンを有効化し、閾値を入力します。	CPU:40%使用の状態が次の時間以上継続 5分 メモリ: 40%使用の状態が次の時間以上継続 5分
メール通知間隔	メール通知を行う間隔を指定します。対象のラジオボタンを有効化させて値を入力します。	毎:1 日間

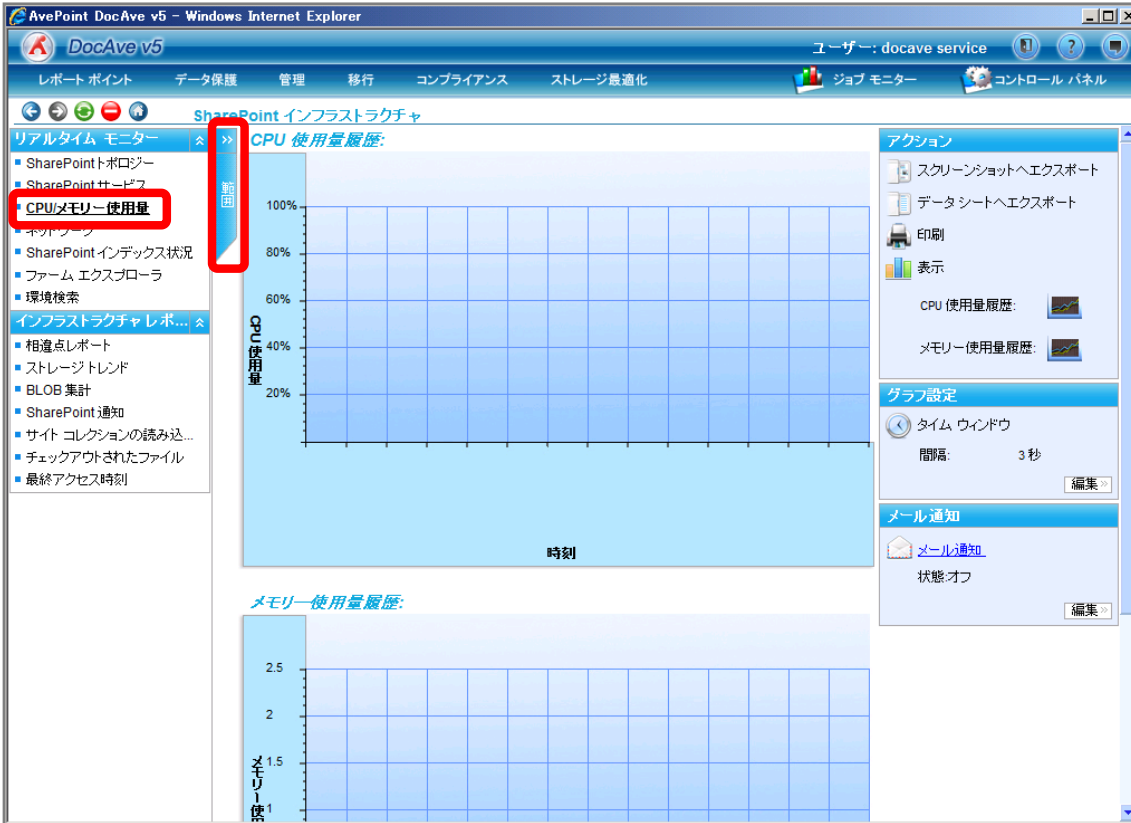
5. メッセージボックスが表示されるので、[OK]をクリックします。



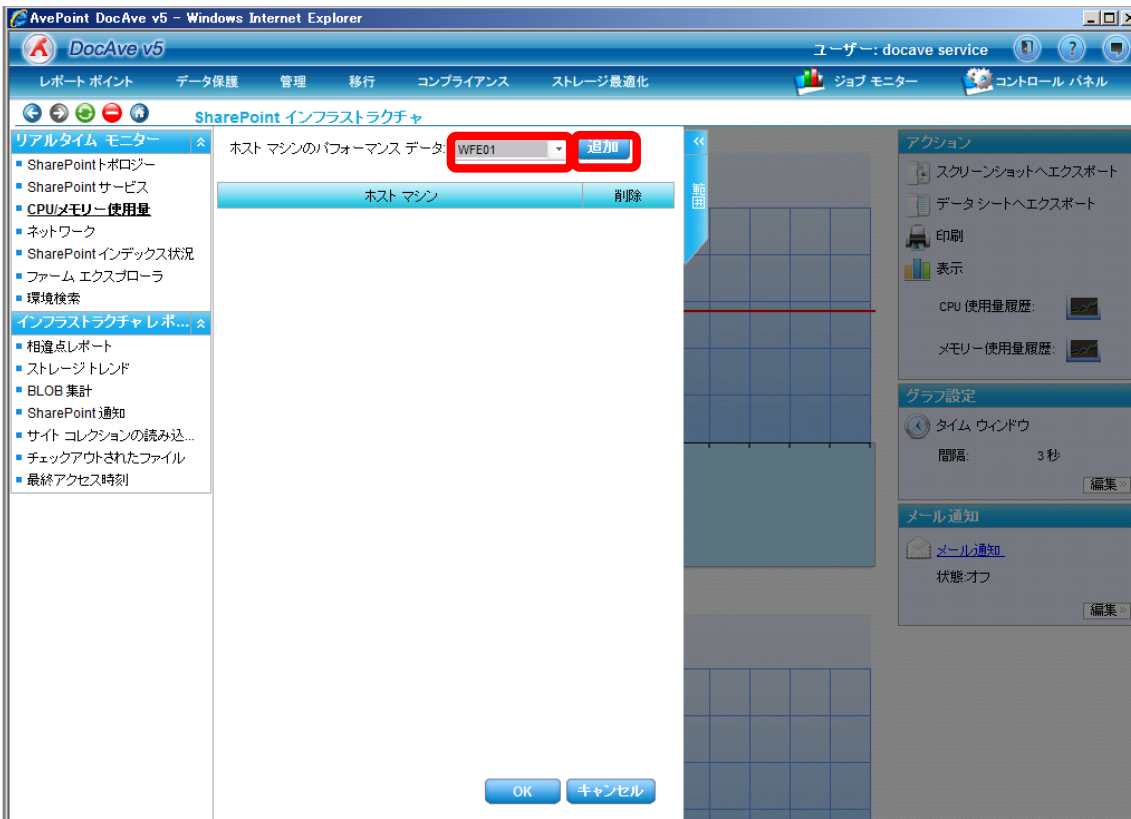
6. [レポートポイント]-[SharePoint インフラストラクチャ]を選択し SharePoint インフラストラクチャ画面を開きます。



7. 左ペインから[CPU/メモリー使用量]を選択し、右ペインの[範囲]タブをクリックします。

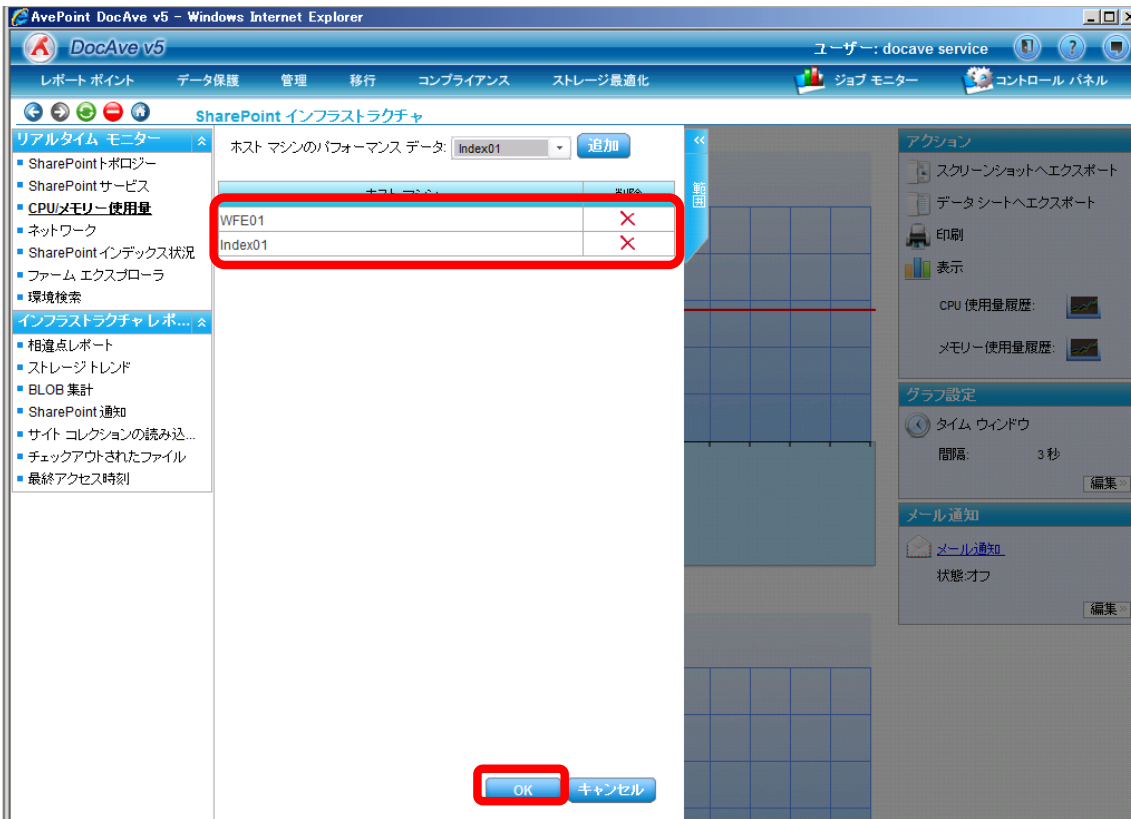


8. 対象のマシンを選択し、[追加]をクリックします。

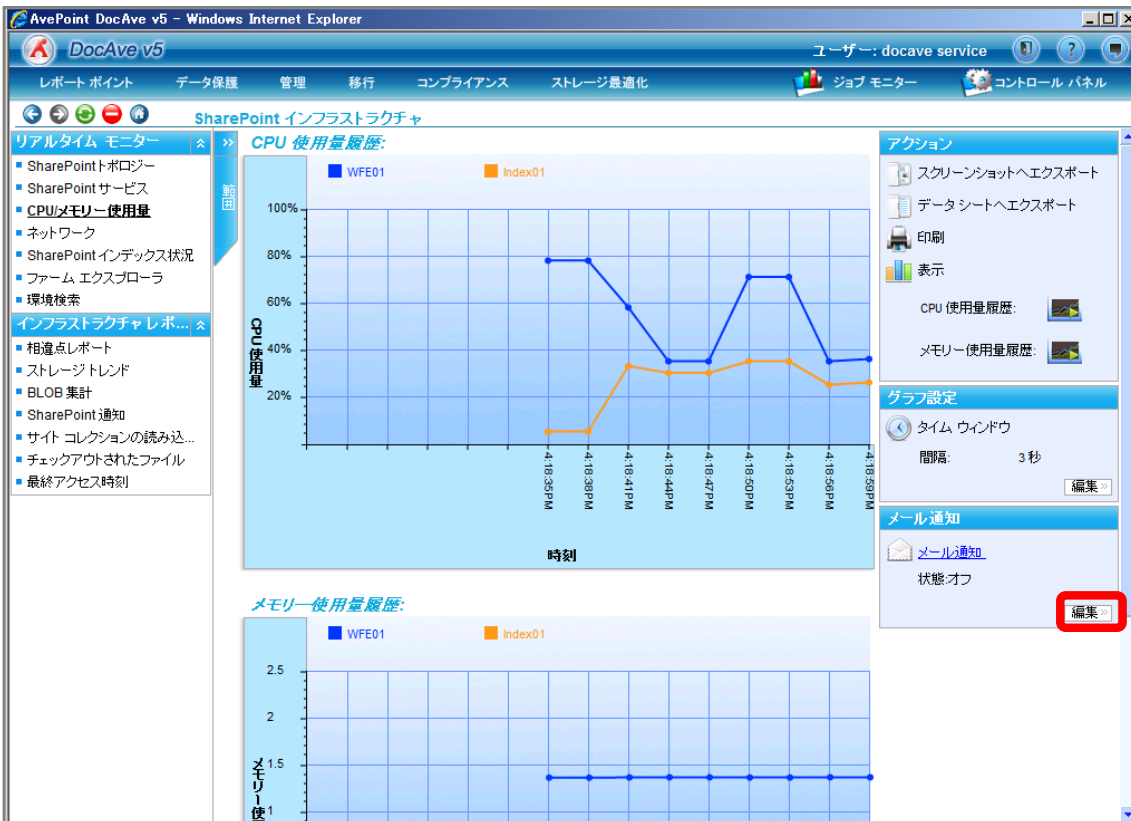


項目	説明	設定値
ホストマシンのパフォーマンスデータ	ド롭ダウンメニューからパフォーマンスを確認するマシンを選択します。ド롭ダウンメニューには DocAve エージェントが導入されているマシンが表示されます。	WFE01 Index01

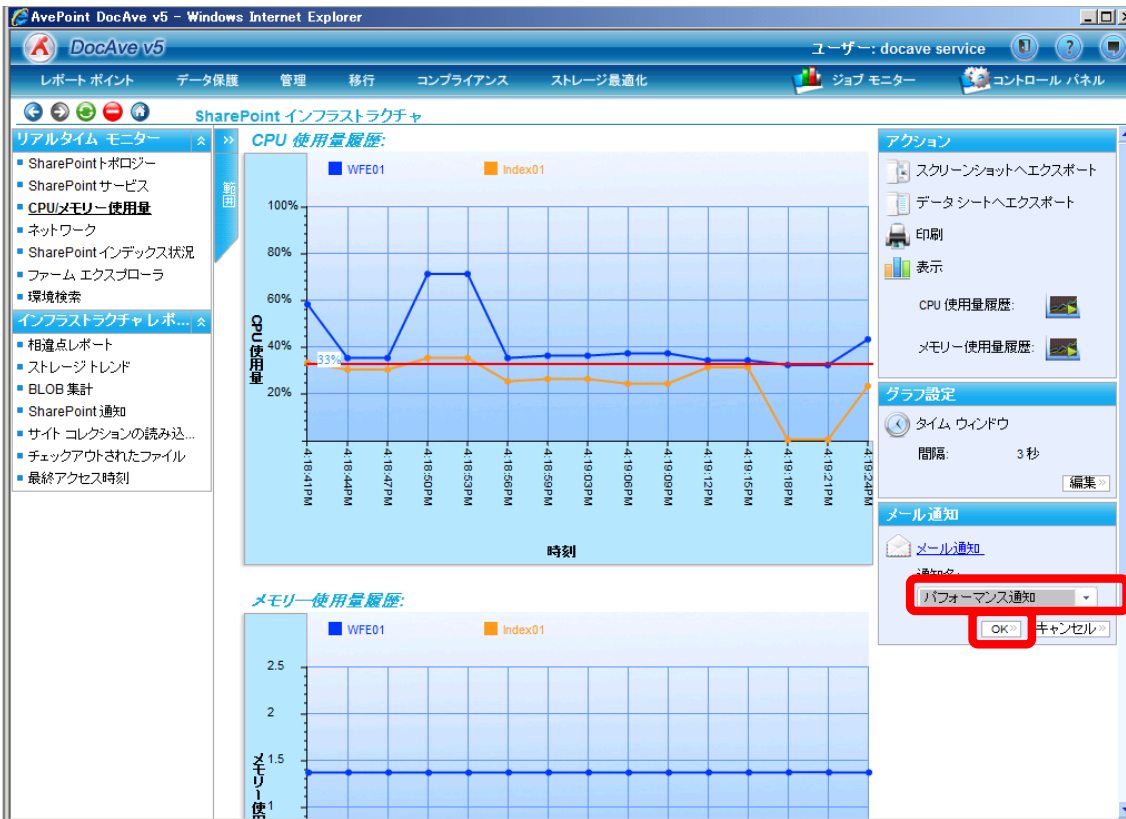
9. 追加したマシン名が表示されていることを確認し、[OK]をクリックします。



10. 右ペインに CPU 使用量/メモリー使用量が表示されることを確認します。メール通知項目の[編集]をクリックします。



11. [通知名]に「パフォーマンス通知」を選択し、[OK]をクリックします。



項目	説明	設定値
通知名	[レポートポイント]-[レポート管理]-[メール通知ルール]で事前に設定した通知名を選択します。	パフォーマンス通知

12. 閾値を超えた際に通知メールを受け取ります。

差出人: docave_service@example.com 送信日時: 2010/05/06 (木) 18:10
宛先: 田中 一郎, 太田 健二
CC:
件名: DocAveレポート ポイント - CPU/メモリー使用量レポート

AvePoint®
Unleashing the power of SharePoint™

DocAve レポート ポイント - CPU/メモリー使用量レポート

構成	値
日付	2010-05-06 18:09:52 (GMT+9:00)
レポートタイプ	CPU/メモリー使用量
サーバー名	WF01
現在の CPU 使用量	41%
閾値	CPU 40% 使用の状態が 5 分間続きました
	開始時刻: 2010-05-06 18:04:52 (GMT+9:00)
	終了時刻: 2010-05-06 18:09:52 (GMT+9:00)

(3) サイトコレクションの表示速度を把握したい

SharePoint 運用管理者の田中さんは、ユーザーからトップページの表示が遅いと問い合わせを受けました。ページアクセスの表示にかかる時間の傾向を確認する必要があります。確認対象は以下の通りです。

確認対象

確認対象
全社ポータルサイト(http://wfe01/default.aspx)

必要なオペレーション

上記シナリオを達成するために、以下のオペレーションを行います。

項番	操作	ソリューション	説明
1	SharePoint 環境等の情報収集	DocAve レポートポイント	レポートポイントの元情報となる SharePoint 環境等の情報を収集します。 ※こちらは事前作業「3-1-3 ストレージサイズやサイトコレクションの表示速度情報の取得」で実施しておきます。
2	アクセス時間の確認	DocAve レポートポイント	サイトコレクションの読み込み時間を確認します。

操作手順

1. SharePoint 情報を収集します。操作手順は「3-1-3SharePoint データの取得」を参照してください。
2. 管理コンソールより[レポートポイント]-[SharePoint インフラストラクチャ]を選択し、SharePoint インフラストラクチャ画面を開きます。

AvePoint DocAve v5 - Windows Internet Explorer

DocAve v5 ユーザー: docave service

レポートポイント データ保護 管理 移行 コンプライアンス ストレージ最適化 ジョブ モニター コントロール パネル

SharePoint-インフラストラクチャ 利用状況分析 DocAve レポート レポート管理

DocAveへようこそ:
DocAve は Microsoft® SharePoint 製品およびテクノロジーにおいて、業界最先端の統合インフラ管理ソリューションを提供します。

はじめに:
DocAve では SharePoint 管理における以下の要素をサポートしています。

- レポート
- データ保護
- 管理
- 移行
- コンプライアンス
- ストレージ最適化

モジュールの詳細画面を確認するには、本画面上部の各ナビゲーション ボタンをクリックしてください。

DocAve へのログイン時に表示される既定ホームページを設定するには、 ボタンをクリックしてください。

GUI 操作中に F1 ボタンをクリックするとユーザー ガイドが表示されます。ユーザー ガイドの PDF 版を参照するには [こちら](#) をクリックしてください。最新のユーザー ガイドについては弊社 Web サイトからダウンロードすることを推奨しています。(下記“リソース”項目のリンク参照)

リソース:
→ 最新パッチおよび製品リリース情報については、[DocAve 製品サポート](#) ページを参照してください。自動的に更新を受信するには、[DocAve のコピーを登録](#) していることを確認してください。

→ SharePoint 導入に関するベスト プラクティス、ホワイト ペーパー、およびその他のリソースについては [AvePoint リソース](#) ページを参照してください。

→ お使いの DocAve システムに関するクイックスタート ガイド、ユーザーガイド、およびその他のインフラ関連情報については [AvePoint ユーザー ガイド](#) ページを参照してください。

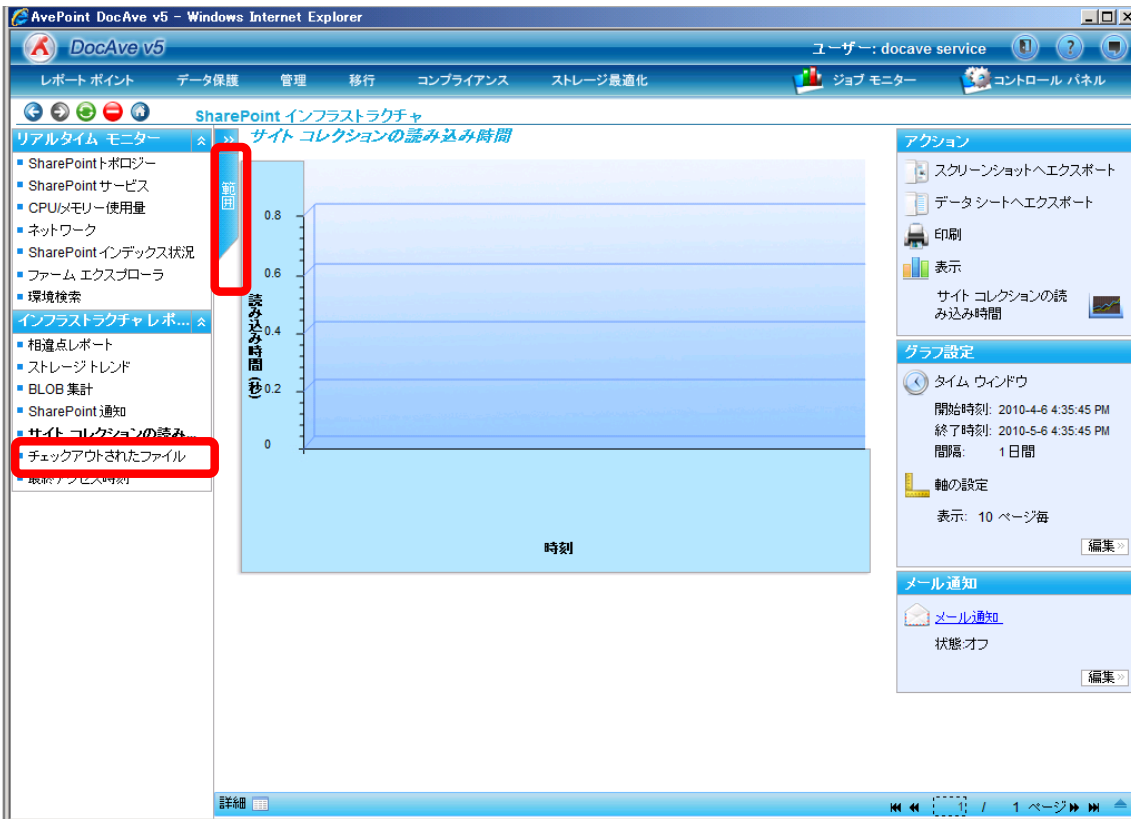
バックアップ&リカバリー
管理
展開と複製
ストレージ最適化
テストとレポート
アーカイブとコンプライアンス
SharePoint への移行

クイックリンク:
■ [エージェント モニター](#)
■ [マネージャー モニター](#)
■ [システムリカバリー対応バックアップ設定](#)
■ [ライセンス管理](#)

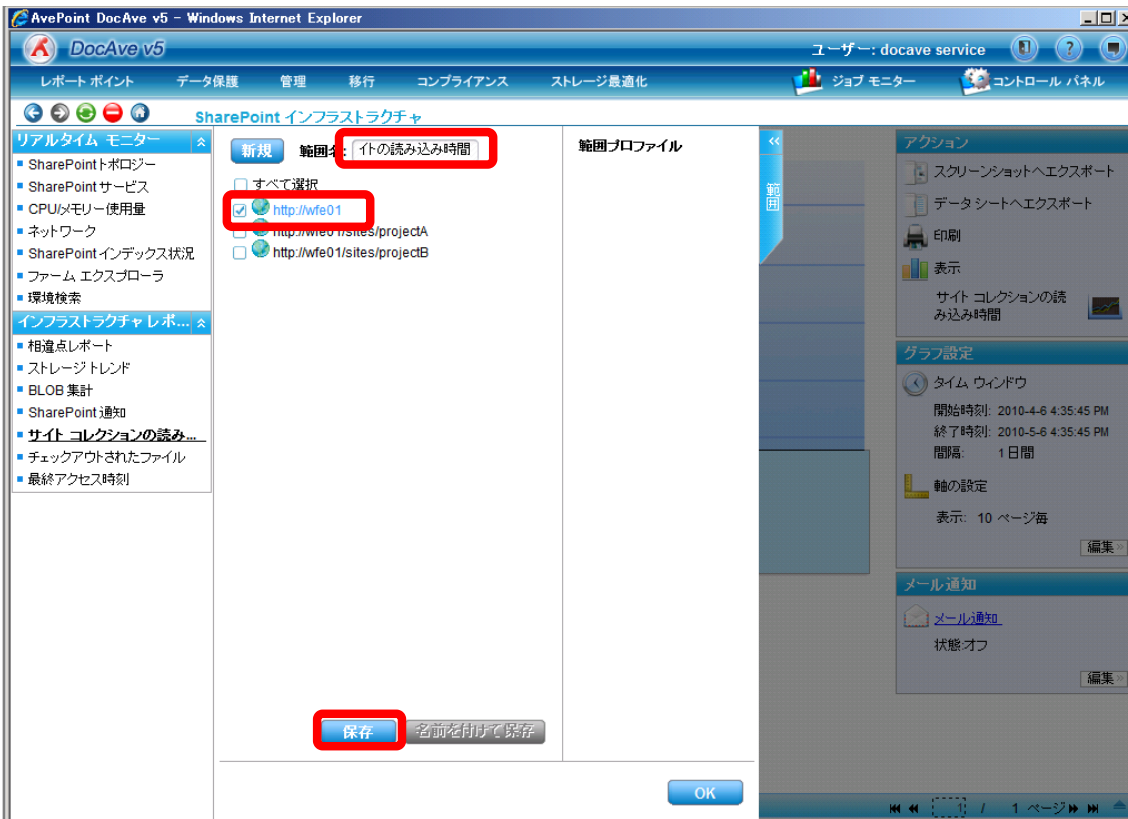
今日のワンポイント:
 DocAve 管理センターを使用して、ユーザー間で権限をコピーする方法をご存知ですか？
製品: 管理-管理センター
手順: 1. 管理センター-[全体管理]の順に移動します。
2. SharePoint ツリーから SharePoint オブジェクトを選択し、右側の [セキュリティセンター] タブから [ユーザー権限のクローン作成] を選択します。
3. 選択したすべてのオブジェクトに対してユーザー権限のクローン作成をするには、この手順を繰り返します。

前へ 次へ

3. 左ペインから[サイトコレクションの読み込み時間]を選択し、右ペインの[範囲]タブをクリックします。

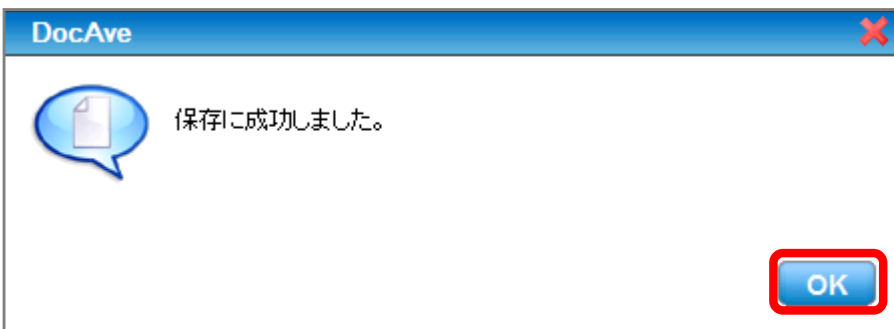


4. 範囲名を入力します。対象のサイトコレクションにチェックを入れ[保存]をクリックします。

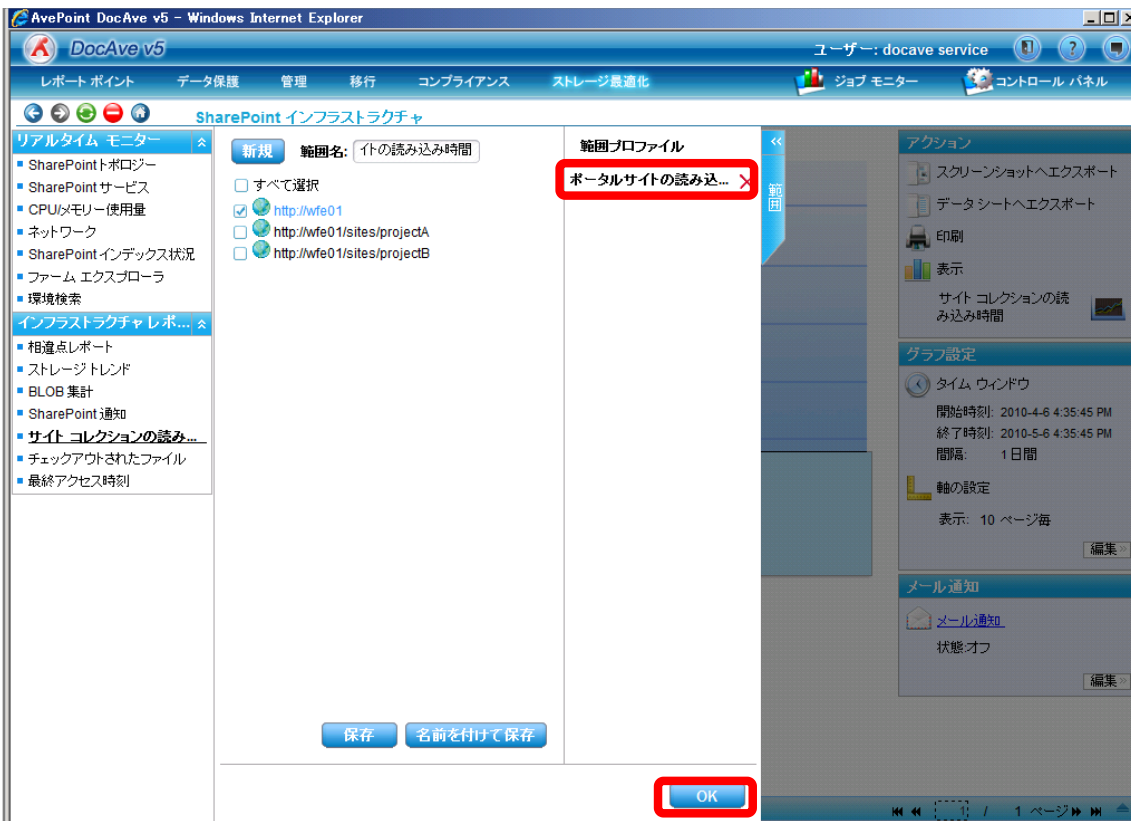


項目	説明	設定値
範囲名	設定をプロファイルとして保存します。今后再利用することが可能となります。	ポータルサイトの読み込み時間
サイトコレクション URL	サイトコレクションの読み込み時間を表示させる対象を選択します。 「3-1-3SharePoint 情報の取得」のサイトコレクションの読み込み時間で事前に範囲に設定したサイトコレクション URL が選択肢として表示されます。	http://wfe01

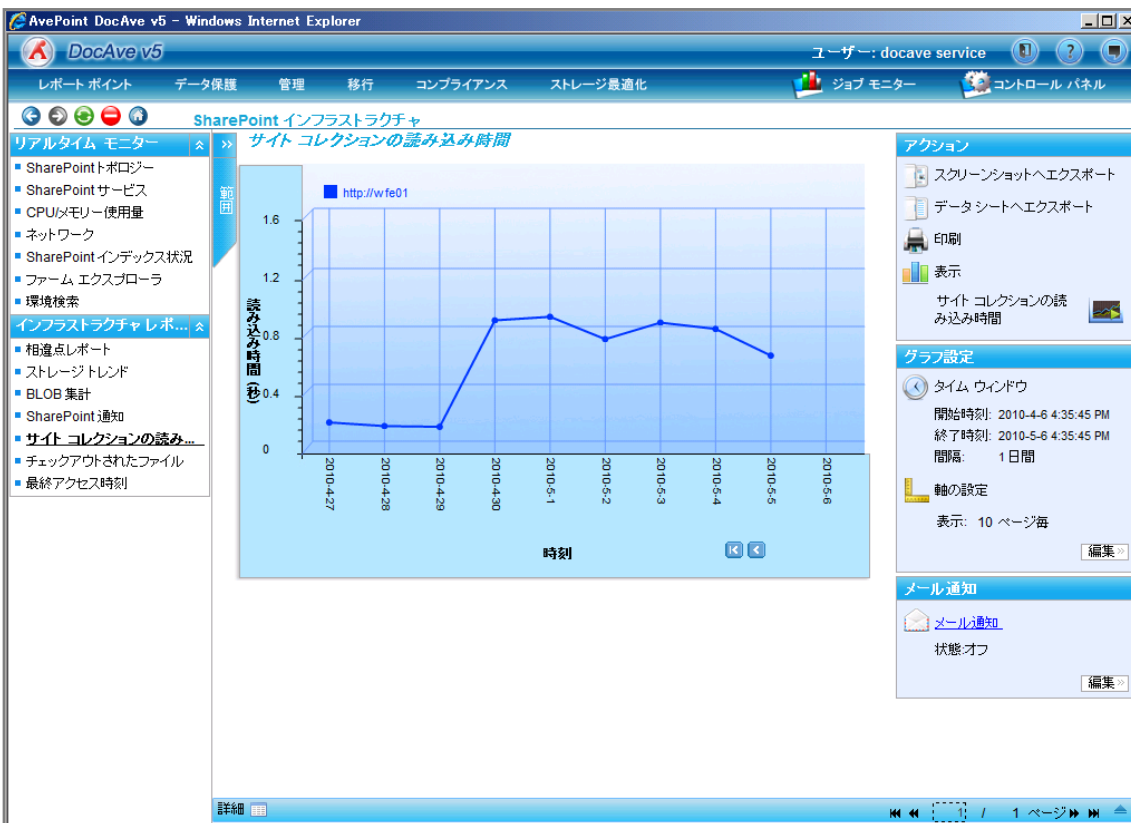
5. メッセージボックスが表示されるので[OK]をクリックします。



6. 範囲プロファイル項目に「ポータルサイトの読み込み時間」が表示されたことを確認し、[OK]をクリックします。



7. 右ペインにサイトコレクションの読み込み時間が表示されていることを確認します。



3.6. 利用されていないリソースの特定

(1) アクセスされていないサイトを特定したい

SharePoint 運用管理者の田中さんは、上司からデータベースリソースが少なくなったためコンテンツを減らすよう依頼されました。アクセスされていないサイトを削除対象とするため、対象を一覧化する必要があります。確認対象は以下の通りです。

確認対象

確認対象
全社ポータルサイト(http://wfe01/default.aspx)
A プロジェクトサイト(http://wfe01/sites/projectA/default.aspx)
B プロジェクトサイト(http://wfe01/sites/projectB/default.aspx)

必要なオペレーション

上記シナリオを達成するために、以下のオペレーションを行います。

項番	操作	ソリューション	説明
1	SharePoint 環境等の情報収集	DocAve レポートポイント	レポートポイントの元情報となる SharePoint 環境等の情報を収集します。 ※こちらは事前作業「3-1-3 ストレージサイズやサイトコレクションの表示速度情報の取得」で実施しておきます。
2	アクセスされていないサイトの抽出	DocAve レポートポイント	対象のサイトの最終アクセス時間を確認します。

操作手順

1. SharePoint 情報を収集します。操作手順は「3-1-3SharePoint 情報の取得」を参照してください。
2. 管理コンソールより[レポートポイント]-[SharePoint インフラストラクチャ]を選択し、SharePoint インフラストラクチャ画面を開きます。

DocAve v5 ユーザー: docave service

レポートポイント データ保護 管理 移行 コンプライアンス ストレージ最適化

SharePoint-インフラストラクチャ 利用状況分析 DocAve レポート レポート管理

DocAveへようこそ:
DocAve は Microsoft® SharePoint 製品およびテクノロジーにおいて、業界最先端の統合インフラ管理ソリューションを提供します。

はじめに:
DocAve では SharePoint 管理における以下の要素をサポートしています。

- レポート
- データ保護
- 管理
- 移行
- コンプライアンス
- ストレージ最適化

モジュールの詳細画面を確認するには、本画面上部の各ナビゲーション ボタンをクリックしてください。

DocAve へのログイン時に表示される既定ホームページを設定するには、 ボタンをクリックしてください。

GUI 操作中に F1 ボタンをクリックするとユーザー ガイドが表示されます。ユーザー ガイドの PDF 版を参照するには [こちら](#) をクリックしてください。最新のユーザー ガイドについては弊社 Web サイトからダウンロードすることを推奨しています。(下記「リソース」項目のリンク参照)

リソース:

- 最新パッチおよび製品リリース情報については、[DocAve 製品サポート](#) ページを参照してください。自動的に更新を受信するには、[DocAve のコピーを登録](#) していることを確認してください。
- SharePoint 導入に関するベスト プラクティス、ホワイト ペーパー、およびその他のリソースについては [AvePoint リソース](#) ページを参照してください。
- お使いの DocAve システムに関するクイックスタート ガイド、ユーザーガイド、およびその他のインフラ関連情報については [AvePoint ユーザー ガイド](#) ページを参照してください。

Microsoft SharePoint AvePoint Software Solutions

バックアップ & リカバリー
管理
展開と複製
ストレージ最適化
テストとレポート
アーカイブとコンプライアンス
SharePoint への移行

クイック リンク:

- [エージェント モニター](#)
- [マネージャー モニター](#)
- [システムリカバリー対応バックアップ設定](#)
- [ライセンス管理](#)

今日のワンポイント:

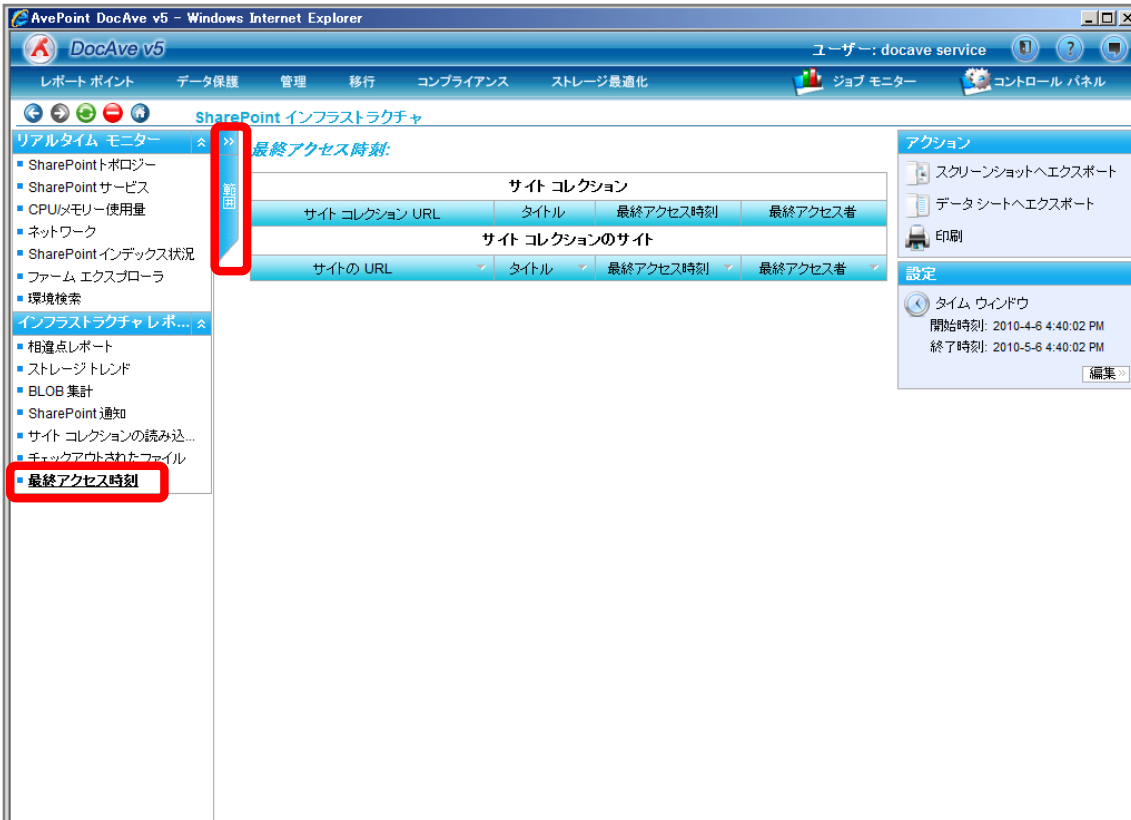
DocAve 管理センターを使用して、ユーザー一顧で権限をコピーする方法をご存知ですか?

製品: 管理 管理センター

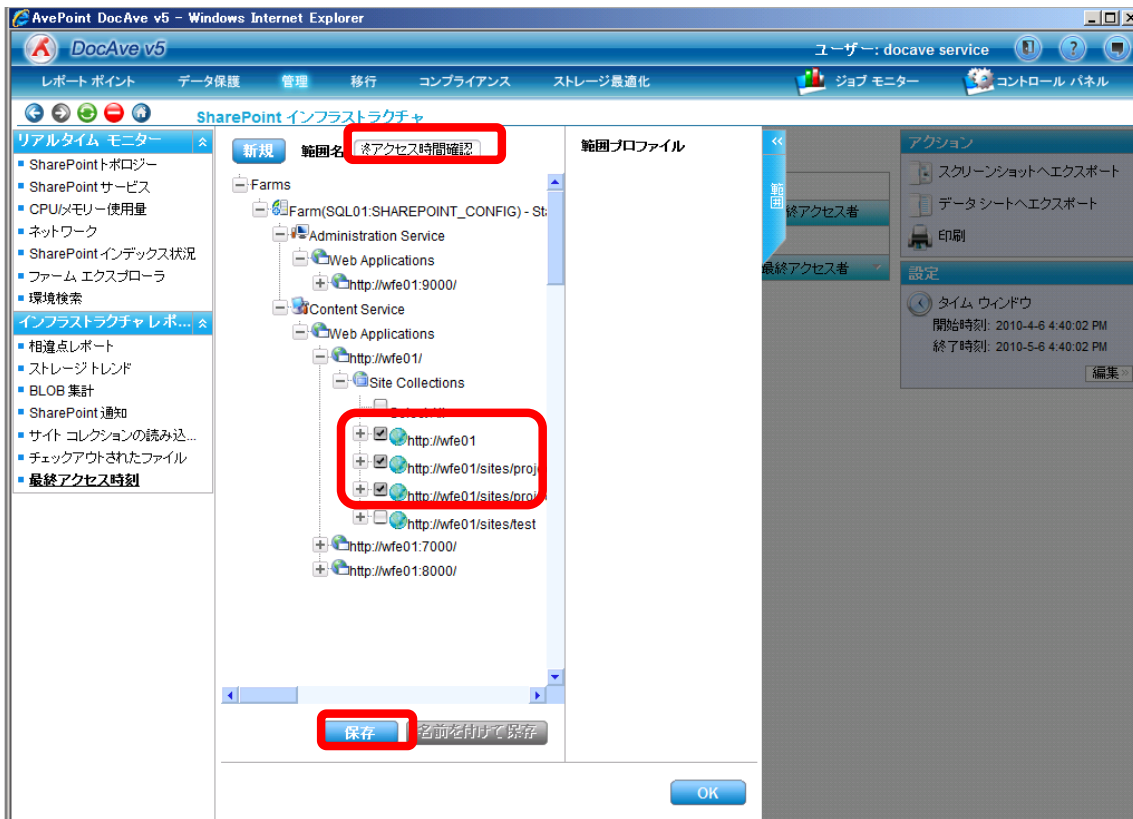
手順: 1. [管理センター]→[全体管理]の順に移動します。
2. SharePoint ツリーから SharePoint オブジェクトを選択し、右側の [セキュリティセンター] タブから [ユーザー権限のクローン作成] を選択します。
3. 選択したすべてのオブジェクトに対してユーザー権限のクローン作成をするには、この手順を繰り返します。

◀ 前へ 次へ ▶

3. 左ペインから[最終アクセス時間]を選択し、右ペインの[範囲]タブをクリックします。

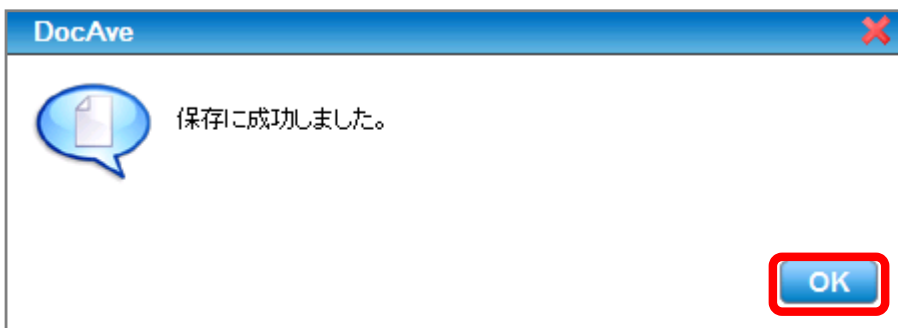


4. 範囲名を入力します。SharePoint ツリーをサイトコレクションまで展開し、対象のサイトコレクションにチェックを入れ[保存]をクリックします。

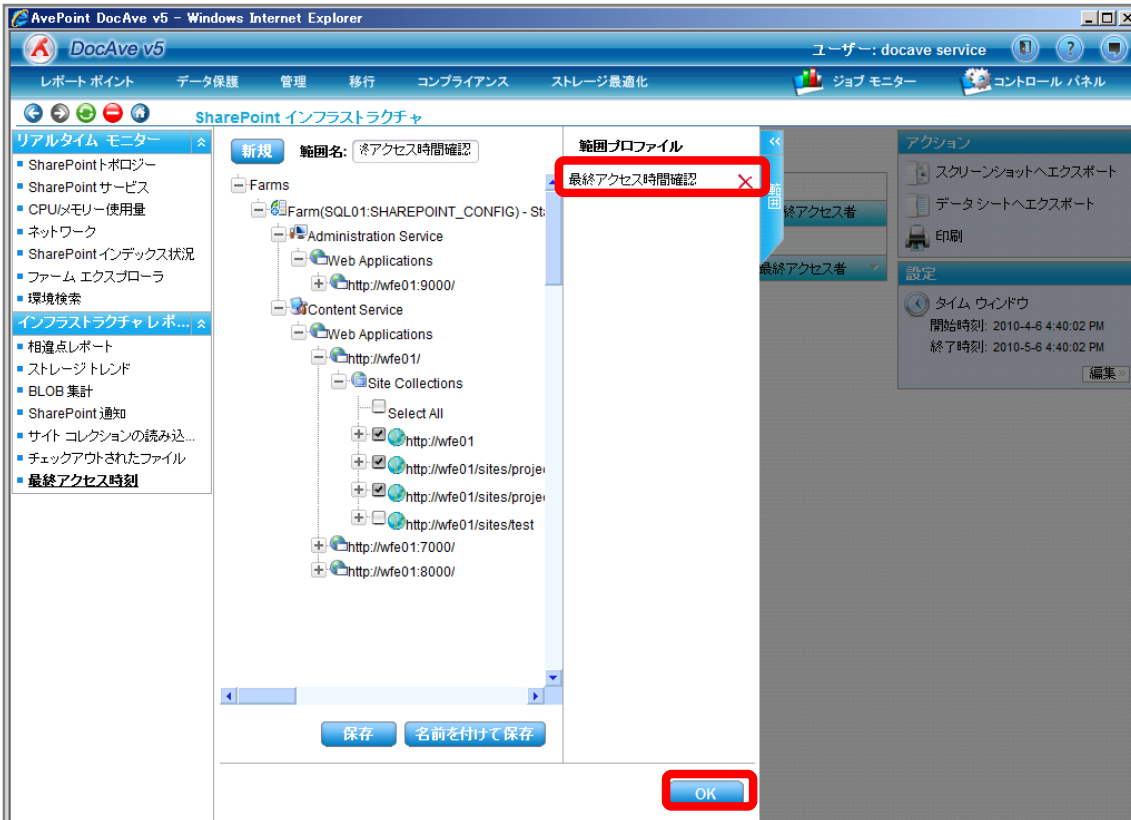


項目	説明	設定値
範囲名	設定をプロファイルとして保存します。今後再利用することが可能となります。	最終アクセス時間確認
SharePoint ツリー	SharePoint ツリーからサイトコレクションの最終アクセス時間を表示するオブジェクトを選択します。 [Farm]-[Farm(SQL01:SHAREPOINT_CONFIG)]-[Content Service]-[Web Applications]-[http://wfe01/]-[Site Collections]の順で展開します。	http://wfe01 http://wfe01/sites/projectA http://wfe01/sites/projectB

5. メッセージボックスが表示されるので[OK]をクリックします。



6. 範囲プロファイル項目に「最終アクセス時間確認」が表示されたことを確認し、[OK]をクリックします。



7. 右ペインにサイトの最終アクセス時刻が表示されていることを確認します。



(2) サイトコレクション/サイトの容量を把握し、アーカイブ対象を決定したい

SharePoint 運用管理者の田中さんは、上司からデータベースリソースが少なくなったため、容量を圧迫しているサイトをアーカイブするよう依頼されました。アーカイブ対象を決定するため、サイズが大きいサイトコレクションの増加傾向を予想する必要があります。確認対象は以下の通りです。

確認対象

確認対象
全社ポータルサイト(http://wfe01/default.aspx)
A プロジェクトサイト(http://wfe01/sites/projectA/default.aspx)
B プロジェクトサイト(http://wfe01/sites/projectB/default.aspx)

必要なオペレーション

上記シナリオを達成するために、以下のオペレーションを行います。

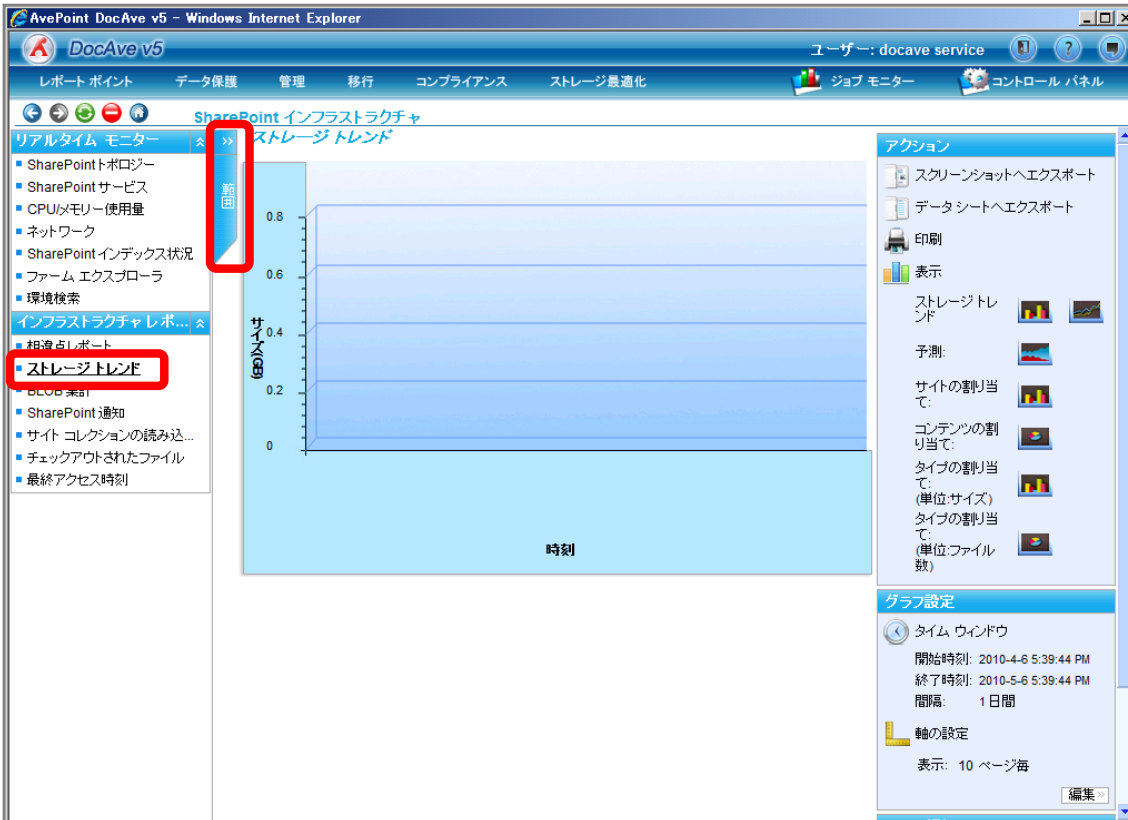
項番	操作	ソリューション	説明
1	SharePoint 環境等の情報収集	DocAve レポートポイント	レポートポイントの元情報となる SharePoint 環境等の情報を収集します。 ※こちらは事前作業「3-1-3 ストレージサイズやサイトコレクションの表示速度情報の取得」で実施しておきます。
2	サイトコレクションの容量確認	DocAve レポートポイント	対象のサイトコレクションの容量を確認します。
3	サイトコレクションのサイズ予測	DocAve レポートポイント	対象のサイトコレクションのサイズ予測を確認します。

操作手順

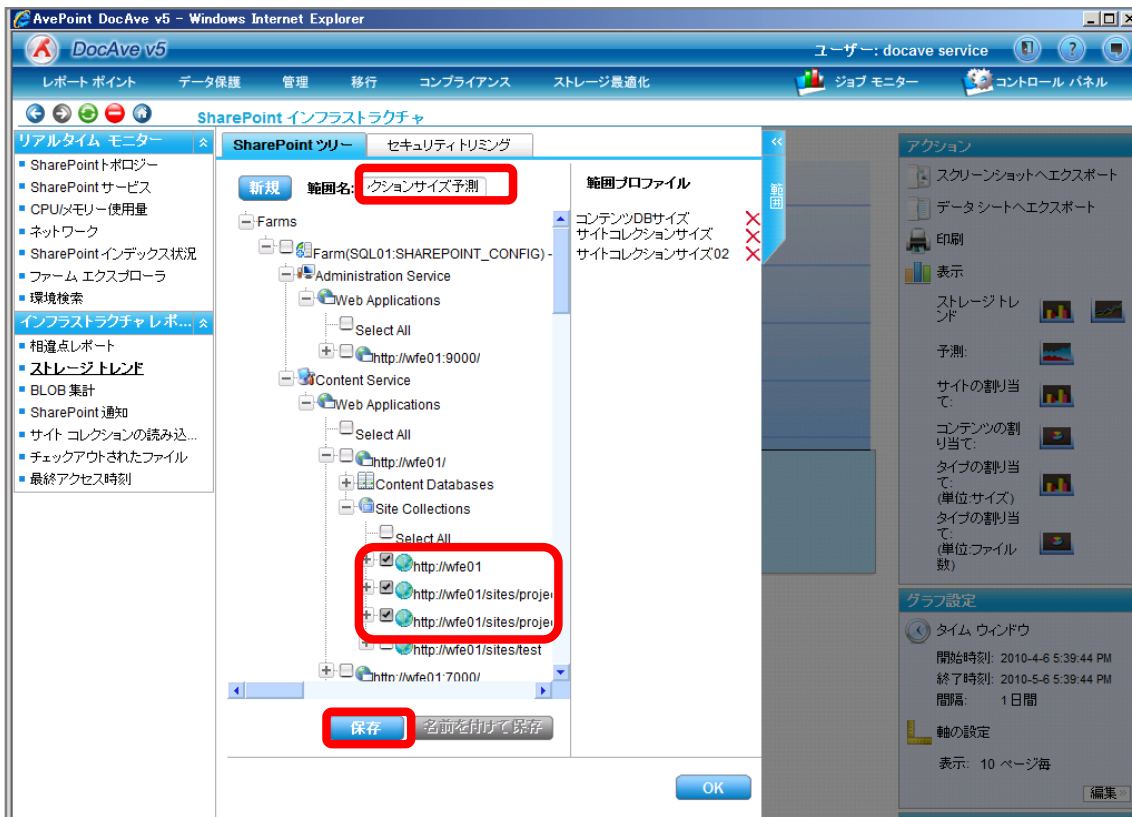
1. SharePoint 情報を収集します。操作手順は「3-1-3SharePoint 情報の取得」を参照してください。
2. 管理コンソールより[レポートポイント]-[SharePoint インフラストラクチャ]を選択し、SharePoint インフラストラクチャ画面を開きます。



3. 左ペインから[ストレージトレンド]を選択し、右ペインの[範囲]タブをクリックします。

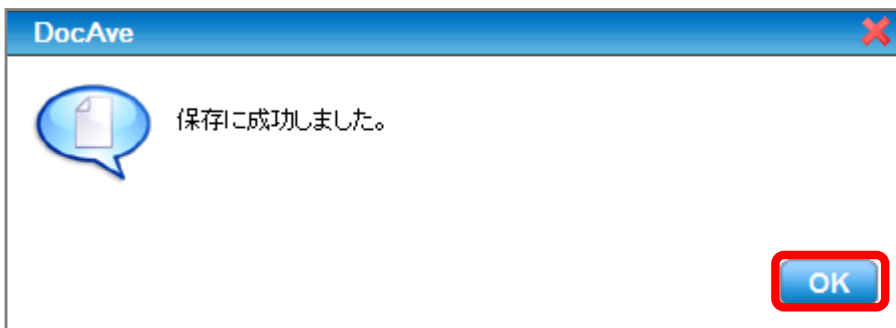


4. 範囲名を入力します。SharePoint ツリーをサイトコレクションまで展開し、対象のサイトコレクションにチェックを入れ[保存]をクリックします。

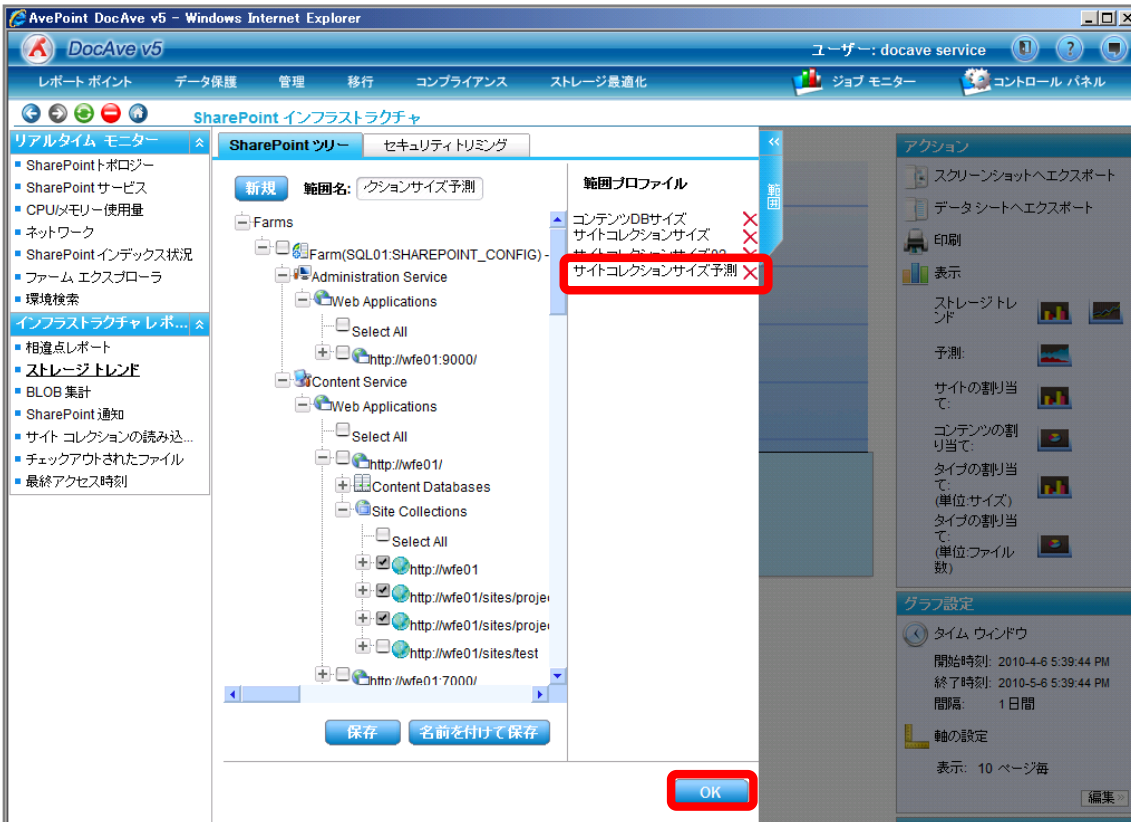


項目	説明	設定値
範囲名	設定をプロファイルとして保存します。今後再利用することが可能となります。	サイトコレクションサイズ予測
SharePoint ツリー	SharePoint ツリーからサイトコレクションのサイズを表示するオブジェクトを選択します。 [Farm]-[Farm(SQL01:SHAREPOINT_CONFIG)]-[Content Service]-[Web Applications]-[http://wfe01/]-[Site Collections]の順で展開します。	http://wfe01 http://wfe01/sites/projectA http://wfe01/sites/projectB

5. メッセージボックスが表示されるので[OK]をクリックします。



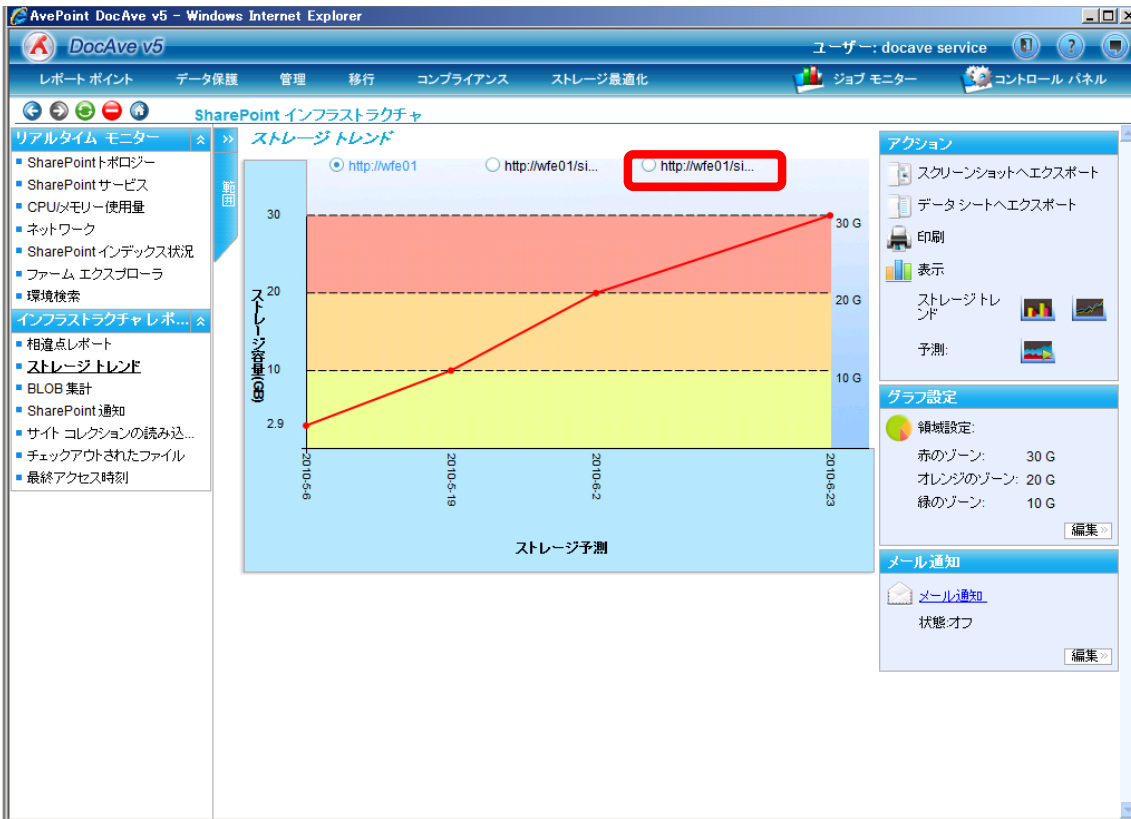
6. 範囲プロファイル項目に「サイトコレクションサイズ予測」が表示されたことを確認し、[OK]をクリックします。



7. 右ペインにサイトコレクションのサイズが表示されていることを確認します。アクション項目の[予測]をクリックします。

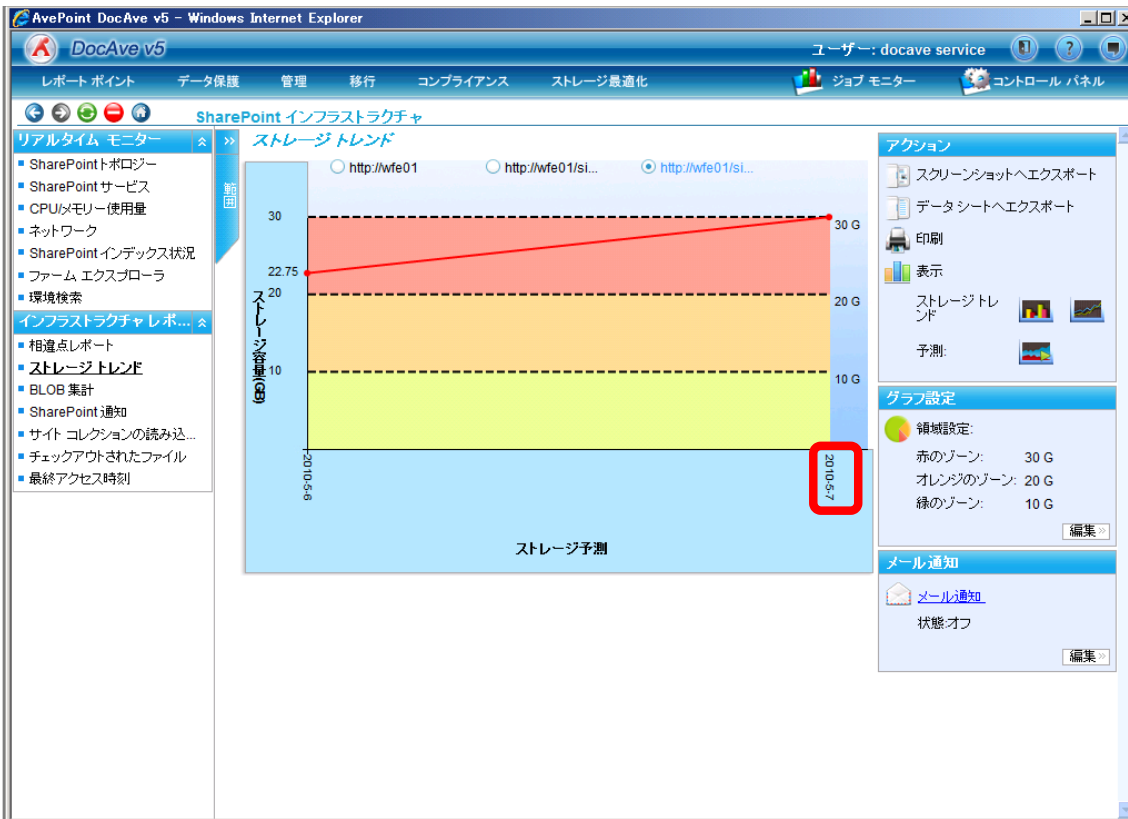


8. ストレージ容量が大きいサイトコレクションのラジオボタンを有効化します。



項目	説明	設定値
サイトコレクション URL	ストレージ容量の増加予測を表示させたいサイトコレクション URL のラジオボタンを有効化します。	http://wfe01/sites/projectB

9. 閾値を超える日時を確認します。



第4章 付録

4.1. レポートポイントのデータ

レポートポイントモジュールは機能によってリアルタイムでしか確認できないデータや事前にデータ収集が必要なデータがあります。モジュールごとの対応表を以下に示します。

機能名	データ取得タイミング	過去データの参照可否
SharePoint トポロジ	リアルタイム	×
SharePoint サービス	リアルタイム	×
CPU/メモリー使用量	リアルタイム	○ (パフォーマンスコレクタの設定必要)
ネットワーク	リアルタイム	○ (パフォーマンスコレクタの設定必要)
SharePoint インデックス状況	リアルタイム	×
ファームエクスプローラ	リアルタイム	×
環境検索	リアルタイム	×
相違点レポート	リアルタイム	×
ストレージトレンド	SharePoint コレクタ(ストレージトレンド)の設定タイミング	○
BLOB 集計	SharePoint コレクタ(BLOB 集計)の設定タイミング	○
SharePoint 通知	リアルタイム	×
サイトコレクションの読み込み時間	SharePoint コレクタ(サイトコレクションの読み込み時間)の設定タイミング	○
チェックアウトされたファイル	SharePoint コレクタ (チェックアウトされたファイル)の設定タイミング	○
最終アクセス時刻	監査マネージャーの設定タイミング	○
サイトの利用状況	監査マネージャーの設定タイミング	○
検索使用量	リアルタイム	×
サイトアクティビティと利用状況	監査マネージャーの設定タイミング	○
ページトラフィック	監査マネージャーの設定タイミング	○
ユーザーアクティビティ	監査マネージャーの設定タイミング	○
ストレージサイズ	リアルタイム	×
ワークフローの状態	リアルタイム	×
ダウンロード数ランキング	リアルタイム	×
失敗したログイン試行	リアルタイム	×

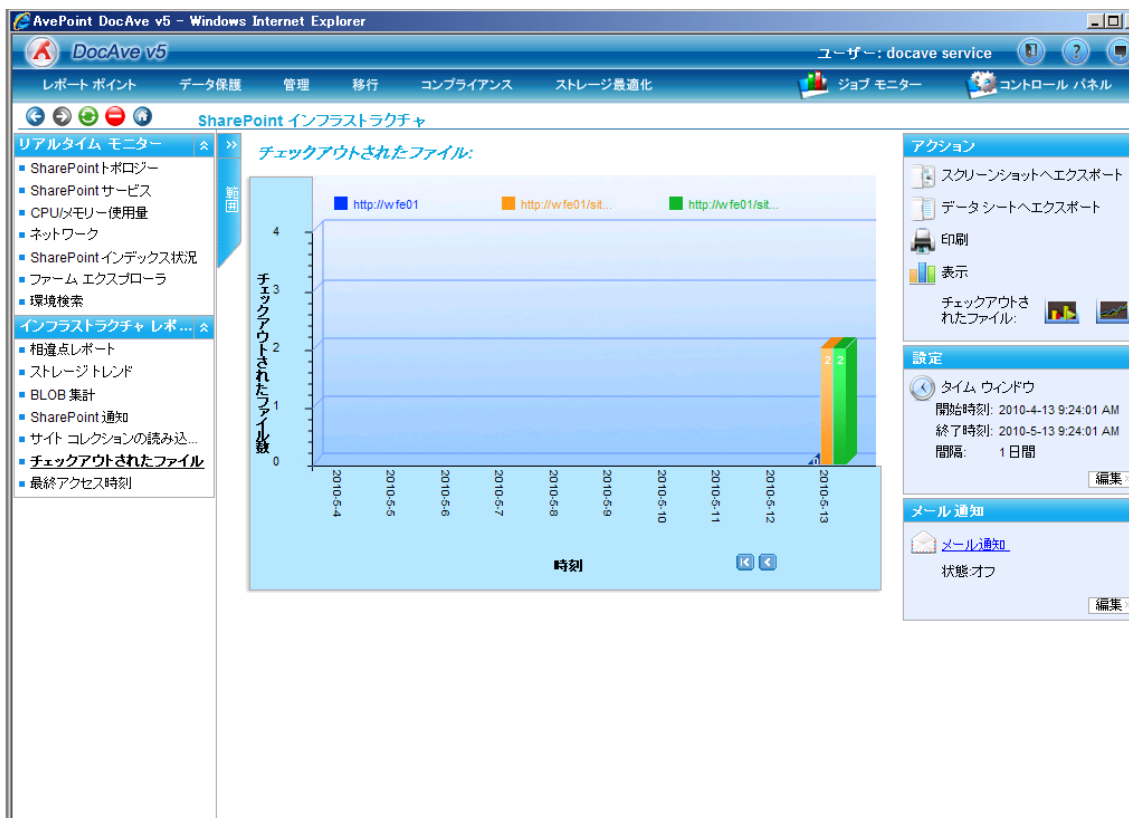
4.2. シナリオに記載していないレポートポイント機能の帳票一覧

「3章 一般的な利用シナリオ」で取り上げていない機能に関して機能説明と出力される画面イメージを表示します。

4.2.1. インフラストラクチャレポート

(1) チェックアウトされたファイル

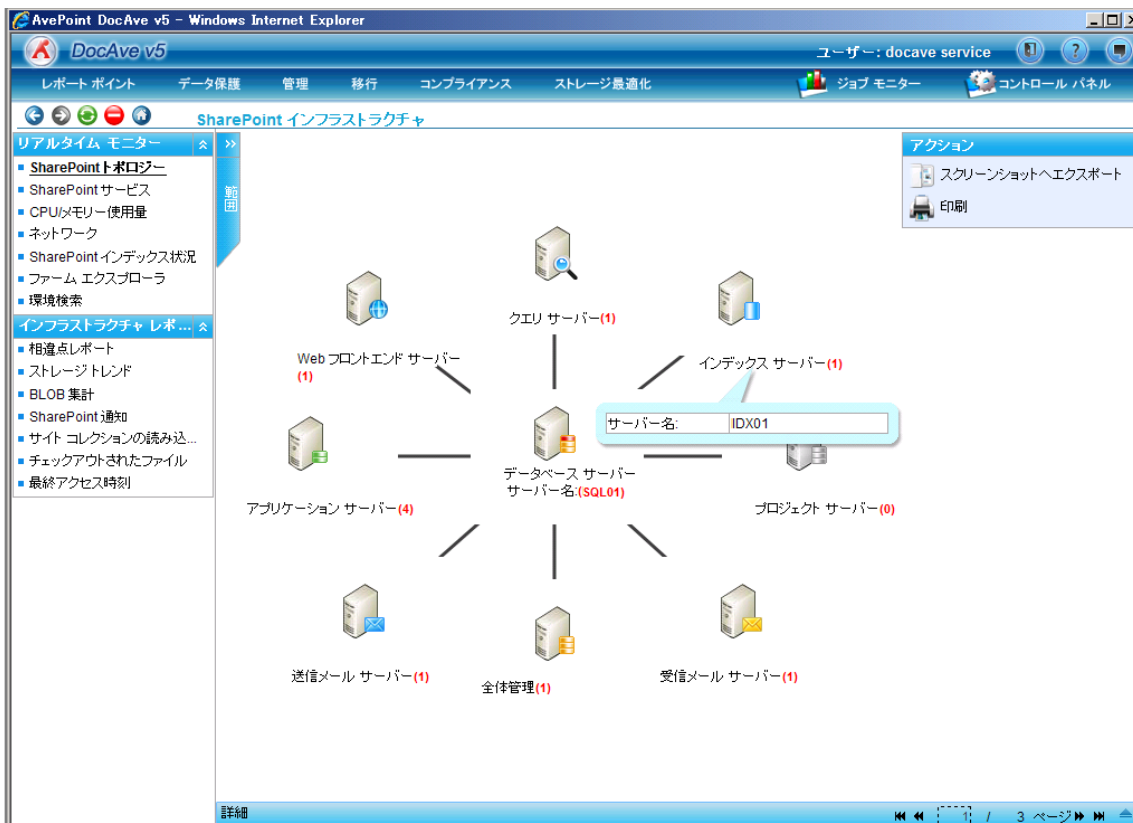
指定した Web アプリケーション/サイトコレクション/サイト/リスト/ライブラリ内に含まれるチェックアウトされているファイル数を表示します。時間帯を絞ることも可能となります。



4.2.2 リアルタイムモニタ

(1) SharePoint トポロジ

SharePoint ファームのすべてのサーバーの情報、サーバー名を表示する機能です。



(2) SharePoint サービス

SharePoint サービスおよびそれらの状態を一覧で表示する機能です。

The screenshot shows the AvePoint DocAve v5 interface in a Windows Internet Explorer browser window. The user is logged in as 'docave service'. The main content area is titled 'SharePoint インフラストラクチャ' and is divided into two sections: 'サーバー' (Servers) and 'サービス' (Services).

サーバー (Servers) Table:

サーバー名	サーバーの役割
dc01.example.local	Outgoing Email Server
IDX01	Application Server
	Index Server
SQL01	Application Server
WFE01	Web Front-End Server
	Application Server
	Incoming Email Server
	Query Server
	Central Administration
DOCAVEWFE02	Web Front-End Server
	Application Server
	Incoming Email Server
	Query Server

サービス (Services) Table:

サーバー	サービス	状態	最終開始時刻
dc01.example.local	Windows SharePoint Services Outgoing E-Mail	開始済み	2010-4-19 4:32:35 PM
IDX01	Central Administration	開始済み	2010-4-7 4:03:34 PM
	Windows SharePoint Services Administration		
	Windows SharePoint Services Timer		
	Excel Calculation Services	停止済み	2010-4-7 4:04:47 PM
	Office SharePoint Usage Analytics Service	停止済み	2010-4-7 4:05:06 PM
	Business Data Catalog	停止済み	2010-4-7 4:05:08 PM
	Shared Services Timer	開始済み	2010-4-7 4:05:12 PM
	Session State	停止済み	2010-4-7 4:05:16 PM

The interface also includes a left-hand navigation menu with options like 'リアルタイム モニター' and 'インフラストラクチャ レポート', and an 'アクション' (Action) panel on the right with options like 'スクリーンショットへエクスポート' and 'データシートへエクスポート'.

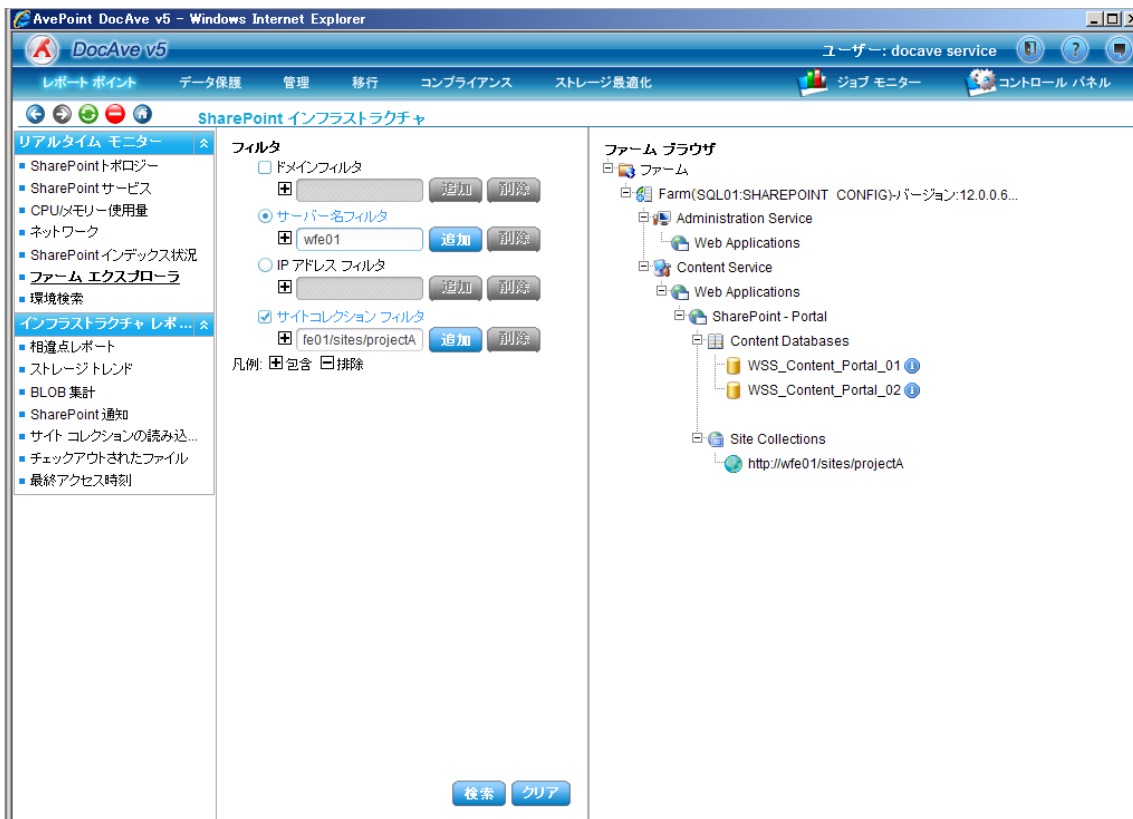
(3) SharePoint インデックス状況

SharePoint SSP のクローल スピード、コンテンツ ソースの状態やクローल設定などを含めた 共有サービスプロバイダーのクローल設定に関する詳細情報を表示する機能です。



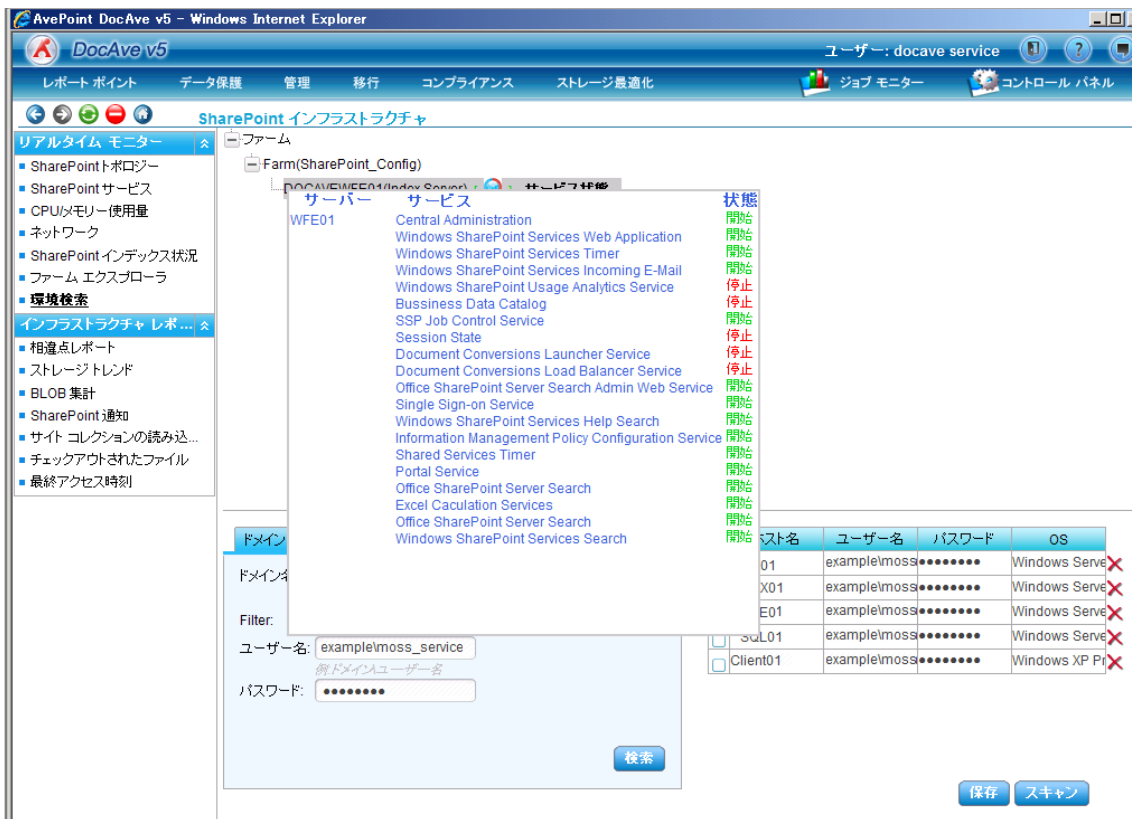
(4) ファームエクスプローラ

ドメイン、サーバー名、IP アドレス、サイト コレクション フィルタを使って SharePoint コンポーネントの情報を検索して表示する機能です。



(5) 環境検索

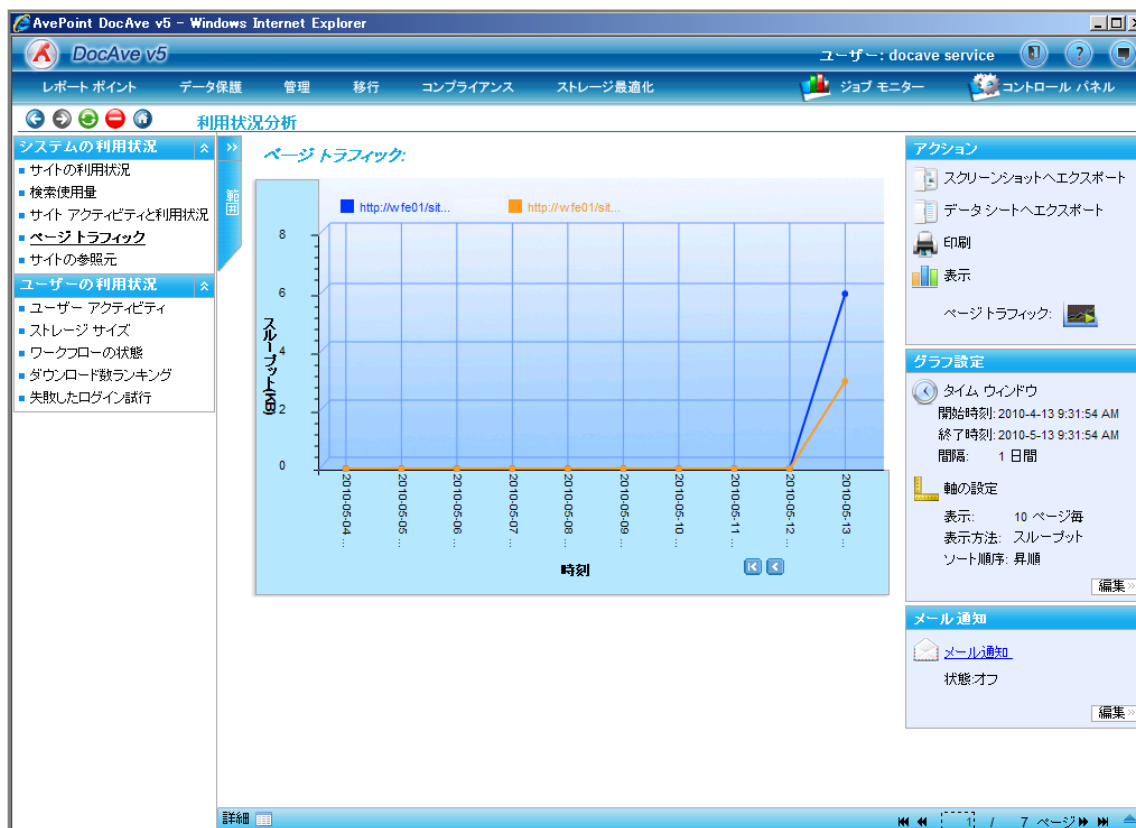
指定した範囲(ドメイン、IPv4範囲、サーバー直接指定)のSharePointサーバーを検索して、サーバーのサービス状態を表示する機能です。



4.2.3 システムの利用状況

(1) ページトラフィック

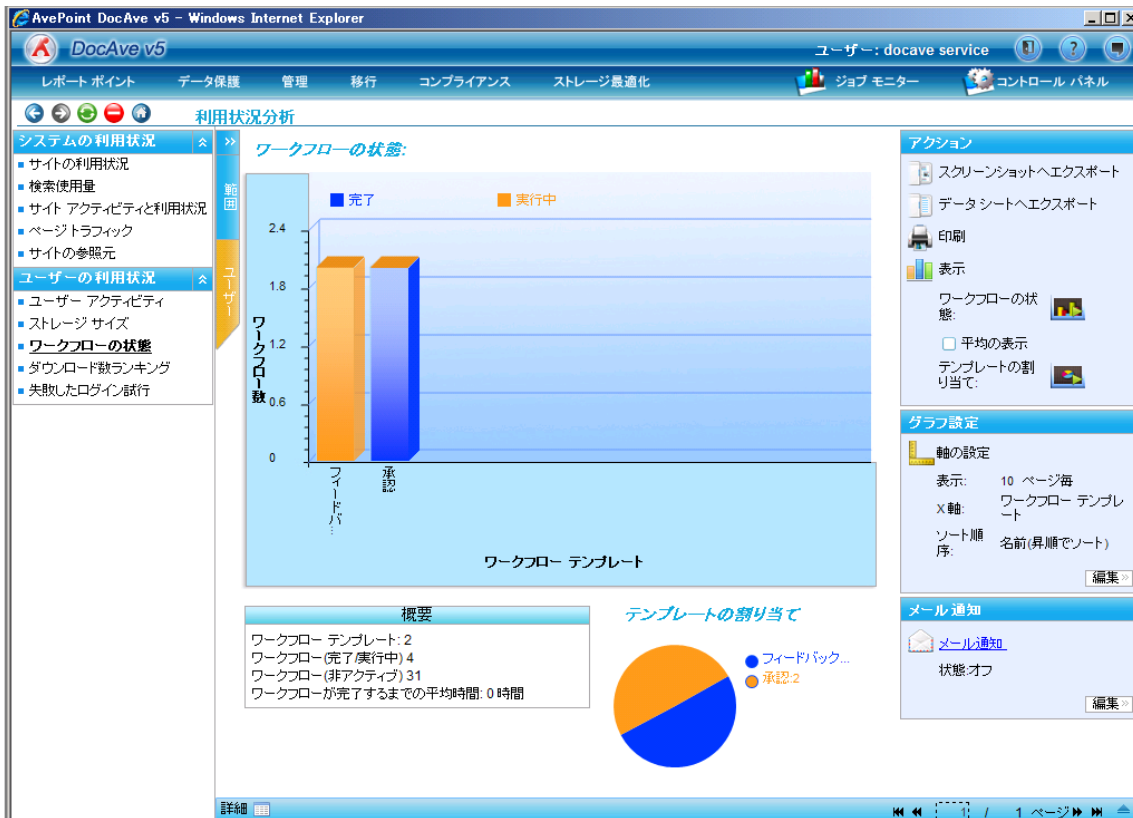
サイトレベルのページトラフィックとして、スループットや指定した時間帯のヒット数を表示する機能です。



4.2.4 ユーザーの利用状況

(1) ワークフローの状態

ワークフローが完了するまでの平均時間、現在有効なワークフローの数、ワークフローの担当者などの各ワークフローの状態を表示する機能です。



(2) ダウンロード数ランキング

最もダウンロード数の多いファイルに関する情報を一覧表示する機能です。こちらのダウンロード数は各アイテムのドロップダウンメニューから[送信]-[コピーのダウンロード]の動作を行った時のみカウントされます。

The screenshot displays the AvePoint DocAve v5 web interface in Internet Explorer. The main content area is titled 'ダウンロード数ランキング' (Download Count Ranking). It includes a checkbox for '全体範囲のダウンロード数上位' (Top download counts for the entire range) and a site filter set to 'http://wfe01/sites/projectB/'. Below this, there are two tables showing download data for different sites.

Site: http://wfe01/sites/projectB/

順序	ファイル名	URL	ダウンロード	作成者	作成日時
1	DocAve操作...	http://wfe01/si...	1	EXAMPLEItan...	2010-5-11 11:30:53 AM
2	DocAve操作...	http://wfe01/si...	1	EXAMPLEIta...	2010-5-11 11:30:39 AM

Site: http://wfe01/sites/projectA/

順序	ファイル名	URL	ダウンロード	作成者	作成日時
1	AvePoint_T...	http://sites/proje...	1	EXAMPLEItan...	2010-5-11 1:07:33 PM
2	DocAve操作...	http://wfe01/si...	1	EXAMPLEIta...	2010-5-11 11:44:03 AM

The interface also features a left-hand navigation menu with options like 'システムの利用状況' and 'ダウンロード数ランキング', and a right-hand sidebar with 'アクション' and '設定' sections.

(3) 失敗したログイン試行

SharePoint のファーム/サイトに対して失敗したログイン/アクセスアクションが発生した時刻を表示する機能です。

The screenshot shows the AvePoint DocAve v5 interface in a Windows Internet Explorer browser. The main content area displays a table titled "失敗したログイン試行:" (Failed Login Attempts) for the "Web フロントエンド サーバー名:WFE01(10.108.1.122)". The table has four columns: "時刻" (Time), "ユーザー" (User), "URL", and "IP". The data shows multiple failed login attempts from the IP 10.108.1.124 between 2010-5-13 4:01:07 AM and 4:00:38 AM. The user is listed as "匿名" (Anonymous). The URLs include paths like "/sites/projectB/Shared...", "/sites/projectA/_vti_bin/...", and "/sites/projectA/Shared...".

時刻	ユーザー	URL	IP
2010-5-13 4:10:06 AM	匿名	http://wfe01/sites/projectB/Shared ...	10.108.1.124
2010-5-13 4:10:06 AM	匿名	http://wfe01/sites/projectA/_vti_bin/...	10.108.1.124
2010-5-13 4:10:06 AM	匿名	http://wfe01/sites/projectB/Shared ...	10.108.1.124
2010-5-13 4:10:06 AM	匿名	http://wfe01/sites/projectA/Shared ...	10.108.1.124
2010-5-13 4:10:06 AM	匿名	http://wfe01/sites/projectA/Shared ...	10.108.1.124
2010-5-13 4:01:07 AM	匿名	http://wfe01/sites/projectB/Shared ...	10.108.1.124
2010-5-13 4:01:07 AM	匿名	http://wfe01/sites/projectB/Shared ...	10.108.1.124
2010-5-13 4:00:53 AM	匿名	http://wfe01/sites/projectb/_layouts/...	10.108.1.124
2010-5-13 4:00:53 AM	匿名	http://wfe01/sites/projecta/_layouts/...	10.108.1.124
2010-5-13 4:00:53 AM	匿名	http://wfe01/sites/projectb/_layouts/...	10.108.1.124
2010-5-13 4:00:53 AM	匿名	http://wfe01/sites/projecta/_layouts/...	10.108.1.124
2010-5-13 4:00:38 AM	匿名	http://wfe01/sites/projecta/default.a...	10.108.1.124
2010-5-13 4:00:38 AM	匿名	http://wfe01/sites/projecta/default.a...	10.108.1.124
2010-5-13 4:00:38 AM	匿名	http://wfe01/sites/projectb/default.a...	10.108.1.124
2010-5-13 4:00:38 AM	匿名	http://wfe01/sites/projectb/default.a...	10.108.1.124